令和元年度
板橋区区民意識意向調査
報告書

令和２年３月

板橋区

目次

第１章 調査の概要 1
１． 調査の目的 3
２． 調査方法と回収状況 3
３． 回収結果 3
４． 調査項目 3
５． 地域区分 4
６． 本報告書を読むにあたって 5
第２章 調査結果の詳細 7
１． 回答者の属性 9
（１） 性別 9
（２） 年代 9
（３） 居住地域 9
（４） 国籍 9
（５） 職業 9
（６） 世帯構成 10
（７） 同居家族（複数回答可） 10
（８） 住居形態 10
（９） 居住年数 10
(10) 直前の居住地 10
２． 区での住み心地 11
（１） 住みやすさ 11
（２） 定住意向 20
（２－１）住みやすさ（問２）と定住意向（問３） 29
（２－２）区内に住み続けたい理由 30
（２－３）区外に移り住むとしたら住みたい地域 38
（２－４）区外に移り住みたい理由 46
（２－５）住みたい地域（問３－２）と区外に移り住みたい理由（問３－３） 56
（３） 板橋区に対する愛着と誇り 57
（３－１）板橋区に対する愛着と誇り（問４）と定住意向（問３） 69
（３－２）愛着を感じる理由 70
（３－３）誇りを感じる理由 79
３． 「子育て安心」について 88
（１） 地域における子育て支援策 88
（２） 地域における子育てを支える担い手 91
（３） 子どもの貧困対策 93
４． 「魅力ある学び支援」について 96
（１） 子どもたちのたくましく生きる力 96
（２） 学校教育を通じて身に付けてほしい力 99
（３） 生涯学習活動に取り組む環境づくり 101

５．　「安心の福祉・介護」について 103
（１）　介護状態になることに対する不安 103
（１－１）介護状態となることに対する不安の理由 105
（２）　住み慣れた地域で住み続けるための支援策 106
６．　「豊かな健康長寿社会」について 108
（１）　「いたばし健康づくりプロジェクト」の認知度 108
（１－１）「いたばし健康づくりプロジェクト」をどのような方法で知ったか 110
（２）　健康のために普段から行っていること 111
７．　「心躍るスポーツ・文化」について 114
（１）　過去１年間に鑑賞・体験活動した文化芸術 114
（２）　過去１年間での異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション 116
（３）　運動・スポーツの頻度 118
（４）　戦争体験の語り継ぎ 120
８．　「光輝く板橋ブランド・産業活力」について 122
（１）　いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりに対する満足度 122
（２）　身近な商店街に対する印象 129
（３）　過去１年間に農業にふれた機会 132
９．　「緑と環境共生」について 133
（１）　自然環境・公園に対する満足度 133
（２）　資源としてごみと分別しているもの 138
（３）　環境のために取り組んでいること 139
10.　「万全な備えの安心・安全」について 141
（１）　災害情報を収集するための手段 141
（２）　災害に備えた家庭内での対策 143
（２－１）飲料水・非常用食糧の備蓄日数 145
（３）　お住まいの地域の治安 146
11.　「快適で魅力あるまち」について 148
（１）　「ユニバーサルデザイン」の認知度 148
（１－１）取り組みの進捗状況 150
（２）　電車やバスの利用しやすさ 152
（３）　建築物等とまちなみとの調和 155
12.　「未来創造戦略」について 158
（１）　未来創造戦略の重要度 158
13.　「シティプロモーション（区の魅力情報の発信）」について 162
（１）　区が発信する情報の伝達度 162
（１－１）情報が伝わっていない理由 164
（２）　期待する区の魅力発信 166
（３）　区に関する情報の入手方法 168

14.　「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」について 170
（１）　「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の参加方法（関わり方） 170
（２）　レガシー（遺産）として期待すること 172
15.　社会活動・地域活動等 174
（１）　社会活動・地域活動等への参加状況 174
（２）　地域で活動する団体・サークルへの加入状況 177
（２－１）町会・自治会の加入状況（問３８）と定住意向（問３） 182
（２－２）地域で活動する団体・サークルに加入していない理由 183
（３）　地域の活動を活発にするために必要なこと 187
（４）　過去１年間における地域センターの利用状況 189
（４－１）地域センターの利用目的 192
（５）　地域センターに求めるサービス 193
16.　今後の行政サービスと負担のあり方 194
（１）　税金に見合った行政サービスの提供 194
（２）　将来的な行政サービスと住民負担のバランス 197
17.　板橋区職員に期待する能力・資質 200
（１）　最近１年間での職員と接する機会の有無 200
（１－１）職員の対応に対する満足度 200
（１－２）職員の能力・資質の現状評価 201
（２）　職員に求める姿 202
18.　その他 203
（１）　「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況 203
（１－１）取得する予定はない理由 205
（２）　ＳＤＧｓ（えすでぃーじーず）の認知度 207
（２－１）ＳＤＧｓで重点的に取り組むべきもの 209
（３）　板橋区発展のために力を入れるべき分野 210
第３章 分析 215
１．　前回調査との比較 217
（１）　区での住み心地 217
（２）　行政サービスで重点的に力を入れるべき分野 218
２．　属性別にみた主な特徴 219
第４章 集計表 253
第５章 調査票 281

第１章　　調査の概要

１．調査の目的

区民の住みやすさや定住意向、区への愛着・誇りのほか、区の施策に対する意識・意向などを広く把握し、「板橋区基本計画 2025」でめざしている「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちに向けての基礎資料とすることを目的としています。

２．調査方法と回収状況

調 査 地 域 ：板橋区全域
調 査 対 象 ：板橋区在住の満 18 歳以上の男女
標　本　数 ：3,000 人
抽 出 方 法 ：住民基本台帳から層化二段無作為抽出（板橋、常盤台、志村、赤塚、高島平の５地域ごとの登録人口規模で 3,000 人を案分抽出）
調 査 方 法 ：郵送で調査票を配布し、郵送による返信またはインターネット上に設置した回答専用Ｗｅｂページの入力
調 査 期 間 ：令和元年９月６日（金）～９月 30 日（月）
調査実施機関：株式会社タイム・エージェント

３．回収結果

配布数	有効回収数		有効回収率
3,000	郵送	899	30.0％
	インターネット	245	8.1％
	計	1,144	38.1％

※前回（平成 29 年９月）調査（郵送配布・郵送、Ｗｅｂ併用回収）有効回収率 44.9％

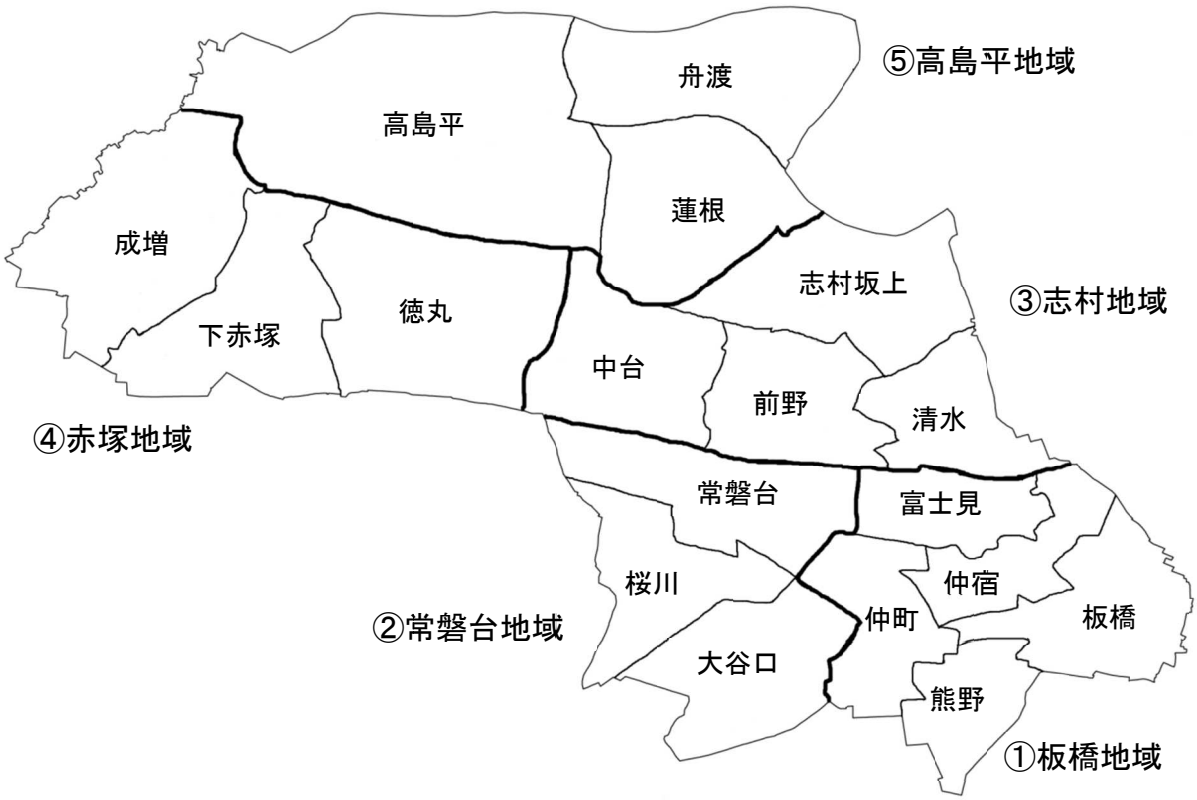
４．調査項目

１．属性
２．区の住み心地
３．「子育て安心」について
４．「魅力ある学び支援」について
５．「安心の福祉・介護」について
６．「豊かな健康長寿社会」について
７．「心躍るスポーツ・文化」について
８．「光り輝く板橋ブランド・産業活力」について
９．「緑と環境共生」について
10．「万全な備えの安心・安全」について
11．「快適で魅力あるまち」について
12．「未来創造戦略」について
13．「シティプロモーション（区の魅力情報の発信）」について
14．「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」について

15. 社会活動・地域活動等
16. 今後の行政サービスと負担のあり方
17. 板橋区職員に期待する能力・資質
18. その他

５．地域区分

地域名	対象地域
①板橋地域	板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見地域センター管内
②常盤台地域	大谷口・常盤台・桜川地域センター管内
③志村地域	清水・志村坂上・中台・前野地域センター管内
④赤塚地域	下赤塚・成増・徳丸地域センター管内
⑤高島平地域	蓮根・舟渡・高島平地域センター管内



６．本報告書を読むにあたって

（１）図表中のｎとは、回答者総数（または該当質問での該当者数）のことです。
（２）集計は、小数点第２位を四捨五入してあります。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合があります。
（３）回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがあります。
（４）本文や図表中の選択肢表記は場合によって語句を短縮・簡略化しています。
（５）回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめています。
（６）本文記載以外のクロス集計表等については、板橋区公式ホームページの「オープンデータ」に掲載します。
（７）標本誤差

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを言います。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なりますが、その誤差を数学的に計算することが可能です。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（ｎ）、②回答の比率（Ｐ）によって誤差幅が異なります。

$$標本誤差＝\pm 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1}\times\frac{P(1-P)}{n}}$$

Ｎ＝母集団数（板橋区の 18 歳以上の人口）
ｎ＝比率算出の基数（回答者数）
Ｐ＝回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は以下のようになっています。

回答比率（Ｐ）／ｎ	10%又は 90%程度	20%又は 80%程度	30%又は 70%程度	40%又は 60%程度	50%程度
1,144	±1.77	±2.36	±2.71	±2.89	±2.95
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
700	±2.27	±3.02	±3.46	±3.70	±3.78
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77

※この表の計算式の信頼度は 95%です。

●この表の見方

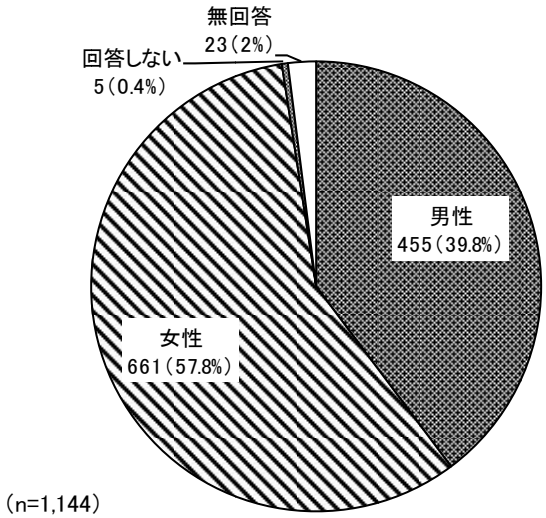
問２の回答者数が 1,144 人で、板橋区は「住みやすい」と回答した割合が 40%であった場合、「その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.89 以内（37.11%～42.89%）である」とみることができます。ただし、この表の計算式の信頼度は 95%なので、この推定は 95%の確率で正しいことになります。（５%の確率で 37.11%～42.89%の範囲を超える）

つまり、問２で板橋区は「住みやすい」と回答する割合は、100 回同じ調査をした場合、95 回「37.11%～42.89%（40%±2.89%）」内となると言えます。

第２章　　調査結果の詳細

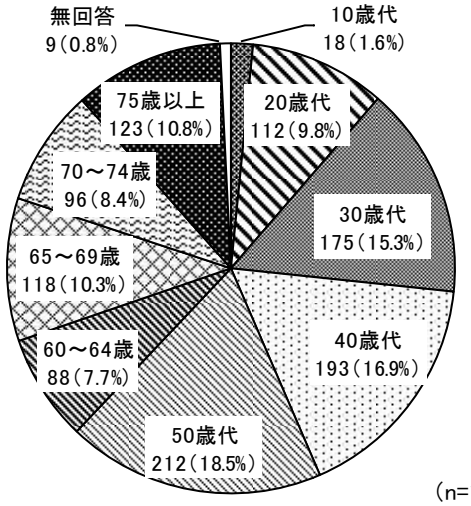
１.回答者の属性

（１）性別



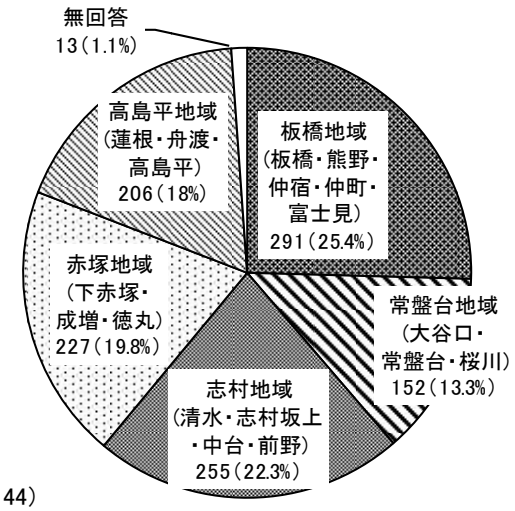
（n=1,144）

（２）年代



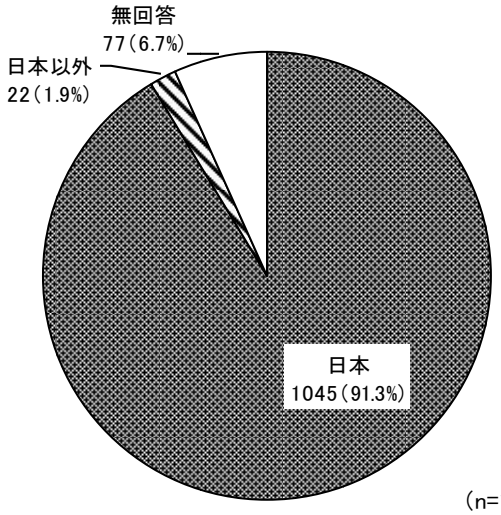
（n=1,144）

（３）居住地域



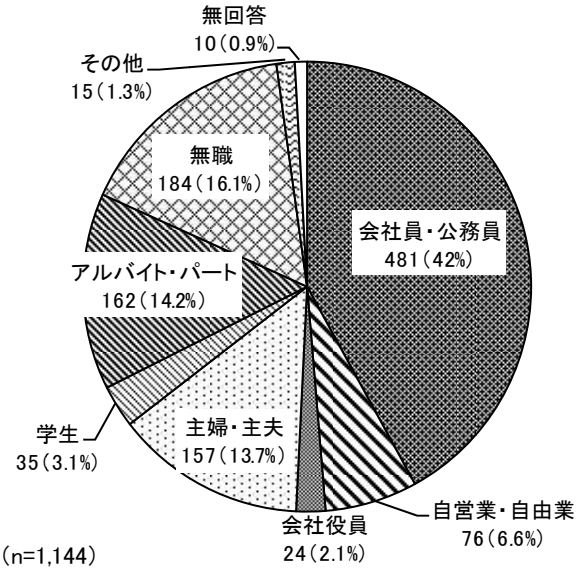
（n=1,144）

（４）国籍



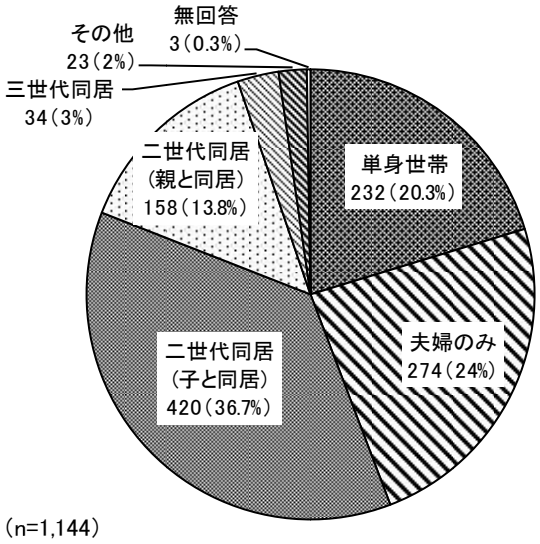
（n=1,144）

（５）職業



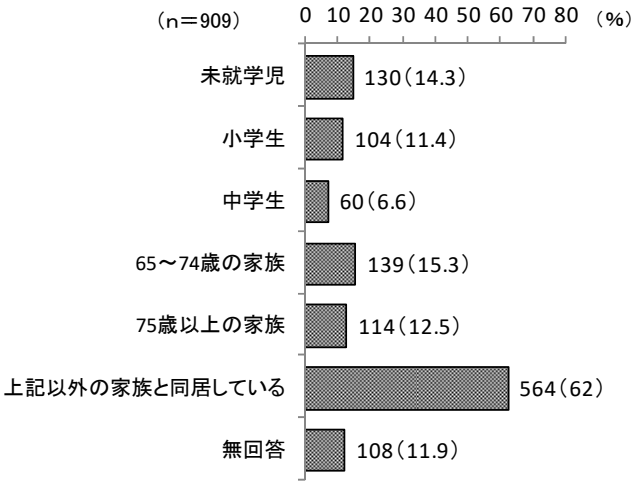
（n=1,144）

（６）世帯構成

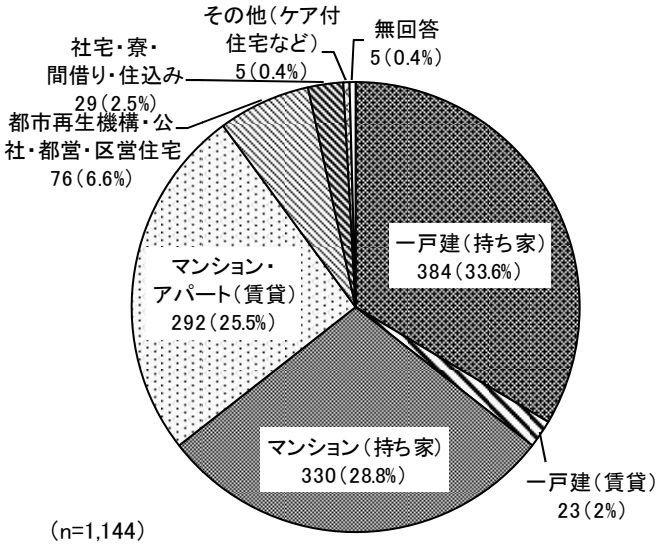


（n=1,144）

（７）同居家族（複数回答可）

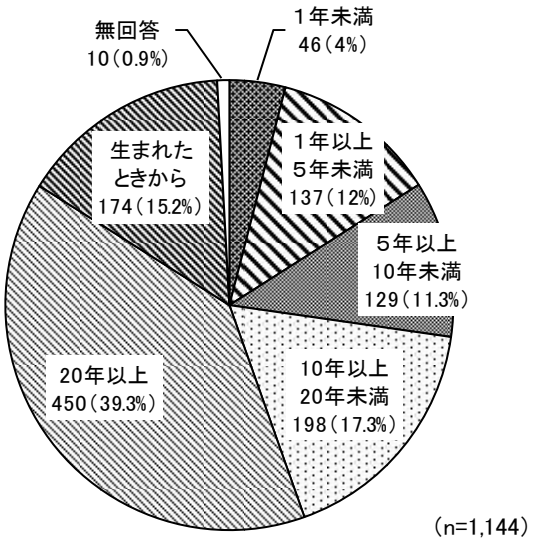


（８）住居形態



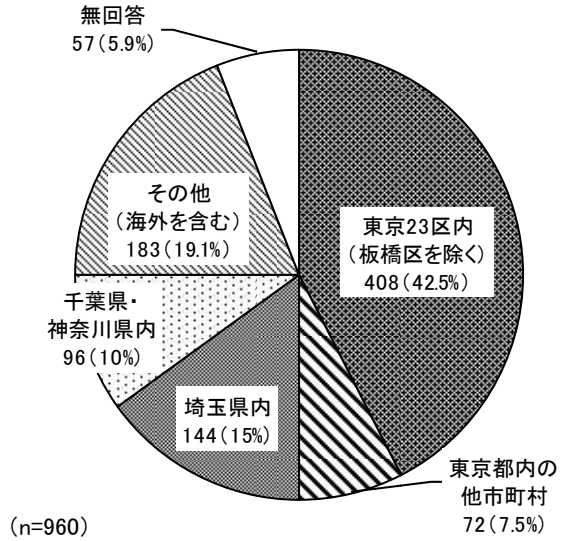
（n=1,144）

（９）居住年数



（n=1,144）

（10）直前の居住地



（n=960）

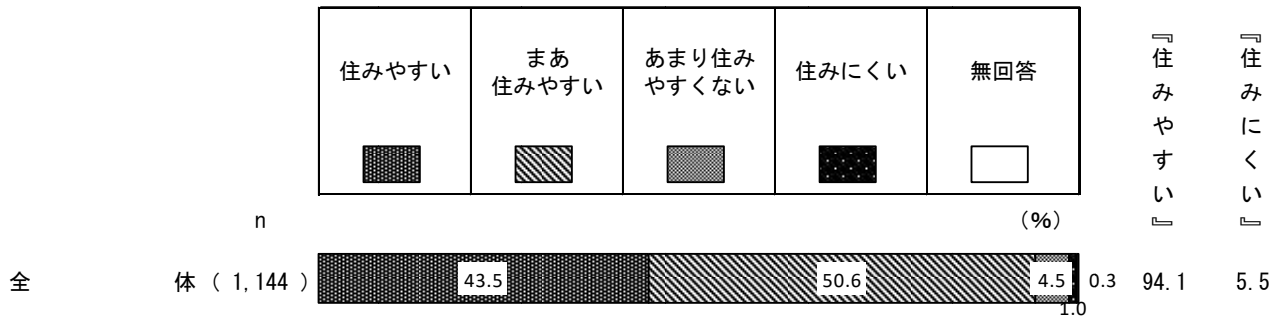
２.区での住み心地

（１）住みやすさ

◇『住みやすい』が９割半ば

問２　板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図２－１－１

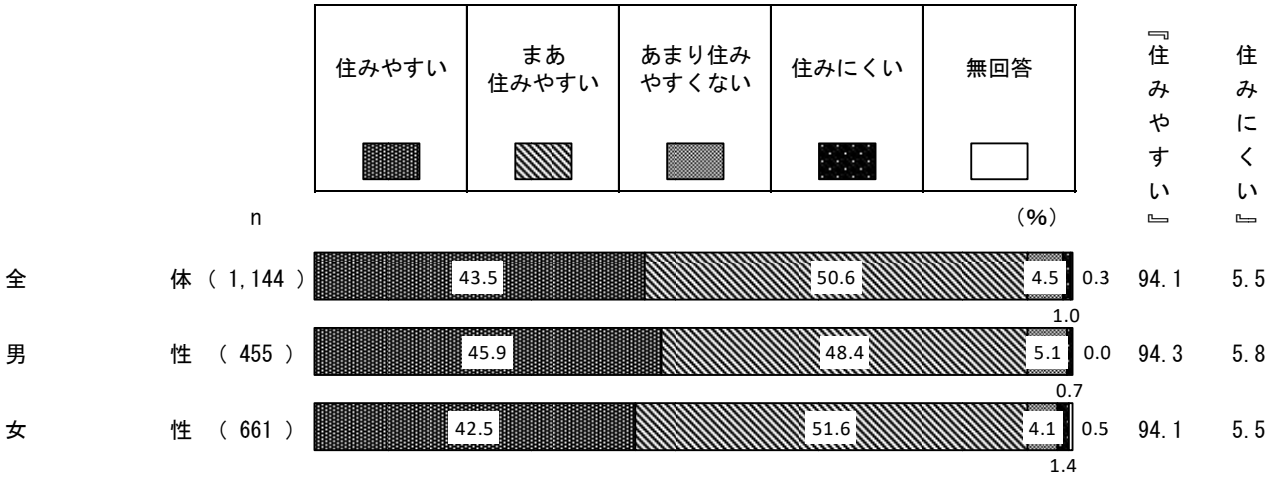


板橋区の住みやすさを聞いたところ、「住みやすい」（43.5%）が４割を超え、これに「まあ住みやすい」（50.6%）を合わせた『住みやすい』（94.1%）が９割半ばとなっています。一方、「あまり住みやすくない」（4.5%）、「住みにくい」（1.0%）を合わせた『住みにくい』（5.5%）は１割未満となっています。（図２－１－１）

①　性別

性別でみると、大きな傾向の違いは見られません。（図２－１－２）

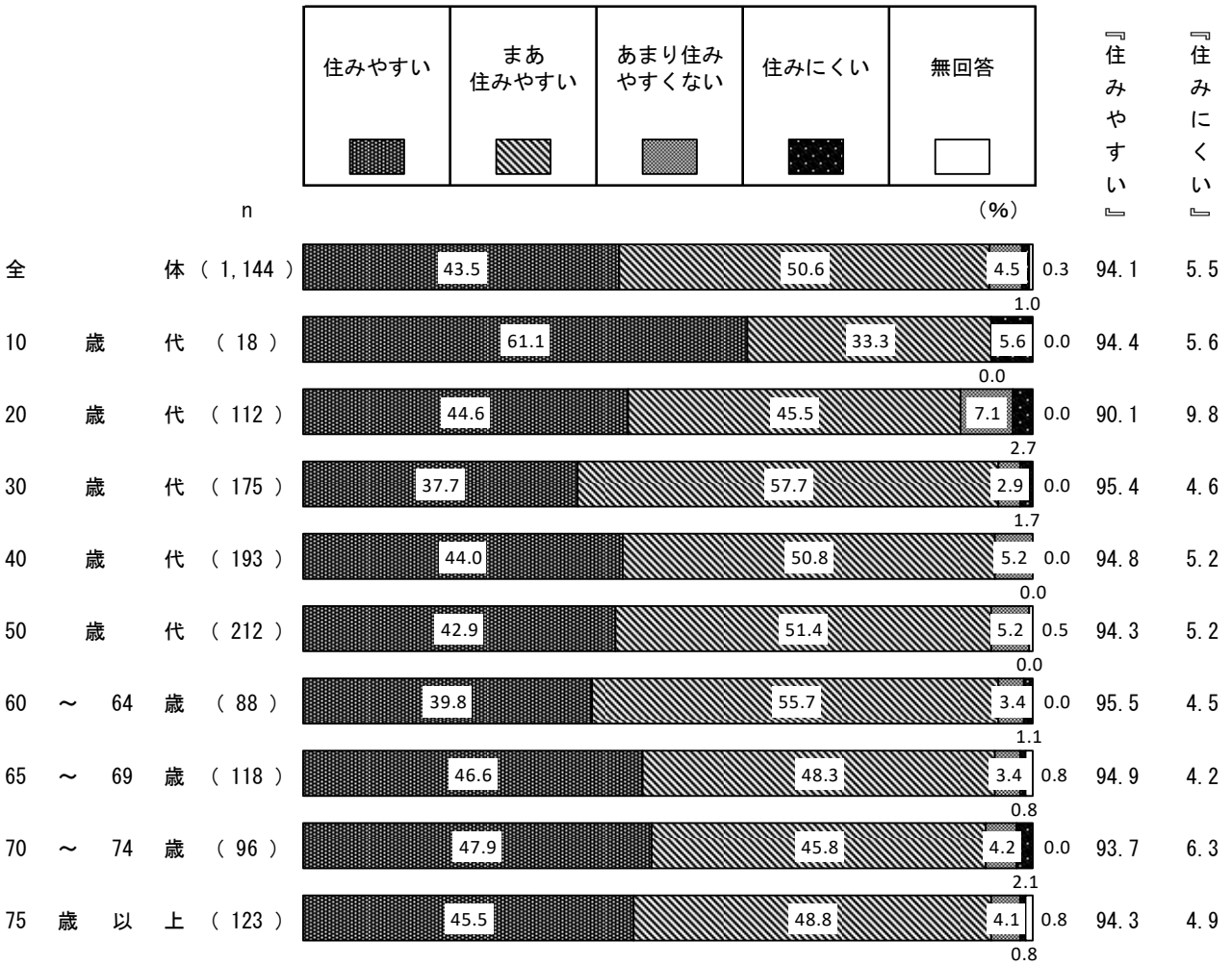
図２－１－２　住みやすさ（性別）



②　年代別

年代別でみると、『住みやすい』はすべての年代で９割台となっています。（図２－１－３）

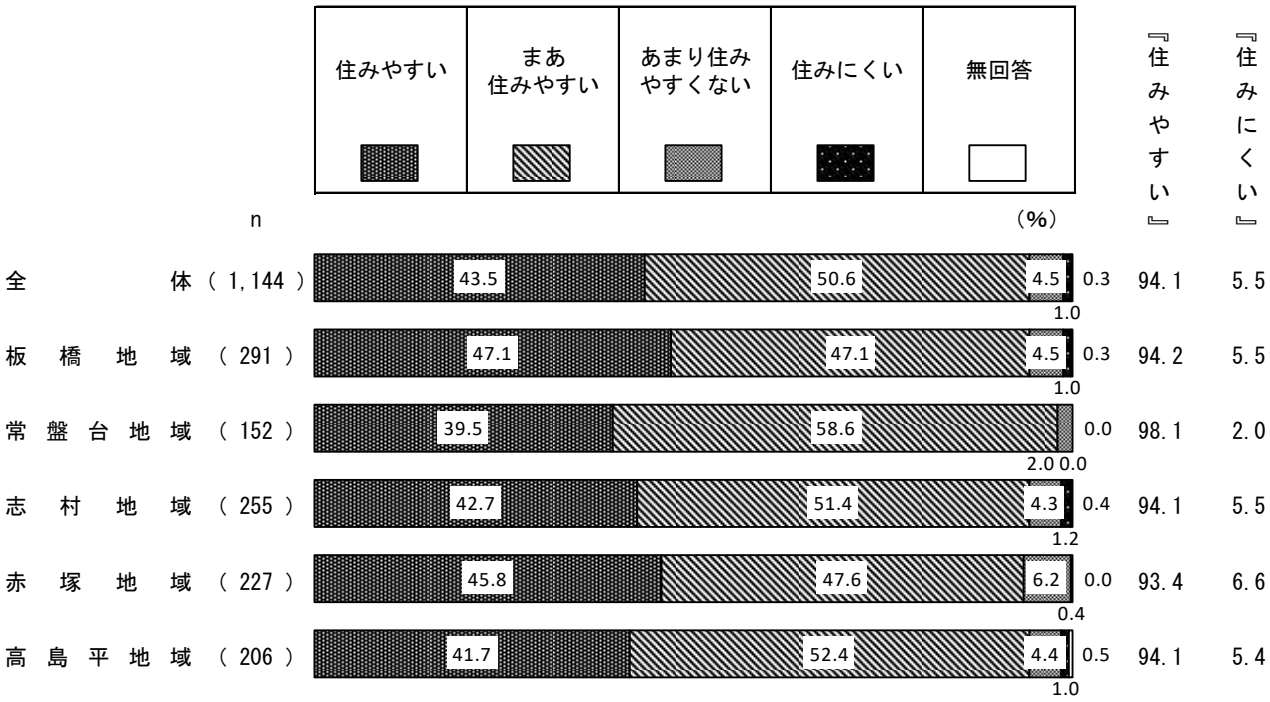
図２－１－３　住みやすさ（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「住みやすい」は板橋地域（47.1%）で５割近くとなっています。また、『住みやすい』はすべての地域で９割台となっており、特に常盤台地域（98.1%）は 10 割近くとなっています。（図２－１－４）

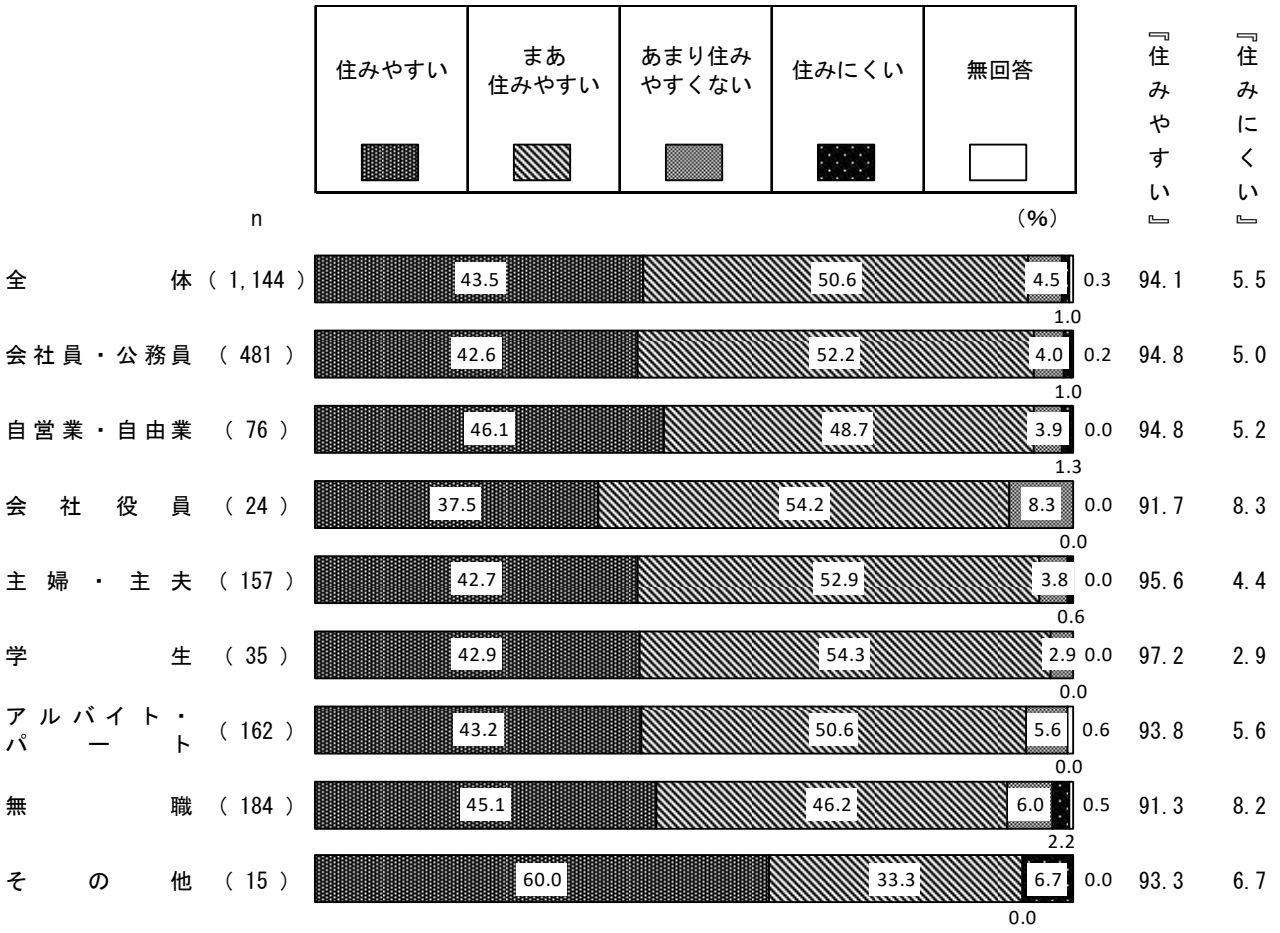
図２－１－４　住みやすさ（地域別）



④ 職業別

職業別でみると、「住みやすい」は自営業・自由業（46.1%）と無職（45.1%）で４割半ばとなっています。また、『住みやすい』はすべての職業で９割台となっています。（図２－１－５）

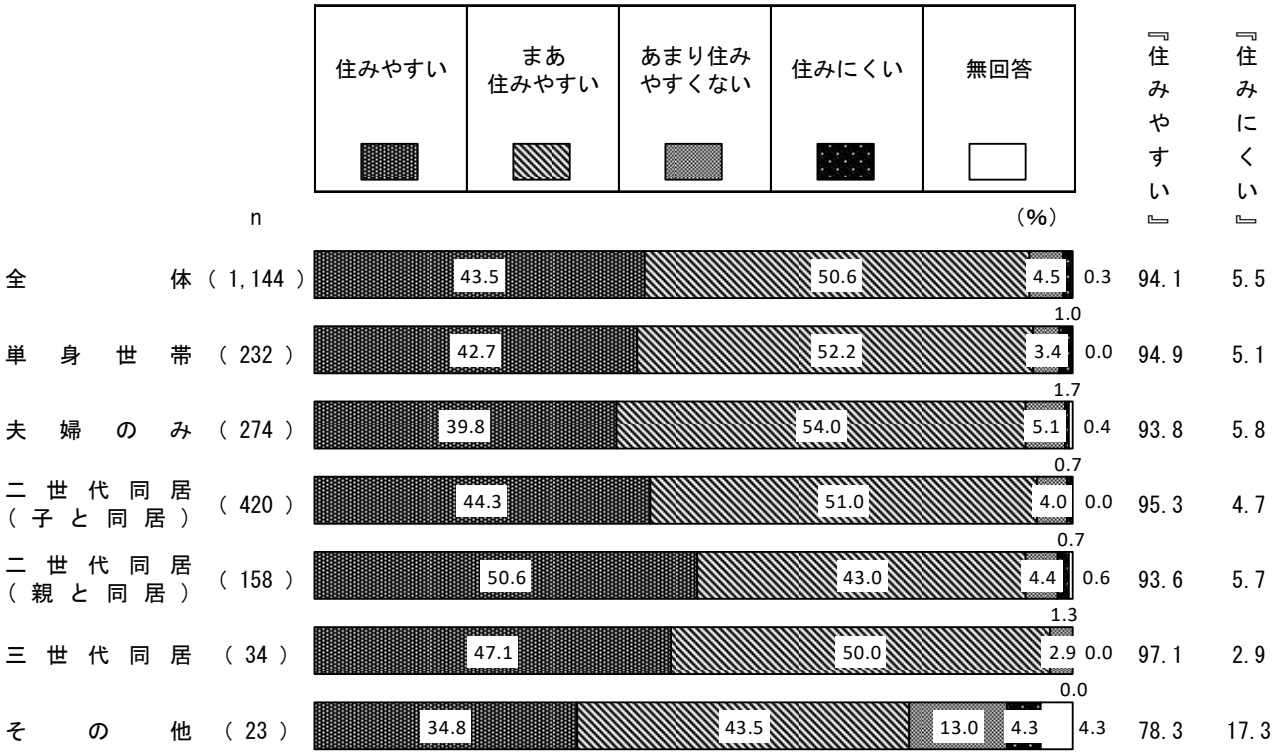
図２－１－５　住みやすさ（職業別）



⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「住みやすい」は二世代同居（親と同居）（50.6%）で約５割となっています。また、『住みやすい』はその他（78.3%）を除く、すべての世帯構成で９割台となっています。（図２－１－６）

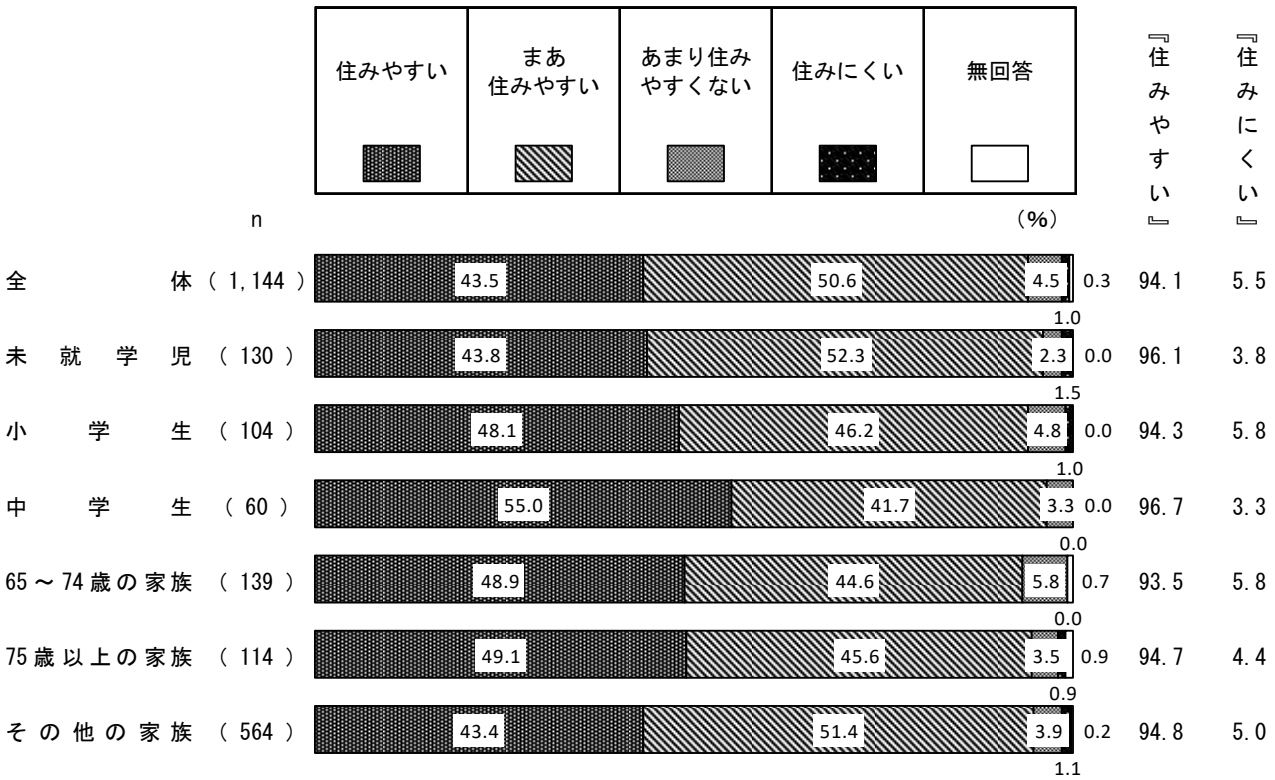
図２－１－６　住みやすさ（世帯構成別）



⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、「住みやすい」は中学生（55.0%）と同居する方で５割半ばとなっています。また、『住みやすい』はすべての同居家族で９割台となっています。（図２－１－７）

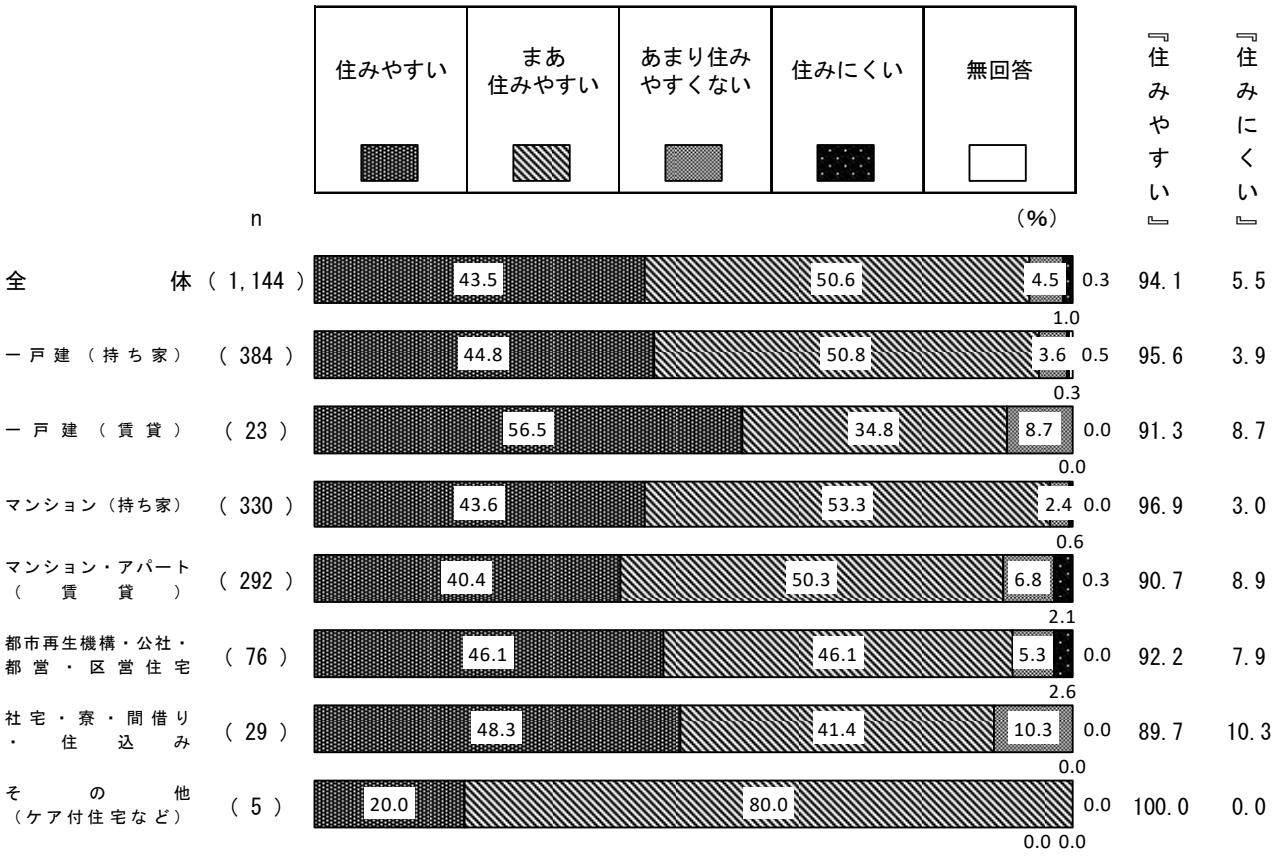
図２－１－７　住みやすさ（同居家族別）



⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、『住みやすい』は社宅・寮・間借り・住込みを除く、すべての住居形態で９割以上となっています。（図２－１－８）

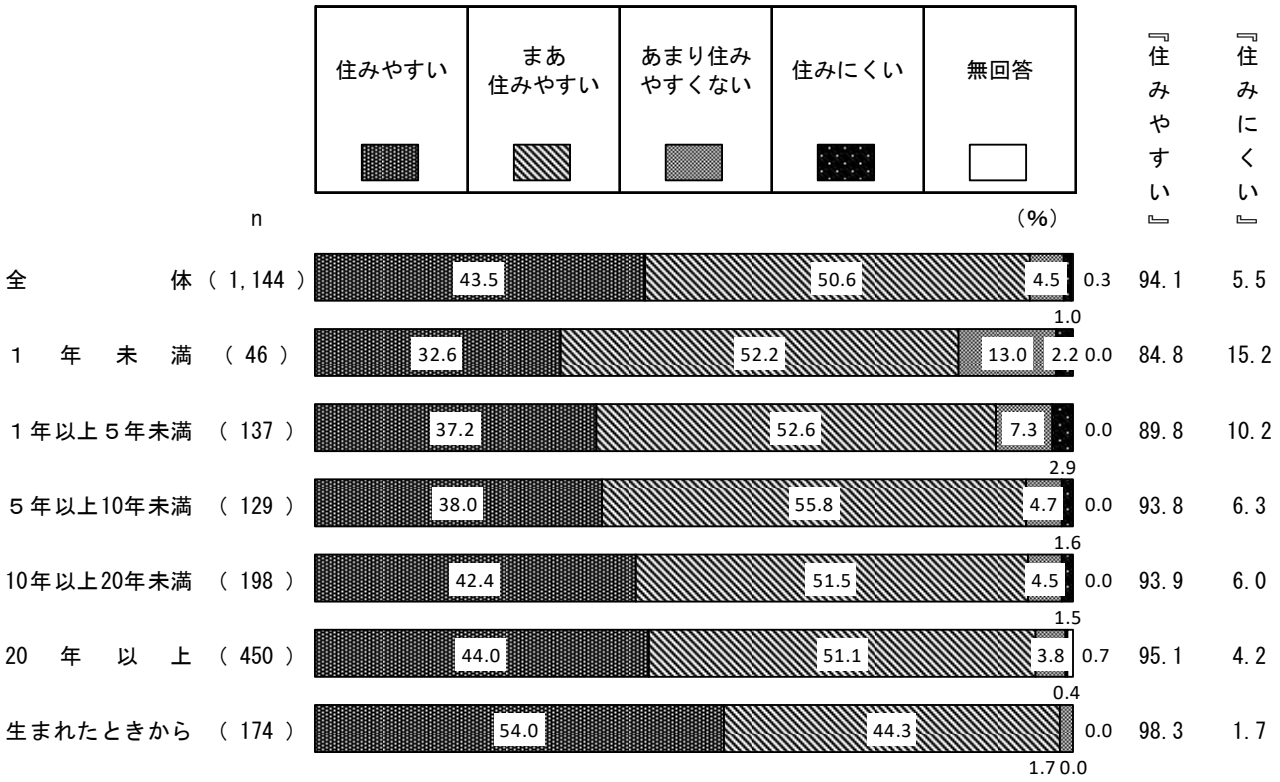
図２－１－８　住みやすさ（住居形態別）



⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、「住みやすい」は生まれたときから（54.0%）で５割半ばとなっています。また、『住みやすい』は居住年数が長いほど、割合が高くなっており、１年未満、１年以上５年未満を除く、すべての居住年数で９割台となっています。一方、『住みにくい』は１年未満（15.2%）、１年以上５年未満（10.2%）で１割台となっています。（図２－１－９）

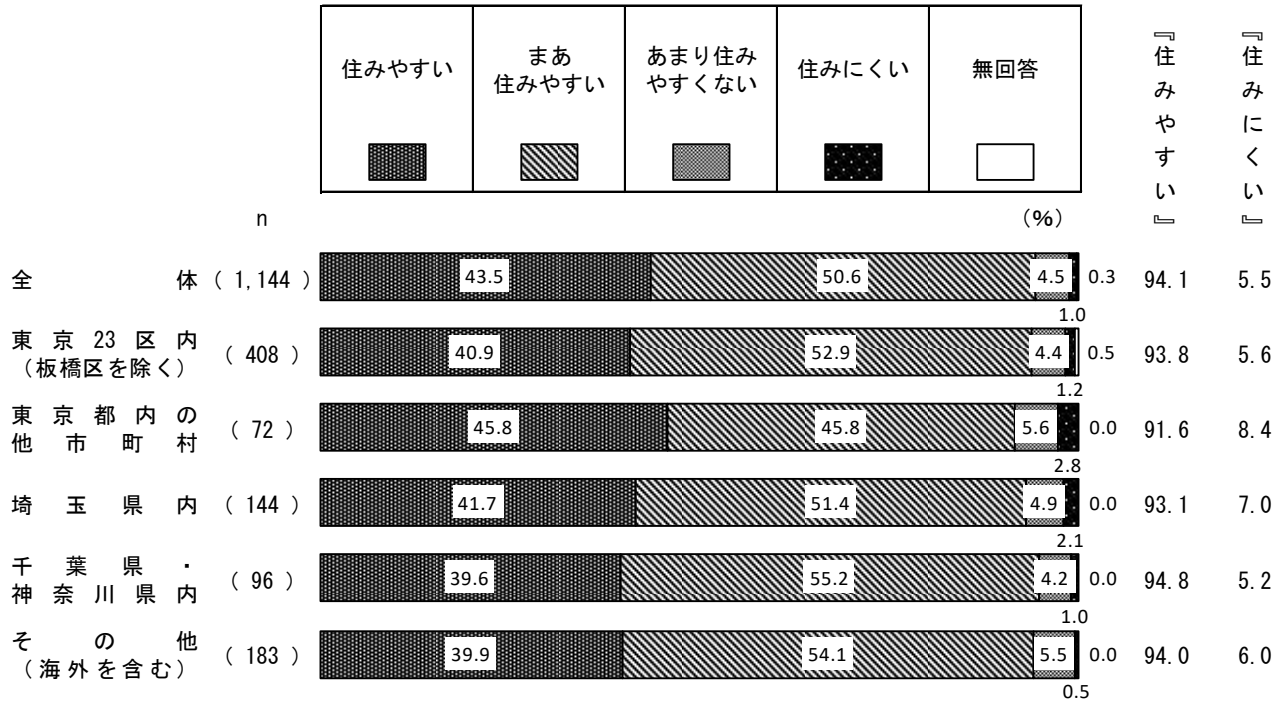
図２－１－９　住みやすさ（居住年数別）



⑨ 直前の居住地域別

直前の居住地域別でみると、『住みやすい』はすべての直前の居住地域で９割台となっています。（図２－１－10）

図２－１－10　住みやすさ（直前の居住地域別）

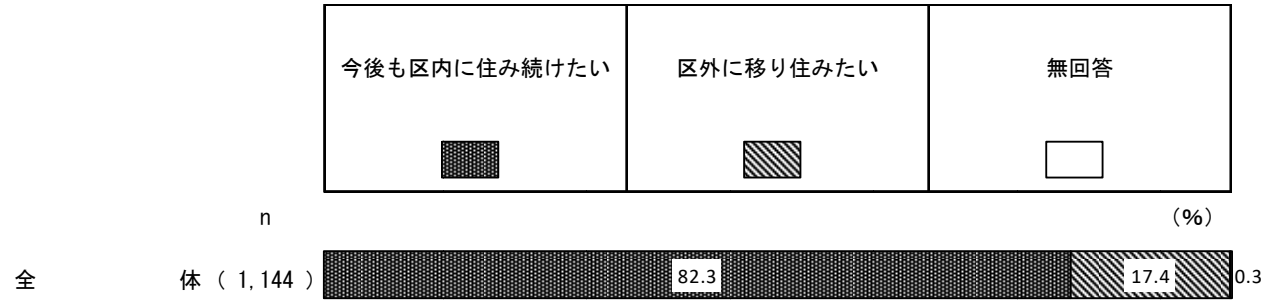


（２）定住意向

◇「今後も区内に住み続けたい」が８割超え

問３　あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図２－２－１

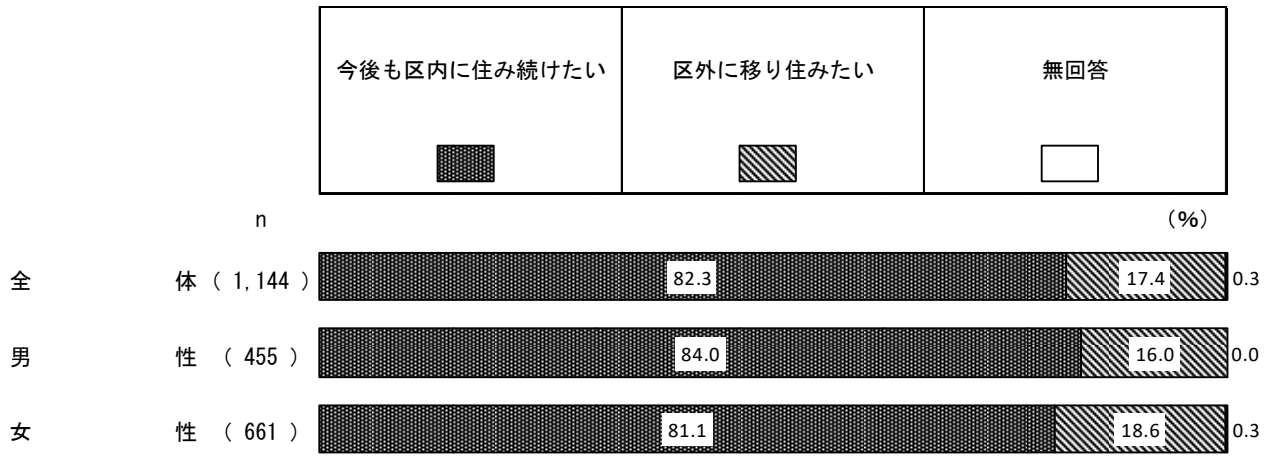


板橋区の定住意向を聞いたところ、「今後も区内に住み続けたい」（82.3%）が８割を超え、「区外に移り住みたい」（17.4%）が２割近くとなっています。（図２－２－１）

① 性別

性別でみると、大きな傾向の違いは見られません。（図２－２－２）

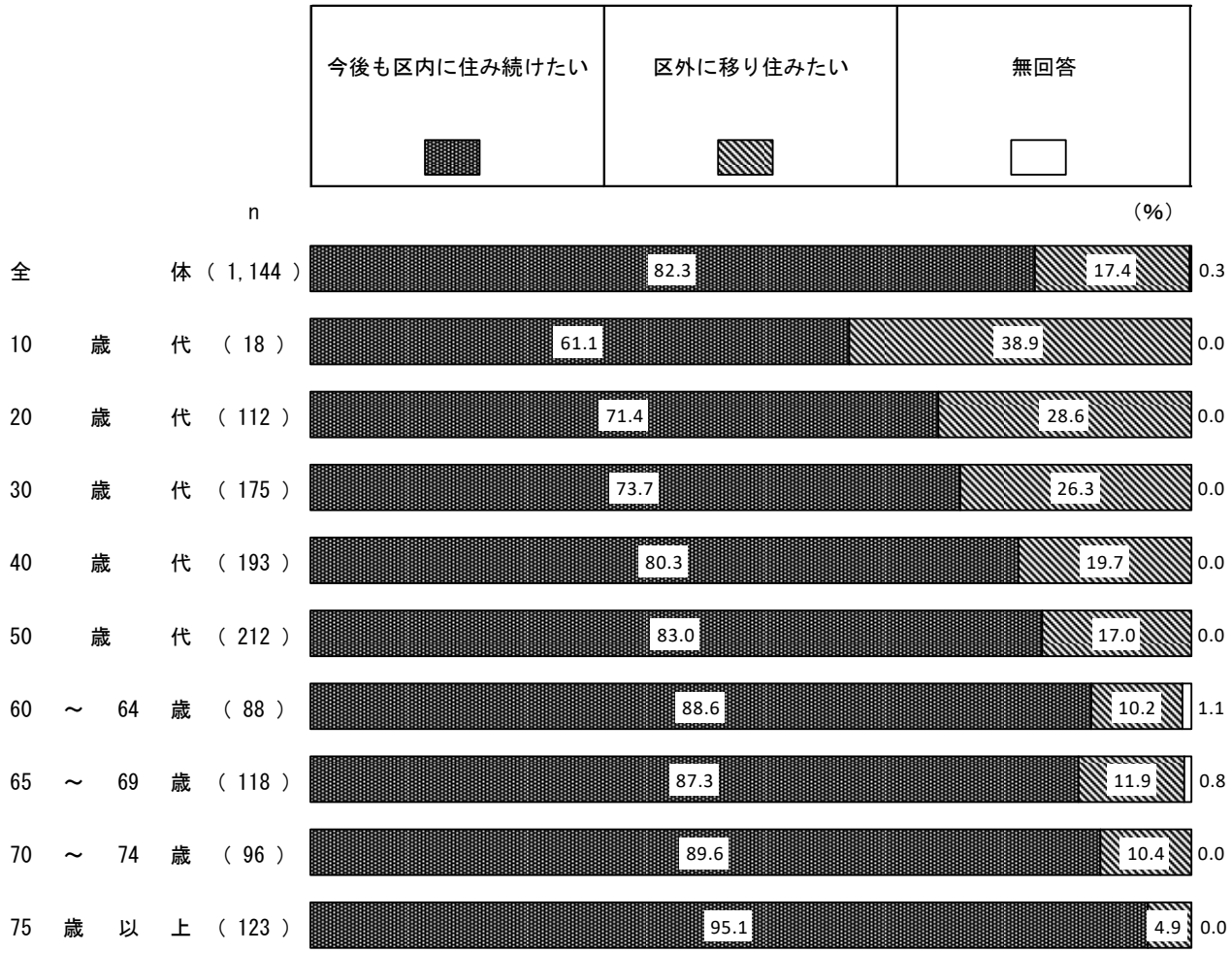
図２－２－２　定住意向（性別）



②　年代別

年代別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は 75 歳以上（95.1%）で９割半ばとなっています。一方、「区外に移り住みたい」は 10 歳代（38.9%）、20 歳代（28.6%）、30 歳代（26.3%）で２割以上となっています。（図２－２－３）

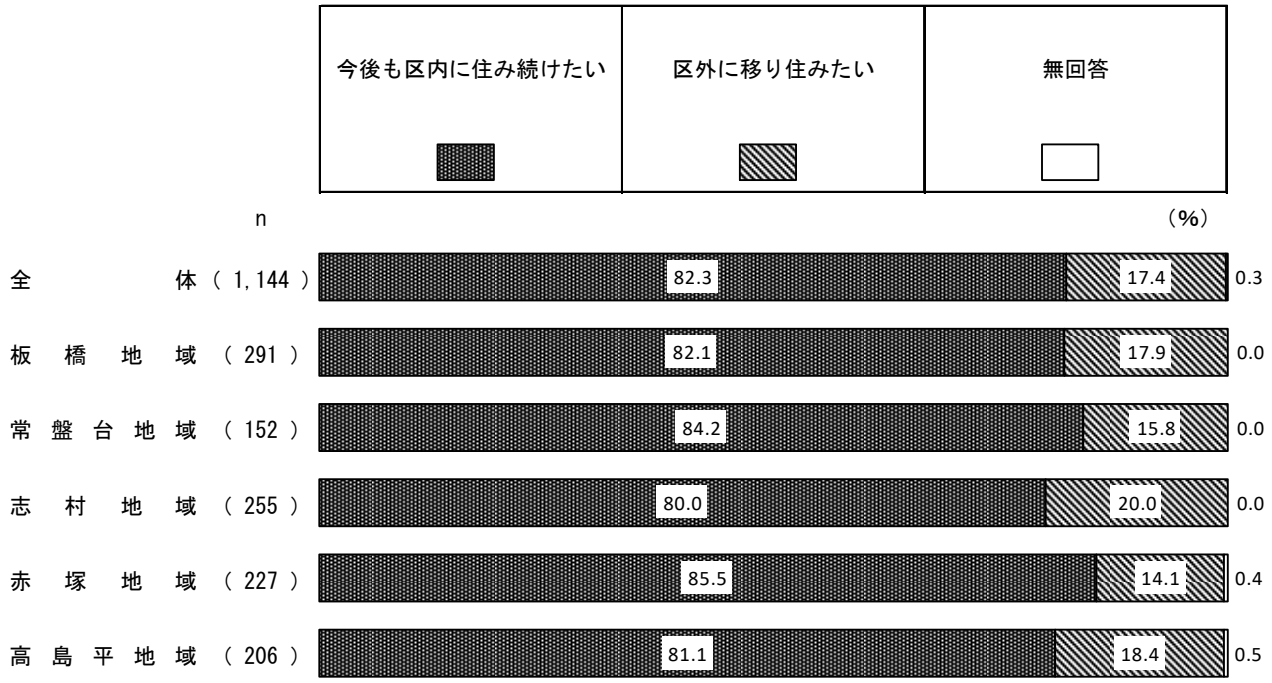
図２－２－３　定住意向（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「今後も区内に住み続けたい」はすべての地域で８割台となっています。一方、「区外に移り住みたい」は志村地域（20.0%）で２割となっています。（図２－２－４）

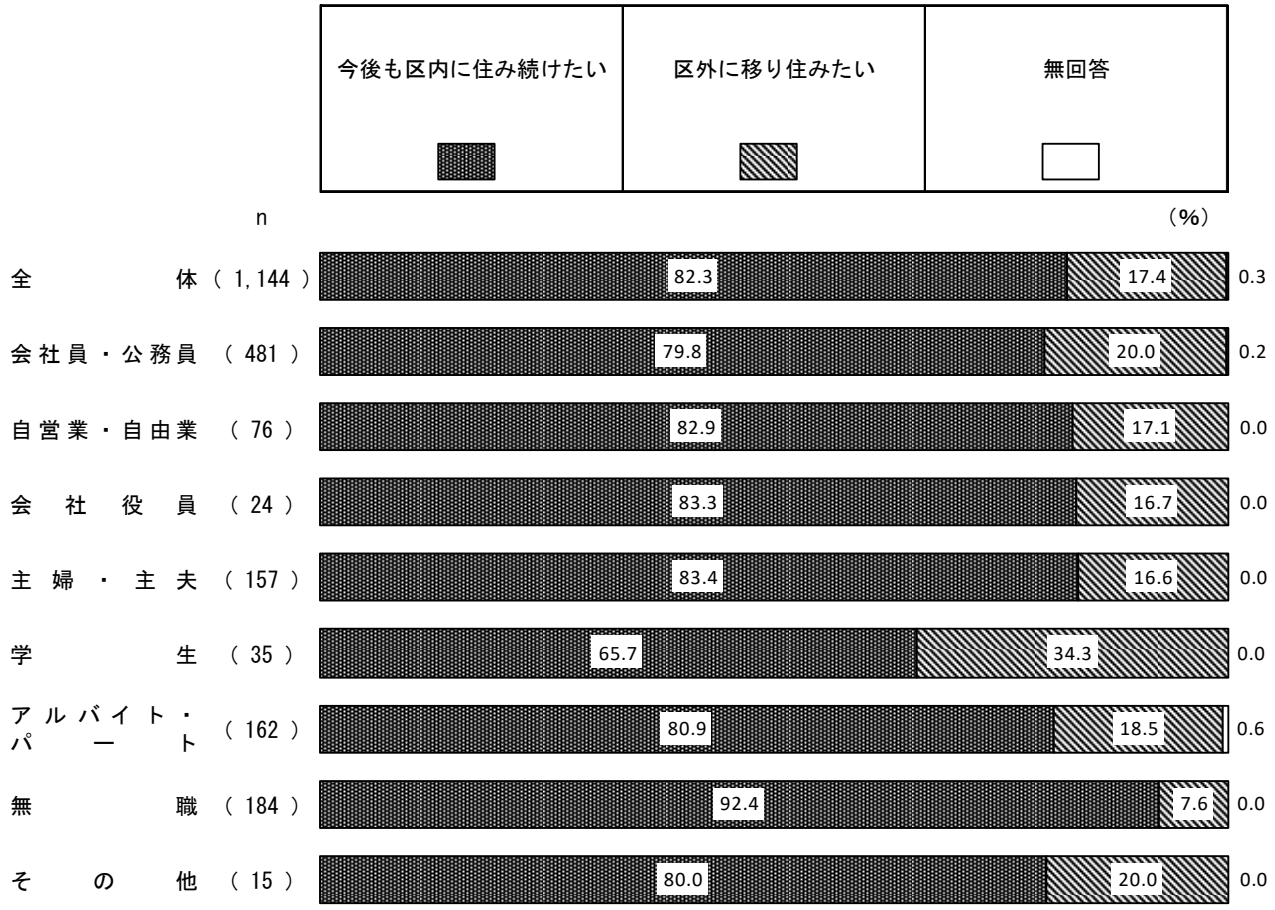
図２－２－４　定住意向（地域別）



④ 職業別

職業別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は無職（92.4%）で９割を超えています。一方、「区外に移り住みたい」は学生(34.3%)で３割半ば、会社員・公務員(20.0%)、その他(20.0%)で２割となっています。(図２－２－５)

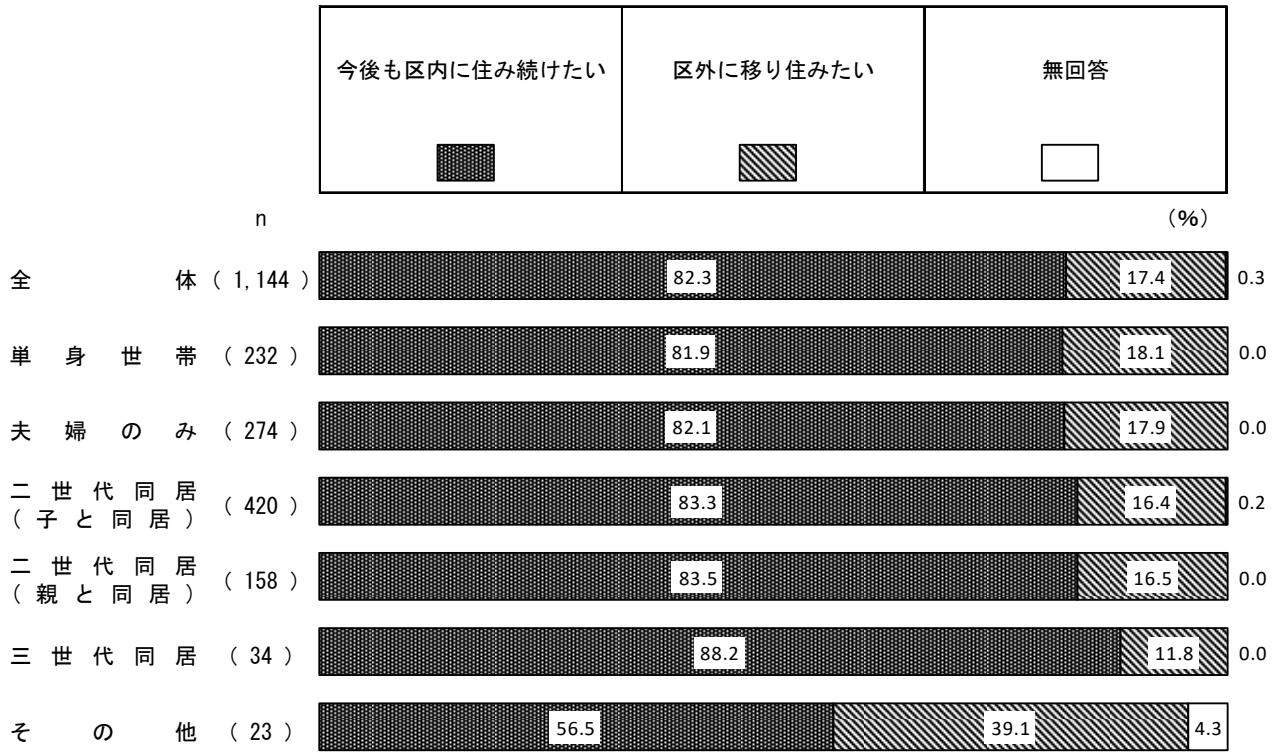
図２－２－５　定住意向（職業別）



⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「今後も区内に住み続けたい」はその他（56.5%）を除く、すべての世帯構成で８割台となっています。（図２－２－６）

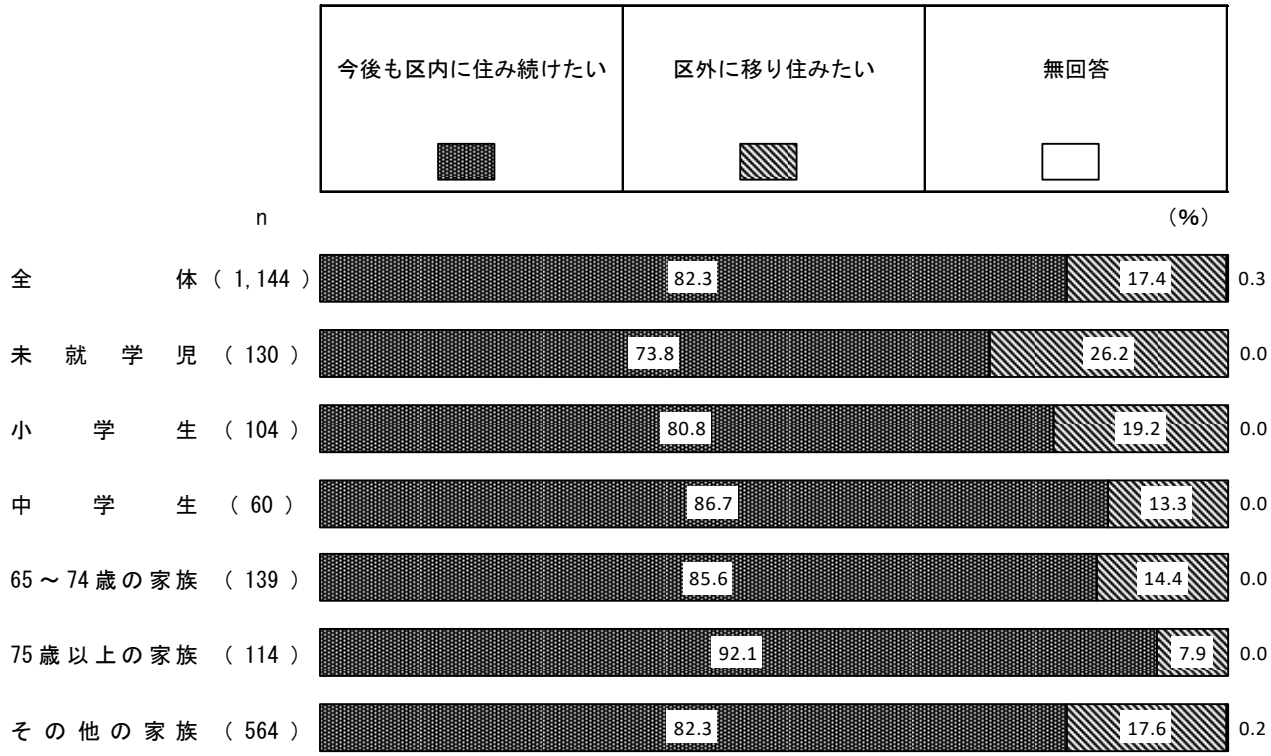
図２－２－６　定住意向（世帯構成別）



⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は 75 歳以上の家族と同居する方(92.1%)で９割を超えています。一方、「区外に移り住みたい」は未就学児と同居する方（26.2%）で２割半ばとなっています。(図２－２－７)

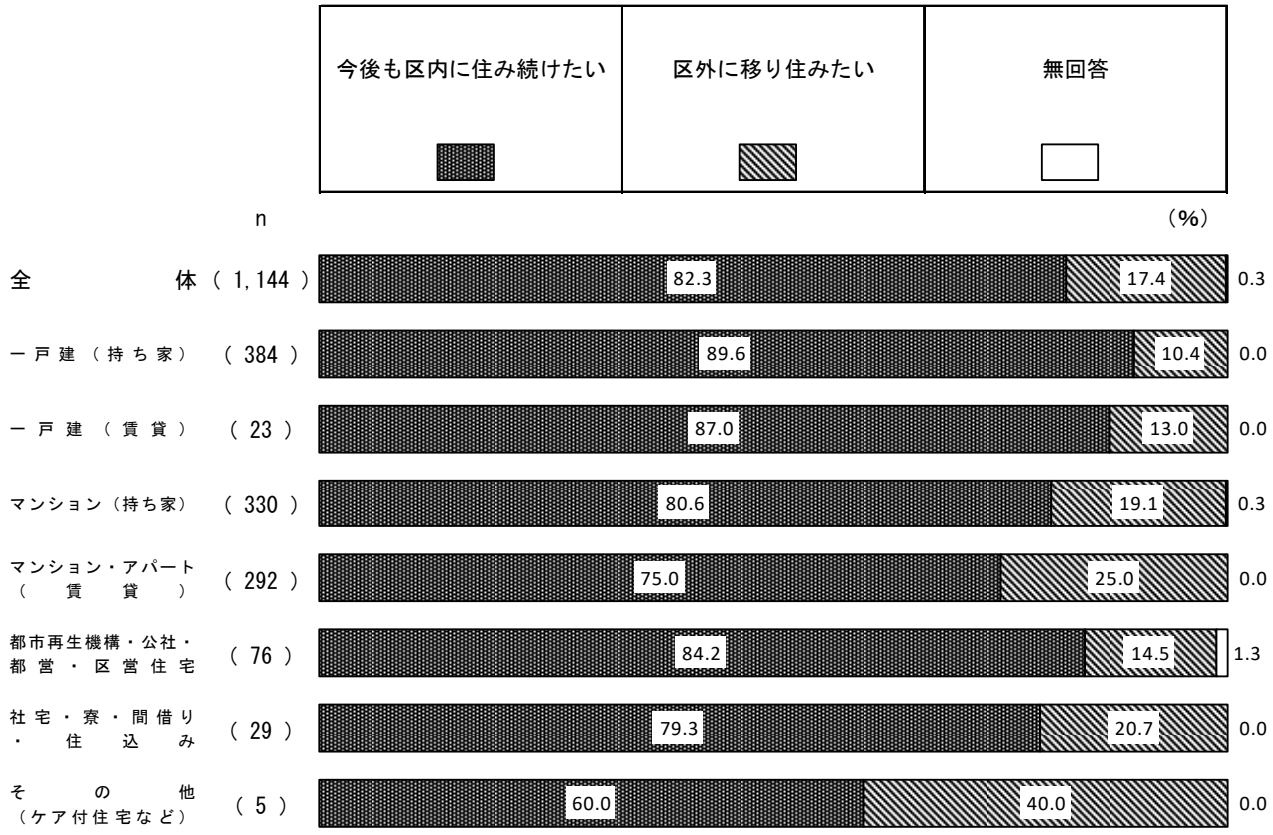
図２－２－７　定住意向（同居家族別）



⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は一戸建（持ち家）（89.6%）、一戸建（賃貸）（87.0%）、マンション（持ち家）（80.6%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（84.2%）で８割台となっています。一方、「区外に移り住みたい」はマンション・アパート（賃貸）（25.0%）、社宅・寮・間借り・住込み（20.7%）で２割台となっています。（図２－２－８）

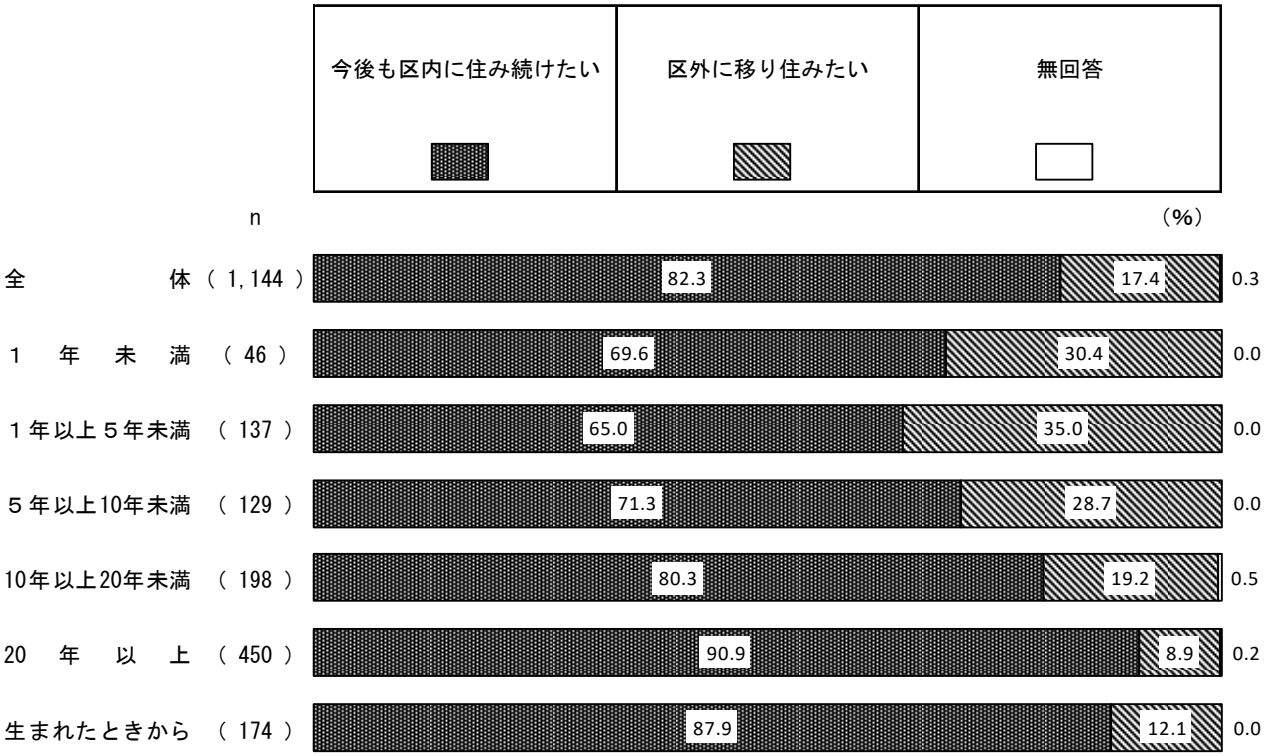
図２－２－８　定住意向（住居形態別）



⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は 20 年以上（90.9%）で約９割となっています。一方、「区外に移り住みたい」は、１年未満（30.4%）、１年以上５年未満（35.0%）で３割台、５年以上 10 年未満（28.7%）で３割近くとなっています。（図２－２－９）

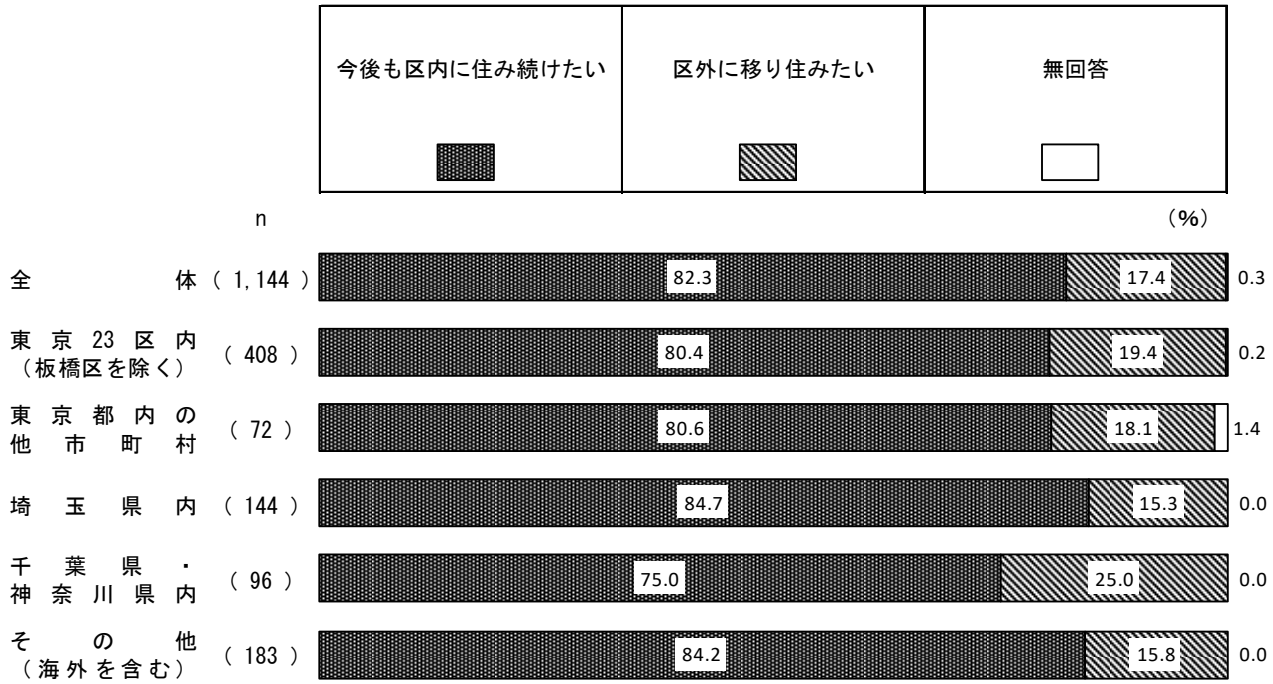
図２－２－９　定住意向（居住年数別）



⑨ 直前の居住地域別

直前の居住地域別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は千葉県・神奈川県内（75.0%）を除く、すべての地域で８割台となっています。一方、「区外に移り住みたい」は千葉県・神奈川県内（25.0%）で２割半ばとなっています。（図２－２－10）

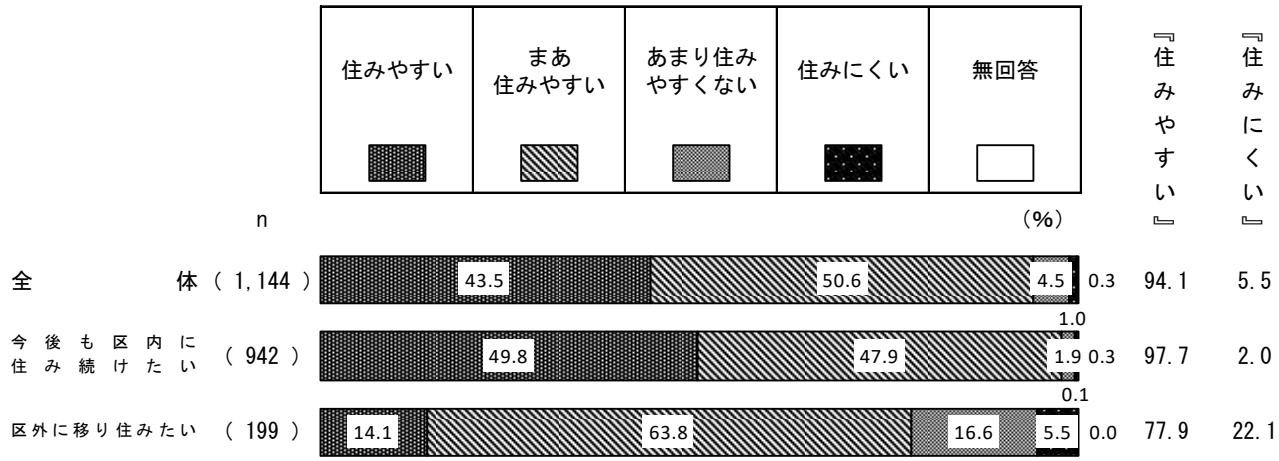
図２－２－10　定住意向（直前の居住地域別）



（２－１）住みやすさ（問２）と定住意向（問３）

住みやすさと定住意向の関係をみると、「住みやすい」と「まあ住みやすい」を合わせた『住みやすい』は今後も区内に住み続けたいと答えた方（97.7%）で 10 割近く、区外に移り住みたいと答えた方（77.9%）でも８割近くとなっています。(図２－２－11)

図２－２－11　住みやすさと定住意向



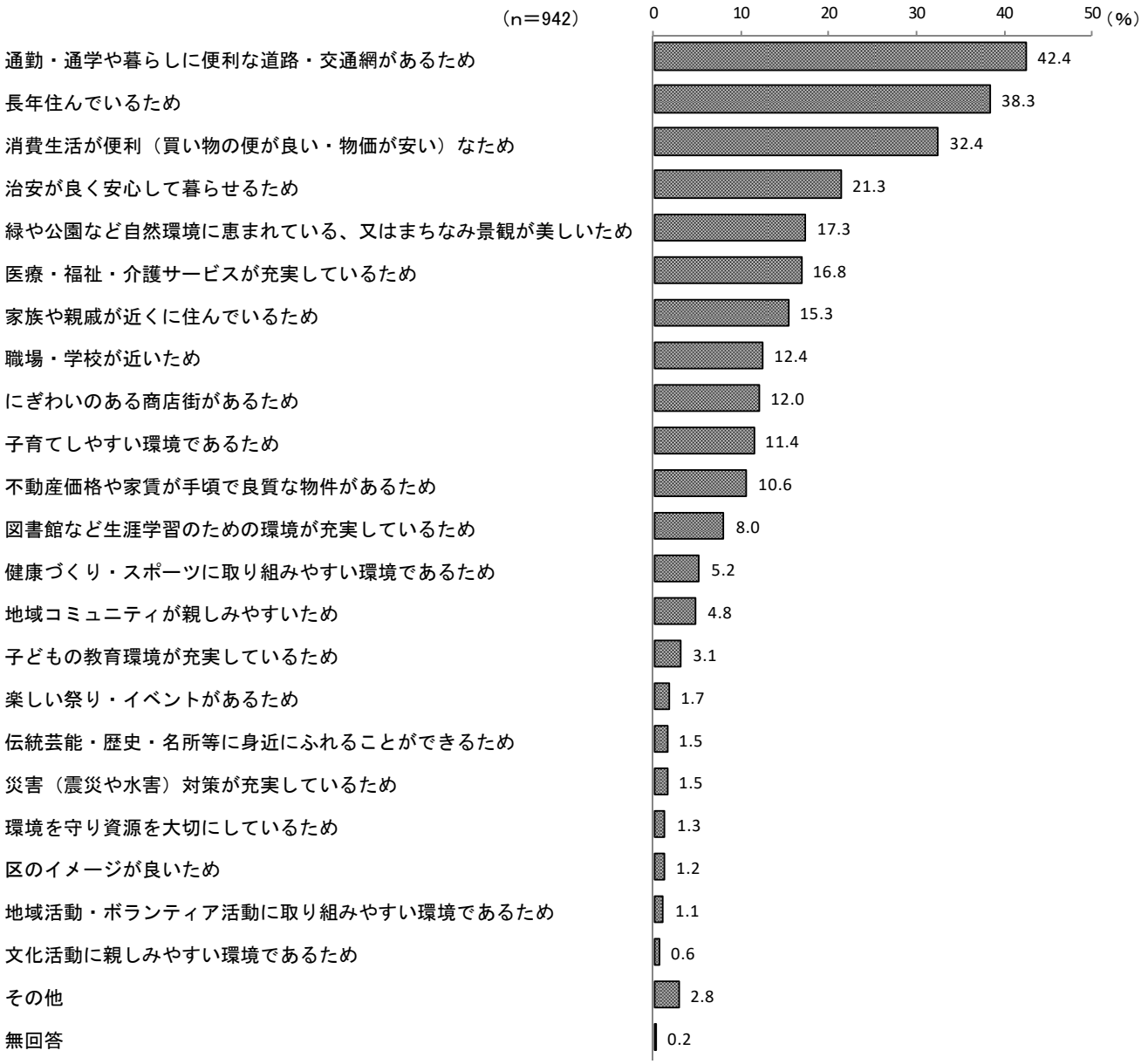
（２－２）区内に住み続けたい理由

◇「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」が４割超え

（問３で「１　今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ）

問３－１　そう思った主な理由は何ですか。該当するものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図２－２－12



問３で「１　今後も区内に住み続けたい」と答えた人（942 人）にその理由を聞いたところ、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」（42.4%）が４割を超え、次いで「長年住んでいるため」(38.3%)、「消費生活が便利(買い物の便が良い･物価が安い)なため」(32.4%)、「治安が良く安心して暮らせるため」（21.3%）などとなっています。(図２－２－12)

①　年代別

年代別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は 10 歳代（45.5%）、20 歳代（42.5%）、30 歳代（44.2%）、40 歳代（44.5%）、50 歳代（50.6%）、60～64 歳（57.7%）で第１位となっています。「長年住んでいるため」は 70～74 歳（50.0%）、75 歳以上（59.8%）で、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は 10 歳代（45.5%）、65～69 歳（48.5%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は 75 歳以上（30.8%）で第２位、70～74 歳（27.9%）で第４位となっています。また、「子育てしやすい環境であるため」は 30 歳代（24.8%）で第３位、40 歳代（25.8%）で第４位、「不動産価値や家賃が手頃で良質な物件があるため」が 20 歳代（20.0%）で第４位、30 歳代（21.7%）で第５位となっています。（表２－２－１）

表２－２－１　区内に住み続けたい理由（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		942	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	長年住んでいるため 38.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 21.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.3
年代別	10　歳　代	11	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 45.5		治安が良く安心して暮らせるため／職場・学校が近いため／長年住んでいるため 27.3		
	20　歳　代	80	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.5	長年住んでいるため 36.3	治安が良く安心して暮らせるため 28.8	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 20.0	
	30　歳　代	129	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.9	子育てしやすい環境であるため 24.8	治安が良く安心して暮らせるため 22.5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 21.7
	40　歳　代	155	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.5	長年住んでいるため 28.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.1	子育てしやすい環境であるため 25.8	家族や親戚が近くに住んでいるため 21.9
	50　歳　代	176	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 50.6	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.0	長年住んでいるため 30.7	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／職場・学校が近いため 18.8
	60 ～ 64 歳	78	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 57.7	長年住んでいるため 50.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 41.0	治安が良く安心して暮らせるため 21.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 20.5
	65 ～ 69 歳	103	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 48.5	長年住んでいるため 47.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.3	治安が良く安心して暮らせるため 20.4
	70 ～ 74 歳	86	長年住んでいるため 50.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.9	
	75 歳 以 上	117	長年住んでいるため 59.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.8		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.1	

②　地域別

地域別にみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は板橋地域（48.1%）、志村地域（41.7%）、赤塚地域（46.4%）で第１位となっています。「長年住んでいるため」は常盤台地域（46.9%）、「高島平地域」（37.1%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は板橋地域（38.1%）で第２位、「にぎわいがある商店街があるため」は板橋地域（33.5%）で第３位となっています。また、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は板橋地域（23.8%）、志村地域（17.2%）で第５位になっています。（表２－２－２）

表２－２－２　区内に住み続けたい理由（地域別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		942	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	長年住んでいるため 38.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 21.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.3
地域別	板橋地域	239	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 48.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.1	にぎわいのある商店街があるため 33.5	長年住んでいるため 30.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.8
	常盤台地域	128	長年住んでいるため 46.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.6	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.3	治安が良く安心して暮らせるため 22.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.1
	志村地域	204	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.7	長年住んでいるため 40.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 35.8	治安が良く安心して暮らせるため 25.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 17.2
	赤塚地域	194	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 46.4	長年住んでいるため 39.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 29.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.2	治安が良く安心して暮らせるため／家族や親戚が近くに住んでいるため 19.6
	高島平地域	167	長年住んでいるため 37.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 26.9		治安が良く安心して暮らせるため 20.4

③ 職業別

職業別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は会社員・公務員（54.2%）、学生（47.8%）、アルバイト・パート（39.7%）で第１位となっています。「長年住んでいるため」は自営業・自由業（46.0%）、会社役員（45.0%）、主婦・主夫（40.5%）、アルバイト・パート（39.7%）、無職（54.1%）、その他（41.7%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」が無職（30.6%）で第３位、自営業・自由業（20.6%）で第４位となっています。（表２－２－３）

表２－２－３　区内に住み続けたい理由（職業別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		942	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	長年住んでいるため 38.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 21.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.3
職業別	会社員・公務員	384	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 54.2	長年住んでいるため 28.6	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 26.3	治安が良く安心して暮らせるため 21.4	職場・学校が近いため 17.7
	自営業・自由業	63	長年住んでいるため 46.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 31.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 20.6	治安が良く安心して暮らせるため／職場・学校が近いため／家族や親戚が近くに住んでいるため 15.9
	会社役員	20	長年住んでいるため 45.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 35.0		職場・学校が近いため 30.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 25.0
	主婦・主夫	131	長年住んでいるため 40.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.1	家族や親戚が近くに住んでいるため 22.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため　他※ 19.8
	学生	23	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 47.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 39.1	長年住んでいるため 34.8	治安が良く安心して暮らせるため 30.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため　他※ 21.7
	アルバイト・パート	131	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／長年住んでいるため 39.7		消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 35.9	治安が良く安心して暮らせるため 27.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.1
	無職	170	長年住んでいるため 54.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 37.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 30.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.9	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.1
	その他	12	長年住んでいるため 41.7	職場・学校が近いため 33.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 25.0		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため　他※ 16.7

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

④ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は単身世帯（41.6%）、夫婦のみ（43.1%）、二世代同居（子と同居）（44.6%）で第１位となっています。「長年住んでいるため」は二世代同居(親と同居)(52.3%)、三世代同居(50.0%)、その他(53.8%)で第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」が二世帯同居（子と同居）（23.1%）で第４位となっています。（表２－２－４）

表２－２－４　区内に住み続けたい理由（世帯構成別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		942	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	長年住んでいるため 38.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 21.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.3
世帯構成別	単身世帯	190	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.6	長年住んでいるため 36.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 35.3	治安が良く安心して暮らせるため 29.5	にぎわいのある商店街があるため 17.9
	夫婦のみ	225	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 41.3	長年住んでいるため 37.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 18.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 17.3
	二世代同居（子と同居）	350	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.6	長年住んでいるため 32.6	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 26.9	子育てしやすい環境であるため 23.1	治安が良く安心して暮らせるため 20.0
	二世代同居（親と同居）	132	長年住んでいるため 52.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 26.5	治安が良く安心して暮らせるため 22.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 21.2
	三世代同居	30	長年住んでいるため 50.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.3	治安が良く安心して暮らせるため 23.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 20.0
	その他	13	長年住んでいるため 53.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 46.2	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／家族や親戚が近くに住んでいるため 23.1		

⑤ 同居家族別

同居家族別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はその他の家族（45.9%）と同居している方で第１位となっています。「長年住んでいるため」は 65～74 歳の家族（49.6%）、75 歳以上の家族（59.0%）と同居している方で第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は未就学児（45.8%）、小学生（45.2%）、中学生（46.2%）と同居している方で第１位となっています。また、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」が 65～74 歳の家族（23.5%）、75 歳以上の家族（25.7%）と同居している方で第４位となっています。（表２－２－５）

表２－２－５　区内に住み続けたい理由（同居家族）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		942	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	長年住んでいるため 38.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 21.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.3
同居家族別	未就学児	96	子育てしやすい環境であるため 45.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 19.8	治安が良く安心して暮らせるため 18.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため　他※ 17.7
	小学生	84	子育てしやすい環境であるため 45.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.9	家族や親戚が近くに住んでいるため 25.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 21.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため　他※ 17.9
	中学生	52	子育てしやすい環境であるため 46.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.3	家族や親戚が近くに住んでいるため／長年住んでいるため 26.9		消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 23.1
	65～74歳の家族	119	長年住んでいるため 49.6	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 40.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.0
	75歳以上の家族	105	長年住んでいるため 59.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 37.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.7	治安が良く安心して暮らせるため 21.9
	その他の家族	464	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 45.9	長年住んでいるため 35.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 29.7	治安が良く安心して暮らせるため 20.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.6

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

⑥ 住居形態別

「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はマンション（持ち家）（45.1%）、マンション・アパート（賃貸）（44.3%）、社宅・寮・間借り・住込み（43.5%）で第１位となっています。「長年住んでいるため」は一戸建（持ち家）（52.3%）、一戸建（賃貸）（45.0%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（48.4%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「医療･福祉･介護サービスが充実しているため」が一戸建（賃貸）（25.0%）で第３位、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（25.0%）で第４位、一戸建（持ち家）（18.9%）で第５位となっています。（表２－２－６）

表２－２－６　区内に住み続けたい理由（住居形態別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		942	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	長年住んでいるため 38.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 21.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.3
住居形態別	一戸建（持ち家）	344	長年住んでいるため 52.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.2	治安が良く安心して暮らせるため 20.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 18.9
	一戸建（賃貸）	20	長年住んでいるため 45.0	子育てしやすい環境であるため 30.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 25.0		
	マンション（持ち家）	266	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 45.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 40.2	長年住んでいるため 30.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.2	治安が良く安心して暮らせるため 17.7
	マンション・アパート（賃貸）	219	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 28.8	治安が良く安心して暮らせるため 26.5	長年住んでいるため 25.6	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 20.1
	都市再生機構・公社・都営・区営住宅	64	長年住んでいるため 48.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.9
	社宅・寮・間借り・住込み	23	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.5	治安が良く安心して暮らせるため 26.1	子育てしやすい環境であるため／にぎわいのある商店街があるため／職場・学校が近いため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 21.7		
	その他（ケア付住宅など）	3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／長年住んでいるため 66.7		不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		

⑦ 居住年数別

居住年数別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は 20 年未満のすべての居住年数で第１位となっています。「長年住んでいるため」は 20 年以上（48.9%）、生まれたときから（66.7%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」が５年以上 10 年未満（21.7%）で第３位、１年以上５年未満（28.1%）で第４位となっています。また、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」が 20 年以上（21.8%）で第４位、10 年以上 20 年未満（18.9%）で第５位となっています。「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」が１年未満(25.0%)、１年以上５年未満（33.7%）で第２位となっています。（表２－２－７）

表２－２－７　区内に住み続けたい理由（居住年数別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		942	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	長年住んでいるため 38.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.4	治安が良く安心して暮らせるため 21.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.3
居住年数別	１年未満	32	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.6	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／にぎわいのある商店街があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 25.0			治安が良く安心して暮らせるため 21.9
	１年以上５年未満	89	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.2	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 33.7	治安が良く安心して暮らせるため 29.2	子育てしやすい環境であるため 28.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 24.7
	５年以上10年未満	92	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 56.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 28.3	子育てしやすい環境であるため 21.7	治安が良く安心して暮らせるため 19.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 18.5
	10年以上20年未満	159	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 48.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 39.0	長年住んでいるため 22.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 18.9
	20年以上	409	長年住んでいるため 48.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 34.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 21.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 20.3
	生まれたときから	153	長年住んでいるため 66.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 28.1	家族や親戚が近くに住んでいるため 26.1	治安が良く安心して暮らせるため 22.2

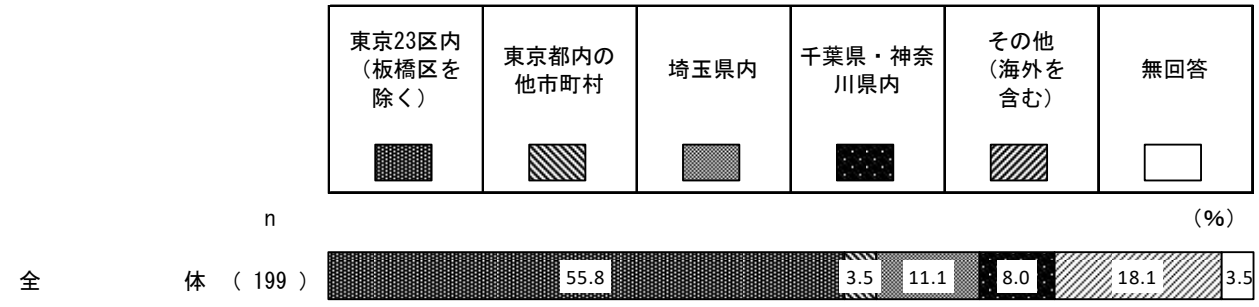
（２－３）区外に移り住むとしたら住みたい地域

◇「東京都 23 区内（板橋区を除く）」が５割半ば

（問３で「２　区外に移り住みたい」と回答した方のみ）

問３－２　板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図２－２－13

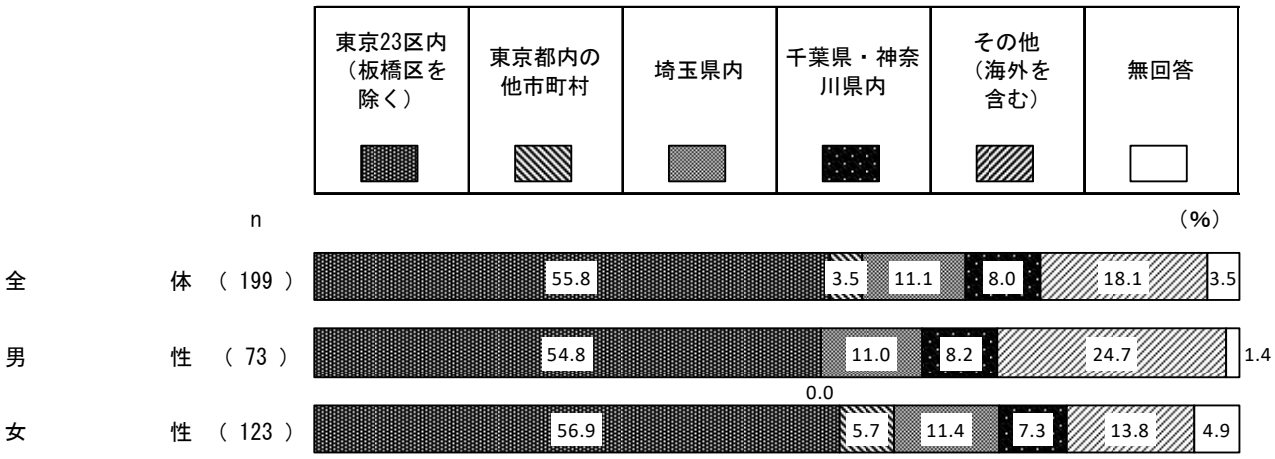


問３で「区外に移り住みたい」と答えた人（199 人）に、区外に移り住むとしたら住みたい地域を聞いたところ、「東京都 23 区内（板橋区を除く）」（55.8%）が５割半ばで最も高く、次いで「埼玉県内」（11.1%）が１割を超えています。「千葉県・神奈川県内」（8.0%）は１割未満、「東京都内の他の市町村」（3.5%）はわずかとなっています。（図２－２－13）

①　性別

性別でみると、「その他（海外を含む）」は男性（24.7%）が女性（13.8%）より 10.9 ポイント高くなっています。（図２－２－14）

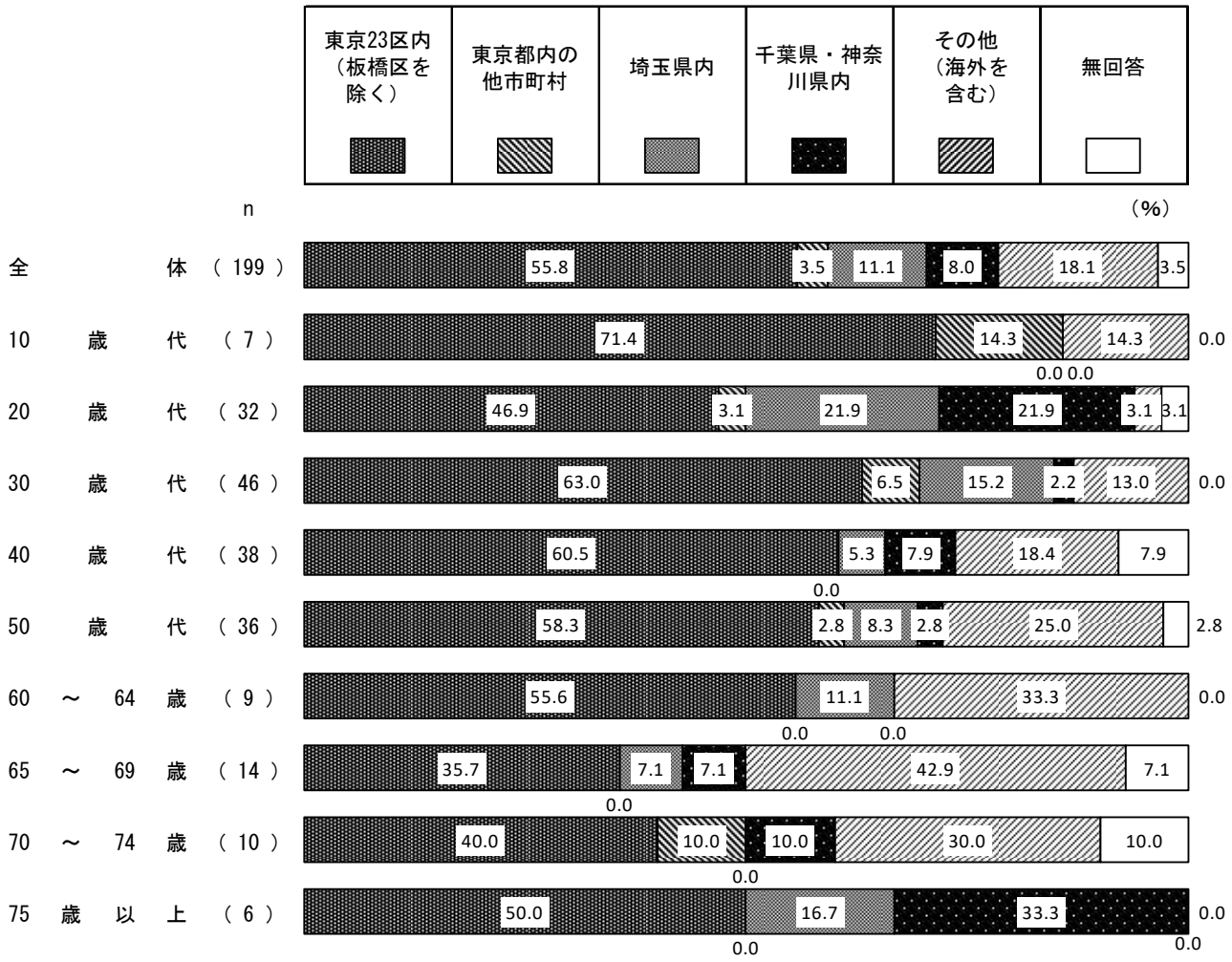
図２－２－14　区外に移り住むとしたら住みたい地域（性別）



② 年代別

年代別でみると、「東京都 23 区内（板橋区を除く）」は 65～69 歳を除く、すべての年代で最も高くなっています。「千葉県・神奈川県内」は 20 歳代（21.9％）で２割を超えています。（図２－２－15）

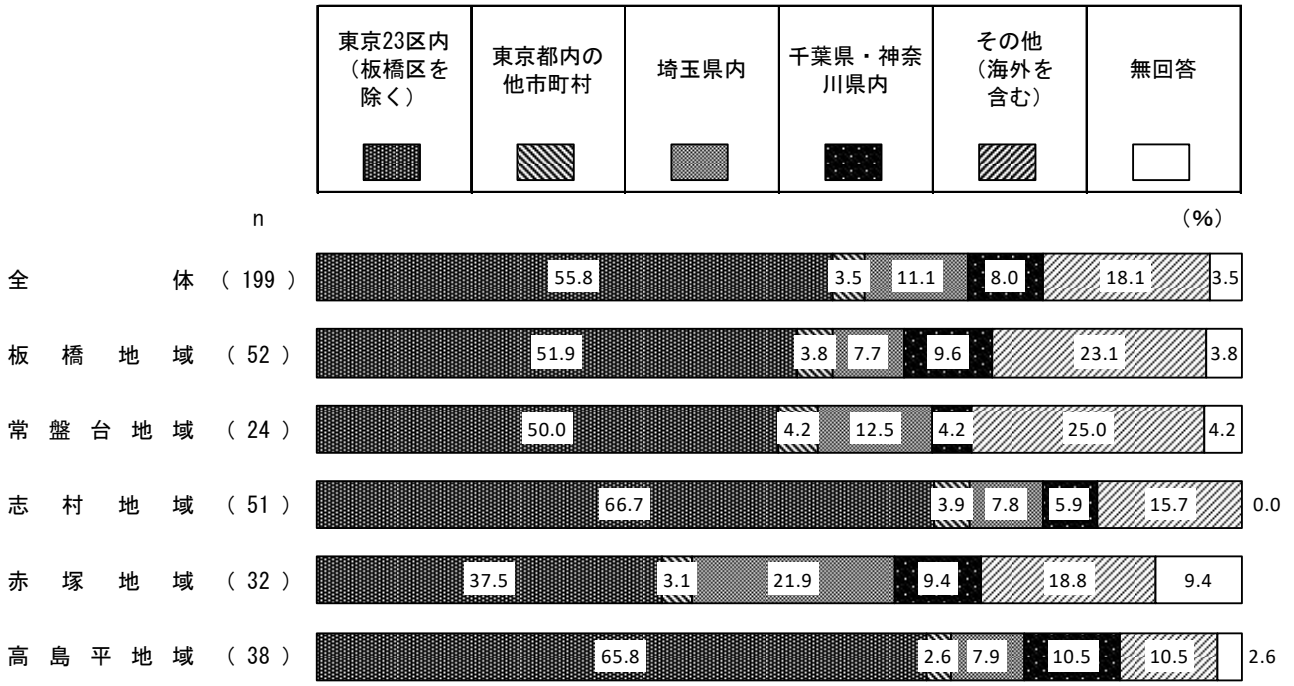
図２－２－15　区外に移り住むとしたら住みたい地域（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「東京都 23 区内（板橋区を除く）」は赤塚地域を除く、すべての地域で５割以上となっています。「埼玉県内」は赤塚地域（21.9%）で、「その他（海外を含む）」は板橋地域（23.1%）、常盤台地域（25.0%）で２割台となっています。（図２－２－16）

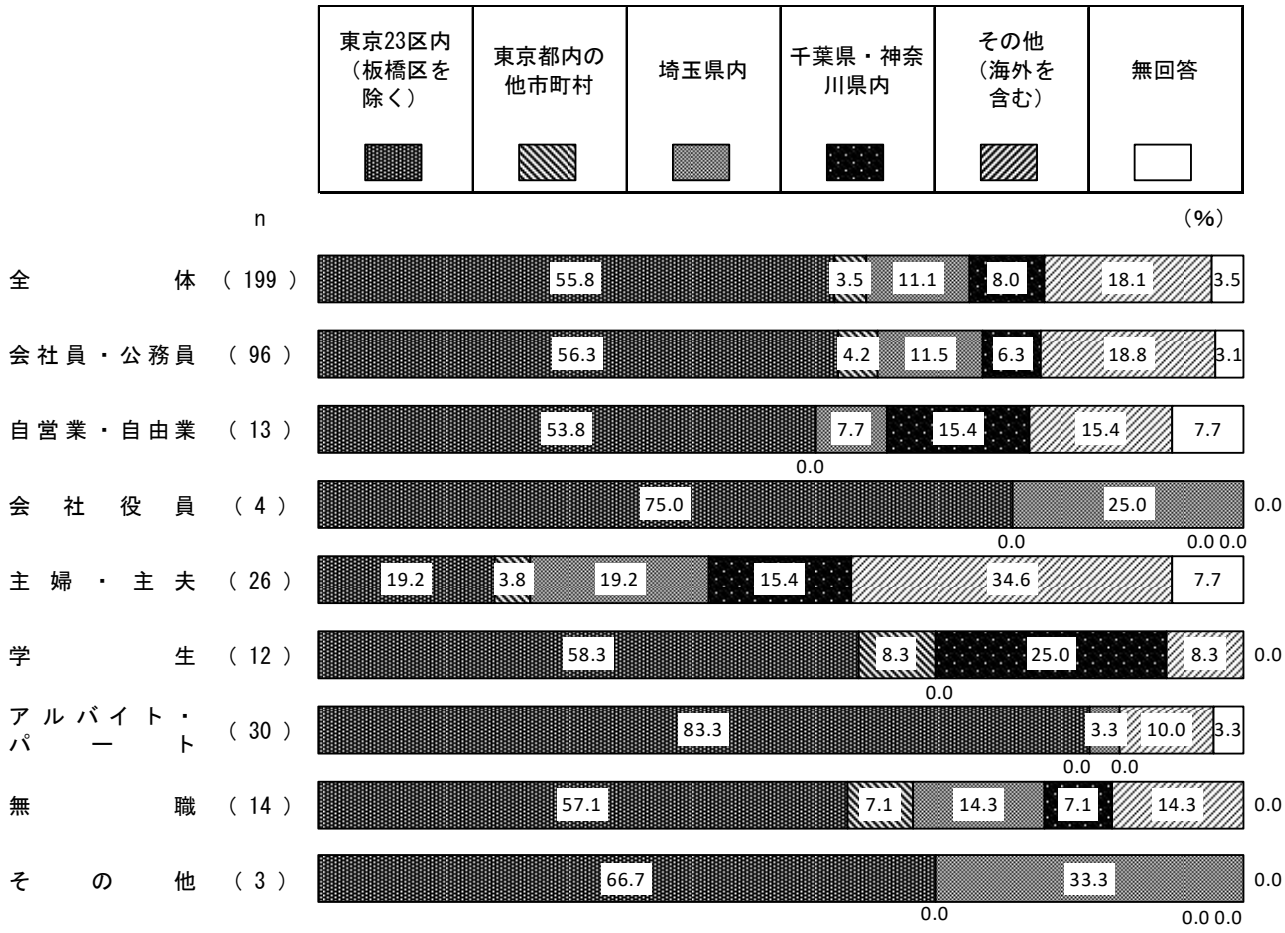
図２－２－16　区外に移り住むとしたら住みたい地域（地域別）



④ 職業別

職業別でみると、「東京都 23 区内（板橋区を除く）」は主婦・主夫を除く、すべての職業で５割以上となっています。（図２－２－17）

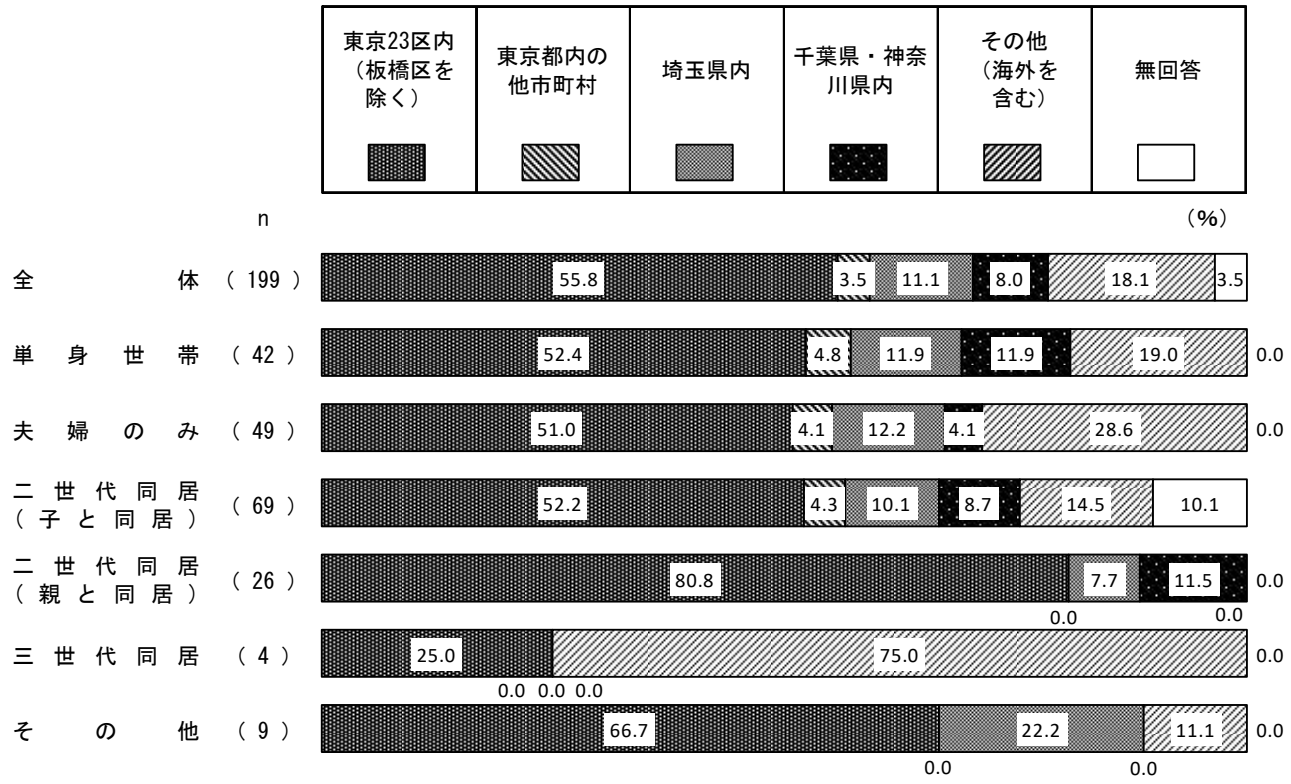
図２－２－17　区外に移り住むとしたら住みたい地域（職業別）



⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「東京都 23 区内（板橋区を除く）」は三世代同居を除く、すべての世帯構成で５割以上となっています。「千葉県・神奈川県内」は単身世帯（11.9%）、二世代同居（親と同居）（11.5%）で１割超え、「その他（海外を含む）」は夫婦のみ（28.6%）で３割近くとなっています。（図２－２－18）

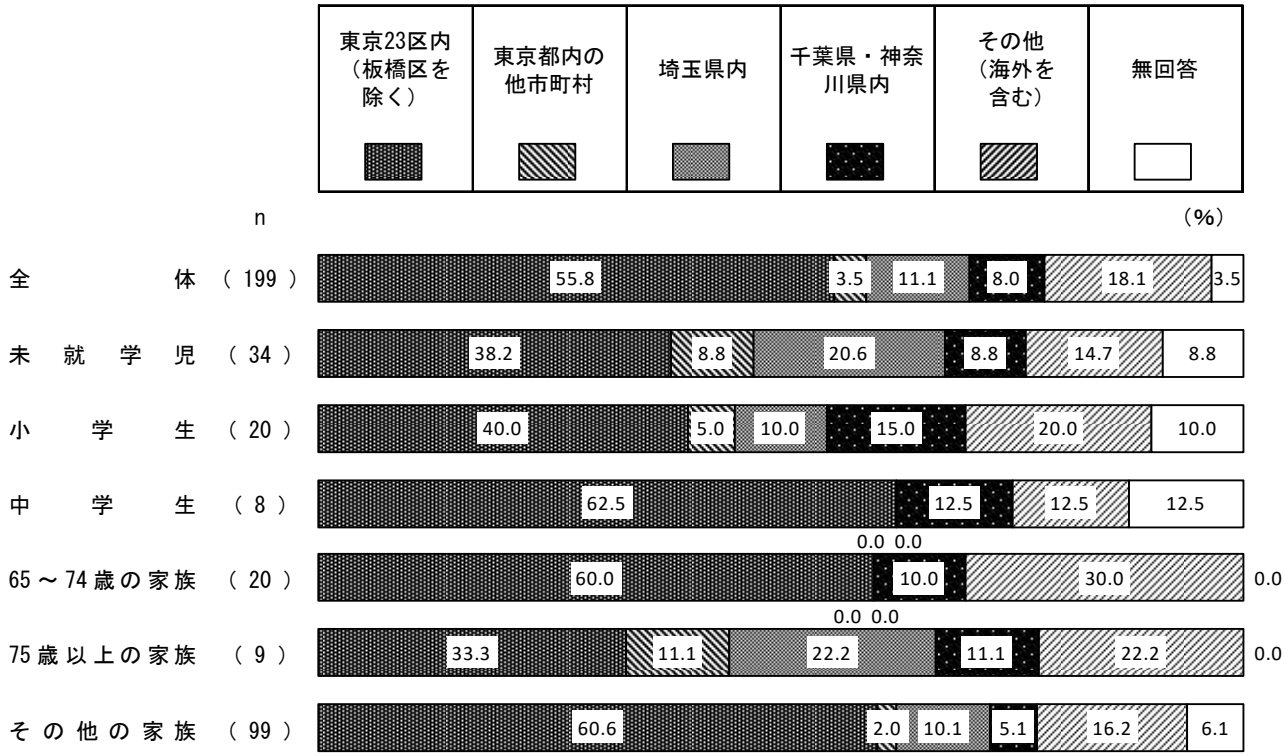
図２－２－18　区外に移り住むとしたら住みたい地域（世帯構成別）



⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、「東京都 23 区内（板橋区を除く）」は 65～74 歳の家族（60.0%）、その他の家族（60.6%）と同居している方等で６割以上となっています。「埼玉県内」は未就学児（20.6%）と同居している方等で約２割となっています。（図２－２－19）

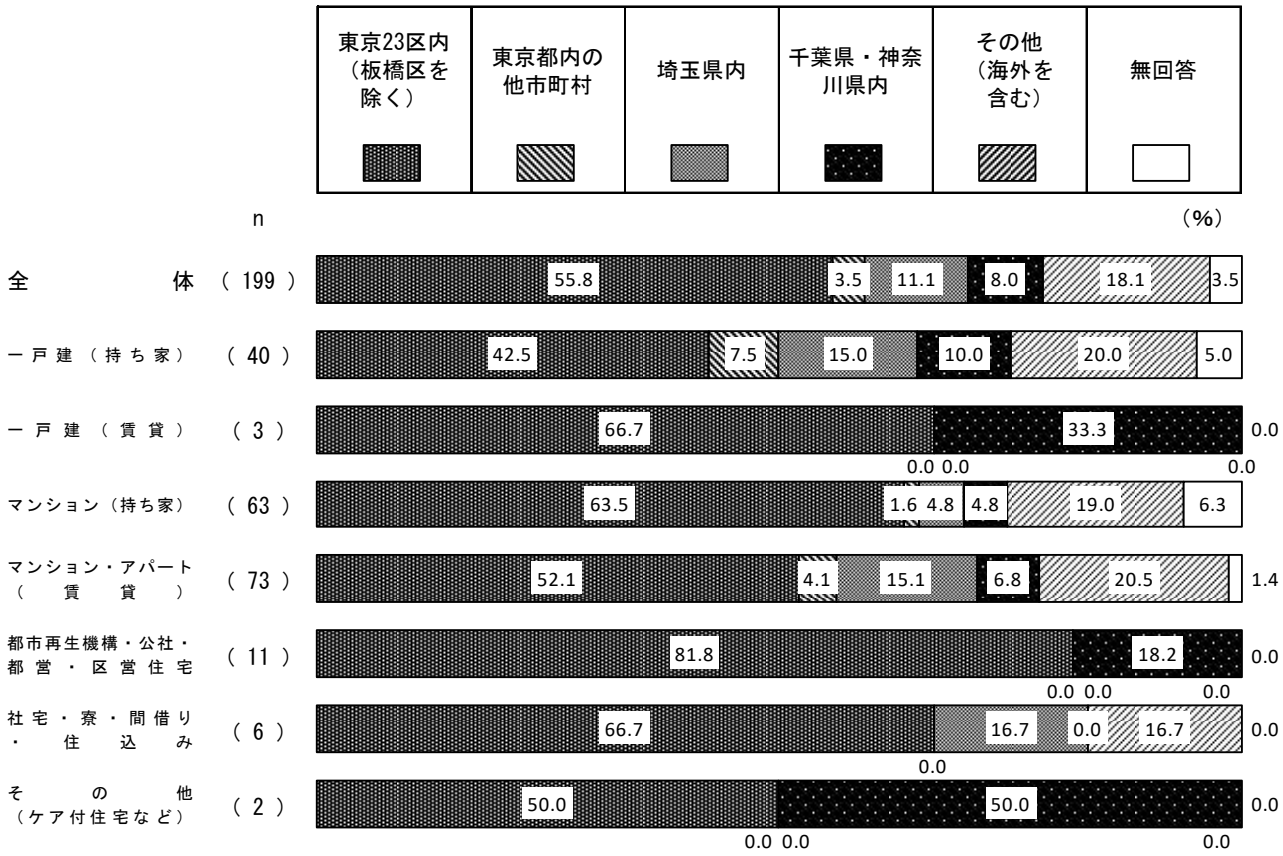
図２－２－19　区外に移り住むとしたら住みたい地域（同居家族別）



⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、「東京都 23 区内（板橋区を除く）」は一戸建（持ち家）を除く、すべての住居形態で５割以上となっています。（図２－２－20）

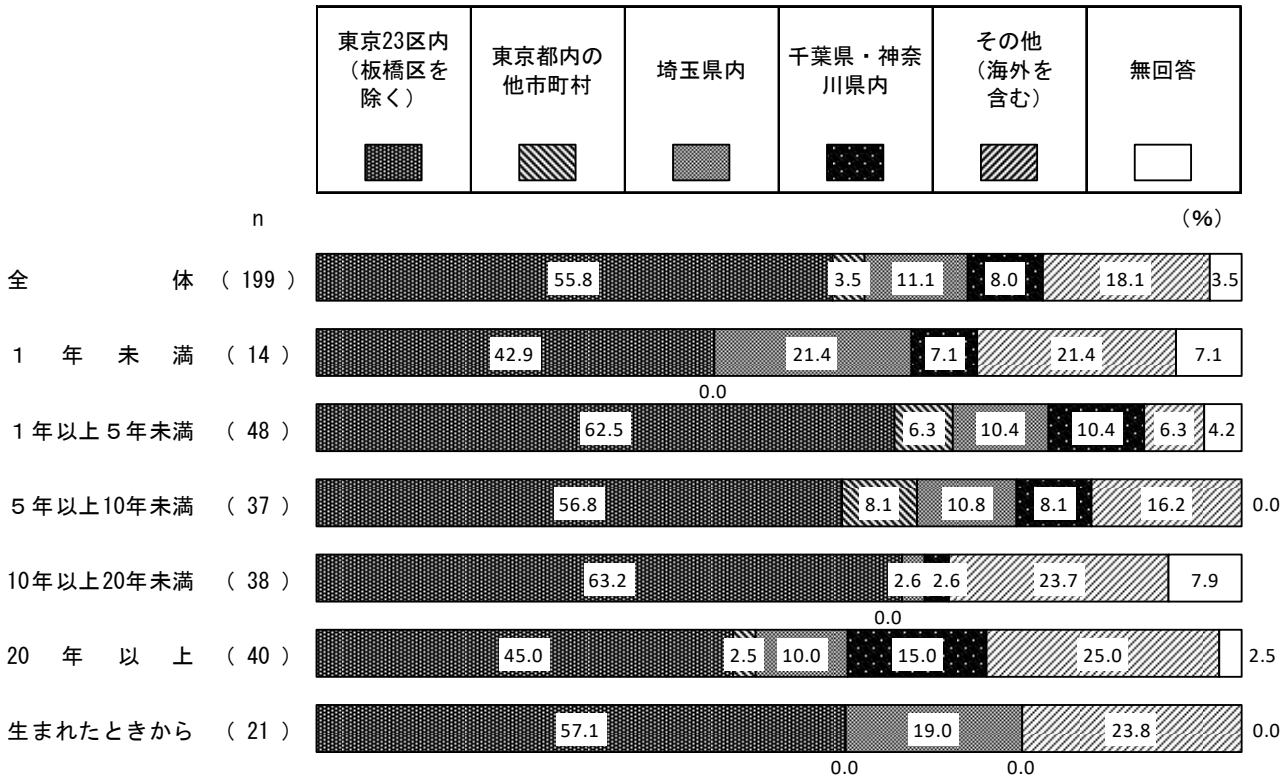
図２－２－20　区外に移り住むとしたら住みたい地域（住居形態別）



⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、「東京都 23 区内（板橋区を除く）」は１年未満、20 年以上を除く、すべての居住年数で５割以上となっています。「千葉県・神奈川県内」は１年以上５年未満（10.4%）、20 年以上（15.0%）で１割台となっています。（図２－２－21）

図２－２－21　区外に移り住むとしたら住みたい地域（居住年数別）



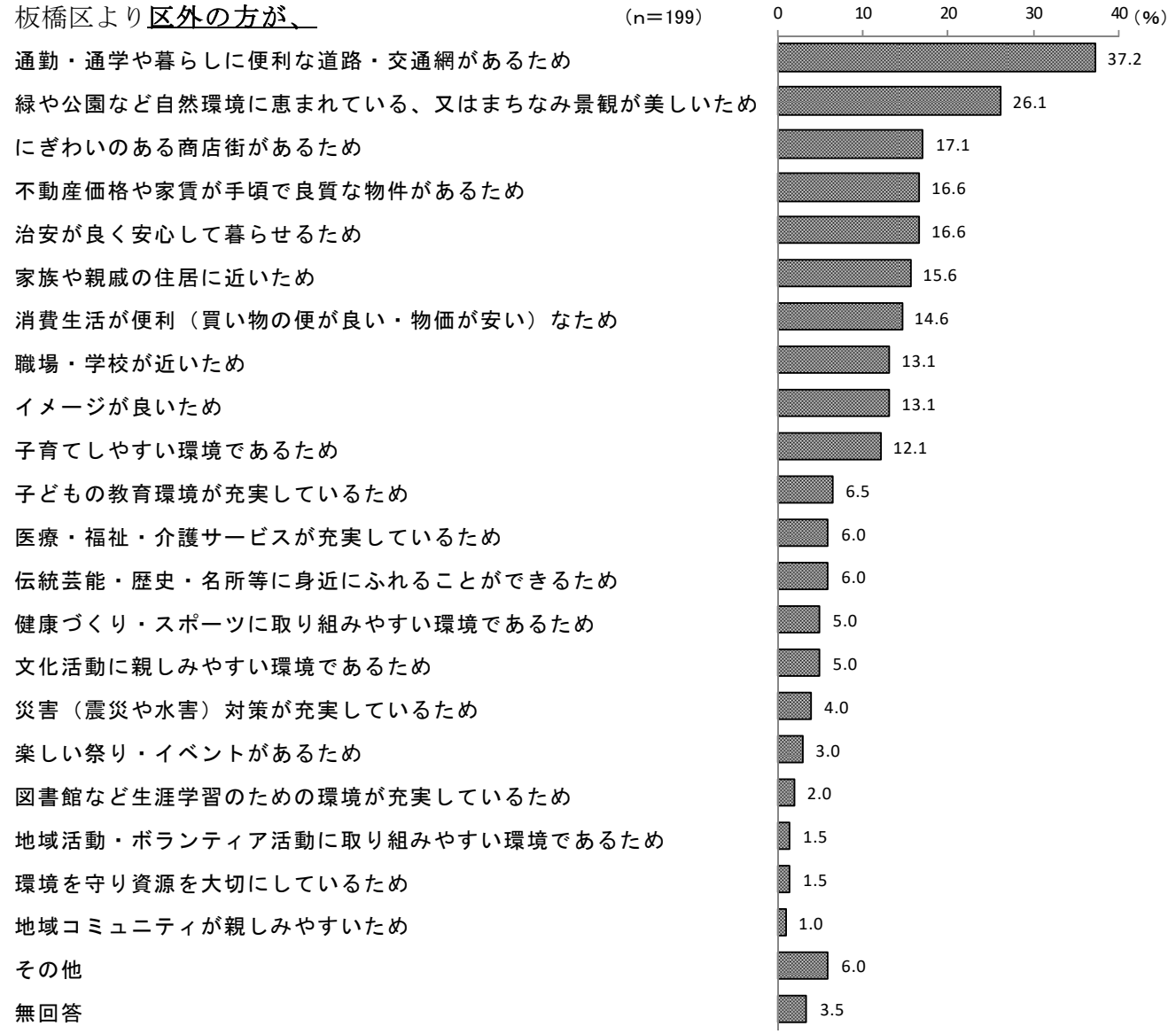
（２－４）区外に移り住みたい理由

◇板橋区より区外の方が「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」が４割近く

（問３で「２　区外に移り住みたい」と回答した方のみ）

問３－３　そう思った主な理由は何ですか。該当するものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図２－２－22



問３で「区外に移り住みたい」と答えた人（199 人）にその理由を聞いたところ、板橋区より区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」（37.2%）が４割近くで最も高く、次いで「緑や公園などの自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」（26.1%）、「にぎわいのある商店街があるため」（17.1%）、「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」（16.6%）、「治安が良く安心して暮らせるため」（16.6%）などとなっています。（図２－２－22）

① 性別

性別でみると、板橋区より区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」が男性（38.4%）、女性（35.8%）ともに第１位となっています。（表２－２－８）

表２－２－８　区外に移り住みたい理由（性別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
性別	男性	73	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.0	にぎわいのある商店街があるため 23.3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 19.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 16.4
	女性	123	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.8	治安が良く安心して暮らせるため 20.3	家族や親戚の住居に近いため 16.3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／職場・学校が近いため 15.4

②　年代別

年代別でみると、板橋区より区外の方が「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は 20 歳代（56.3%）、30 歳代（43.5%）、50 歳代（36.1%）等で第１位となっており、「緑や公園などの自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は 40 歳代（39.5%）、65～69 歳（42.9%）、70～74 歳（50.0%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」が 30 歳代(23.9%)、40 歳代(21.1%)で第４位になっています。また、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」が 20 歳代（31.3%）で第２位となっています。（表２－２－９）

表２－２－９　区外に移り住みたい理由（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
年代別	10　歳　代	7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 57.1	職場・学校が近いため 42.9	イメージが良いため 28.6	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため／地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため／にぎわいのある商店街があるため／治安が良く安心して暮らせるため 14.3	
	20　歳　代	32	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 56.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 31.3	職場・学校が近いため 21.9	にぎわいのある商店街があるため 18.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため　他※ 15.6
	30　歳　代	46	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 28.3	治安が良く安心して暮らせるため 26.1	子育てしやすい環境であるため 23.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.6
	40　歳　代	38	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 39.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 28.9	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 23.7	子育てしやすい環境であるため／治安が良く安心して暮らせるため 21.1	
	50　歳　代	36	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.1	家族や親戚の住居に近いため 30.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.8	にぎわいのある商店街があるため 22.2	イメージが良いため 13.9
	60 ～ 64 歳	9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 44.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.3	にぎわいのある商店街があるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／家族や親戚の住居に近いため 22.2		
	65 ～ 69 歳	14	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 42.9	治安が良く安心して暮らせるため／伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 35.7		イメージが良いため 21.4	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／にぎわいのある商店街があるため　他※ 14.3
	70 ～ 74 歳	10	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 50.0	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 30.0	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 20.0		医療・福祉・介護サービスが充実しているため　他※ 10.0
	75 歳 以 上	6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／イメージが良いため／家族や親戚の住居に近いため 33.3				不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため　他※ 16.7

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

③ 地域別

地域別でみると、板橋区より区外の方が「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は板橋地域を除く、すべての地域で第１位となっています。「緑や公園などの自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は板橋地域（30.8%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」が板橋地域（19.2%）で第２位、志村地域（17.6%）で第４位、高島平地域（18.4%）で第５位となっています。（表２－２－10）

表２－２－10　区外に移り住みたい理由（地域別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
地域別	板橋地域	52	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.8	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 19.2			治安が良く安心して暮らせるため／家族や親戚の住居に近いため 17.3
	常盤台地域	24	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 20.8	子育てしやすい環境であるため／にぎわいのある商店街があるため 16.7		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため　他※ 12.5
	志村地域	51	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 47.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 39.2	にぎわいのある商店街があるため 21.6	治安が良く安心して暮らせるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 17.6	
	赤塚地域	32	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 46.9	治安が良く安心して暮らせるため／家族や親戚の住居に近いため 21.9		不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／にぎわいのある商店街があるため 18.8	
	高島平地域	38	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.1	にぎわいのある商店街があるため 23.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／職場・学校が近いため 21.1		消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため　他※ 18.4

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

④ 職業別

職業別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は会社員・公務員（39.6%）、学生（66.7%）、アルバイト・パート（40.0%）等で第１位となっています。（表２－２－11）

表２－２－11　区外に移り住みたい理由（職業別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
職業別	会社員・公務員	96	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 17.7	治安が良く安心して暮らせるため／職場・学校が近いため／イメージが良いため／家族や親戚の住居に近いため 15.6	
	自営業・自由業	13	にぎわいのある商店街があるため 38.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.8	子育てしやすい環境であるため／治安が良く安心して暮らせるため／伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.1		
	会社役員	4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／職場・学校が近いため／家族や親戚の住居に近いため 50.0			健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため／医療・福祉・介護サービスが充実しているため／にぎわいのある商店街があるため／イメージが良いため 25.0	
	主婦・主夫	26	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 46.2	家族や親戚の住居に近いため 23.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 19.2		
	学生	12	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 66.7	職場・学校が近いため 50.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／にぎわいのある商店街があるため／イメージが良いため 16.7		
	アルバイト・パート	30	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 20.0	にぎわいのある商店街があるため／治安が良く安心して暮らせるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／家族や親戚の住居に近いため 16.7		
	無職	14	にぎわいのある商店街があるため 35.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 28.6	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 21.4	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため　他※ 14.3	
	その他	3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 66.7		不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため／伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.3		

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は単身世帯（45.2%）、夫婦のみ（26.5%）、二世代同居（親と同居）（61.5%）等で第１位となっています。「緑や公園などの自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は夫婦のみ（26.5%）、二世代同居（子と同居）（30.4%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」が単身世帯（31.0%）で第２位となっています。また、「子育てしやすい環境であるため」が二世代同居（子と同居）（23.2%）で第３位となっています。（表２－２－12）

表２－２－12　区外に移り住みたい理由（世帯構成別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
世帯構成別	単身世帯	42	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 45.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 31.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.2	家族や親戚の住居に近いため 19.0	にぎわいのある商店街があるため 16.7
	夫婦のみ	49	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 26.5		にぎわいのある商店街があるため 24.5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため／家族や親戚の住居に近いため 18.4	
	二世代同居（子と同居）	69	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 27.5	子育てしやすい環境であるため 23.2	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 18.8	
	二世代同居（親と同居）	26	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 61.5	職場・学校が近いため 26.9	にぎわいのある商店街があるため 23.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／イメージが良いため 15.4	
	三世代同居	4	子育てしやすい環境であるため／不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／イメージが良いため／その他 25.0				
	その他	9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 66.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／イメージが良いため／その他 22.2		

⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は65～74歳の家族（35.0%）、その他の家族（40.4%）と同居している方で第１位となっています。「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」は未就学児（32.4%）と同居している方で第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」が未就学児(29.4%)、小学生(40.0%)と同居している方で第２位となっています。（表２－２－13）

表２－２－13　区外に移り住みたい理由（同居家族別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
同居家族別	未就学児	34	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 32.4	子育てしやすい環境であるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.4		治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／家族や親戚の住居に近いため 23.5	
	小学生	20	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 50.0	子育てしやすい環境であるため 40.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 35.0	子どもの教育環境が充実しているため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	
	中学生	8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.5		消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／イメージが良いため 25.0		子どもの教育環境が充実しているため　他※ 12.5
	65～74歳の家族	20	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.0	にぎわいのある商店街があるため 30.0	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.0		不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため　他※ 20.0
	75歳以上の家族	9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 44.4	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 22.2	子育てしやすい環境であるため／不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／文化活動に親しみやすい環境であるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／職場・学校が近いため／楽しい祭り・イベントがあるため／イメージが良いため／家族や親戚の住居に近いため／その他 11.1		
	その他の家族	99	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.4	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.2		職場・学校が近いため／家族や親戚の住居に近いため 17.2	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はマンション（持ち家）（34.9%）、マンション・アパート（賃貸）（39.7%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（63.6%）等で第１位となっています。「緑や公園などの自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は一戸建（持ち家）（37.5%）等で第１位となっています。

その他の特徴として、「健康づくり・スポーツ等に取り組みやすい環境であるため」が一戸建（持ち家）（17.5%）で第３位となっています。（表２－２－14）

表２－２－14　区外に移り住みたい理由（住居形態別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
住居形態別	一戸建（持ち家）	40	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.0	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 17.5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／にぎわいのある商店街があるため／イメージが良いため 12.5	
	一戸建（賃貸）	3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／医療・福祉・介護サービスが充実しているため／にぎわいのある商店街があるため／伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.3				
	マンション（持ち家）	63	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.0	にぎわいのある商店街があるため 20.6	家族や親戚の住居に近いため 19.0	イメージが良いため 17.5
	マンション・アパート（賃貸）	73	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.7	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 26.0	治安が良く安心して暮らせるため 21.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／家族や親戚の住居に近いため 17.8
	都市再生機構・公社・都営・区営住宅	11	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 63.6	にぎわいのある商店街があるため 36.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため／イメージが良いため／家族や親戚の住居に近いため 18.2	
	社宅・寮・間借り・住込み	6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 83.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 66.7	子育てしやすい環境であるため／不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／にぎわいのある商店街があるため／伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため／職場・学校が近いため／イメージが良いため／その他 16.7		
	その他（ケア付住宅など）	2	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／医療・福祉・介護サービスが充実しているため／にぎわいのある商店街があるため／治安が良く安心して暮らせるため／楽しい祭り・イベントがあるため／イメージが良いため 50.0				

⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は１年未満（35.7%）、１年以上５年未満（50.0%）、５年以上 10 年未満（35.1%）、生まれたときから（42.9%）で第１位となっています。「緑や公園などの自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は 10 年以上 20 年未満（39.5%）、20 年以上（27.5%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」が１年未満（21.4%）で第２位、５年以上 10 年未満（18.9%）で第３位となっています。（表２－２－15）

表２－２－15　区外に移り住みたい理由（居住年数別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
居住年数別	１年未満	14	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.7	子育てしやすい環境であるため／にぎわいのある商店街があるため／治安が良く安心して暮らせるため／災害（震災や水害）対策が充実しているため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／職場・学校が近いため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／家族や親戚の住居に近いため 21.4			
	１年以上５年未満	48	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 50.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.9	治安が良く安心して暮らせるため 20.8	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 18.8	
	５年以上10年未満	37	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 24.3	子育てしやすい環境であるため／にぎわいのある商店街があるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 18.9		
	10年以上20年未満	38	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 39.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.8	治安が良く安心して暮らせるため 21.1	にぎわいのある商店街があるため 18.4	職場・学校が近いため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／イメージが良いため 15.8
	20年以上	40	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／家族や親戚の住居に近いため 27.5		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 22.5	にぎわいのある商店街があるため 17.5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 15.0
	生まれたときから	21	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.9	にぎわいのある商店街があるため 28.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 19.0	子育てしやすい環境であるため／伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため／職場・学校が近いため 14.3

⑨ 直前の居住地域別

直前の居住地域別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は東京都内の他市区町村を除く、すべての地域で第１位となっています。（表２－２－16）

表２－２－16　区外に移り住みたい理由（直前の居住地域別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
直前の居住地域別	東京都23区内（板橋区を除く）	79	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.3	治安が良く安心して暮らせるため 22.8	家族や親戚の住居に近いため 17.7	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／職場・学校が近いため　他※ 13.9
	東京都内の他市区町村	13	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.8			子どもの教育環境が充実しているため／健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため／にぎわいのある商店街があるため／治安が良く安心して暮らせるため 23.1	
	埼玉県内	22	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.9	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 27.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／家族や親戚の住居に近いため 22.7		子育てしやすい環境であるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／イメージが良いため 18.2
	千葉県・神奈川県内	24	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 50.0	にぎわいのある商店街があるため 33.3	イメージが良いため 29.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.0	治安が良く安心して暮らせるため／職場・学校が近いため 16.7
	その他（海外を含む）	29	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.0	家族や親戚の住居に近いため 27.6	子育てしやすい環境であるため／不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 20.7	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

（２－５）住みたい地域（問３－２）と区外に移り住みたい理由（問３－３）

問３で、「区外に移り住みたい」と答えた人（199 人）の理由を、区外に移り住むとしたら住みたい地域別でみると、板橋区より区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は東京都 23 区内（板橋区を除く）（56.8%）で第１位となっています。「緑や公園などの自然環境に恵まれている､又はまちなみ景観が美しいため」は千葉県･神奈川県内(43.8%)、その他（海外を含む）(36.1%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「職場・学校が近いため」は東京都 23 区内（板橋区を除く）(19.8%）で第３位、「イメージが良いため」は東京都 23 区内（板橋区を除く）(18.9%）で第４位となっています。また、「子育てしやすい環境であるため」は埼玉県内（18.2%）で第４位、その他（海外を含む）(13.9%）で第５位、「伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため」はその他（海外を含む）(13.9%）で第５位となっています。（表２－２－17）

表２－２－17　区外に移り住みたい理由（住みたい地域別）

（%）

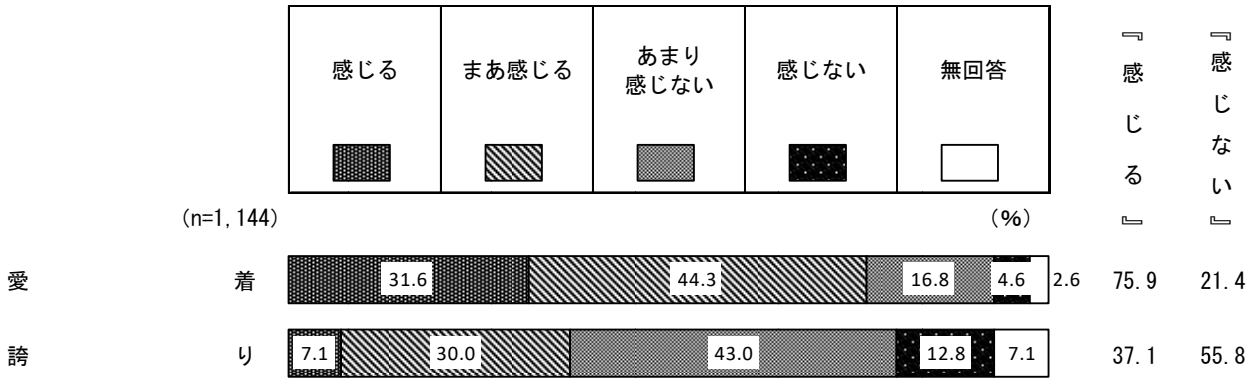
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		199	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.1	にぎわいのある商店街があるため 17.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／治安が良く安心して暮らせるため 16.6	
区外に移り住みたい地域別	東京都23区内（板橋区を除く）	111	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 56.8	にぎわいのある商店街があるため 22.5	職場・学校が近いため 19.8	イメージが良いため 18.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 17.1
	東京都内の他市区町村	7	治安が良く安心して暮らせるため 57.1	家族や親戚の住居に近いため 42.9	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／イメージが良いため 28.6		
	埼玉県内	22	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 40.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 22.7	子育てしやすい環境であるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 18.2	
	千葉県・神奈川県内	16	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 43.8	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 31.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／家族や親戚の住居に近いため 18.8		
	その他（海外を含む）	36	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.1	家族や親戚の住居に近いため 30.6	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 25.0	治安が良く安心して暮らせるため 22.2	子育てしやすい環境であるため／伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 13.9

（３）板橋区に対する愛着と誇り

◇板橋区に愛着を『感じる』が７割半ば、誇りを『感じる』が４割近く

問４　あなたは板橋区に「愛着」と「誇り」を感じますか。該当するものをそれぞれ１つ選び、番号に○印をつけてください。

図２－３－１



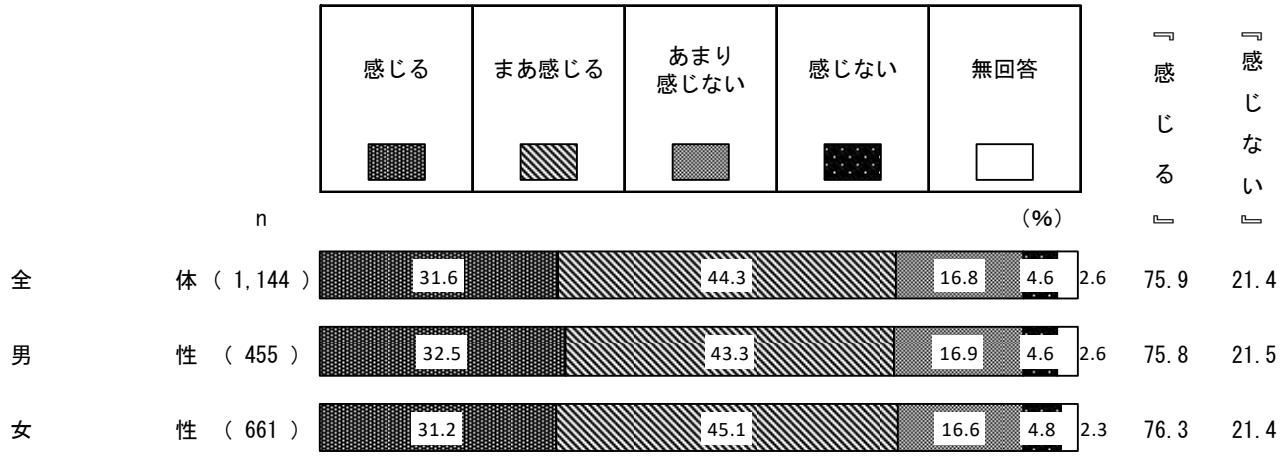
板橋区に「愛着」と「誇り」を感じるかを聞いたところ、愛着を「感じる」（31.6%）が３割を超え、これに「まあ感じる」（44.3%）を合わせた『感じる』（75.9%）は７割半ばとなっています。一方、「あまり感じない」（16.8%）と「感じない」（4.6%）を合わせた『感じない』（21.4%）は約２割となっています。

また、誇りを「感じる」（7.1%）と「まあ感じる」（30.0%）を合わせた『感じる』（37.1%）は４割近くとなっています。一方、「あまり感じない」（43.0%）と「感じない」（12.8%）を合わせた『感じない』（55.8%）が５割半ばとなっています。（図２－３－１）

①　性別

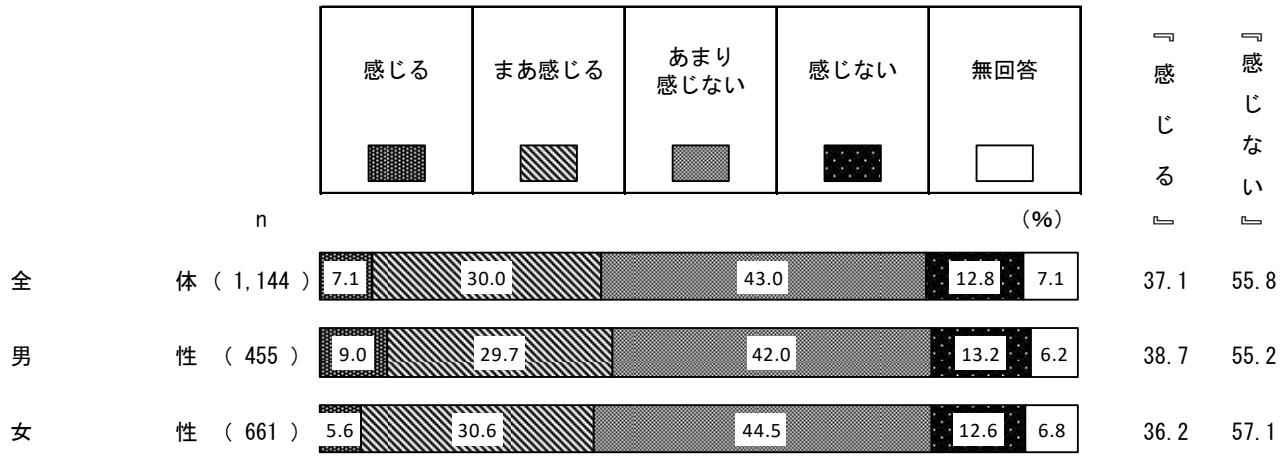
板橋区に対する愛着について性別でみると、大きな傾向の違いは見られません。（図２－３－２）

図２－３－２　板橋区に対する愛着（性別）



板橋区に対する誇りについて性別でみると、「感じる」は男性（9.0%）が女性（5.6%）より3.4ポイント高くなっています。（図２－３－３）

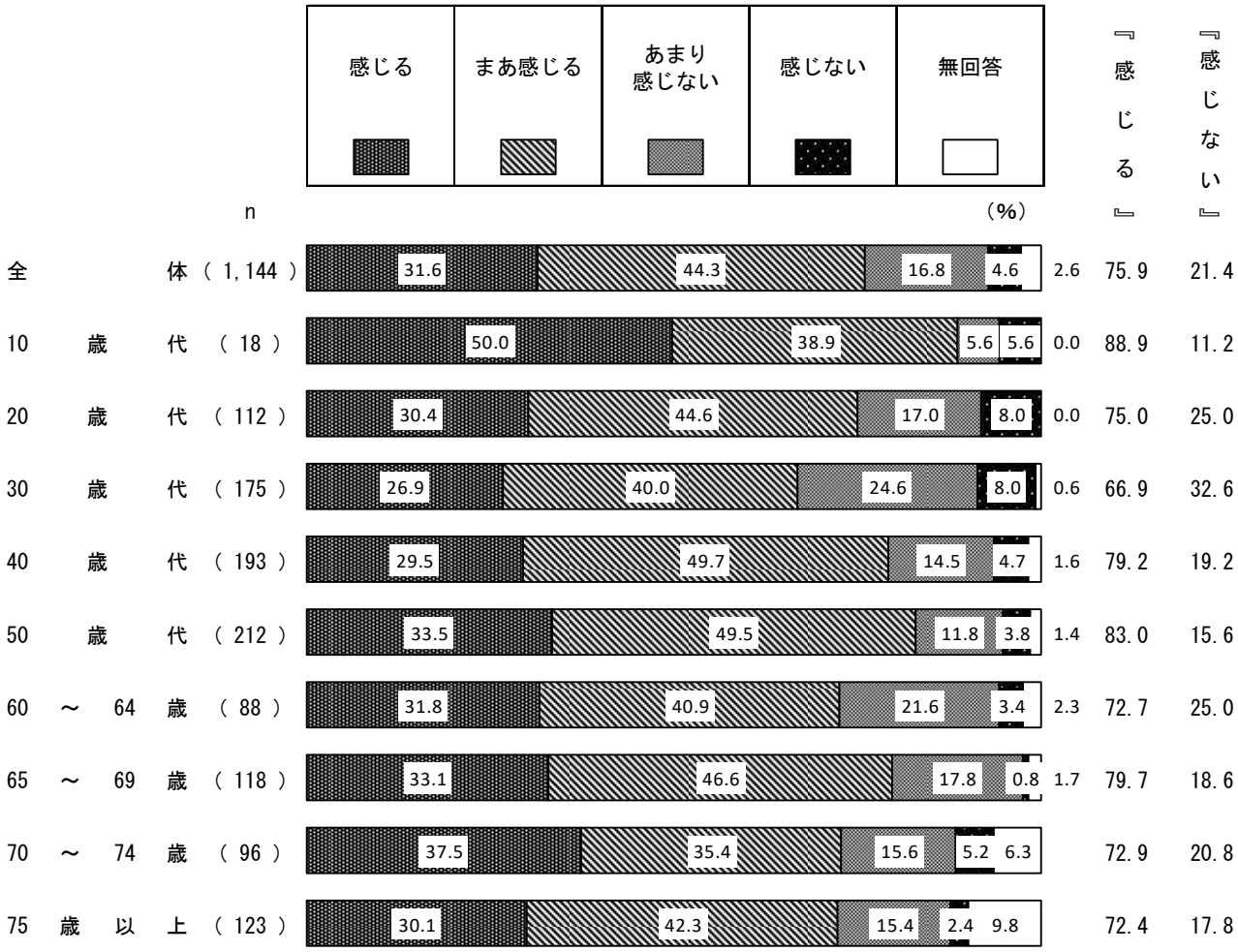
図２－３－３　板橋区に対する誇り（性別）



② 年代別

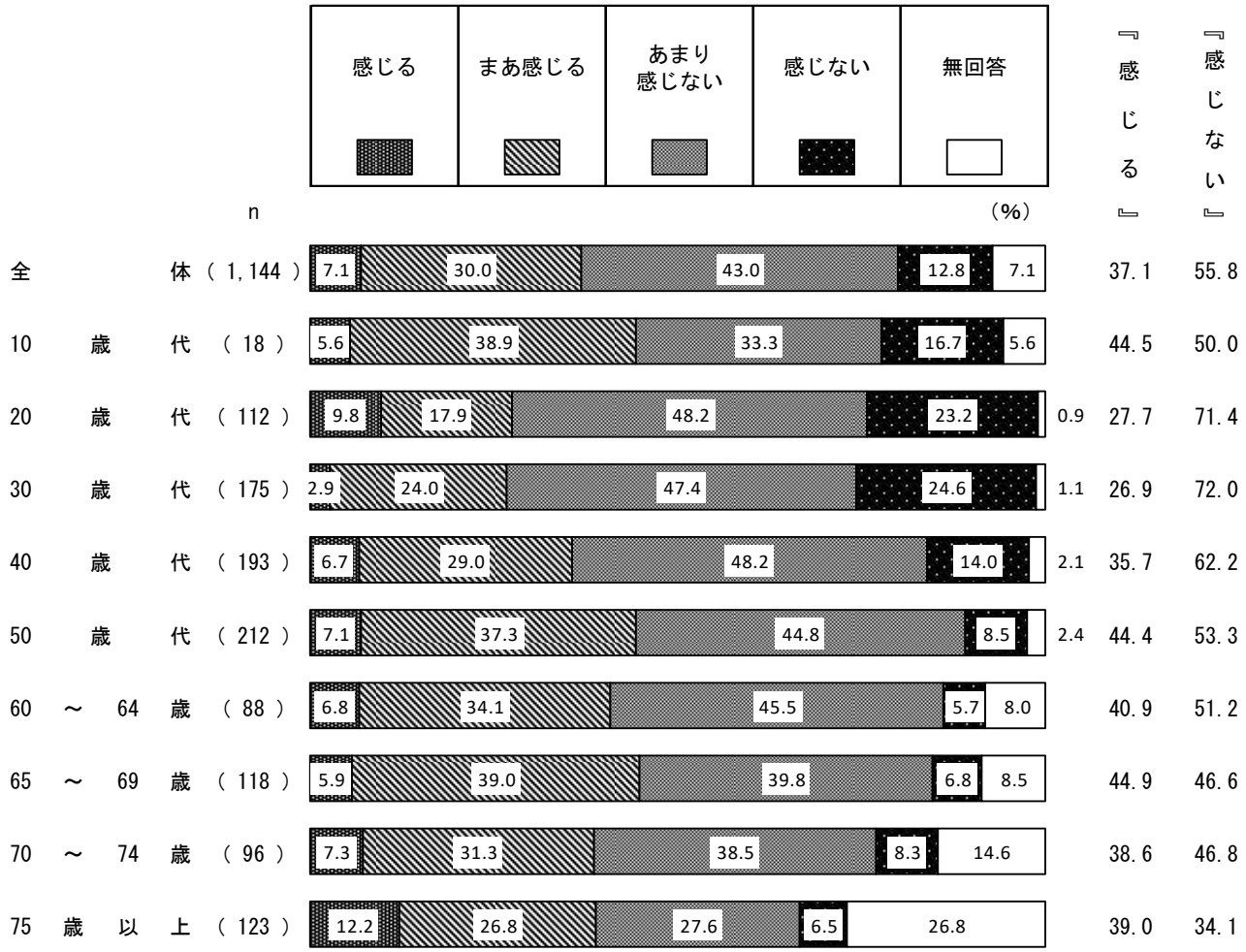
板橋区に対する愛着について年代別でみると、『感じる』は 50 歳代（83.0%）で８割を超えています。一方、『感じない』は 30 歳代（32.6%）で３割前半となっています。（図２－３－４）

図２－３－４　板橋区に対する愛着（年代別）



板橋区に対する誇りについて年代別でみると、『感じる』は10歳代(44.5%)、50歳代(44.4%)、60～64 歳（40.9%)、65～69 歳（44.9%）で４割台となっています。一方、『感じない』は 20 歳代（71.4%)、30 歳代（72.0%）で７割台となっています。(図２－３－５)

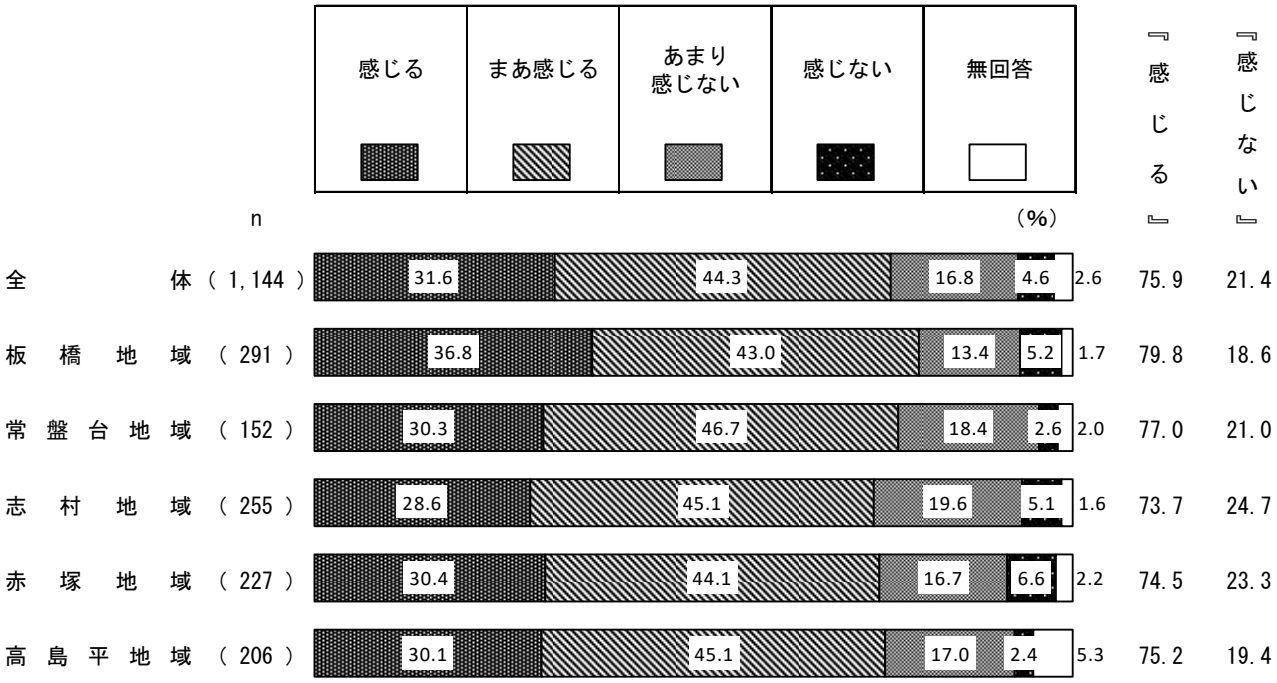
図２－３－５　板橋区に対する誇り（年代別）



③ 地域別

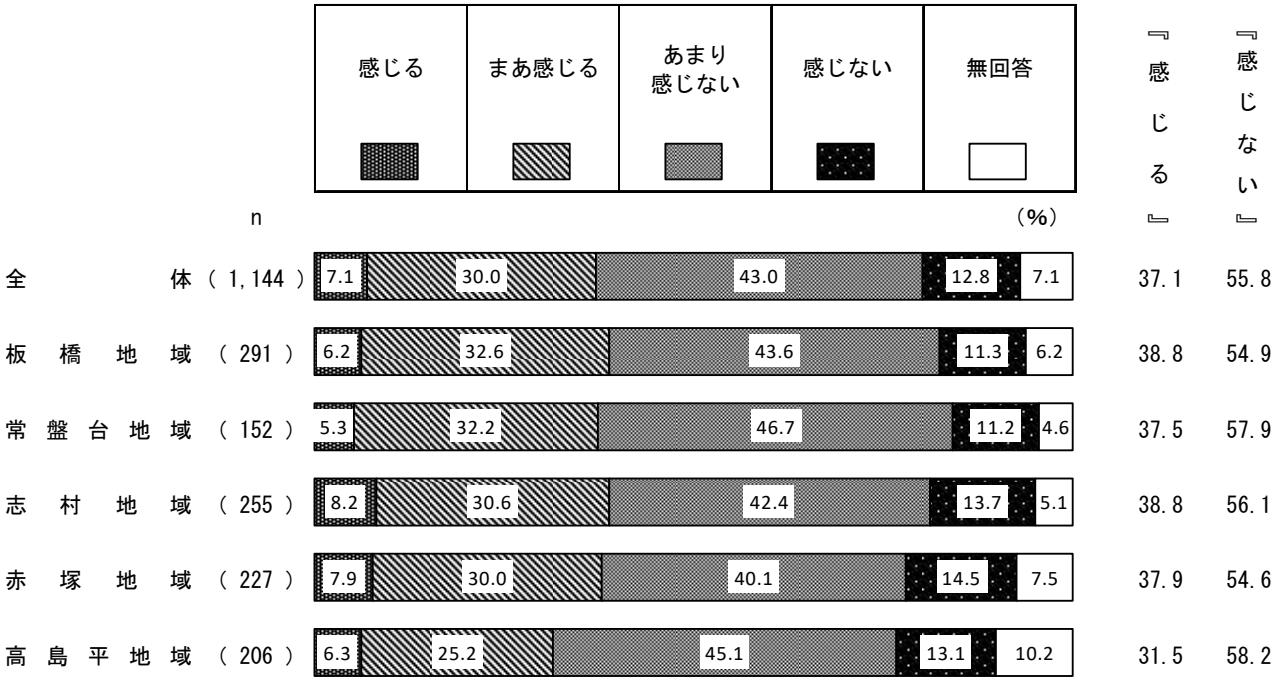
板橋区に対する愛着について地域別でみると、『感じる』はすべての地域で７割台となっており、大きな傾向の違いは見られません。（図２－３－６）

図２－３－６　板橋区に対する愛着（地域別）



板橋区に対する誇りについて地域別でみると、『感じる』はすべての地域で３割台ですが、高島平地域（31.5%）が他の地域より５ポイント以上低くなっています。（図２－３－７）

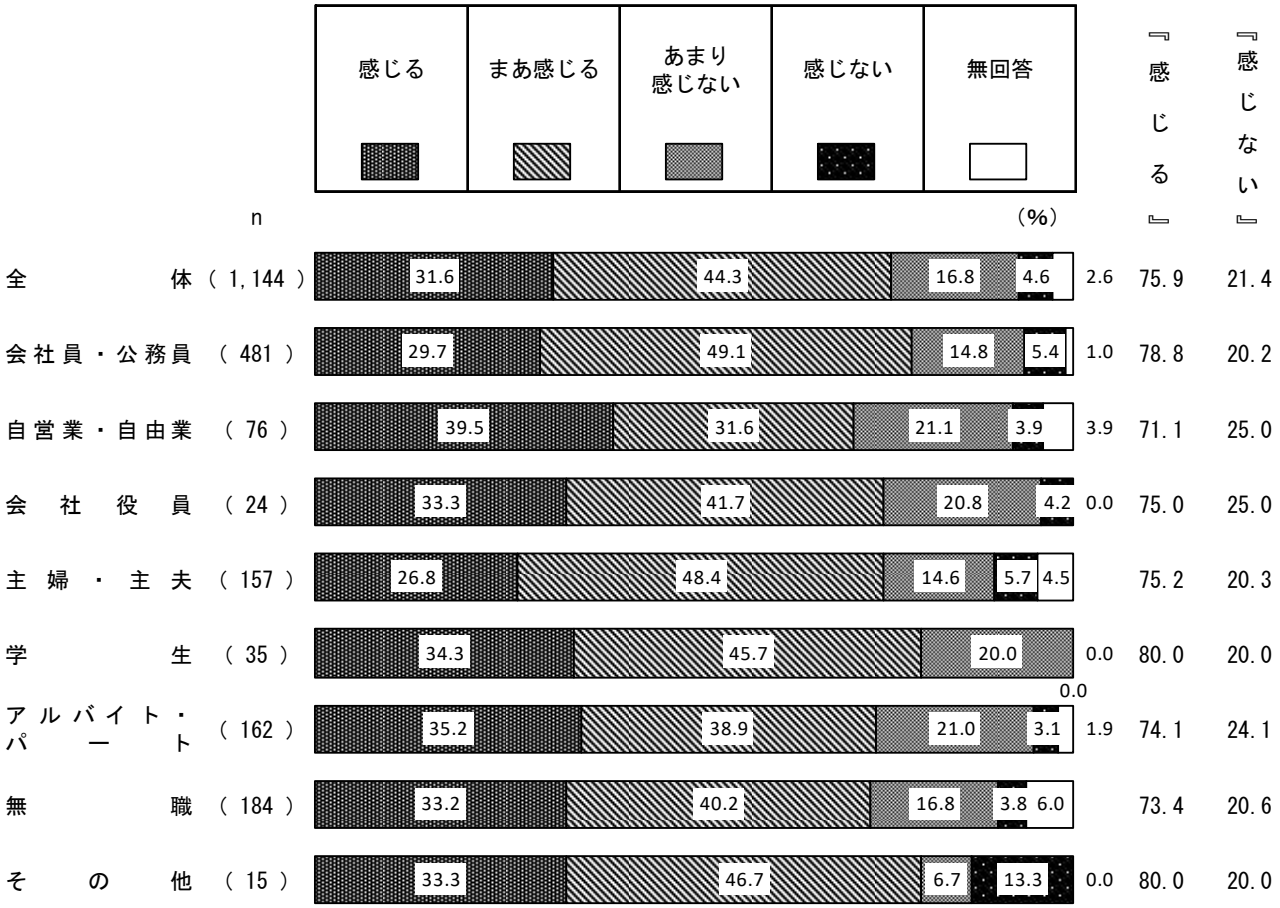
図２－３－７　板橋区に対する誇り（地域別）



④ 職業別

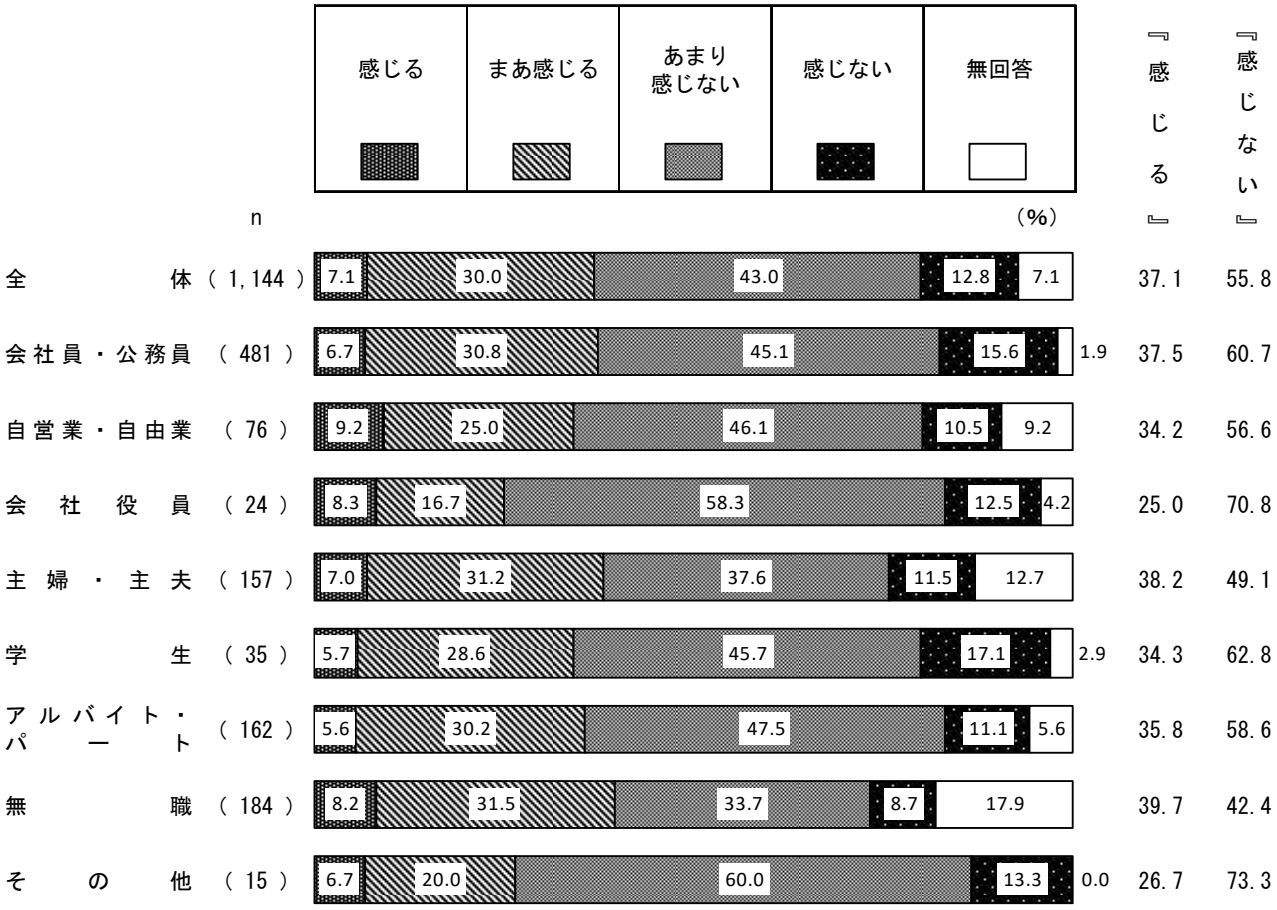
板橋区に対する愛着について職業別でみると、『感じる』は学生（80.0%）、その他（80.0%）で８割、それ以外の職業でも７割台となっています。（図２－３－８）

図２－３－８　板橋区に対する愛着（職業別）



板橋区に対する誇りについて職業別でみると、『感じる』は会社役員とその他を除く、すべての職業で３割台となっています。一方、『感じない』は主婦・主夫と無職を除く、すべての職業で５割以上となっています。（図２－３－９）

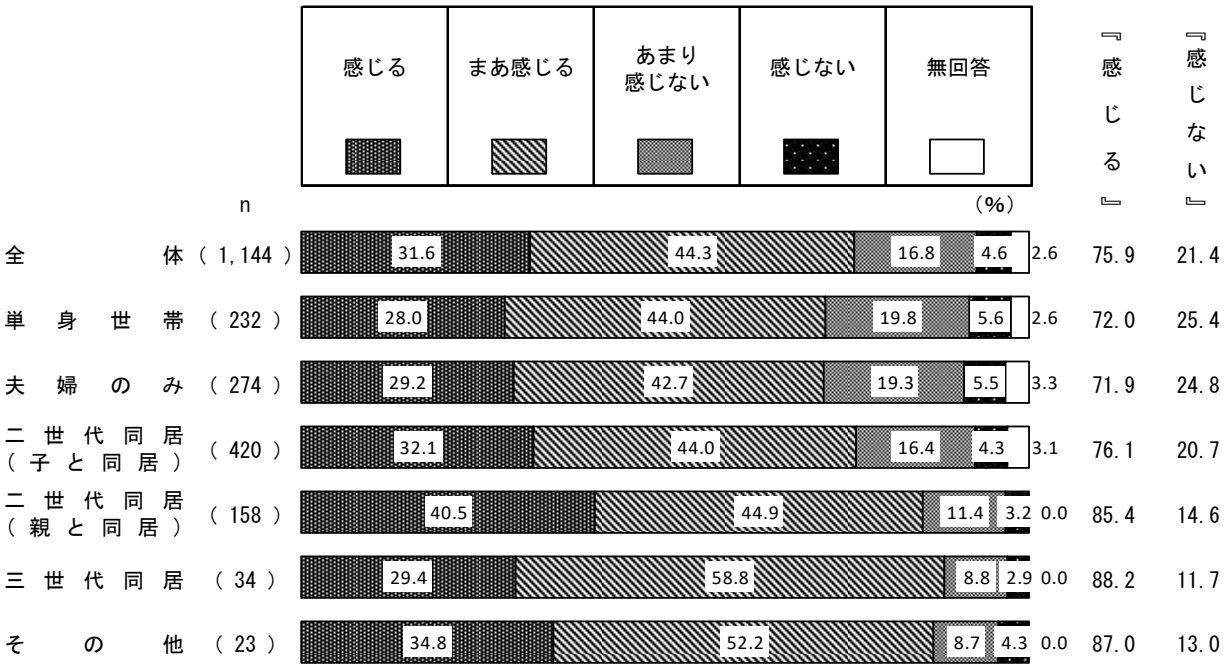
図２－３－９　板橋区に対する誇り（職業別）



⑤ 世帯構成別

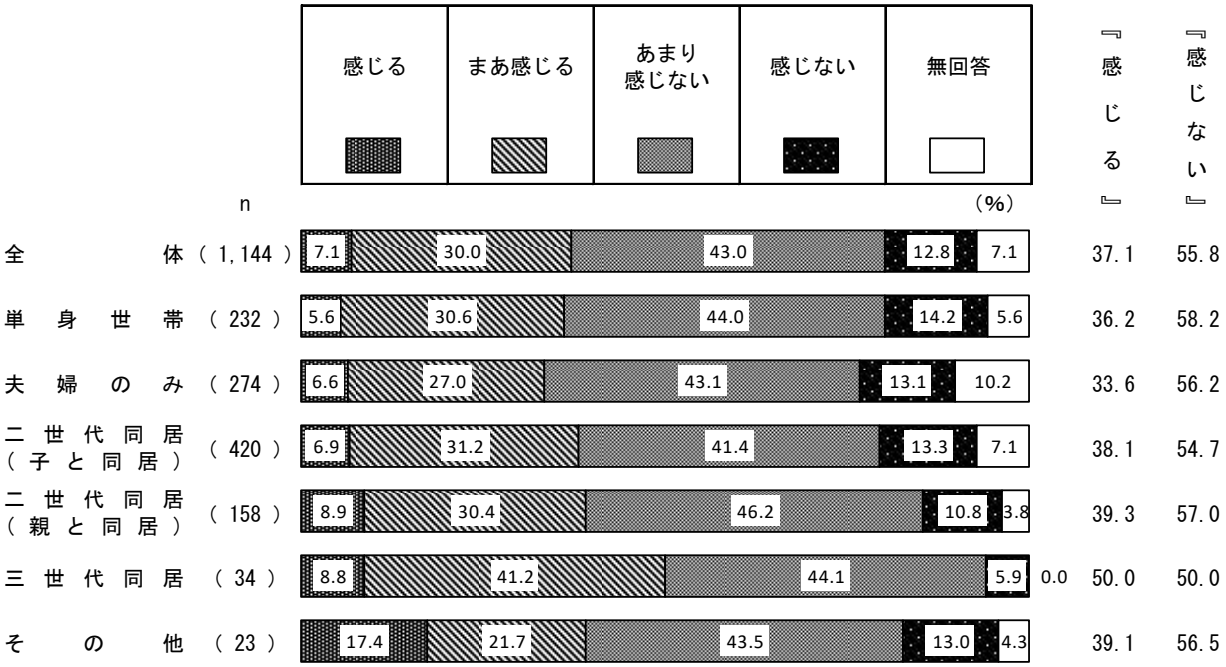
板橋区に対する愛着について世帯構成別でみると、『感じる』は二世代同居（親と同居）（85.4%）、三世代同居（88.2%）、その他（87.0%）で８割以上となっています。一方、『感じない』は単身世帯（25.4%）、夫婦のみ（24.8%）、二世代同居（子と同居）（20.7%）で２割台となっています。（図２－３－10）

図２－３－10　板橋区に対する愛着（世帯構成別）



板橋区に対する誇りについて世帯構成別でみると、『感じる』は三世代同居（50.0%）で５割となっています。一方、『感じない』はすべての世帯構成で５割台となっています。（図２－３－11）

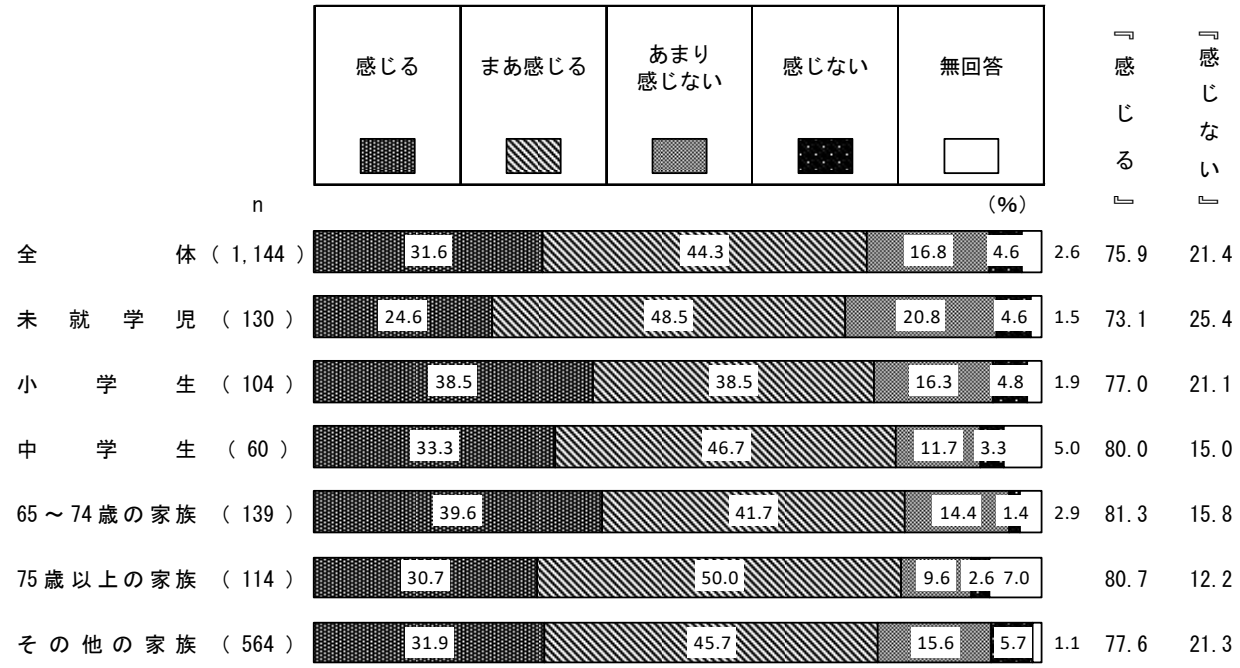
図２－３－11　板橋区に対する誇り（世帯構成別）



⑥ 同居家族別

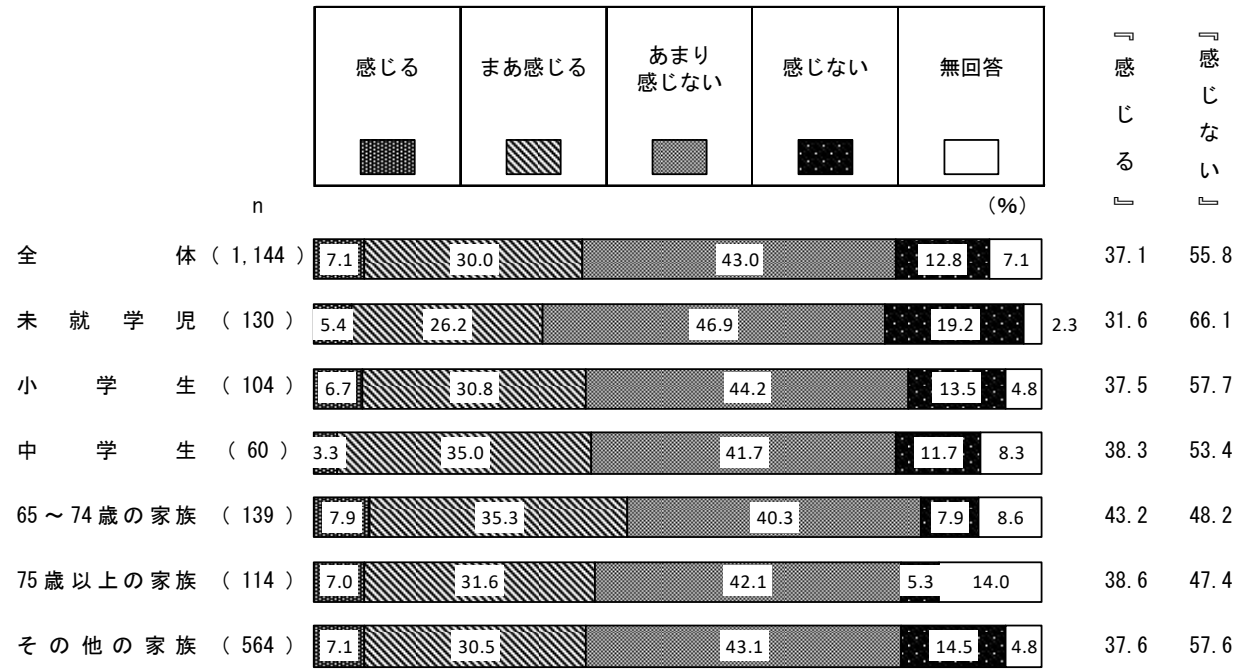
板橋区に対する愛着について同居家族別でみると、『感じる』は中学生（80.0%）、65～74 歳の家族（81.3%）、75 歳以上の家族（80.7%）と同居している方で８割台となっています。一方、『感じない』は未就学児（25.4%）、小学生（21.1%）、その他の家族（21.3%）と同居している方で２割台となっています。（図２－３－12）

図２－３－12　板橋区に対する愛着（同居家族別）



板橋区に対する誇りについて同居家族別でみると、『感じる』は 65～74 歳の家族（43.2%）と同居している方で４割を超えています。一方、『感じない』は未就学児（66.1%）と同居している方で６割半ばとなっています。（図２－３－13）

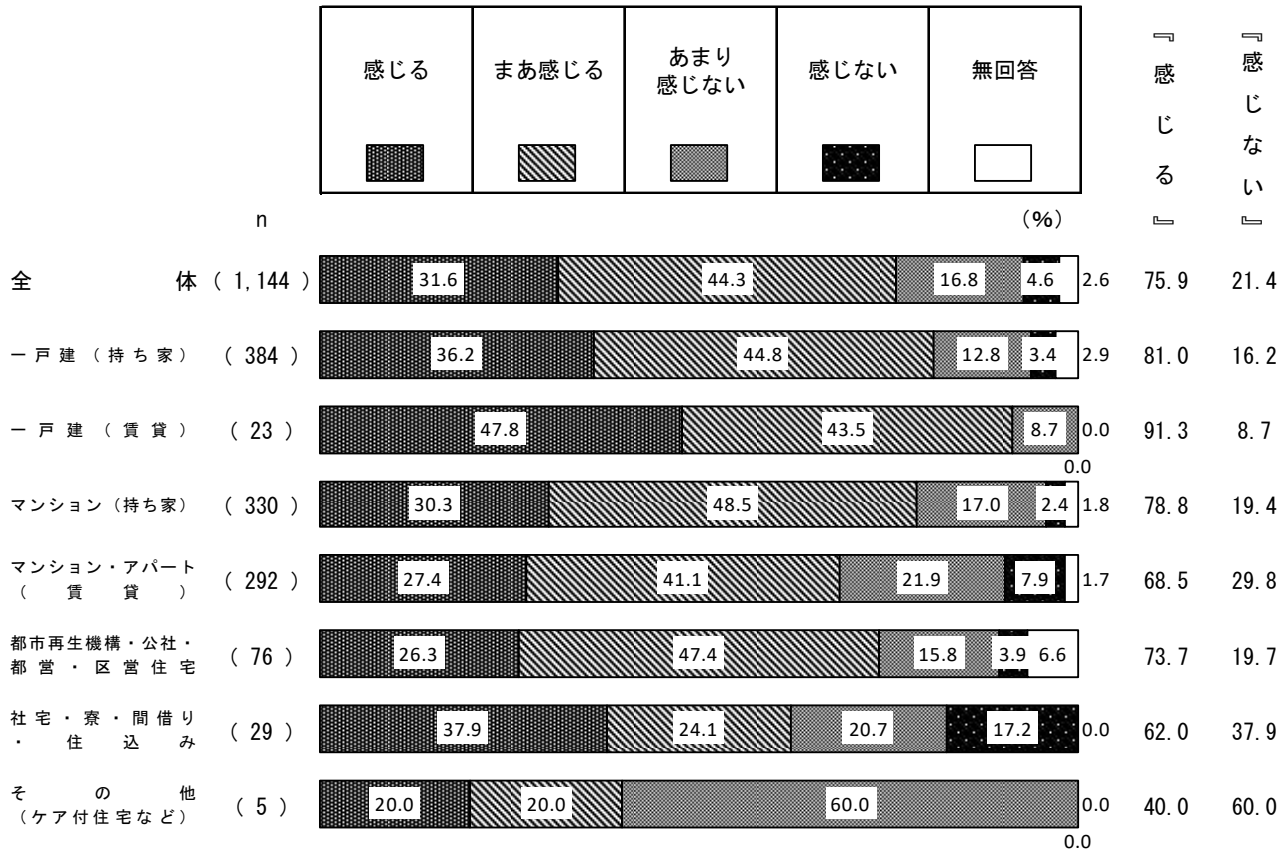
図２－３－13　板橋区に対する誇り（同居家族別）



⑦ 住居形態別

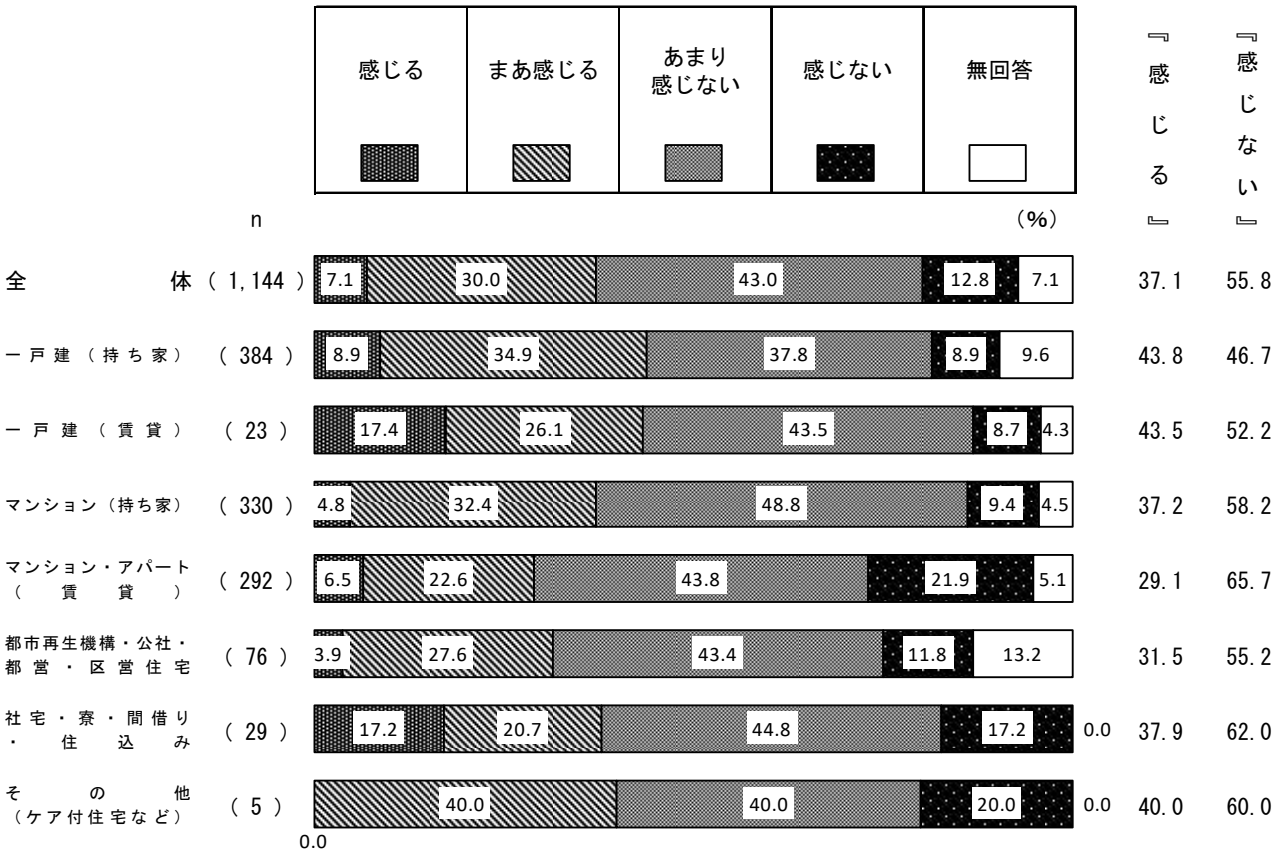
板橋区に対する愛着について住居形態別でみると、『感じる』は一戸建（賃貸）（91.3%）で９割を超え、一戸建（持ち家）（81.0%）でも８割を超えています。一方、『感じない』は社宅・寮・間借り・住込み（37.9%）で４割近く、マンション・アパート（賃貸）（29.8%）で約３割となっています。（図２－３－14）

図２－３－14　板橋区に対する愛着（住居形態別）



板橋区に対する誇りについて住居形態別でみると、『感じる』は一戸建（持ち家）（43.8%）、一戸建（賃貸）（43.5%）で４割を超えています。一方、『感じない』はマンション・アパート（賃貸）（65.7%）、社宅・寮・間借り・住込み（62.0%）等で６割台となっています。（図２－３－15）

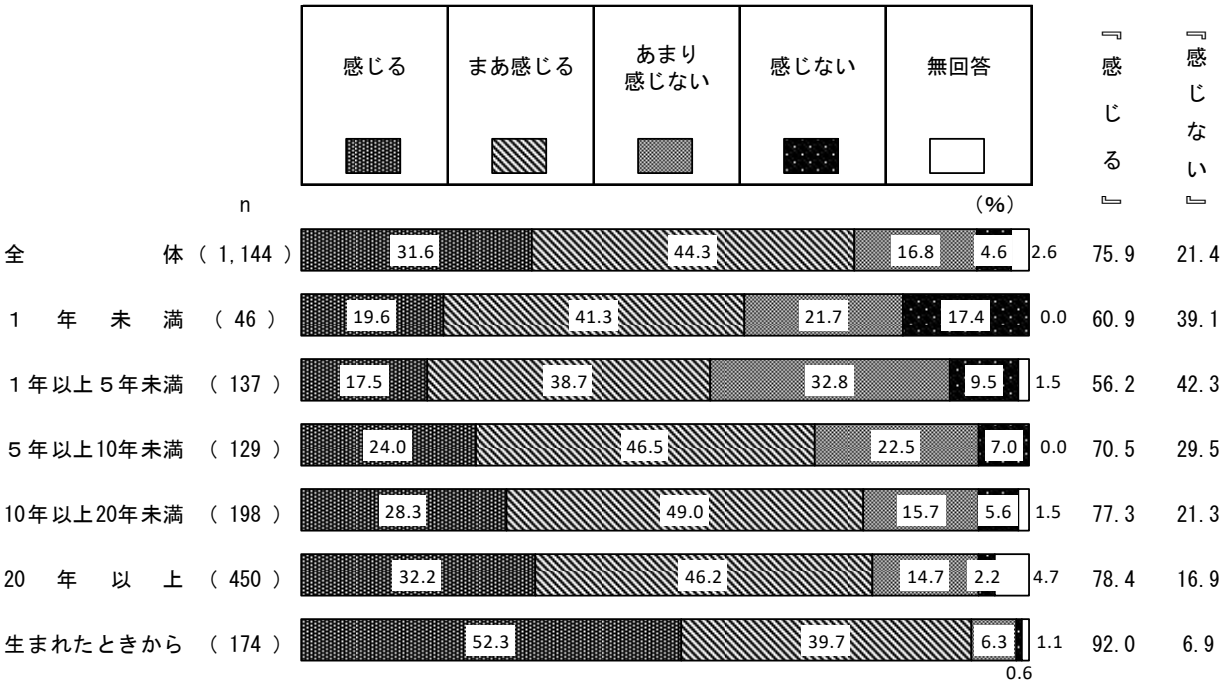
図２－３－15　板橋区に対する誇り（住居形態別）



⑧ 居住年数別

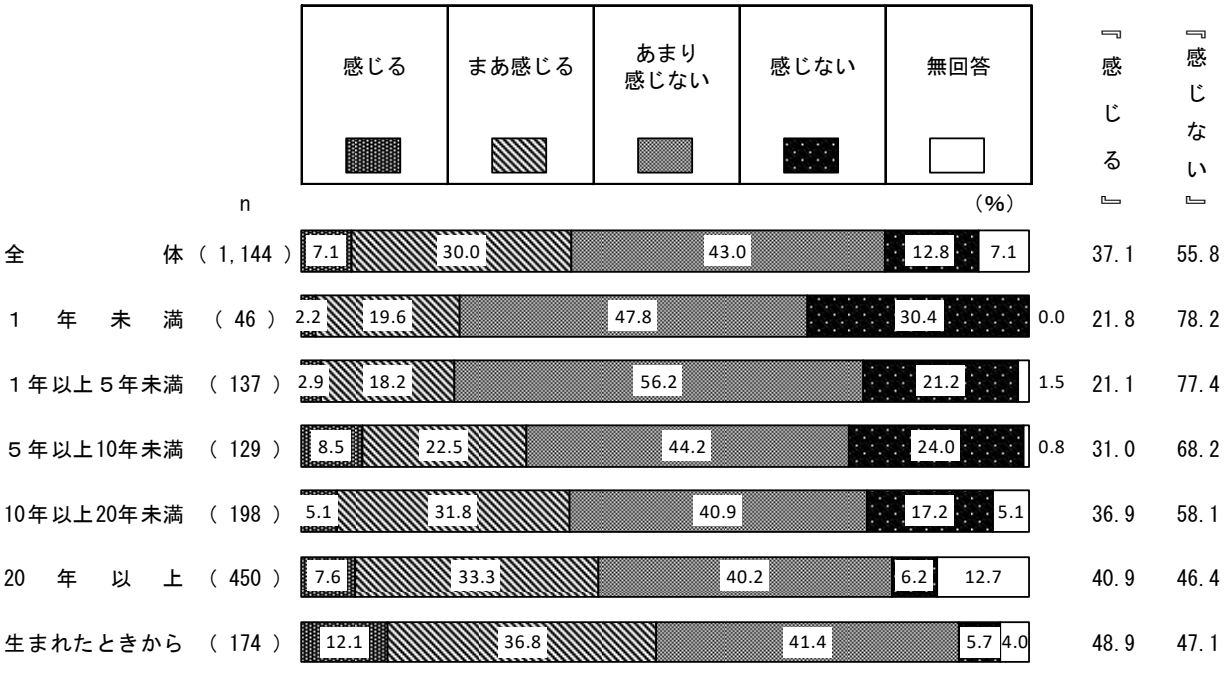
板橋区に対する愛着について居住年数別でみると、『感じる』は居住年数が１年未満を除くと年数が長くなるほど割合が高くなっており、生まれたときから(92.0%)で９割を超えています。一方、『感じない』は１年以上５年未満（42.3%）で４割を超えています。(図２－３－16)

図２－３－16　板橋区に対する愛着（居住年数別）



板橋区に対する誇りについて居住年数別でみると、『感じる』は、居住年数が１年未満を除くと年数が長くなるほど割合が高くなっており、生まれたときから（48.9%）で５割近くとなっています。一方、『感じない』は１年未満（78.2%）、１年以上５年未満（77.4%）で８割近くとなっています。(図２－３－17)

図２－３－17 板橋区に対する誇り（居住年数別）

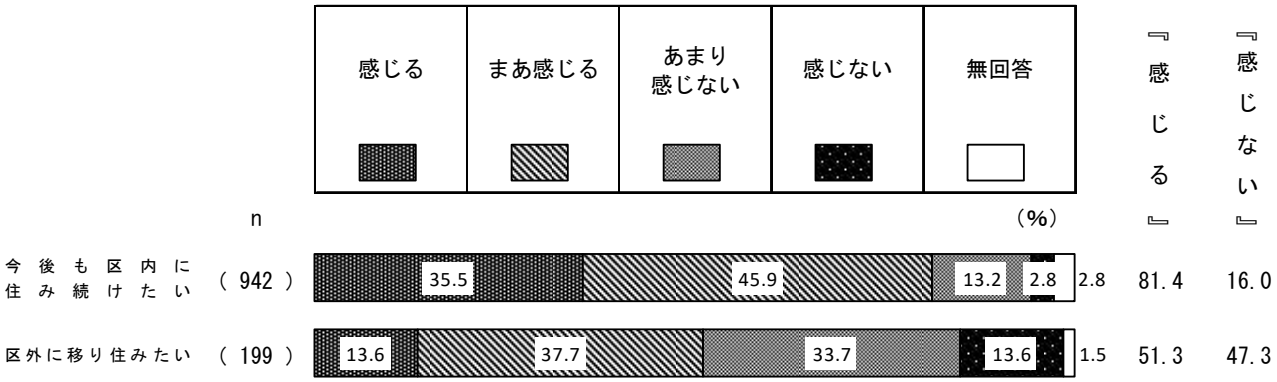


（３－１）板橋区に対する愛着と誇り（問４）と定住意向（問３）

【愛着】

板橋区に対する愛着と定住意向との関係をみると、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた『感じる』は、今後も区内に住み続けたい（81.4%）と答えた方で８割を超えています。一方、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』は、区外に移り住みたい（47.3%）と答えた方で５割近くとなっています。（図２－３－18）

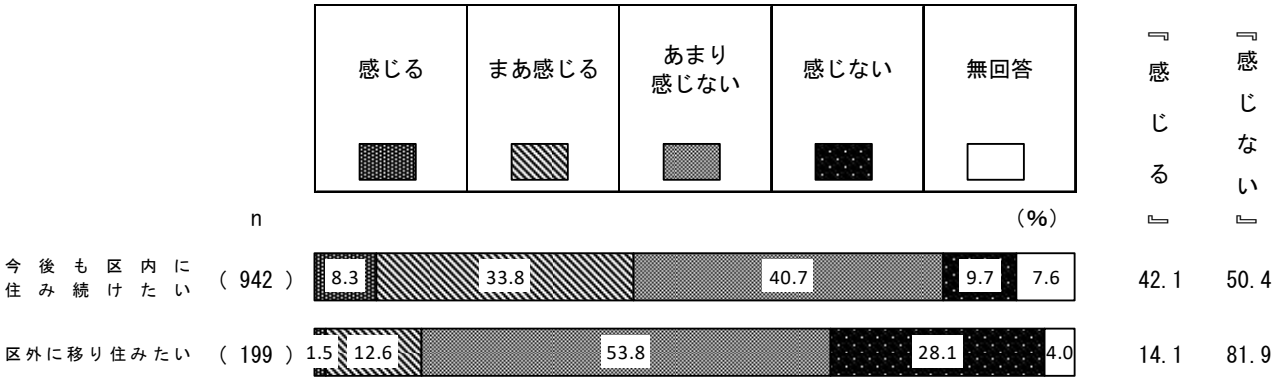
図２－３－18　板橋区に対する愛着と定住意向



【誇り】

板橋区に対する誇りと定住意向との関係をみると、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた『感じる』は、今後も区内に住み続けたい（42.1%）と答えた方で４割を超えています。一方、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』は、区外に移り住みたい（81.9%）と答えた方で８割を超えています。（図２－３－19）

図２－３－19　板橋区に対する誇りと定住意向

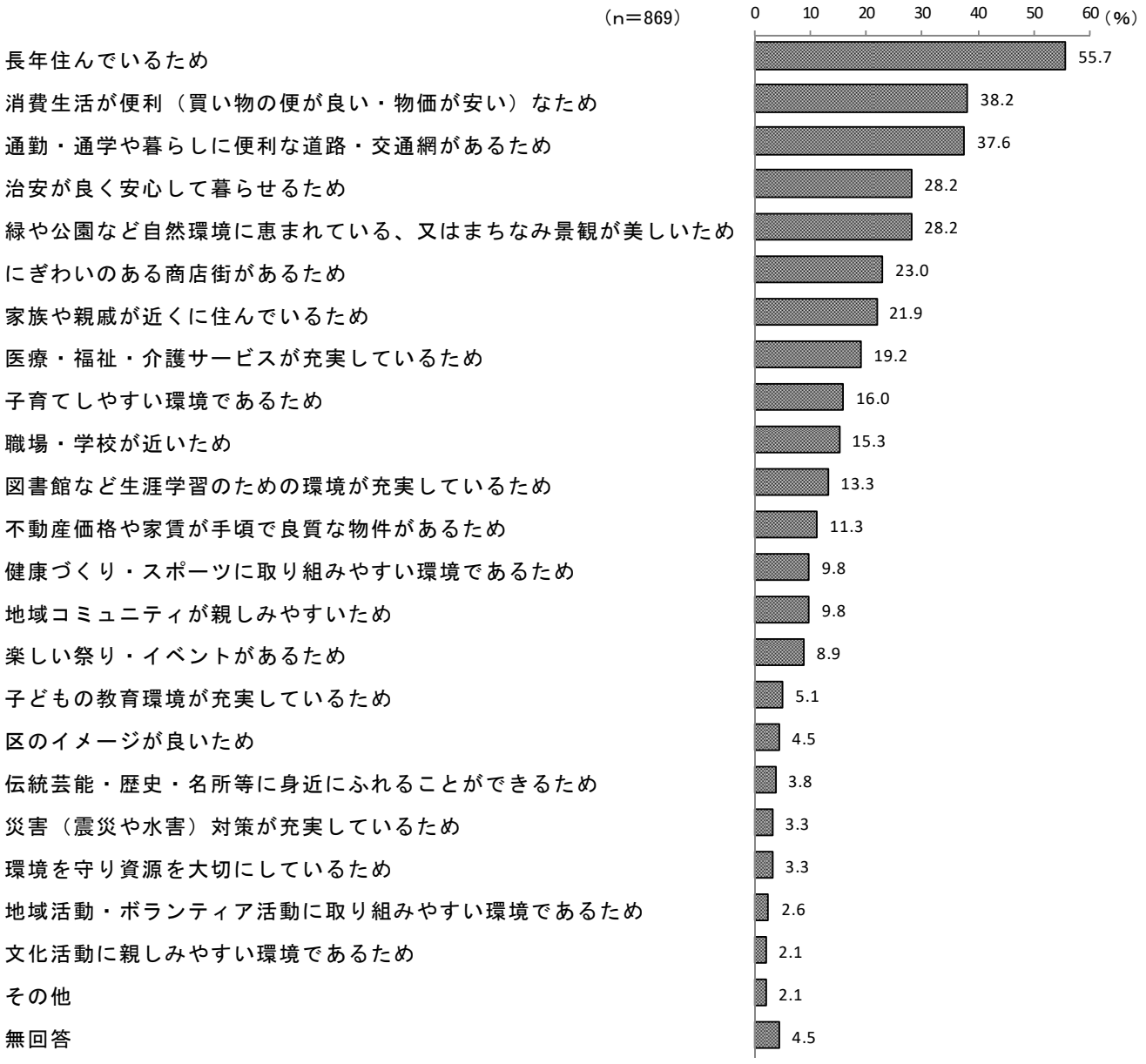


（３－２）愛着を感じる理由

◇「長年住んでいるため」が５割半ば

（問４で、板橋区に愛着を「１　感じる」「２　まあ感じる」と回答した方のみ）
問４－１　「愛着を感じる」理由をそれぞれ５つまで選んで下の表に番号を記入してください。

図２－３－20



問４で、板橋区に愛着を「感じる」又は「まあ感じる」と答えた人（869 人）にその理由を聞いたところ、「長年住んでいるため」（55.7%）が５割半ばとなっています。次いで「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」（38.2%）、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」（37.6%）、「治安が良く安心して暮らせるため」（28.2%）、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」（28.2%）となっています。
（図２－３－20）

① 性別

性別でみると、「長年住んでいるため」が男女ともに第１位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」が男性（36.8%）で、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」が女性（43.8%）で第２位になっています。（表２－３－１）

表２－３－１　愛着を感じる理由（性別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		869	長年住んでいるため 55.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.6	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2	
性別	男性	345	長年住んでいるため 54.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.1	治安が良く安心して暮らせるため 27.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.0
	女性	504	長年住んでいるため 55.6	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 43.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.6	治安が良く安心して暮らせるため 28.0

②　年代別

年代別でみると、「長年住んでいるため」は 10 歳代、60～64 歳を除く、すべての年代で第１位となっています。「通勤･通学や暮らしに便利な道路･交通網があるため」は 60～64 歳(70.3%)で、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は 65～69 歳（56.4%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」が 40 歳代（30.7%）で第３位、30 歳代（29.1%）で第４位となっています。また、「医療・福祉・介護サービスが充実している」が 70～74 歳（27.1%）、75 歳以上（31.5%）で第５位となっています。（表２－３－２）

表２－３－２　愛着を感じる理由（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		869	長年住んでいるため 55.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.6	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2	
年代別	10　歳　代	16	治安が良く安心して暮らせるため 50.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／長年住んでいるため 43.8		にぎわいのある商店街があるため／職場・学校が近いため／区のイメージが良いため 31.3	
	20　歳　代	84	長年住んでいるため 53.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.1	治安が良く安心して暮らせるため／家族や親戚が近くに住んでいるため 29.8		消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.4
	30　歳　代	117	長年住んでいるため 41.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.2	子育てしやすい環境であるため 29.1	にぎわいのある商店街があるため 27.4
	40　歳　代	153	長年住んでいるため 51.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.3	子育てしやすい環境であるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.7		治安が良く安心して暮らせるため 24.2
	50　歳　代	176	長年住んでいるため 55.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.7	にぎわいのある商店街があるため／治安が良く安心して暮らせるため／家族や親戚が近くに住んでいるため 22.7
	60 ～ 64 歳	64	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 70.3	長年住んでいるため 68.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 45.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.5	治安が良く安心して暮らせるため 35.9
	65 ～ 69 歳	94	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／長年住んでいるため 56.4		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.4	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.0	
	70 ～ 74 歳	70	長年住んでいるため 71.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 47.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 40.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため 27.1
	75 歳 以 上	89	長年住んでいるため 60.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.7	治安が良く安心して暮らせるため 32.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 31.5

③ 地域別

地域別でみると、「長年住んでいるため」はすべての地域で第１位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」が板橋地域（46.1%）で第２位になっています。（表２－３－３）

表２－３－３　愛着を感じる理由（地域別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		869	長年住んでいるため 55.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.6	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2	
地域別	板橋地域	232	長年住んでいるため 49.6	にぎわいのある商店街があるため 46.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 44.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.8	治安が良く安心して暮らせるため 27.2
	常盤台地域	117	長年住んでいるため 60.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.8	治安が良く安心して暮らせるため 29.1
	志村地域	188	長年住んでいるため 58.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 30.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2
	赤塚地域	169	長年住んでいるため 50.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 37.3	治安が良く安心して暮らせるため 28.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.2
	高島平地域	155	長年住んでいるため 61.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 34.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため 25.2

④ 職業別

職業別でみると、「長年住んでいるため」はすべての職業で第１位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」が自営業・自由業(29.6%)で第４位、無職（30.4%）で第５位となっています。（表２－３－４）

表２－３－４　愛着を感じる理由（職業別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		869	長年住んでいるため 55.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.6	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2	
職業別	会社員・公務員	379	長年住んでいるため 49.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.4	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.2	治安が良く安心して暮らせるため 27.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.1
	自営業・自由業	54	長年住んでいるため 68.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.8
	会社役員	18	長年住んでいるため 61.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.4	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／にぎわいのある商店街があるため／職場・学校が近いため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.8		
	主婦・主夫	118	長年住んでいるため 59.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 51.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	家族や親戚が近くに住んでいるため 33.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 32.2
	学生	28	長年住んでいるため 50.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.9	治安が良く安心して暮らせるため 39.3	にぎわいのある商店街があるため 28.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため　他※ 21.4
	アルバイト・パート	120	長年住んでいるため 62.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 45.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 35.0	治安が良く安心して暮らせるため 33.3
	無職	135	長年住んでいるため 60.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 39.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.9	治安が良く安心して暮らせるため 31.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 30.4
	その他	12	長年住んでいるため 58.3	にぎわいのある商店街があるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.7		健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため／医療・福祉・介護サービスが充実しているため／家族や親戚が近くに住んでいるため 33.3	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「長年住んでいるため」はすべての世帯構成で第１位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」が単身世帯（32.9%）で、「子育てしやすい環境であるため」が二世代同居（子と同居）（32.5%）で第４位となっています。（表２－３－５）

表２－３－５　愛着を感じる理由（世帯構成別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		869	長年住んでいるため 55.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.6	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2	
世帯構成別	単身世帯	167	長年住んでいるため 47.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.7	にぎわいのある商店街があるため 32.9	治安が良く安心して暮らせるため 29.3
	夫婦のみ	197	長年住んでいるため 57.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 47.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.0	治安が良く安心して暮らせるため 29.9
	二世代同居（子と同居）	320	長年住んでいるため 49.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.9	子育てしやすい環境であるため 32.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.1
	二世代同居（親と同居）	135	長年住んでいるため 77.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	家族や親戚が近くに住んでいるため 28.1	治安が良く安心して暮らせるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 25.9	
	三世代同居	30	長年住んでいるため 56.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため 33.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.0
	その他	20	長年住んでいるため 55.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 45.0		図書館など生涯学習のための環境が充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.0	

⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、「長年住んでいるため」は 65～74 歳の家族（62.8%）、75 歳以上の家族（77.2%）、その他の家族（56.2%）と同居している方で第１位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は未就学児（51.6%）、小学生（57.5%）、中学生（56.3%）と同居している方で第１位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実している」が 75 歳以上の家族(28.3%)と同居している方で第５位となっています。（表２－３－６）

表２－３－６　愛着を感じる理由（同居家族別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		869	長年住んでいるため 55.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.6	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2	
同居家族別	未就学児	95	子育てしやすい環境であるため 51.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／長年住んでいるため 26.3		治安が良く安心して暮らせるため 25.3
	小学生	80	子育てしやすい環境であるため 57.5	長年住んでいるため 38.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.5	家族や親戚が近くに住んでいるため 26.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため　他※ 23.8
	中学生	48	子育てしやすい環境であるため 56.3	長年住んでいるため 50.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 47.9	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.0
	65～74歳の家族	113	長年住んでいるため 62.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 47.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.1	治安が良く安心して暮らせるため 28.3
	75歳以上の家族	92	長年住んでいるため 77.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため 28.3
	その他の家族	438	長年住んでいるため 56.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.1	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.6	治安が良く安心して暮らせるため 27.2

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、「長年住んでいるため」は社宅・寮・間借り・住込みを除く、すべての住居形態で第１位となっています。（表２－３－７）

表２－３－７　愛着を感じる理由（住居形態別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		869	長年住んでいるため 55.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.6	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2	
住居形態別	一戸建（持ち家）	311	長年住んでいるため 68.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.3	治安が良く安心して暮らせるため 28.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.7
	一戸建（賃貸）	21	長年住んでいるため 52.4	地域コミュニティが親しみやすいため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／楽しい祭り・イベントがあるため 28.6			子育てしやすい環境であるため／にぎわいのある商店街があるため　他※ 23.8
	マンション（持ち家）	260	長年住んでいるため 50.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 42.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.8	治安が良く安心して暮らせるため 28.5
	マンション・アパート（賃貸）	200	長年住んでいるため 42.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 35.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため 31.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.5
	都市再生機構・公社・都営・区営住宅	56	長年住んでいるため 69.6	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 37.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.7		医療・福祉・介護サービスが充実しているため　他※ 25.0
	社宅・寮・間借り・住込み	18	にぎわいのある商店街があるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.3			長年住んでいるため 27.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／職場・学校が近いため　他※ 22.2
	その他（ケア付住宅など）	2	家族や親戚が近くに住んでいるため／長年住んでいるため／その他 50.0				

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、「長年住んでいるため」は 10 年以上 20 年未満（47.7%）、20 年以上（66.9%）、生まれたときから（85.0%）で第１位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は１年以上５年未満（36.4%）、５年以上 10 年未満（41.8%）で第１位となっています。また、「治安が良く安心して暮らせるため」が１年以上５年未満（36.4%）で同率の第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」が５年以上 10 年未満（29.7%）で第４位、１年以上５年未満（29.9%）で第５位となっています。また、「にぎわいのある商店街があるため」が５年以上 10 年未満（30.8%）で第３位、10 年以上 20 年未満（30.1%）で第４位、１年以上５年未満（29.9%）で第５位となっています。（表２－３－８）

表２－３－８　愛着を感じる理由（居住年数別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		869	長年住んでいるため 55.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 38.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.6	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2	
居住年数別	１年未満	28	にぎわいのある商店街があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 42.9		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 39.3	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.1	
	１年以上５年未満	77	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.4		消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 35.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 32.5	子育てしやすい環境であるため／にぎわいのある商店街があるため 29.9
	５年以上10年未満	91	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 33.0	にぎわいのある商店街があるため 30.8	子育てしやすい環境であるため 29.7	治安が良く安心して暮らせるため 28.6
	10年以上20年未満	153	長年住んでいるため 47.7	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 43.8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.3	にぎわいのある商店街があるため 30.1	治安が良く安心して暮らせるため 28.8
	20年以上	353	長年住んでいるため 66.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 40.2		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.2	治安が良く安心して暮らせるため 27.2
	生まれたときから	160	長年住んでいるため 85.0	家族や親戚が近くに住んでいるため 35.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.6	治安が良く安心して暮らせるため 他※ 26.9

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

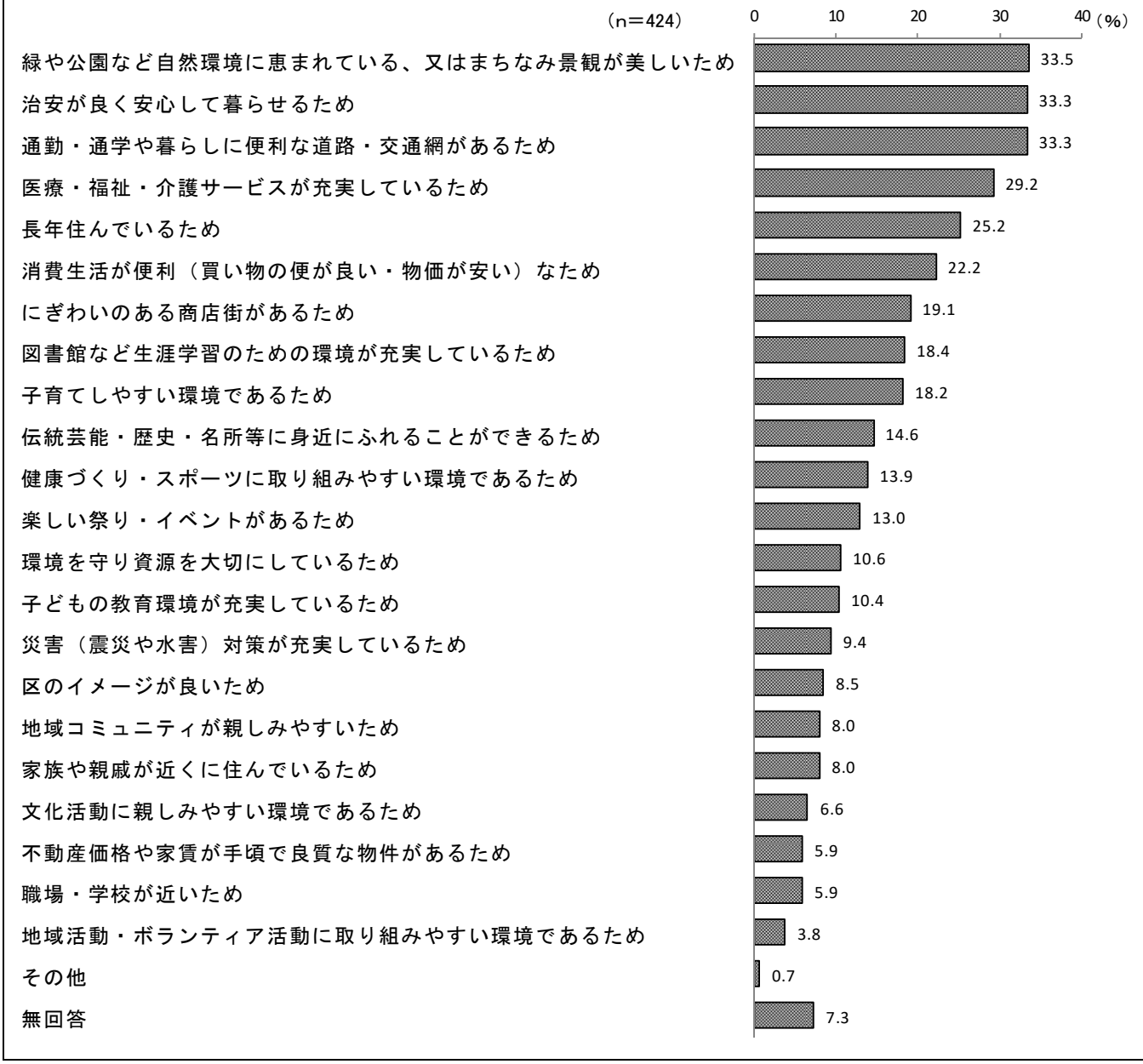
（３－３）誇りを感じる理由

◇「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」が３割超え

（問４で、板橋区に誇りを「１　感じる」「２　まあ感じる」と回答した方のみ）

問４－１　「誇りを感じる」理由をそれぞれ５つまで選んで下の表に番号を記入してください。

図２－３－21



問４で、板橋区に誇りを「感じる」「まあ感じる」と答えた人（424 人）にその理由を聞いたところ、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」（33.5%）が３割を超えて最も高く、次いで「治安が良く安心して暮らせるため」（33.3%）、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」（33.3%）、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」（29.2%）、「長年住んでいるため」（25.2%）、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」（22.2%）となっています。（表２－３－21）

① 性別

性別でみると、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」が男性（33.5%）で、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」が女性（36.0%）で第１位となっています。（表２－３－９）

表２－３－９　誇りを感じる理由（性別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		424	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.2	長年住んでいるため 25.2
性別	男性	176	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 33.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 31.3	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.7		長年住んでいるため 29.0
	女性	239	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 35.1	治安が良く安心して暮らせるため 34.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 27.2	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 23.0

② 年代別

年代別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は 20 歳代（35.5%）、40 歳代（39.1%）、50 歳代（37.2%）で第１位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は 60～64 歳（44.4%）、65～69 歳（37.7%）、70～74 歳（40.5%）で第１位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は 30 歳代（34.0%）、60～64 歳（44.4%）、75 歳以上（41.7%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」が 40 歳代（33.3%）で第３位となっています。また、「にぎわいのある商店町があるため」が 30 歳代（25.5%）で第３位、50 歳代（21.3%）で第５位となっています。（表２－３－10）

表２－３－10　誇りを感じる理由（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		424	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.2	長年住んでいるため 25.2
年代別	10　歳　代	8	にぎわいのある商店街があるため 62.5	治安が良く安心して暮らせるため 50.0	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／区のイメージが良いため／長年住んでいるため 25.0		
	20　歳　代	31	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／長年住んでいるため 32.3			
	30　歳　代	47	治安が良く安心して暮らせるため 34.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.7	にぎわいのある商店街があるため／長年住んでいるため 25.5		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.4
	40　歳　代	69	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.2	子育てしやすい環境であるため 33.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため 30.4	
	50　歳　代	94	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.9	治安が良く安心して暮らせるため 29.8	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 23.4	にぎわいのある商店街があるため 21.3
	60 ～ 64 歳	36	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため 44.4		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 38.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／長年住んでいるため 36.1	
	65 ～ 69 歳	53	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 37.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／長年住んでいるため 34.0		治安が良く安心して暮らせるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 28.3
	70 ～ 74 歳	37	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／長年住んでいるため 35.1			図書館など生涯学習のための環境が充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため 29.7
	75 歳 以 上	48	治安が良く安心して暮らせるため 41.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 35.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 27.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／長年住んでいるため 22.9	

③ 地域別

地域別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は常盤台地域（36.8%）、高島平地域（46.2%）で第１位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は板橋地域（40.7%）で、「治安が良く安心して暮らせるため」は志村地域(43.4%)で、「通勤･通学や暮らしに便利な道路･交通網があるため」は赤塚地域(44.2%)で第１位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」が板橋地域（32.7%）で第３位、「健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため」が高島平地域（24.6%）で第３位となっています。(表２－３－11)

表２－３－11　誇りを感じる理由（地域別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		424	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.2	長年住んでいるため 25.2
地域別	板橋地域	113	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.3	にぎわいのある商店街があるため 32.7	治安が良く安心して暮らせるため 30.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.4
	常盤台地域	57	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.8	治安が良く安心して暮らせるため 33.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 31.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 24.6	長年住んでいるため 22.8
	志村地域	99	治安が良く安心して暮らせるため 43.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 31.3	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.3
	赤塚地域	86	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.2	治安が良く安心して暮らせるため 33.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.1	長年住んでいるため 23.3	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため　他※ 20.9
	高島平地域	65	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 46.2	長年住んでいるため 26.2	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 24.6	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.1	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

④ 職業別

職業別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は会社員・公務員（33.9%）、主婦・主夫（36.7%）で第１位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は主婦・主夫（36.7%）、無職（42.5%）で第１位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はアルバイト・パート（39.7%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「図書館など生涯学習のための環境が充実しているため」が主婦・主夫（28.3%）で第４位、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」がアルバイト・パート（27.6%）で第４位となっています。（表２－３－12）

表２－３－12　誇りを感じる理由（職業別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		424	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.2	長年住んでいるため 25.2
職業別	会社員・公務員	180	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.8	治安が良く安心して暮らせるため 30.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.1	長年住んでいるため 23.3
	自営業・自由業	26	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 53.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／長年住んでいるため 30.8		治安が良く安心して暮らせるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 26.9	
	会社役員	6	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため／災害（震災や水害）対策が充実しているため 33.3		子育てしやすい環境であるため／健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため／図書館など生涯学習のための環境が充実しているため／医療・福祉・介護サービスが充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため　他※ 16.7		
	主婦・主夫	60	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.7			図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 28.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.7
	学生	12	にぎわいのある商店街があるため 75.0	治安が良く安心して暮らせるため 50.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／長年住んでいるため 41.7		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3
	アルバイト・パート	58	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.9	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.6	長年住んでいるため 24.1
	無職	73	治安が良く安心して暮らせるため 42.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 34.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／長年住んでいるため 32.9		消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.1
	その他	4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため／職場・学校が近いため 75.0		健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 50.0	子育てしやすい環境であるため／子どもの教育環境が充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため　他※ 25.0	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は夫婦のみ（46.7%）等で、「治安が良く安心して暮らせるため」は単身世帯（39.3%）で、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は二世代同居（子と同居）（31.9%）、三世代同居（58.8%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」が単身世帯（32.1%）で第２位、「子育てしやすい環境であるため」が二世代同居（子と同居）（25.6%）、三世代同居（29.4%）で第５位となっています。（表２－３－13）

表２－３－13　誇りを感じる理由（世帯構成別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		424	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.2	長年住んでいるため 25.2
世帯構成別	単身世帯	84	治安が良く安心して暮らせるため 39.3	にぎわいのある商店街があるため 32.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.6	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 27.4
	夫婦のみ	92	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 46.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 39.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.0	治安が良く安心して暮らせるため 35.9	長年住んでいるため 27.2
	二世代同居（子と同居）	160	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 31.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 28.8	治安が良く安心して暮らせるため 27.5	子育てしやすい環境であるため 25.6
	二世代同居（親と同居）	62	長年住んでいるため 43.5	治安が良く安心して暮らせるため 33.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.2
	三世代同居	17	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 58.8	治安が良く安心して暮らせるため 47.1	子育てしやすい環境であるため／図書館など生涯学習のための環境が充実しているため／医療・福祉・介護サービスが充実しているため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.4		
	その他	9	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 55.6		伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため／消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため／長年住んでいるため 33.3		

⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は 65～74 歳の家族（36.7%）と同居している方で第１位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は 75 歳以上の家族（45.5%）と同居している方で第１位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は 75 歳以上の家族（45.5%）、その他の家族（34.4%）と同居している方で第１位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は、未就学児（39.0%）、小学生（38.5%）、中学生（47.8%）と同居している方で第１位となっています。（表２－３－14）

表２－３－14　誇りを感じる理由（同居家族別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		424	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.2	長年住んでいるため 25.2
同居家族別	未就学児	41	子育てしやすい環境であるため 39.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 36.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.1	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.7	
	小学生	39	子育てしやすい環境であるため 38.5	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 35.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 30.8
	中学生	23	子育てしやすい環境であるため 47.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 39.1	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 34.8	子どもの教育環境が充実しているため／図書館など生涯学習のための環境が充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため／楽しい祭り・イベントがあるため 30.4	
	65～74歳の家族	60	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.7	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／長年住んでいるため 35.0			医療・福祉・介護サービスが充実しているため 33.3
	75歳以上の家族	44	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 45.5		長年住んでいるため 38.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 36.4	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 29.5
	その他の家族	212	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.0	治安が良く安心して暮らせるため 31.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 28.3	長年住んでいるため 22.6

⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」はマンション・アパート（賃貸）（36.5%）で第１位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は一戸建（持ち家）（36.3%）、マンション（持ち家）（41.5%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」が社宅・寮・間借り・住込み（54.5%）で第１位、一戸建（賃貸）（30.0%）で第２位、マンション・アパート（賃貸）（28.2%）で第３位、「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」がマンション（持ち家）（30.1%）で第４位となっています。（表２－３－15）

表２－３－15　誇りを感じる理由（住居形態別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		424	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.2	長年住んでいるため 25.2
住居形態別	一戸建（持ち家）	168	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.3	治安が良く安心して暮らせるため 35.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 32.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 31.0	長年住んでいるため 27.4
	一戸建（賃貸）	10	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 50.0	子育てしやすい環境であるため／子どもの教育環境が充実しているため／にぎわいのある商店街があるため／治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.0			
	マンション（持ち家）	123	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.6	治安が良く安心して暮らせるため 32.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 30.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.3
	マンション・アパート（賃貸）	85	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.5	治安が良く安心して暮らせるため 34.1	にぎわいのある商店街があるため 28.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 27.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 24.7
	都市再生機構・公社・都営・区営住宅	24	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 33.3	治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／長年住んでいるため 29.2			図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 25.0
	社宅・寮・間借り・住込み	11	にぎわいのある商店街があるため 54.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため／楽しい祭り・イベントがあるため 36.4		医療・福祉・介護サービスが充実しているため／治安が良く安心して暮らせるため／伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため　他※ 18.2	
	その他（ケア付住宅など）	2	にぎわいのある商店街があるため／治安が良く安心して暮らせるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／長年住んでいるため 50.0				

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は 20 年以上（36.4%）で第１位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は１年以上５年未満（41.4%）、５年以上 10 年未満（37.5%）、10 年以上 20 年未満（34.2%）で第１位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は生まれたときから（41.2%）、１年未満（50.0%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」が 10 年以上、20 年未満（31.5%）で第２位、５年以上 10 年未満（30.0%）で第３位となっています。（表２－３－16）

表２－３－16　誇りを感じる理由（居住年数別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		424	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 33.5	治安が良く安心して暮らせるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.2	長年住んでいるため 25.2
居住年数別	１年未満	10	治安が良く安心して暮らせるため 50.0	にぎわいのある商店街があるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.0			不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため　他※ 30.0
	１年以上５年未満	29	子育てしやすい環境であるため／通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.4		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.9	治安が良く安心して暮らせるため 31.0	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 27.6
	５年以上10年未満	40	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.5	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため 32.5	にぎわいのある商店街があるため 30.0	治安が良く安心して暮らせるため 27.5	楽しい祭り・イベントがあるため 25.0
	10年以上20年未満	73	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 34.2	にぎわいのある商店街があるため／緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.5		治安が良く安心して暮らせるため 27.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.3
	20年以上	184	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.4	治安が良く安心して暮らせるため 32.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 31.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.9	長年住んでいるため 29.3
	生まれたときから	85	治安が良く安心して暮らせるため 41.2	長年住んでいるため 36.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 35.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 34.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 31.8

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

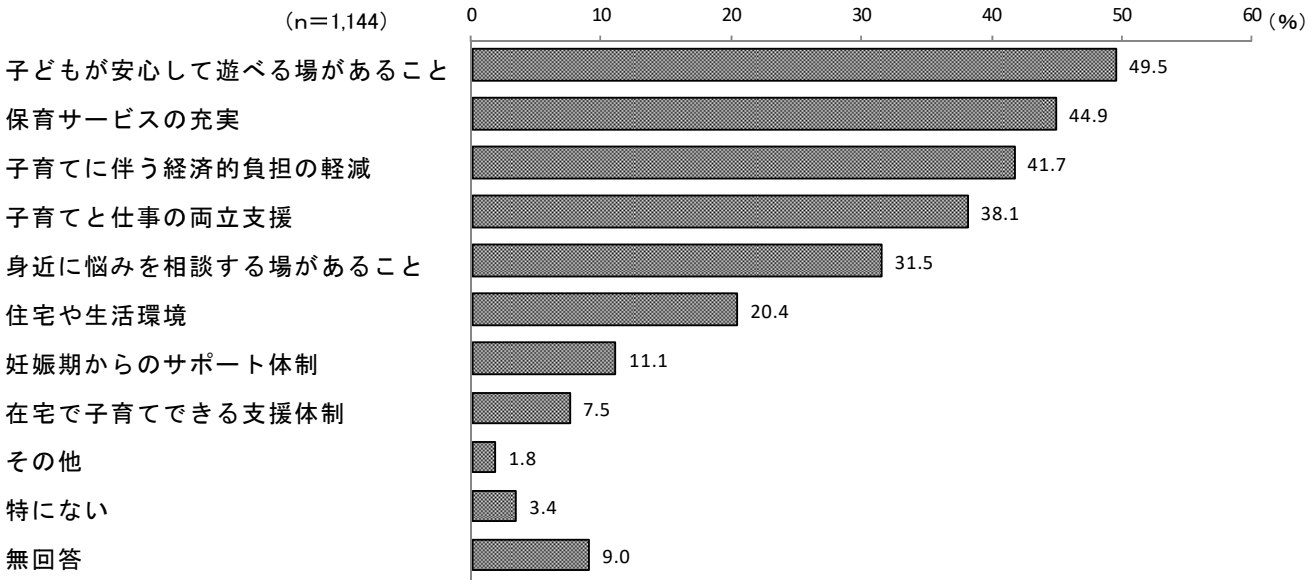
３.「子育て安心」について

（１）地域における子育て支援策

◇「子どもが安心して遊べる場があること」が約５割

問５　子育て世帯の方々が、地域において安心して子育てするために、あなたが重要だと思うものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図３－１－１



地域において安心して子育てできるために重要だと思うものを聞いたところ、「子どもが安心して遊べる場があること」(49.5%)が約５割で最も高く、次いで「保育サービスの充実」(44.9%)、「子育てに伴う経済的負担の軽減」(41.7%)、「子育てと仕事の両立支援」(38.1%)、「身近に悩みを相談する場があること」(31.5%) となっています。(図３－１－１)

①　年代別

年代別でみると、「子どもが安心して遊べる場があること」は 20 歳代、30 歳代を除く、すべての年代で第１位となっています。「子育てに伴う経済的負担の軽減」は 20 歳代（61.6%）で、「保育サービスの充実」は 30 歳代（56.6%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「住宅や生活環境」が 20 歳代（25.0%）、30 歳代（23.4%）で第５位となっています。（表３－１－１）

表３－１－１　地域における子育て支援策（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	子どもが安心して遊べる場があること 49.5	保育サービスの充実 44.9	子育てに伴う経済的負担の軽減 41.7	子育てと仕事の両立支援 38.1	身近に悩みを相談する場があること 31.5
年代別	10　歳　代	18	子どもが安心して遊べる場があること 55.6	子育てに伴う経済的負担の軽減 50.0	保育サービスの充実 44.4	子育てと仕事の両立支援 33.3	身近に悩みを相談する場があること 27.8
	20　歳　代	112	子育てに伴う経済的負担の軽減 61.6	保育サービスの充実 58.0	子育てと仕事の両立支援 44.6	子どもが安心して遊べる場があること 40.2	住宅や生活環境 25.0
	30　歳　代	175	保育サービスの充実 56.6	子育てに伴う経済的負担の軽減／子どもが安心して遊べる場があること 55.4		子育てと仕事の両立支援 48.0	住宅や生活環境 23.4
	40　歳　代	193	子どもが安心して遊べる場があること 59.1	子育てに伴う経済的負担の軽減 53.4	保育サービスの充実 43.5	子育てと仕事の両立支援 37.8	身近に悩みを相談する場があること 34.7
	50　歳　代	212	子どもが安心して遊べる場があること 54.7	保育サービスの充実 47.2	身近に悩みを相談する場があること 40.6	子育てと仕事の両立支援 37.3	子育てに伴う経済的負担の軽減 36.3
	60 ～ 64 歳	88	子どもが安心して遊べる場があること 52.3	保育サービスの充実 50.0	子育てと仕事の両立支援 40.9	身近に悩みを相談する場があること 35.2	子育てに伴う経済的負担の軽減 31.8
	65 ～ 69 歳	118	子どもが安心して遊べる場があること 45.8	身近に悩みを相談する場があること／保育サービスの充実 41.5		子育てに伴う経済的負担の軽減／子育てと仕事の両立支援 36.4	
	70 ～ 74 歳	96	子どもが安心して遊べる場があること 43.8	保育サービスの充実 38.5	身近に悩みを相談する場があること 37.5	子育てと仕事の両立支援 36.5	子育てに伴う経済的負担の軽減 31.3
	75 歳 以 上	123	子どもが安心して遊べる場があること 33.3	身近に悩みを相談する場があること 26.8	子育てと仕事の両立支援 22.8	保育サービスの充実 21.1	子育てに伴う経済的負担の軽減 16.3

②　同居家族別

同居家族別でみると、「子どもが安心して遊べる場があること」は未就学児（68.5%）、小学生（69.2%）、75 歳以上の家族（40.4%）、その他の家族（53.7%）と同居している方で第１位となっています。「子育てに伴う経済的負担の軽減」は中学生（65.0%）と同居している方で、「保育サービスの充実」は 65～74 歳の家族（49.6%）と同居している方で第１位となっています。

その他の特徴として、「住宅や生活環境」が未就学児（23.8%）と同居している方で第５位となっています。（表３－１－２）

表３－１－２　地域における子育て支援策（同居家族別）

（%）

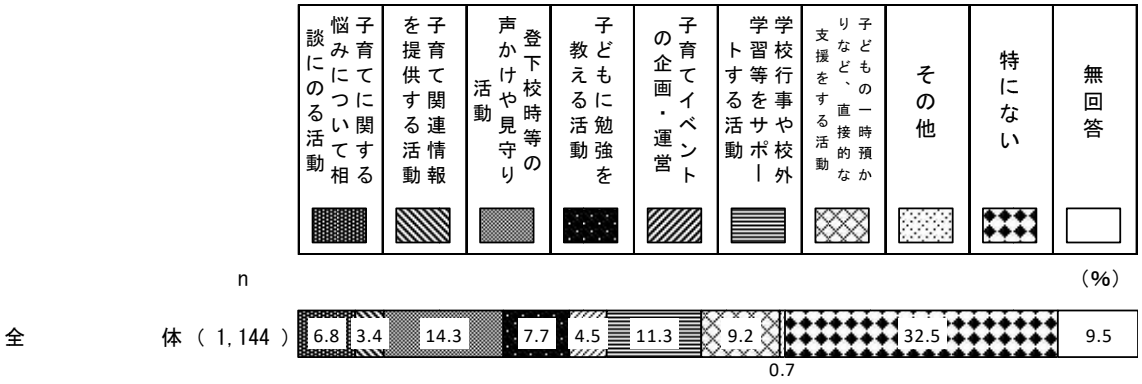
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	子どもが安心して遊べる場があること 49.5	保育サービスの充実 44.9	子育てに伴う経済的負担の軽減 41.7	子育てと仕事の両立支援 38.1	身近に悩みを相談する場があること 31.5
同居家族別	未就学児	130	子どもが安心して遊べる場があること 68.5	保育サービスの充実 57.7	子育てに伴う経済的負担の軽減 53.8	子育てと仕事の両立支援 41.5	住宅や生活環境 23.8
	小学生	104	子どもが安心して遊べる場があること 69.2	子育てに伴う経済的負担の軽減 56.7	子育てと仕事の両立支援 37.5	保育サービスの充実 36.5	身近に悩みを相談する場があること 34.6
	中学生	60	子育てに伴う経済的負担の軽減 65.0	子どもが安心して遊べる場があること 61.7	保育サービスの充実 41.7	身近に悩みを相談する場があること 33.3	子育てと仕事の両立支援 25.0
	65～74 歳の家族	139	保育サービスの充実 49.6	子どもが安心して遊べる場があること 46.0	子育てに伴う経済的負担の軽減 41.7	子育てと仕事の両立支援 41.0	身近に悩みを相談する場があること 34.5
	75 歳以上の家族	114	子どもが安心して遊べる場があること 40.4	子育てと仕事の両立支援 38.6	保育サービスの充実 37.7	身近に悩みを相談する場があること 36.0	子育てに伴う経済的負担の軽減 35.1
	その他の家族	564	子どもが安心して遊べる場があること 53.7	保育サービスの充実 47.3	子育てに伴う経済的負担の軽減 43.6	子育てと仕事の両立支援 42.0	身近に悩みを相談する場があること 30.9

（２）地域における子育てを支える担い手

◇「特にない」が３割超え

問６　地域における子育てを支える担い手として、あなたが参加してみたいと思うものはありますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図３－２－１

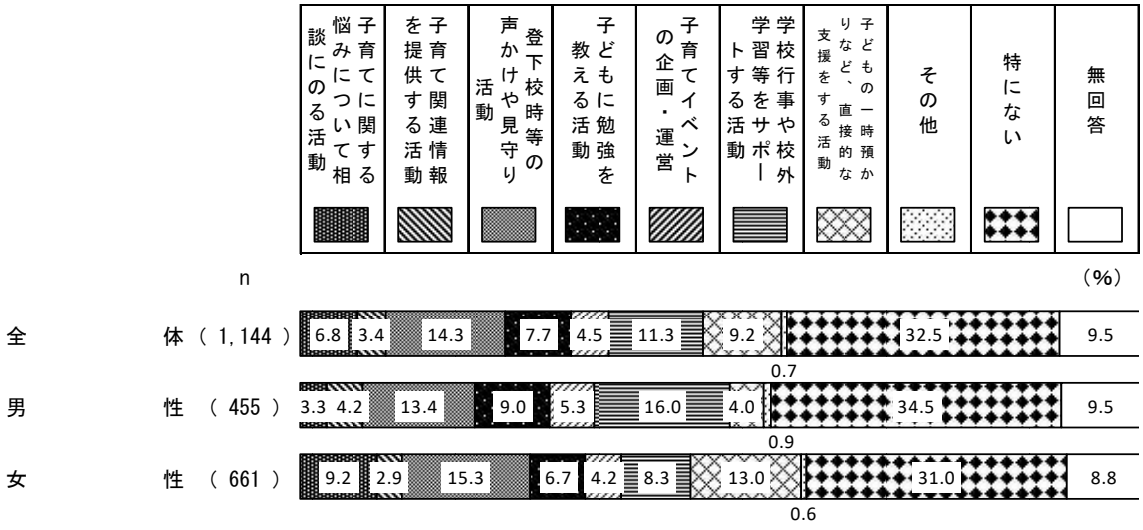


地域における子育てを支える担い手として、参加してみたいと思うものを聞いたところ、「特にない」(32.5%)が３割を超えています。次いで、「登下校時等の声かけや見守り活動」(14.3%)、「学校行事や校外学習等をサポートする活動」（11.3%）が１割台となっています。
（図３－２－１）

①　性別

性別でみると、「学校行事や校外学習等をサポートする活動」は男性（16.0%）が女性（8.3%）より 7.7 ポイント高くなっています。また、「子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動」は女性（13.0%）が男性（4.0%）より 9.0 ポイント高くなっています。また、「子育てに関する悩みについて相談にのる活動」は女性（9.2%）が男性（3.3%）より 5.9 ポイント高くなっています。（図３－２－２）

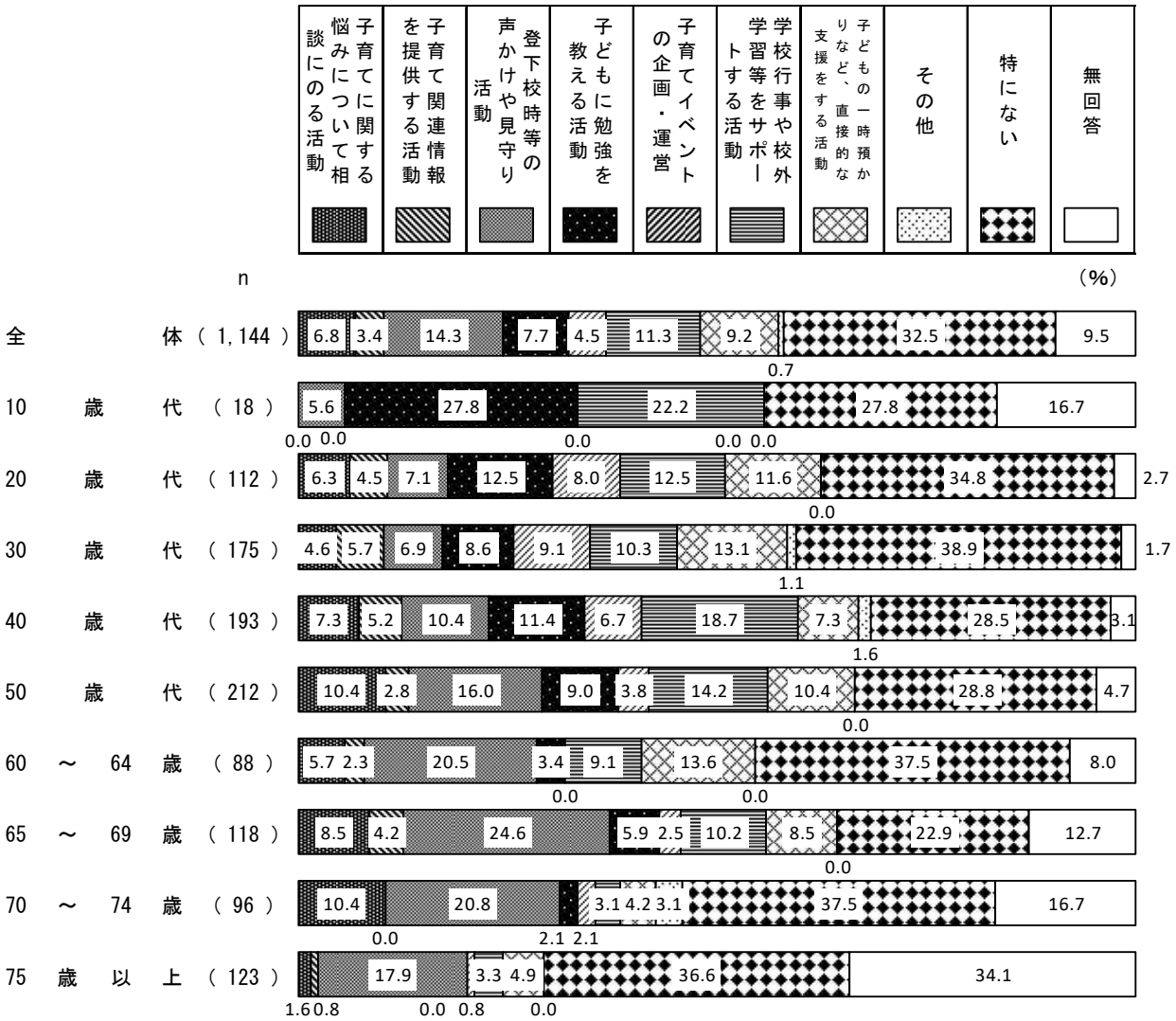
図３－２－２　地域における子育てを支える担い手（性別）



②　年代別

年代別でみると、「特にない」はすべての年代で最も高くなっています。「登下校時等の声かけや見守り活動」は 60～64 歳（20.5%）、65～69 歳（24.6%）、70～74 歳（20.8%）で２割台となっています。「学校行事や校外学習等をサポートする活動」は 10 歳代（22.2%）で２割超え、40 歳代（18.7%）では２割近くとなっています。また、「子育てに関する悩みについて相談のる活動」は 50 歳代（10.4%）、70～74 歳（10.4%）で１割、「子育てのイベントの企画・運営」は 20 歳代（8.0%）、30 歳代（9.1%）で１割近くとなっています。（図３－２－３）

図３－２－３　地域おける子育てを支える担い手（年代別）

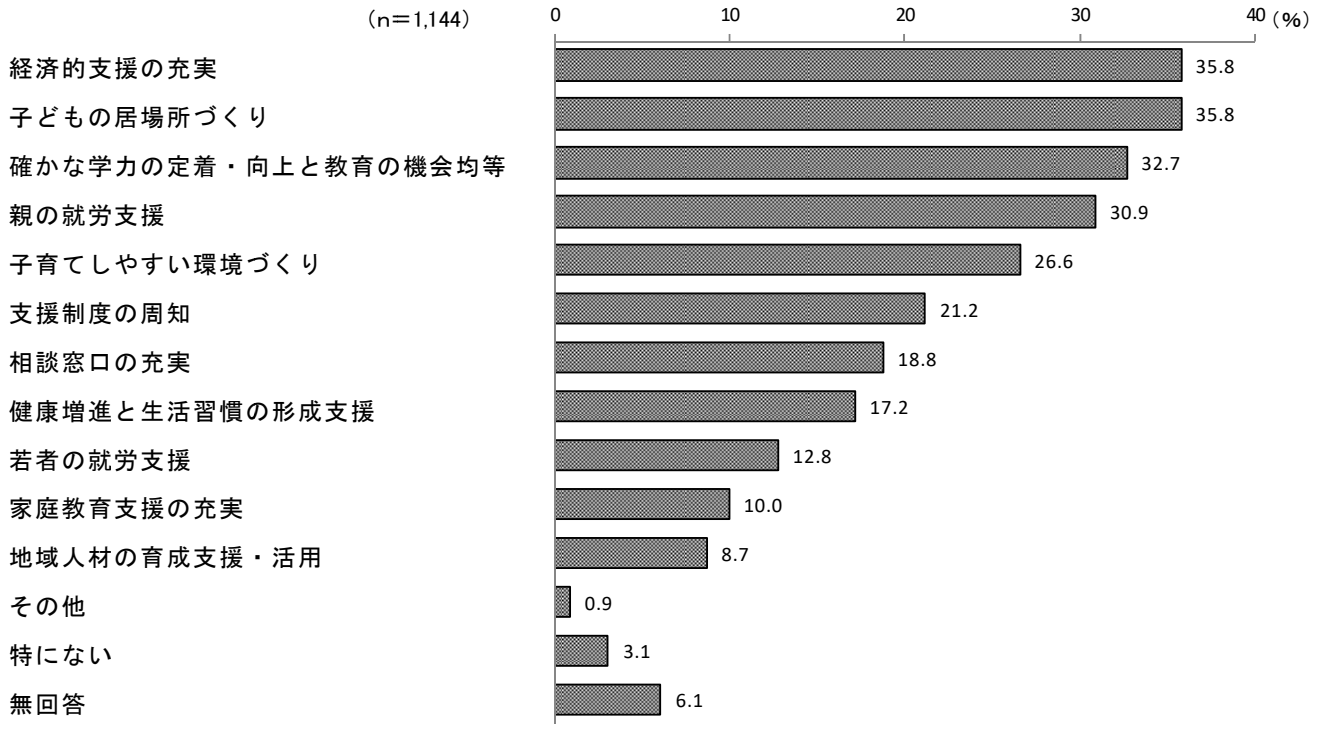


（３）子どもの貧困対策

◇「経済的支援の充実」と「子どもの居場所づくり」が３割半ば

問７　子どもの貧困対策として、重要だと思うものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図３－３－１



子どもの貧困対策として、重要だと思うものを聞いたところ、「経済的支援の充実」（35.8%）、「子どもの居場所づくり」（35.8%）が同率で３割半ばとなっています。次いで、「確かな学力の定着・向上と教育の機会均等」（32.7%）、「親の就労支援」（30.9%）、「子育てしやすい環境づくり」（26.6%）、「支援制度の周知」（21.2%）となっています。（図３－３－１）

①　年代別

年代別でみると、「経済的支援の充実」は 10 歳代（55.6%）、20 歳代（59.8%）、30 歳代（40.6%）で第１位となっています。「子どもの居場所づくり」は 10 歳代（55.6%）、40 歳代（43.5%）、50 歳代（40.6%）、60～64 歳（33.0%）、65～69 歳（35.6%）、70～74 歳（34.4%）で第１位となっています。「相談窓口の充実」は 75 歳以上（25.2%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「支援制度の周知」が 10 歳代（27.8%）、70～74 歳（24.0%）で第４位、20 歳代（24.1%）、40 歳代（21.8%）、65～69 歳（23.7%）で第５位となっています。（表３－３－１）

表３－３－１　子供の貧困対策（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	経済的支援の充実／子どもの居場所づくり 35.8		確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 32.7	親の就労支援 30.9	子育てしやすい環境づくり 26.6
年代別	10　歳　代	18	経済的支援の充実／子どもの居場所づくり 55.6		子育てしやすい環境づくり 33.3	健康増進と生活習慣の形成支援／支援制度の周知 27.8	
	20　歳　代	112	経済的支援の充実 59.8	子育てしやすい環境づくり 45.5	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 37.5	子どもの居場所づくり 25.9	支援制度の周知 24.1
	30　歳　代	175	経済的支援の充実 40.6	親の就労支援 38.9	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 38.3	子どもの居場所づくり 37.7	子育てしやすい環境づくり 30.9
	40　歳　代	193	子どもの居場所づくり 43.5	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 40.9	経済的支援の充実 37.3	親の就労支援 36.8	支援制度の周知 21.8
	50　歳　代	212	子どもの居場所づくり 40.6	親の就労支援 39.6	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 34.4	経済的支援の充実 30.2	子育てしやすい環境づくり 22.6
	60 ～ 64 歳	88	子どもの居場所づくり 33.0	親の就労支援／子育てしやすい環境づくり／経済的支援の充実 31.8			確かな学力の定着・向上と教育の機会均等／相談窓口の充実 29.5
	65 ～ 69 歳	118	子どもの居場所づくり 35.6	経済的支援の充実 30.5	親の就労支援 28.8	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 27.1	支援制度の周知 23.7
	70 ～ 74 歳	96	子どもの居場所づくり 34.4	経済的支援の充実 31.3	親の就労支援 28.1	子育てしやすい環境づくり／支援制度の周知 24.0	
	75 歳 以 上	123	相談窓口の充実 25.2	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等／経済的支援の充実／子どもの居場所づくり 23.6			子育てしやすい環境づくり 22.8

② 同居家族別

同居家族別でみると、「子どもの居場所づくり」は未就学児（46.2%）、小学生（49.0%）、中学生（51.7%）、65～74 歳の家族（38.8%）、75 歳以上の家族（32.5%）と同居している方で第１位となっています。「経済的支援の充実」は 65～74 歳の家族（38.8%）、その他の家族（37.9%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「支援制度の周知」が 65～74 歳の家族（28.1）で第４位となっています。（表３－３－２）

表３－３－２　子供の貧困対策（同居家族別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	経済的支援の充実／子どもの居場所づくり 35.8		確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 32.7	親の就労支援 30.9	子育てしやすい環境づくり 26.6
同居家族別	未就学児	130	子どもの居場所づくり 46.2	親の就労支援 44.6	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 40.8	経済的支援の充実 34.6	子育てしやすい環境づくり 28.5
	小学生	104	子どもの居場所づくり 49.0	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 44.2	親の就労支援 41.3	経済的支援の充実 36.5	子育てしやすい環境づくり 26.0
	中学生	60	子どもの居場所づくり 51.7	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 46.7	経済的支援の充実 45.0	親の就労支援／子育てしやすい環境づくり 30.0	
	65～74歳の家族	139	経済的支援の充実／子どもの居場所づくり 38.8		親の就労支援 30.2	支援制度の周知 28.1	子育てしやすい環境づくり 27.3
	75歳以上の家族	114	子どもの居場所づくり 32.5	経済的支援の充実 31.6	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 30.7	親の就労支援 29.8	子育てしやすい環境づくり 24.6
	その他の家族	564	経済的支援の充実 37.9	子どもの居場所づくり 37.6	親の就労支援 34.8	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等 32.6	子育てしやすい環境づくり 25.7

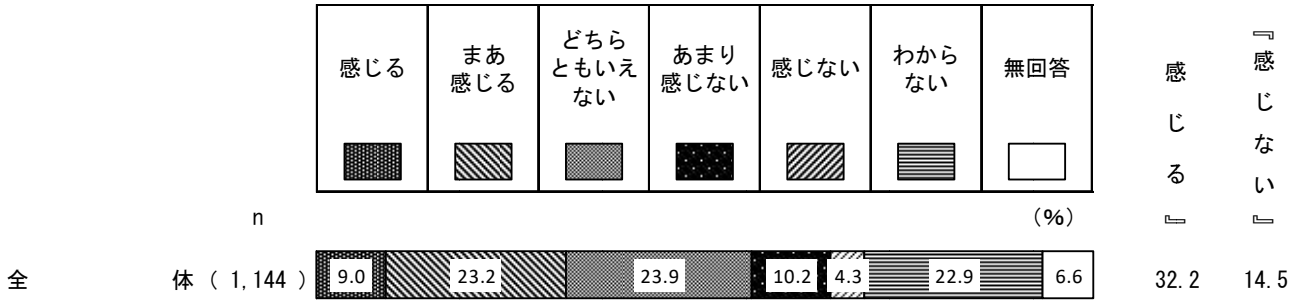
４．「魅力ある学び支援」について

（１）子どもたちのたくましく生きる力

◇『感じる』が３割超え

問８　子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図４－１－１

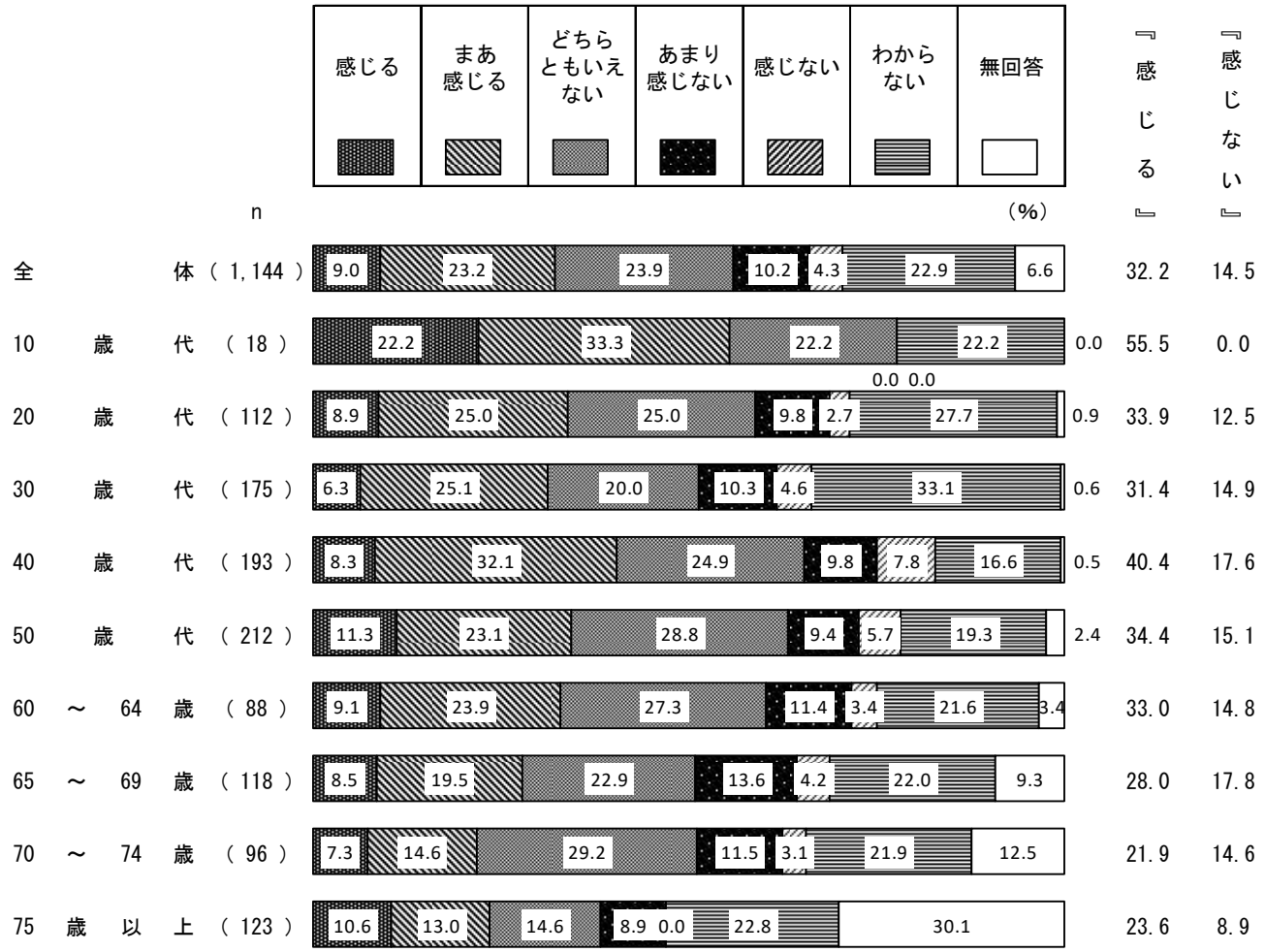


子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じるかを聞いたところ、「感じる」（9.0%）が約１割となり、これに「まあ感じる」（23.2%）を合わせた『感じる』（32.2%）は３割を超えています。一方、「あまり感じない」（10.2%）と「感じない」（4.3%）を合わせた『感じない』（14.5%）は１割半ばとなっています。また、「どちらともいえない」（23.9%）と「わからない」（22.9%）がそれぞれ２割台となっています。（図４－１－１）

①　年代別

年代別でみると、『感じる』は 10 歳代（55.5%）で５割半ば、40 歳代（40.4%）で４割、20 歳代（33.9%）、30 歳代（31.4%）、50 歳代（34.4%）、60～64 歳（33.0%）で３割台となっています。（図４－１－２）

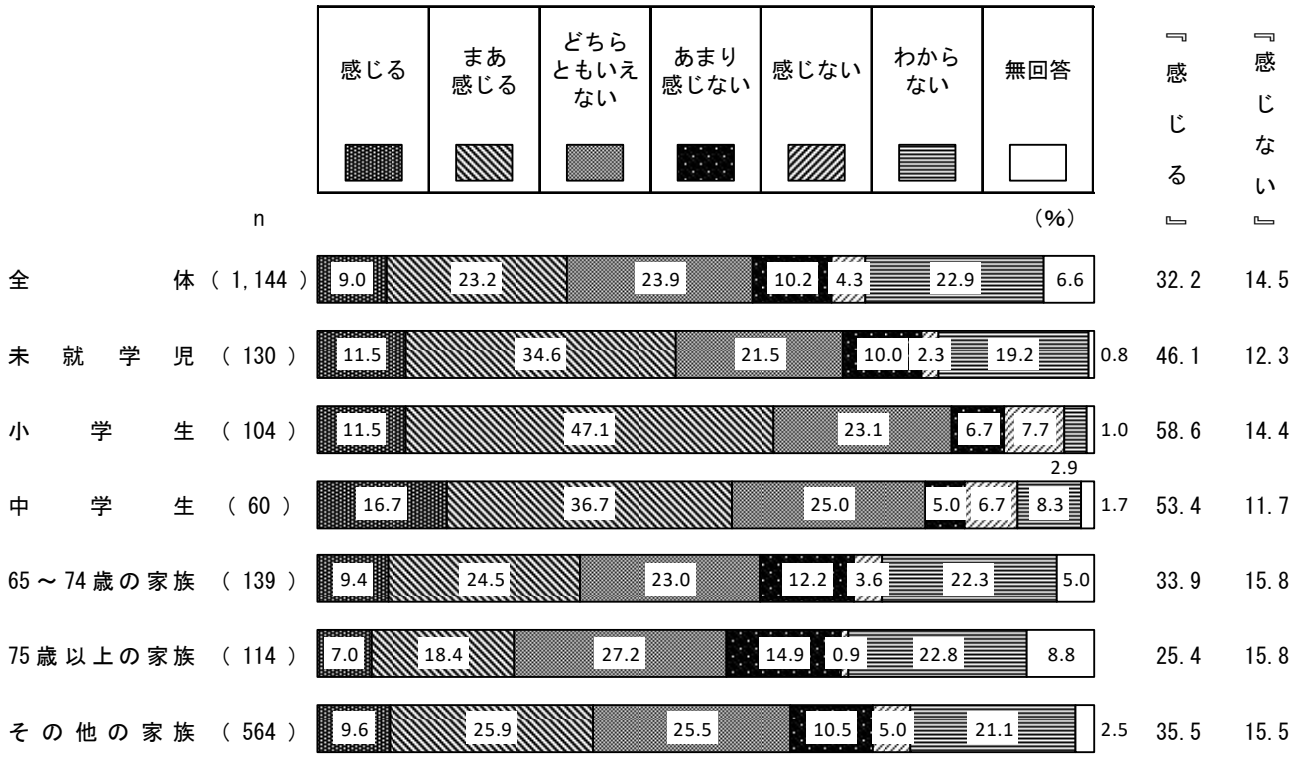
図４－１－２　子どもたちのたくましく生きる力（年代別）



②　同居家族別

同居家族別でみると、『感じる』は小学生（58.6%）、中学生（53.4%）と同居している方で５割台、未就学児（46.1%）と同居している方で４割半ばとなっています。（図４－１－３）

図４－１－３　子どもたちのたくましく生きる力（同居家族別）

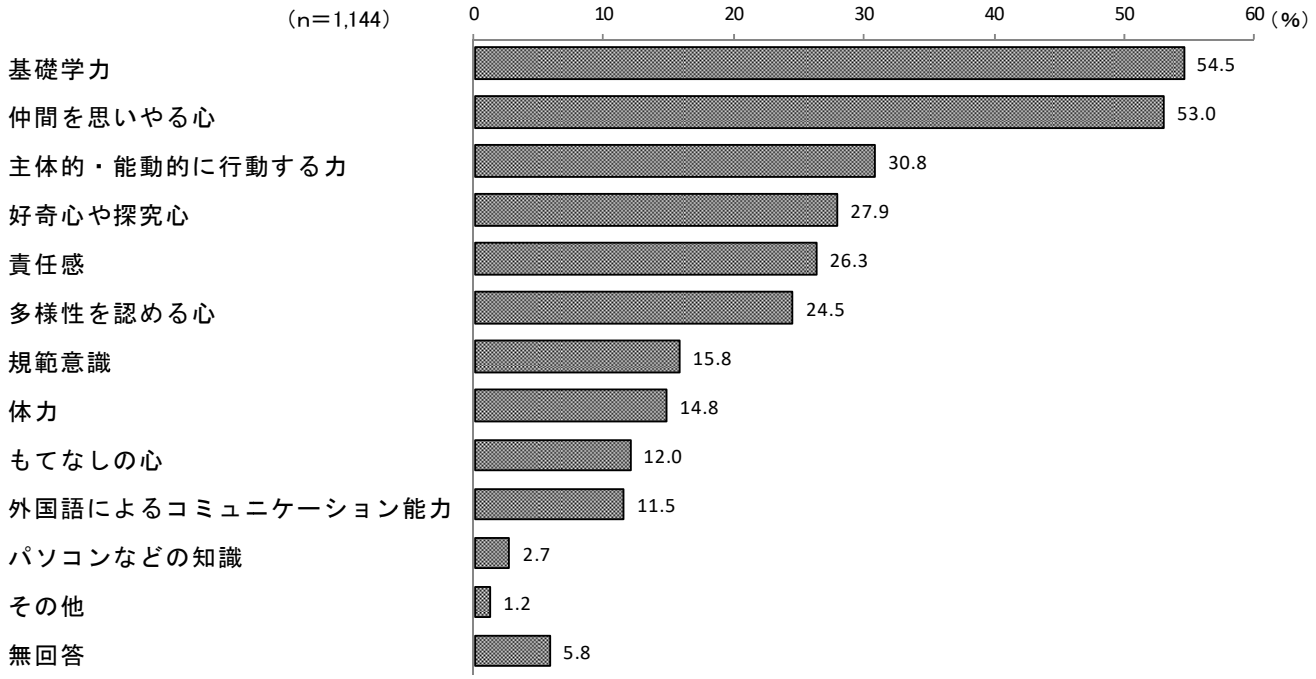


（２）学校教育を通じて身に付けてほしい力

◇「基礎学力」と「仲間を思いやる心」が５割台

問９　あなたが学校教育を通じて、子どもたちに身に付けてほしいと思う力は何ですか。該当するものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図４－２－１



学校教育を通じて、子どもたちに身に付けてほしいと思う力を聞いたところ、「基礎学力」（54.5%）、「仲間を思いやる心」（53.0%）が５割台となっています。次いで「主体的・能動的に行動する力」（30.8%）が約３割、「好奇心や探求心」（27.9%）、「責任感」（26.3%）、「多様性を認める心」（24.5%）が２割台となっています。（図４－２－１）

①　年代別

年代別でみると、「基礎学力」は 70 歳以上と 60～64 歳を除く、すべての年代で第１位となっています。「仲間を思いやる心」は 40 歳代（56.0%）、60～64 歳（65.9%）、65～69 歳（50.8%）、70～74 歳（58.3%）、75 歳以上（44.7%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「多様性を認める心」は 10 歳代（33.3%）、20 歳代（37.5%）で第４位、30 歳代（31.4%）、40 歳代（23.8%）、60～64 歳（21.6%）、75 歳以上（16.3%）で第５位となっています。また、「体力」が 75 歳以上（22.0%）で第４位、60～64 歳（21.6%）で第５位となっています。（表４－２－１）

表４－２－１　学校教育を通じて身に付けてほしい力

（%）

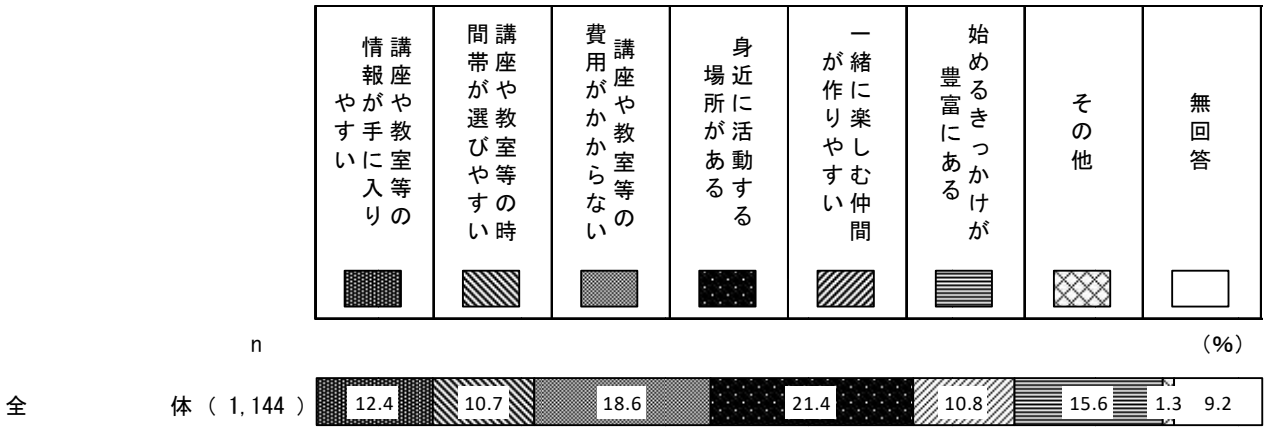
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	基礎学力 54.5	仲間を思いやる心 53.0	主体的・能動的に行動する力 30.8	好奇心や探究心 27.9	責任感 26.3
年代別	10　歳　代	18	基礎学力 83.3	規範意識／もてなしの心 38.9		多様性を認める心 33.3	主体的・能動的に行動する力／好奇心や探求心／仲間を思いやる心 22.2
	20　歳　代	112	基礎学力 50.9	仲間を思いやる心 42.0	主体的・能動的に行動する力 40.2	多様性を認める心 37.5	好奇心や探究心 33.9
	30　歳　代	175	基礎学力 53.1	仲間を思いやる心 49.7	主体的・能動的に行動する力 37.7	好奇心や探究心 34.3	多様性を認める心 31.4
	40　歳　代	193	基礎学力／仲間を思いやる心 56.0		主体的・能動的に行動する力 42.0	好奇心や探究心 34.7	多様性を認める心 23.8
	50　歳　代	212	基礎学力 64.2	仲間を思いやる心 60.4	主体的・能動的に行動する力 29.2	責任感 26.9	好奇心や探究心 25.5
	60 ～ 64 歳	88	仲間を思いやる心 65.9	基礎学力 60.2	主体的・能動的に行動する力 28.4	責任感 23.9	好奇心や探究心／体力／多様性を認める心 21.6
	65 ～ 69 歳	118	基礎学力／仲間を思いやる心 50.8		責任感 31.4	好奇心や探究心 30.5	主体的・能動的に行動する力 26.3
	70 ～ 74 歳	96	仲間を思いやる心 58.3	基礎学力 49.0	責任感 30.2	好奇心や探究心 24.0	主体的・能動的に行動する力 22.9
	75 歳 以 上	123	仲間を思いやる心 44.7	基礎学力 41.5	責任感 38.2	体力 22.0	多様性を認める心 16.3

（３）生涯学習活動に取り組む環境づくり

◇「身近に活動する場所がある」が２割超え

問 10　生涯学習活動に取り組むための環境づくりとして、あなたが重要だと思うことを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図４－３－１

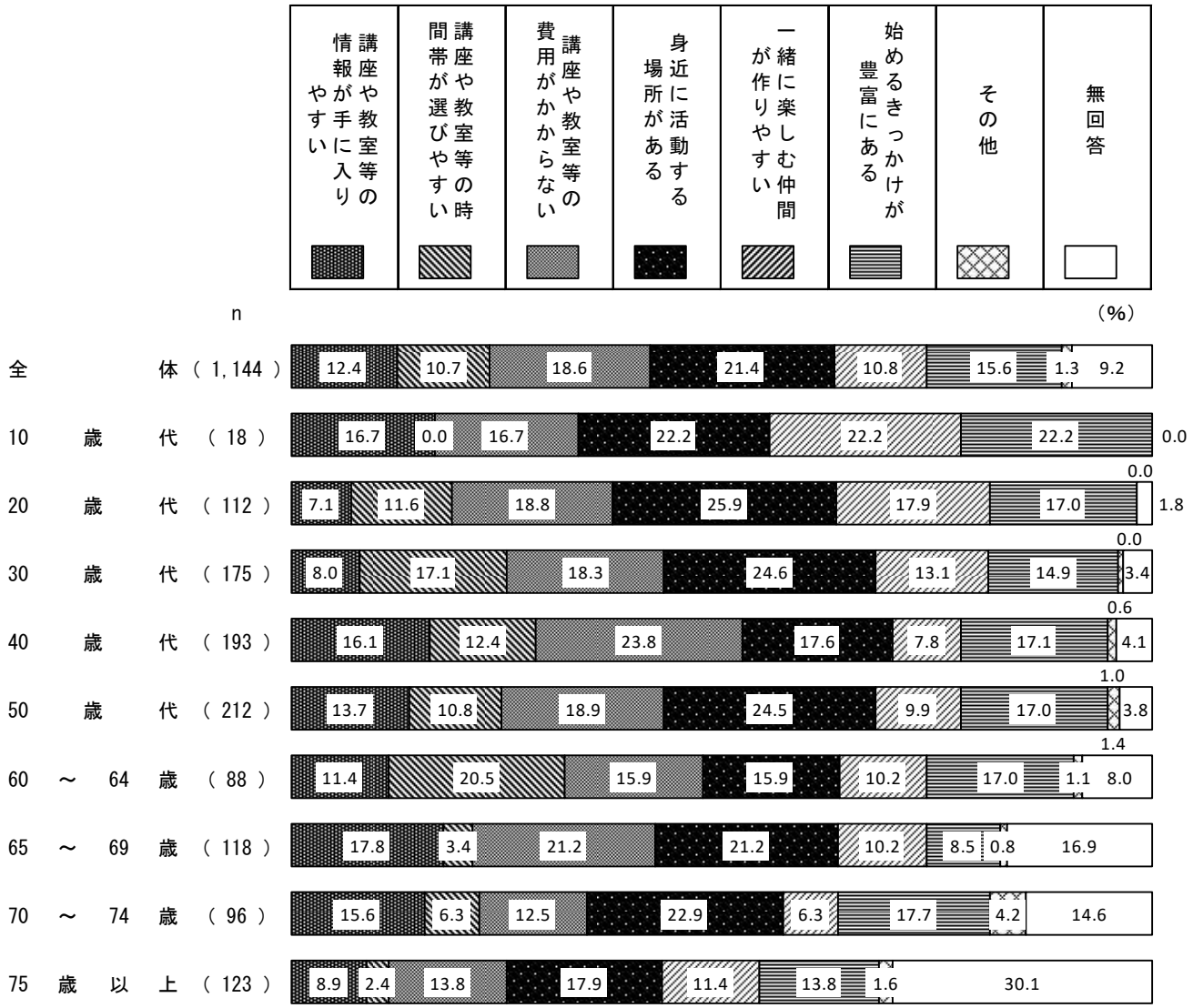


生涯学習活動に取り組むための環境づくりとして、重要だと思うことを聞いたところ、「身近に活動する場所がある」（21.4%）が２割を超え最も高くなっています。次いで「講座や教室等の費用が掛からない」（18.6%）、「始めるきっかけが豊富にある」（15.6%）、「講座や教室等の情報が手に入りやすい」（12.4%）となっています。（図４－３－１）

①　年代別

年代別でみると、「身近に活動する場所がある」は 40 歳代、60～64 歳、75 歳以上を除く、すべての年代で２割台となっています。「講座や教室等の費用がかからない」は 40 歳代（23.8%）、65～69 歳（21.2%）で２割台となっています。また、「講座や教室の時間帯が選びやすい」は 60～64 歳（20.5%）で約２割、30 歳代（17.1%）で２割近くとなっています。「一緒に楽しむ仲間が作りやすい」は 10 歳代（22.2%）で２割を超え、20 歳代（17.9%）で２割近くとなっています。（図４－３－２）

図４－３－２　生涯学習に取り組む環境づくり（年代別）



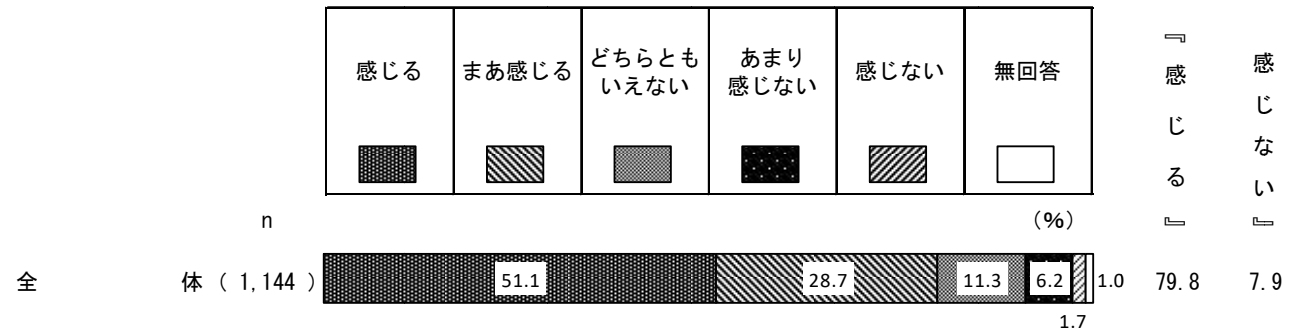
５．「安心の福祉・介護」について

（１）介護状態になることに対する不安

◇『感じる』が約８割

問 11　あなたは、自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図５－１－１

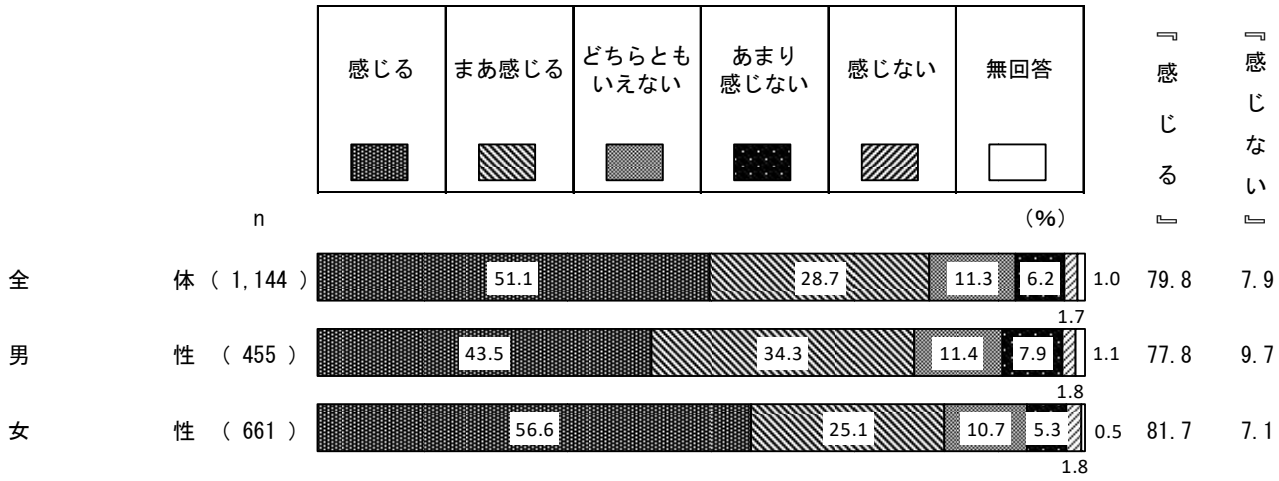


自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じるかを聞いたところ、「感じる」(51.1%) が５割を超え、これに「まあ感じる」(28.7%) を合わせた『感じる』(79.8%) が約８割となっています。一方、「あまり感じない」(6.2%) と「感じない」(1.7%) を合わせた『感じない』(7.9%) は１割未満となっています。また、「どちらともいえない」(11.3%) は１割を超えています。(図５－１－１)

① 性別

性別でみると、『感じる』は女性 (81.7%) が男性 (77.8%) より 3.9 ポイント高くなっています。(図５－１－２)

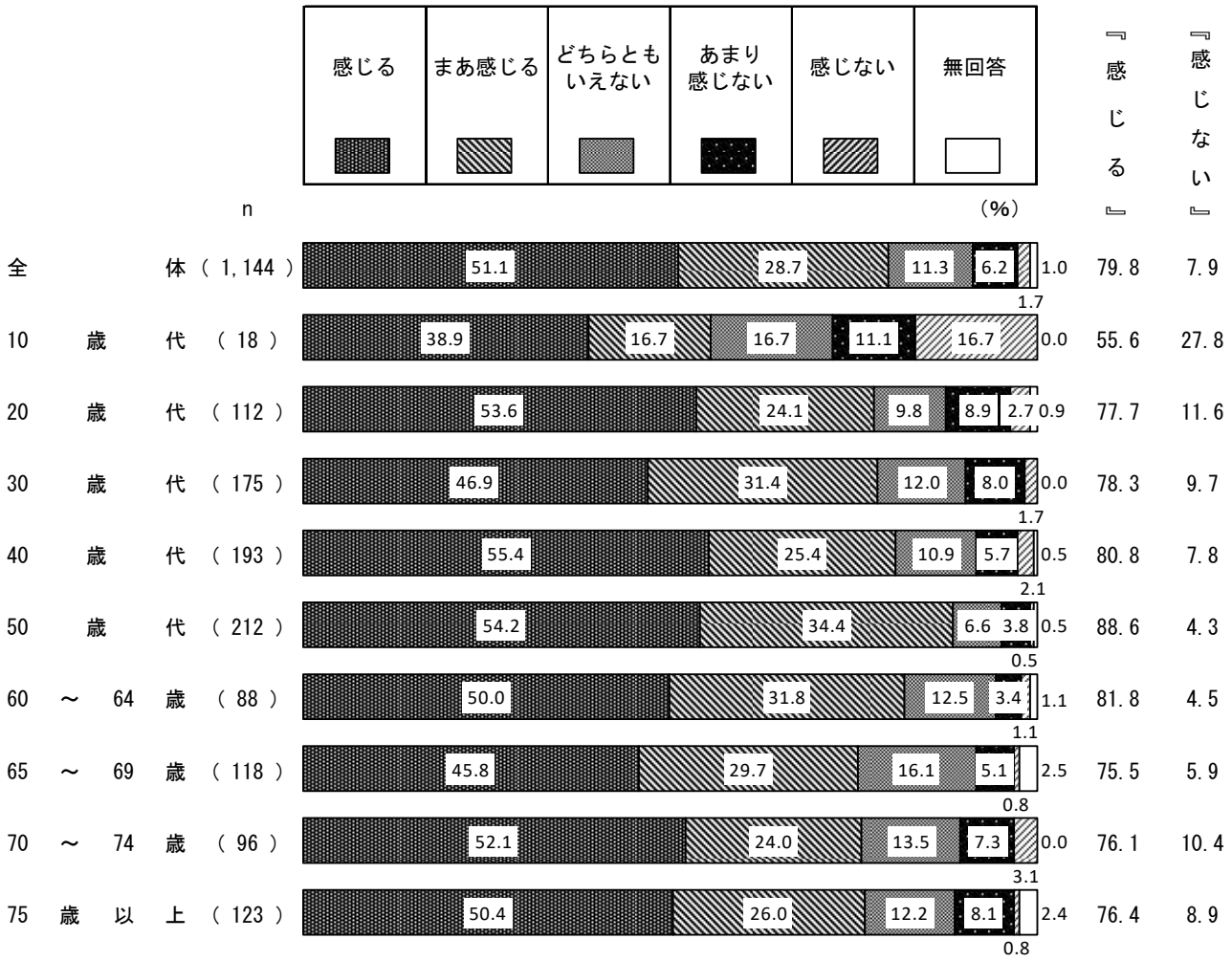
図５－１－２　介護状態になることに対する不安（性別）



②　年代別

年代別でみると、『感じる』は 40 歳代（80.8%）、50 歳代（88.6%）、60～64 歳（81.8%）で８割台となっています。一方、『感じない』は 10 歳代（27.8%）で３割近く、20 歳代（11.6%）、70～74 歳（10.4%）で約１割となっています。（図５－１－３）

図５－１－３　介護状態になることに対する不安（年代別）



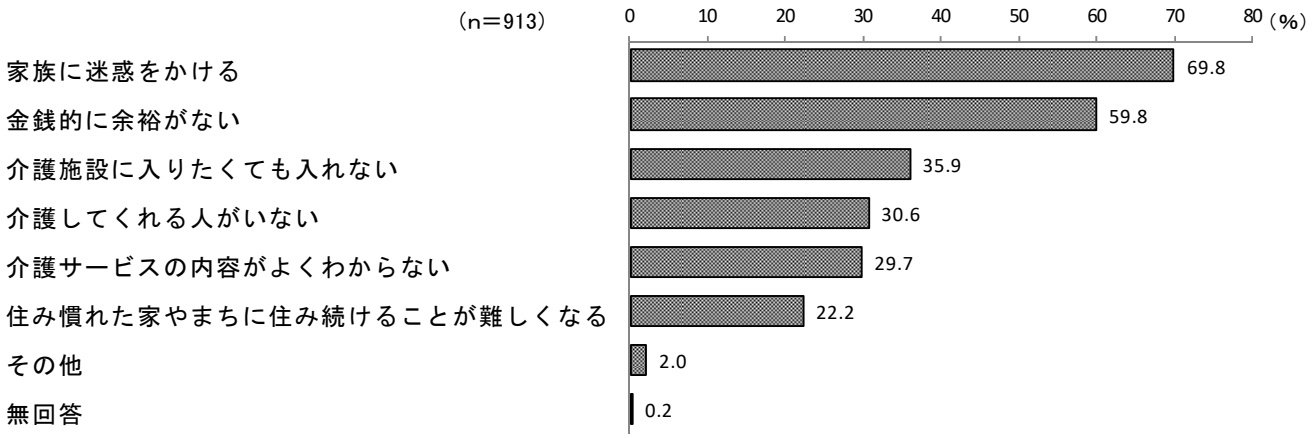
（１－１）介護状態となることに対する不安の理由

◇「家族に迷惑をかける」が約７割

（問 11 で「１　感じる」「２　まあ感じる」と回答した方のみ）

問 11－１　その理由として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図５－１－４



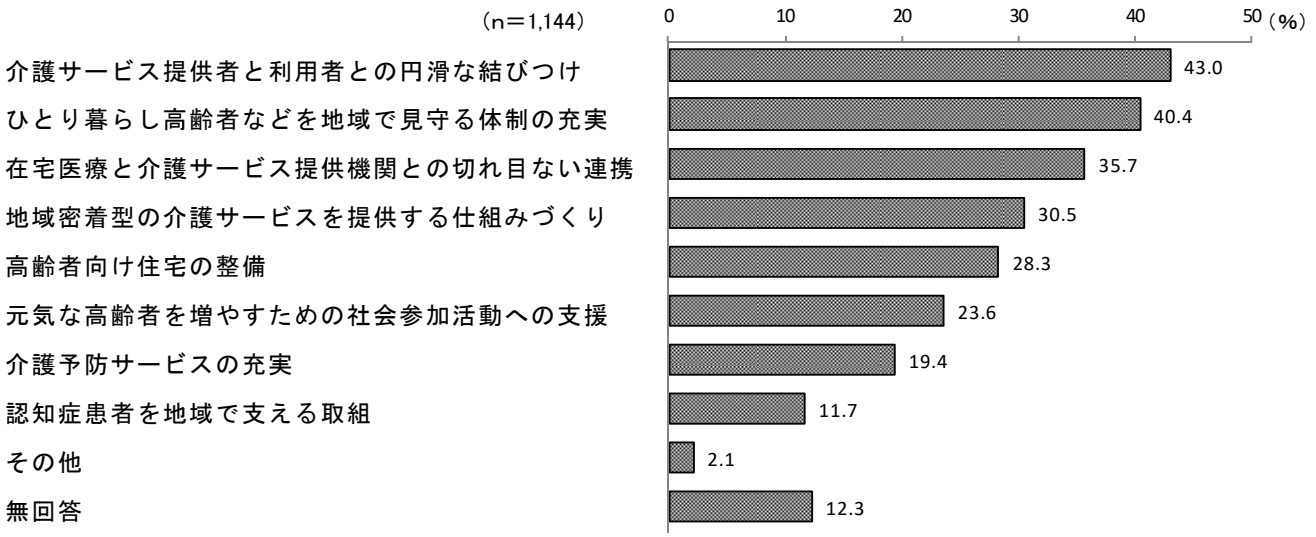
介護状態となることに対する不安の理由を聞いたところ、「家族に迷惑をかける」（69.8%）が約７割となっています。次いで「金銭的に余裕がない」（59.8%）が約６割、「介護施設に入りたくても入れない」（35.9%）、「介護してくれる人がいない」（30.6%）が３割台となっています。（図５－１－４）

（２）住み慣れた地域で住み続けるための支援策

◇「介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ」が４割超え

問 12　介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で住み続けるために、あなたが重要だと思う取組を３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図５－２－１



介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で住み続けるために、重要だと思うことを聞いたところ、「介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ」（43.0%）、「ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実」（40.4%）が４割台となっています。また、「在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携」（35.7%）、「地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり」（30.5%）が３割台となっています。（図５－２－１）

①　年代別

年代別でみると、「介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ」は 20 歳代（51.8%）、30 歳代（40.6%）、60～64 歳（52.3%）、70～74 歳（43.8%）、75 歳以上（43.1%）で第１位となっています。「ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実」は 10 歳代（55.6%）、40 歳代（42.5%）、50 歳代（44.3%）、65～69 歳（41.5%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援」が 10 歳代(27.8%)で第３位、40 歳代（29.5%）、70～74 歳（30.2%）で第５位となっています。（表５－２－１）

表５－２－１　住み慣れた地域で住み続けるための支援策（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 43.0	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 40.4	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 35.7	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 30.5	高齢者向け住宅の整備 28.3
年代別	10　歳　代	18	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 55.6	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 33.3	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携／高齢者向け住宅の整備／元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援 27.8		
	20　歳　代	112	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 51.8	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 34.8	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 31.3	高齢者向け住宅の整備／地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 26.8	
	30　歳　代	175	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 40.6	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 36.6	高齢者向け住宅の整備 32.6	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 29.7	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 26.3
	40　歳　代	193	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 42.5	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 41.5	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 32.6	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 32.1	元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援 29.5
	50　歳　代	212	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 44.3	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 42.5	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 38.2	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 32.1	高齢者向け住宅の整備 24.5
	60 ～ 64 歳	88	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 52.3	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 43.2	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 42.0	高齢者向け住宅の整備 38.6	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 33.0
	65 ～ 69 歳	118	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 41.5	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 39.8	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ／地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 37.3		高齢者向け住宅の整備 30.5
	70 ～ 74 歳	96	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 43.8	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 40.6	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 36.5	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 35.4	元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援 30.2
	75 歳 以 上	123	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ 43.1	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携 42.3	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実 34.1	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり 26.0	介護予防サービスの充実／高齢者向け住宅の整備 23.6

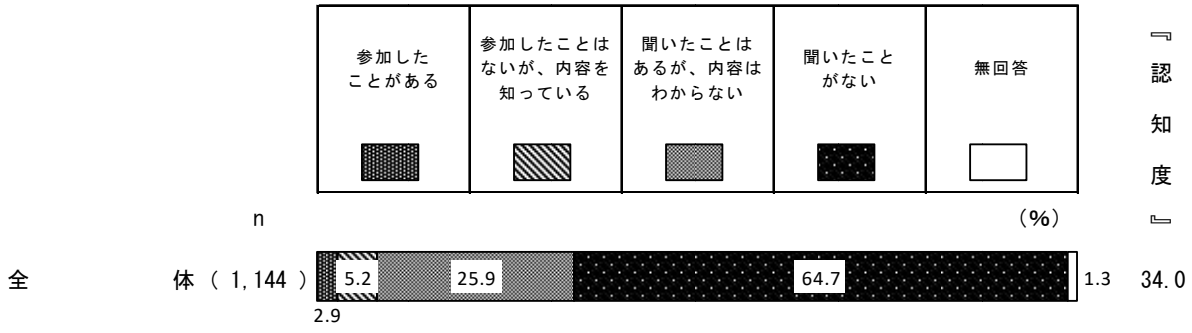
６.「豊かな健康長寿社会」について

（１）「いたばし健康づくりプロジェクト」の認知度

◇「聞いたことがない」が６割半ば

問 13　板橋区が実施している「いたばし健康づくりプロジェクト」について、該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図６－１－１

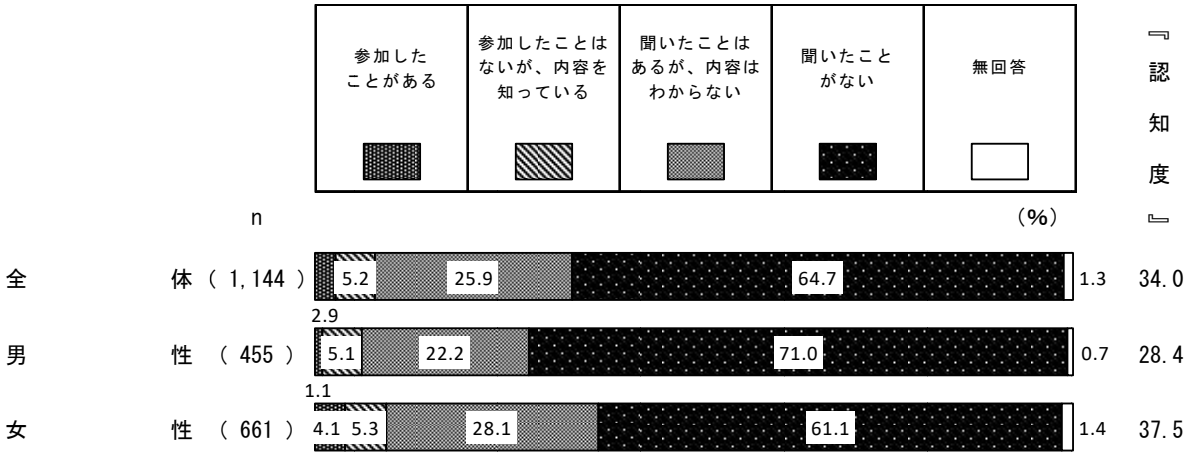


「いたばし健康づくりプロジェクト」について聞いたところ、「聞いたことがない」(64.7%)が６割半ばとなっています。一方、「参加したことがある」(2.9%)、「参加したことはないが、内容を知っている」(5.2%)、「聞いたことはあるが、内容はわからない」(25.9%) を合わせた『認知度』(34.0%) は３割半ばとなっています。(図６－１－１)

① 性別

性別でみると、『認知度』は女性 (37.5%) が男性 (28.4%) より 9.1 ポイント高くなっています。(図６－１－２)

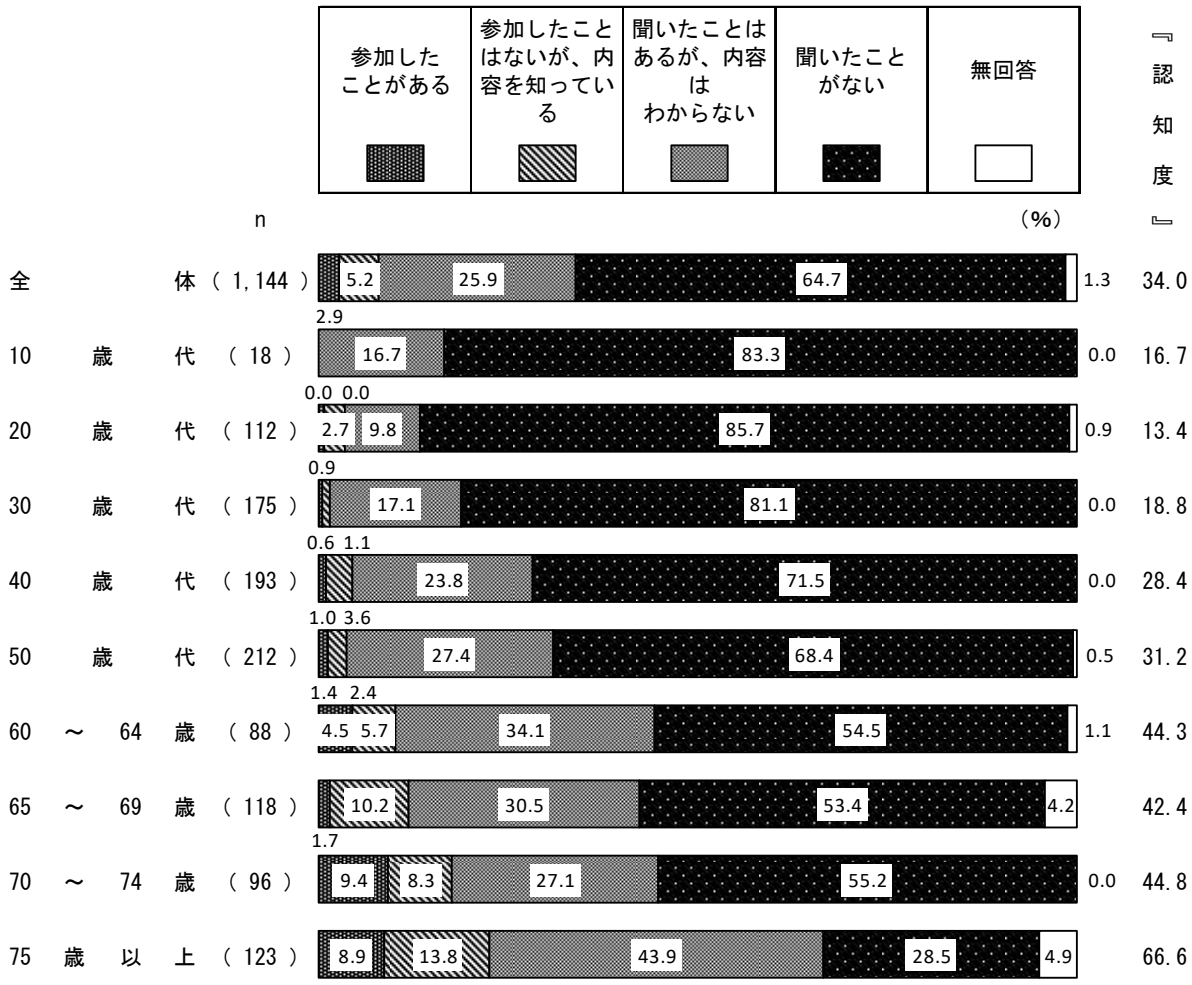
図６－１－２　「いたばし健康づくりプロジェクト」の認知度（性別）



②　年代別

年代別でみると、『認知度』は 75 歳以上（66.6%）で６割半ば、60～64 歳（44.3%）、65～69 歳（42.4%）、70～74 歳（44.8%）で４割台、50 歳代（31.2%）で３割を超えています。一方、10 歳代（16.7%）、20 歳代（13.4%）、30 歳代（18.8%）では１割台と、若い年代ではあまり知られていない結果となっています。（図６－１－３）

図６－１－３　「いたばし健康づくりプロジェクト」の認知度（年代別）



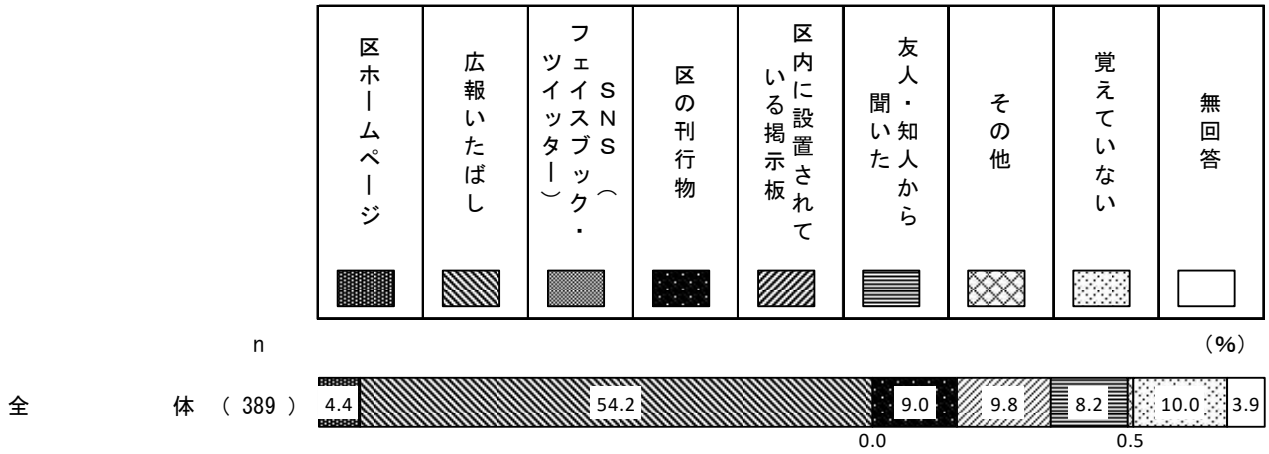
（１－１）「いたばし健康づくりプロジェクト」をどのような方法で知ったか

◇「広報いたばし」が５割半ば

（問 13 で「１」～「３」と回答した方のみ）

問 13－１　「いたばし健康づくりプロジェクト」を主にどのような方法で知りましたか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図６－１－４



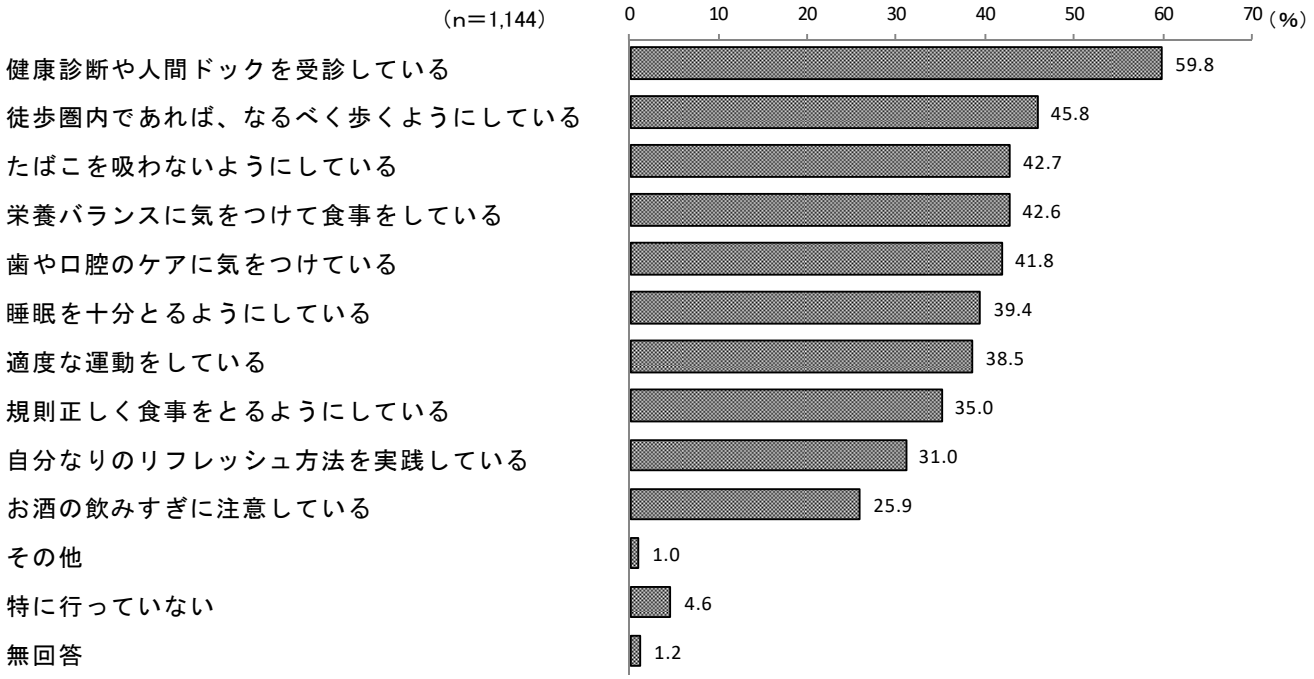
「いたばし健康づくりプロジェクト」をどのような方法で知ったか聞いたところ、「広報いたばし」(54.2%）が５割半ばとなっています。「区内に設置されている掲示板」(9.8%)、「区の刊行物」(9.0%）が約１割となっています。(図６－１－４）

（２）健康のために普段から行っていること

◇「健康診断や人間ドックを受診している」が約６割

問 14　あなたが健康のために普段から行っていることは何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図６－２－１



健康のために普段から行っていることを聞いたところ、「健康診断や人間ドックを受診している」（59.8%）が約６割となっています。次いで「徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている」（45.8%）、「たばこを吸わないようにしている」（42.7%）、「栄養バランスに気をつけて食事をしている」（42.6%）、「歯や口腔のケアに気を付けている」（41.8%）が４割台となっています。（図６－２－１）

①　年代別

年代別でみると、「健康診断や人間ドックを受診している」は 30 歳以上のすべての年代で第１位となっています。「歯や口腔のケアに気をつけている」は 10 歳代（55.6%）、「たばこを吸わないようにしている」は 20 歳代（55.4%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「睡眠を十分とるようにしている」が 75 歳以上（55.3%）で第２位、70～74 歳（52.1%）で第３位となっています。また、「適度な運動をしている」が 20 歳代（36.6%）、75 歳以上（54.5%）で第３位、65～69 歳（44.9%）で第５位となっています。さらに、「規則正しく食事をとるようにしている」が 65～69 歳（52.5%）で第３位、10 歳代（38.9%）、75 歳以上（52.0%）で第４位となっています。（表６－２－１）

表６－２－１　健康のために普段から行っていること（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	健康診断や人間ドックを受診している 59.8	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 45.8	たばこを吸わないようにしている 42.7	栄養バランスに気をつけて食事をしている 42.6	歯や口腔のケアに気をつけている 41.8
年代別	10　歳　代	18	歯や口腔のケアに気をつけている 55.6	睡眠を十分とるようにしている 50.0	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 44.4	適度な運動をしている／規則正しく食事をとるようにしている 38.9	
	20　歳　代	112	たばこを吸わないようにしている 55.4	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 49.1	適度な運動をしている 36.6	お酒の飲みすぎに注意している 35.7	歯や口腔のケアに気をつけている／自分なりのリフレッシュ方法を実践している 34.8
	30　歳　代	175	健康診断や人間ドックを受診している 58.3	たばこを吸わないようにしている 44.6	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 43.4	栄養バランスに気をつけて食事をしている 38.3	睡眠を十分とるようにしている 37.1
	40　歳　代	193	健康診断や人間ドックを受診している 66.8	たばこを吸わないようにしている 51.8	歯や口腔のケアに気をつけている 43.5	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 36.8	睡眠を十分とるようにしている 35.2
	50　歳　代	212	健康診断や人間ドックを受診している 69.8	歯や口腔のケアに気をつけている 47.2	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 45.8	栄養バランスに気をつけて食事をしている 43.4	たばこを吸わないようにしている 42.0
	60 ～ 64 歳	88	健康診断や人間ドックを受診している 68.2	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている／栄養バランスに気をつけて食事をしている 48.9		たばこを吸わないようにしている／歯や口腔のケアに気をつけている 39.8	
	65 ～ 69 歳	118	健康診断や人間ドックを受診している 60.2	栄養バランスに気をつけて食事をしている 53.4	規則正しく食事をとるようにしている 52.5	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 50.8	適度な運動をしている 44.9
	70 ～ 74 歳	96	健康診断や人間ドックを受診している 63.5	栄養バランスに気をつけて食事をしている 57.3	睡眠を十分とるようにしている 52.1	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている／歯や口腔のケアに気をつけている 50.0	
	75 歳 以 上	123	健康診断や人間ドックを受診している 61.8	睡眠を十分とるようにしている 55.3	適度な運動をしている 54.5	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている／規則正しく食事をとるようにしている 52.0	

② 職業別

職業別でみると、「健康診断や人間ドックを受診している」は学生、無職を除く、すべての職業で第１位となっています。「徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている」は学生(51.4%)、無職（55.4%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「適度な運動をしている」は学生（48.6%）で第３位、自営業・自由業（39.5%)、会社役員（37.5%)、無職（47.3%）で第４位となっています。また、「規則正しく食事をとるようにしている」は主婦・主夫（44.6%)、学生（40.0%)、無職（45.7%）で第５位となっています。（表６－２－２）

表６－２－２　健康のために普段から行っていること（職業別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	健康診断や人間ドックを受診している 59.8	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 45.8	たばこを吸わないようにしている 42.7	栄養バランスに気をつけて食事をしている 42.6	歯や口腔のケアに気をつけている 41.8
職業別	会社員・公務員	481	健康診断や人間ドックを受診している 68.2	たばこを吸わないようにしている 48.6	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 46.2	歯や口腔のケアに気をつけている 40.5	栄養バランスに気をつけて食事をしている 37.8
	自営業・自由業	76	健康診断や人間ドックを受診している 53.9	栄養バランスに気をつけて食事をしている 47.4	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 40.8	適度な運動をしている／たばこを吸わないようにしている／睡眠を十分にとるようにしている 39.5	
	会社役員	24	健康診断や人間ドックを受診している 66.7	歯や口腔のケアに気をつけている 45.8	たばこを吸わないようにしている 41.7	適度な運動をしている 37.5	自分なりのリフレッシュ方法を実践している 33.3
	主婦・主夫	157	健康診断や人間ドックを受診している 59.2	栄養バランスに気をつけて食事をしている 58.6	歯や口腔のケアに気をつけている 51.0	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 46.5	規則正しく食事をとるようにしている 44.6
	学生	35	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている／歯や口腔のケアに気をつけている 51.4		適度な運動をしている／栄養バランスに気をつけて食事をしている 48.6		規則正しく食事をとるようにしている 40.0
	アルバイト・パート	162	健康診断や人間ドックを受診している 56.2	たばこを吸わないようにしている 51.2	栄養バランスに気をつけて食事をしている 41.4	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている／歯や口腔のケアに気をつけている 40.7	
	無職	184	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 55.4	健康診断や人間ドックを受診している 54.9	睡眠を十分とるようにしている 49.5	適度な運動をしている 47.3	規則正しく食事をとるようにしている 45.7
	その他	15	健康診断や人間ドックを受診している／栄養バランスに気をつけて食事をしている／自分なりのリフレッシュ方法を実践している 33.3			徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている／適度な運動をしている／歯や口腔のケアに気をつけている　他※ 26.7	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略しています。

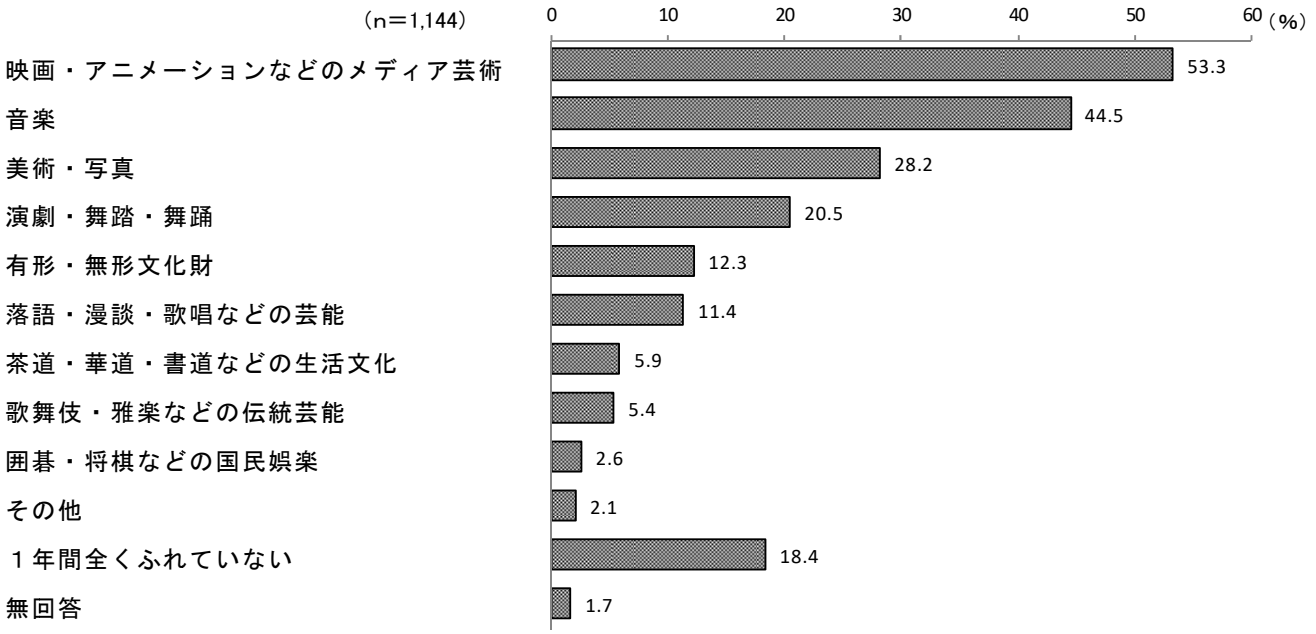
７.「心躍るスポーツ・文化」について

（１）過去１年間に鑑賞・体験活動した文化芸術

◇「映画・アニメーションなどのメディア芸術」が５割超え

問 15　あなたが過去１年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図７－１－１



過去１年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術を聞いたところ、「映画・アニメーションなどのメディア芸術」（53.3％）が５割を超えています。次いで「音楽」（44.5％）が４割半ば、「美術・写真」（28.2％）、「演劇・舞踏・舞踊」（20.5％）が２割台となっています。一方、「１年間全くふれていない」（18.4％）は２割近くとなっています。（図７－１－１）

①　年代別

年代別でみると、「映画・アニメーションなどのメディア芸術」は 70～74 歳、75 歳以上を除く、すべての年代で第１位となっています。「音楽」は 70～74 歳（34.4%）、75 歳以上（35.0%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「落語・漫談・歌唱などの芸能」が 10 歳代（16.7%）、70～74 歳（14.6%）、75 歳以上（19.5%）で、「有形・無形文化財」が 20 歳代（13.4%）、50 歳代（18.9%）での第５位となっています。（表７－１－１）

表７－１－１　過去１年間に鑑賞・体験した文化芸術（年代別）

（%）

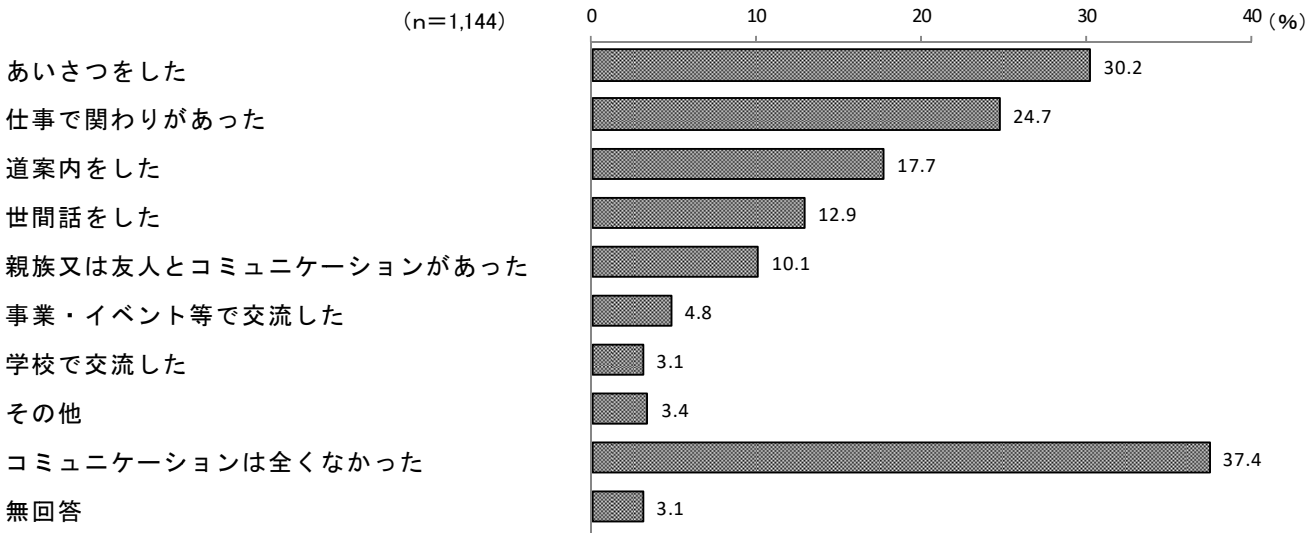
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	映画・アニメーションなどのメディア芸術 53.3	音楽 44.5	美術・写真 28.2	演劇・舞踏・舞踊 20.5	１年間全くふれていない 18.4
年代別	10　歳　代	18	映画・アニメーションなどのメディア芸術 72.2	音楽／美術・写真 55.6		演劇・舞踏・舞踊 27.8	落語・漫談・歌唱などの芸能 16.7
	20　歳　代	112	映画・アニメーションなどのメディア芸術 78.6	音楽 58.9	演劇・舞踏・舞踊／美術・写真 25.0		有形・無形文化財 13.4
	30　歳　代	175	映画・アニメーションなどのメディア芸術 64.6	音楽 45.1	美術・写真 28.0	演劇・舞踏・舞踊 21.7	１年間全くふれていない 18.9
	40　歳　代	193	映画・アニメーションなどのメディア芸術 63.7	音楽 47.7	美術・写真 28.5	演劇・舞踏・舞踊 24.4	１年間全くふれていない 14.0
	50　歳　代	212	映画・アニメーションなどのメディア芸術 59.0	音楽 50.0	美術・写真 34.0	演劇・舞踏・舞踊 24.5	有形・無形文化財 18.9
	60 ～ 64 歳	88	映画・アニメーションなどのメディア芸術 43.2	音楽 39.8	美術・写真 31.8	１年間全くふれていない 26.1	演劇・舞踏・舞踊 22.7
	65 ～ 69 歳	118	映画・アニメーションなどのメディア芸術 46.6	音楽 36.4	１年間全くふれていない 28.0	美術・写真 25.4	演劇・舞踏・舞踊 13.6
	70 ～ 74 歳	96	音楽 34.4	映画・アニメーションなどのメディア芸術 29.2	美術・写真 24.0	１年間全くふれていない 18.8	落語・漫談・歌唱などの芸能 14.6
	75 歳 以 上	123	音楽 35.0	１年間全くふれていない 25.2	美術・写真 22.0	映画・アニメーションなどのメディア芸術 21.1	落語・漫談・歌唱などの芸能 19.5

（２）過去１年間での異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション

◇「あいさつをした」が３割

問 16　過去１年間における、異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション（あいさつや世間話、道案内等）について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図７－２－１



過去１年間における、異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション（あいさつや世間話、道案内等）について聞いたところ、「あいさつをした」（30.2%）が３割で最も高く、次いで「仕事で関わりがあった」（24.7%）が２割半ば、「道案内をした」（17.7%）、「世間話をした」（12.9%）、「親族又は友人とコミュニケーションがあった」（10.1%）が１割台となっています。一方、「コミュニケーションは全くなかった」（37.4%）が４割近くとなっています。（図７－２－１）

①　年代別

年代別でみると、「あいさつをした」は 20 歳代（42.0%）、30 歳代（38.3%）で第１位となっています。40 歳代以上のすべての年代では「コミュニケ―ションは全くなかった」が第１位となっています。

その他の特徴として、「親族又は友人とコミュニケーションがあった」は 65～69 歳（9.3%）、75 歳以上（13.8%）で第４位、10 歳代（27.8%）、60～64 歳（9.1%）、70～74 歳（9.4%）で第５位となっています。（表７－２－１）

表７－２－１　過去１年間での異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション（年代別）

（%）

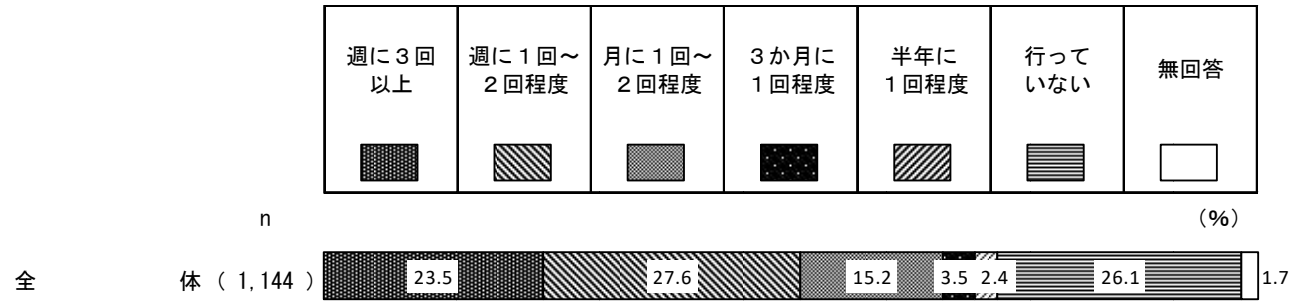
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	コミュニケーションは全くなかった 37.4	あいさつをした 30.2	仕事で関わりがあった 24.7	道案内をした 17.7	世間話をした 12.9
年代別	10 歳代	18	学校で交流した 61.1	あいさつをした 50.0	道案内をした 38.9	世間話をした 33.3	親族又は友人とコミュニケーションがあった 27.8
	20 歳代	112	あいさつをした 42.0	仕事で関わりがあった 38.4	道案内をした 31.3	コミュニケーションは全くなかった 20.5	世間話をした 16.1
	30 歳代	175	あいさつをした 38.3	仕事で関わりがあった 33.7	コミュニケーションは全くなかった 31.4	道案内をした 24.0	世間話をした 14.3
	40 歳代	193	コミュニケーションは全くなかった 35.2	仕事で関わりがあった 30.6	あいさつをした 26.4	道案内をした 19.7	世間話をした 15.5
	50 歳代	212	コミュニケーションは全くなかった 33.5	仕事で関わりがあった 31.6	あいさつをした 28.8	道案内をした 19.8	世間話をした 9.9
	60 ～ 64 歳	88	コミュニケーションは全くなかった 46.6	仕事で関わりがあった 26.1	あいさつをした 20.5	道案内をした 12.5	親族又は友人とコミュニケーションがあった 9.1
	65 ～ 69 歳	118	コミュニケーションは全くなかった 50.0	あいさつをした 27.1	仕事で関わりがあった 11.0	親族又は友人とコミュニケーションがあった 9.3	世間話をした 7.6
	70 ～ 74 歳	96	コミュニケーションは全くなかった 47.9	あいさつをした 29.2	世間話をした 15.6	仕事で関わりがあった 10.4	親族又は友人とコミュニケーションがあった 9.4
	75 歳以上	123	コミュニケーションは全くなかった 46.3	あいさつをした 25.2	世間話をした 16.3	親族又は友人とコミュニケーションがあった 13.8	道案内をした 8.9

（３）運動・スポーツの頻度

◇「週に１回～２回程度」が３割近く

問 17　あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか（ハイキング・軽い体操・ウォーキングなども含む）。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図７－３－１

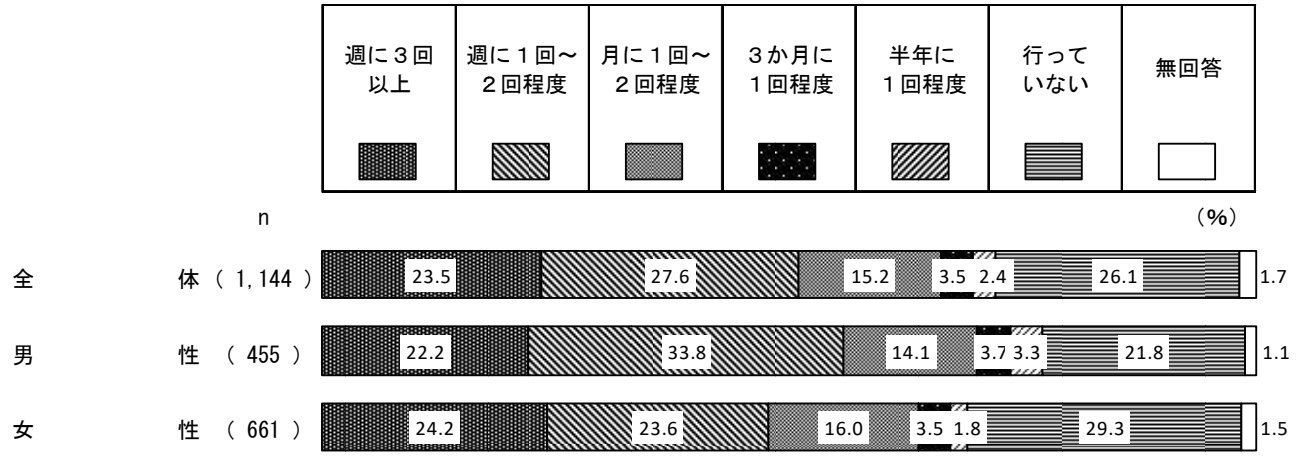


運動・スポーツを行う頻度を聞いたところ、「週に１回～２回程度」（27.6%）、「週に３回以上」（23.5%）が２割台、「月に１回～２回程度」（15.2%）が１割半ばとなっています。一方、「行っていない」（26.1%）は２割半ばとなっています。（図７－３－１）

① 性別

性別でみると、「週に１回～２回程度」は男性（33.8%）が女性（23.6%）より 10.2 ポイント高くなっています。「行っていない」は女性（29.3%）が男性（21.8%）より 7.5 ポイント高くなっています。（図７－３－２）

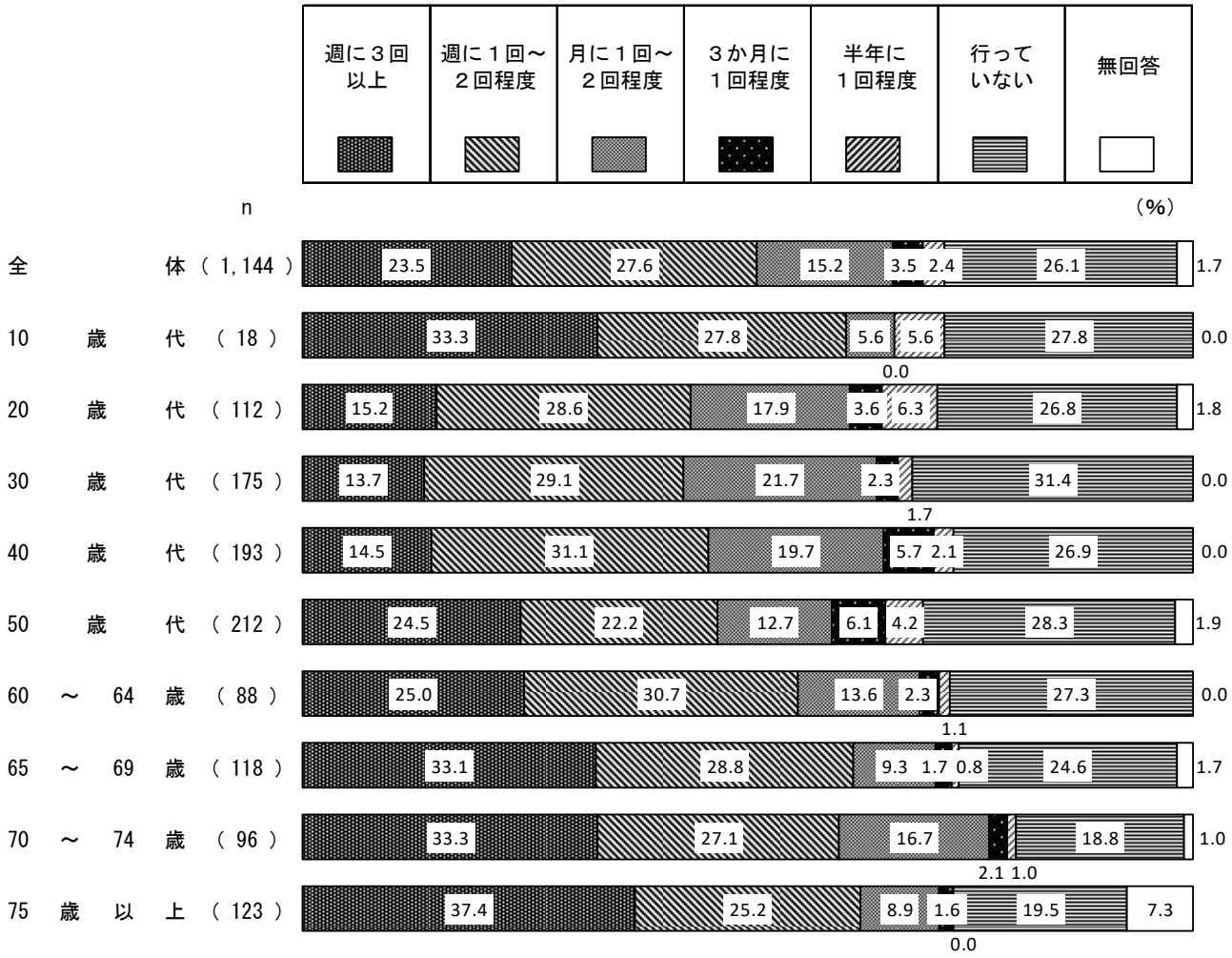
図７－３－２　運動・スポーツの頻度（性別）



②　年代別

年代別でみると、「週に１回～２回程度」は 40 歳代（31.1%）、60～64 歳（30.7%）で３割台、30 歳代（29.1%）で約３割、20 歳代（28.6%）で３割近くとなっています。「週に３回以上」は 65～69 歳代（33.1%）、70～74 歳（33.3%）、75 歳以上（37.4%）で３割台となっています。一方、「行っていない」は 30 歳代（31.4%）で３割を超えています。（図７－３－３）

図７－３－３　運動・スポーツの頻度（年代別）

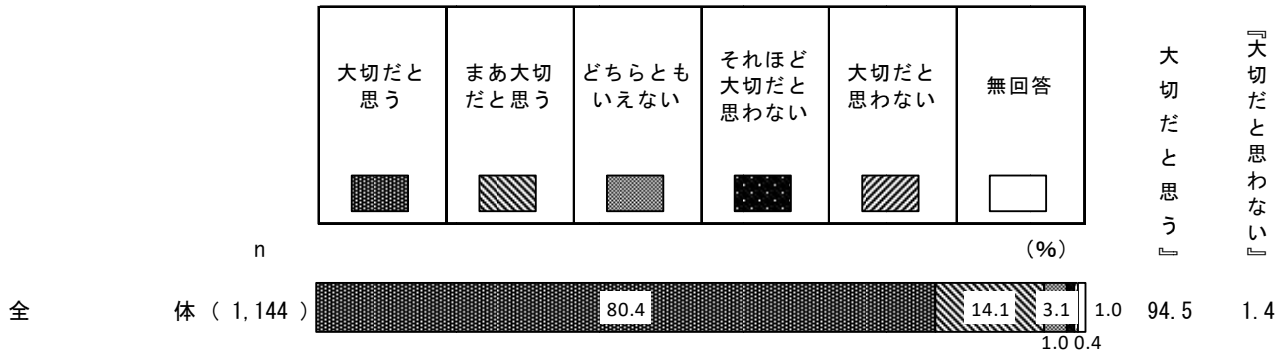


（４）戦争体験の語り継ぎ

◇『大切だと思う』が９割半ば

問 18　板橋区は平和都市宣言をしていますが、平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについて、あなたはどう思いますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図７－４－１

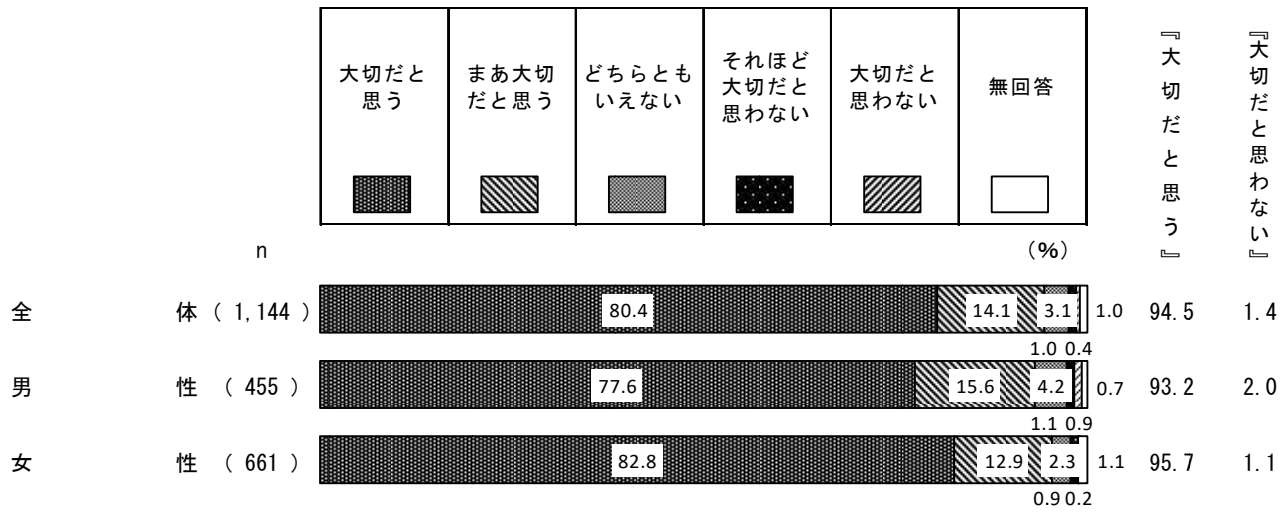


戦争体験を語り継ぐことについてどう思うかを聞いたところ、「大切だと思う」（80.4%）が８割となっており、「まあ大切だと思う」（14.1%）を合わせた『大切だと思う』（94.5%）は９割半ばとなっています。一方、「それほど大切だとは思わない」（1.0%）と「大切だと思わない」（0.4%）を合わせた『大切だと思わない』（1.4%）はわずかとなっています。（図７－４－１）

① 性別

性別でみると、「大切だと思う」は女性（82.8%）が男性（77.6%）より 5.2 ポイント高くなっています。（図７－４－２）

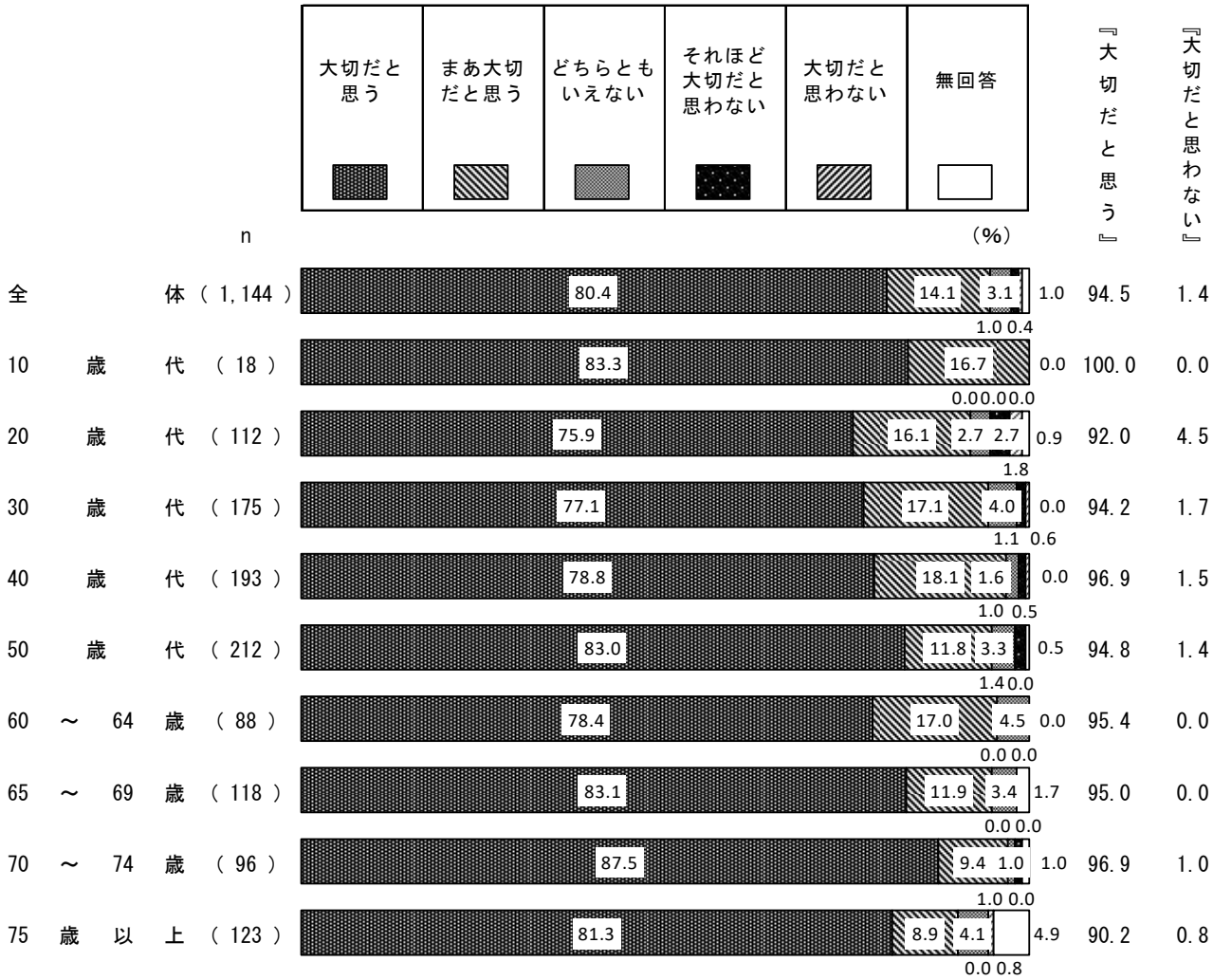
図７－４－２　戦争体験の語り継ぎ（性別）



②　年代別

年代別でみると、『大切だと思う』はすべての年代で９割以上となっています。一方、『大切だと思わない』はすべての年代でわずかとなっています。（図７－４－３）

図７－４－３　戦争体験の語り継ぎ（年代別）



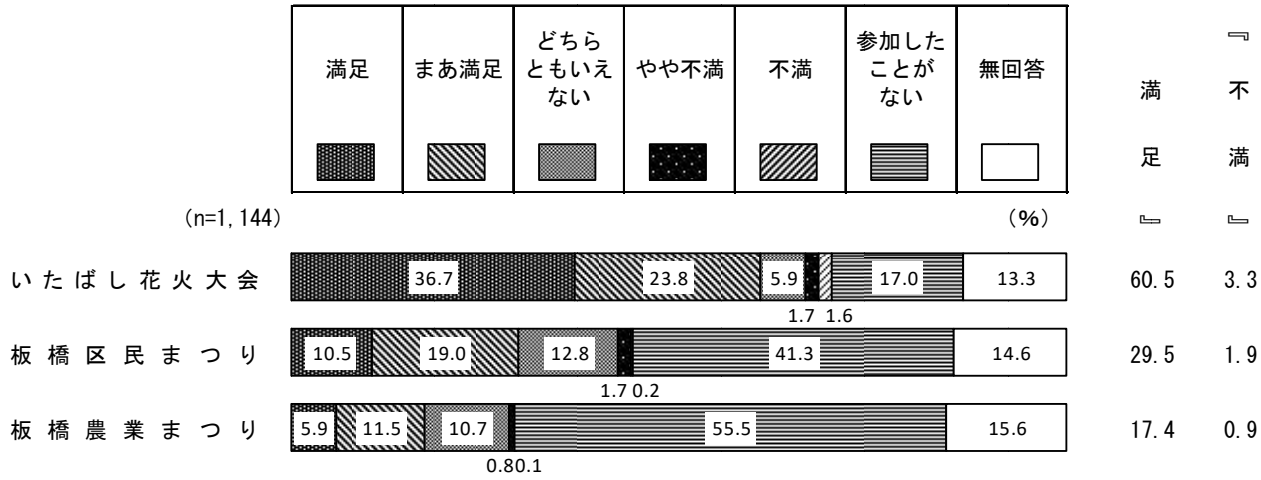
８.「光輝く板橋ブランド・産業活力」について

（１）いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりに対する満足度

◇満足度はいたばし花火大会が６割、区民まつりが約３割、農業まつりが２割近く
ただし、参加したことがない割合は、いたばし花火大会が２割近く、区民まつりが４割越え、農業まつりが５割半ばであり、満足度は高い

問 19　いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ１つ選び、下の表に番号を記入してください。

図８－１－１



いたばし花火大会の満足度を聞いたところ、「満足」（36.7%）は３割半ばで、これに「まあ満足」（23.8%）を合わせた『満足』（60.5%）は６割となっています。一方、「やや不満」（1.7%）、「不満」（1.6%）を合わせた『不満』（3.3%）はわずかとなっています。また、「参加したことがない」（17.0%）は２割近くとなっています。

板橋区民まつりの満足度については「満足」（10.5%）は約１割で、これに「まあ満足」（19.0%）を合わせた『満足』（29.5%）は約３割となっています。一方、「やや不満」（1.7%）、「不満」（0.2%）を合わせた『不満』（1.9%）はわずかとなっています。また、「参加したことがない」（41.3%）は４割を超えています。

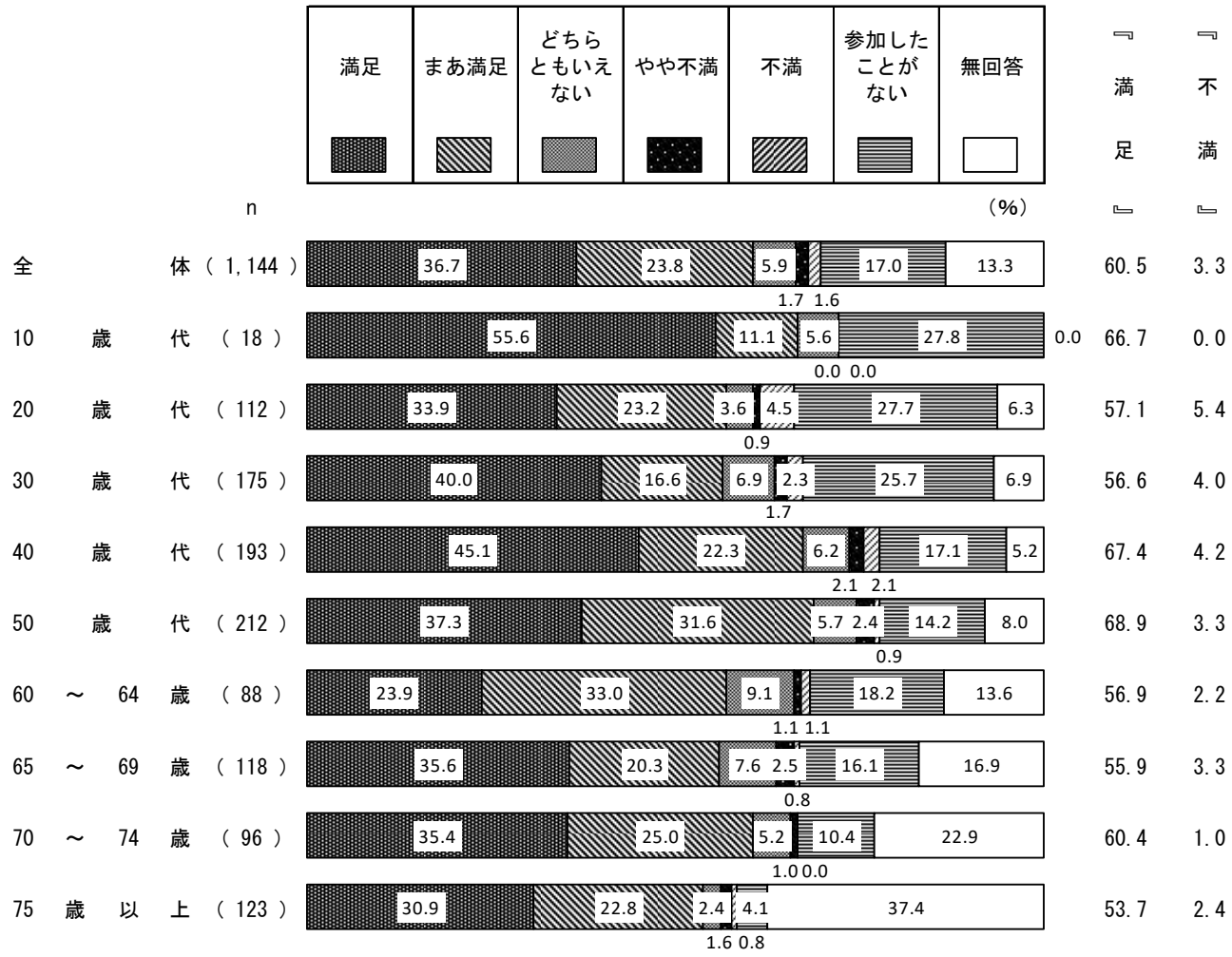
板橋農業まつりの満足度については「満足」（5.9%）は１割未満で、これに「まあ満足」（11.5%）を合わせた『満足』（17.4%）は２割近くとなっています。一方、「やや不満」（0.8%）、「不満」（0.1%）を合わせた『不満』（0.9%）はわずかとなっています。また、「参加したことがない」（55.5%）は５割半ばとなっています。（図８－１－１）

【いたばし花火大会の満足度】

①　年代別

いたばし花火大会の満足度について年代別でみると、『満足』は 10 歳代（66.7%）、40 歳代（67.4%）、50 歳代（68.9%）、70～74 歳（60.4%）で６割台となっています。一方、『不満』は 20 歳代（5.4%）で最も高く、すべての年代でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は 10 歳代（27.8%）、20 歳代（27.7%）、30 歳代（25.7%）で２割台となっています。（図８－１－２）

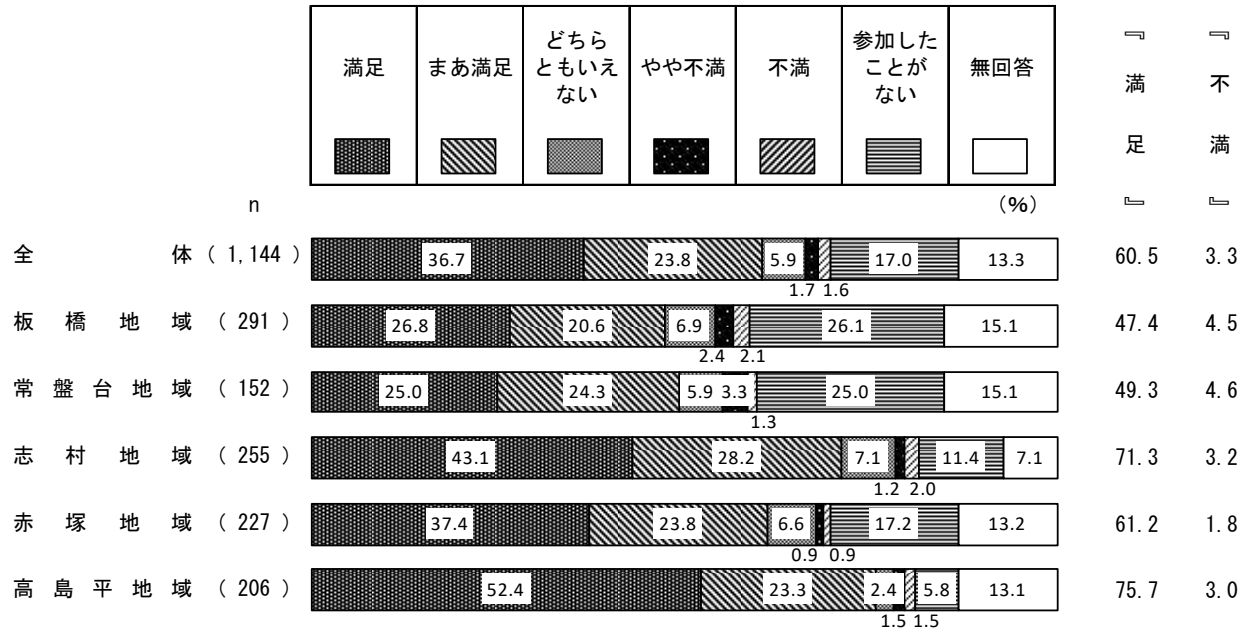
図８－１－２　いたばし花火大会の満足度（年代別）



②　地域別

地域別でみると、『満足』は志村地域（71.3%）、高島平地域（75.7%）で７割台となっています。一方、『不満』はすべての地域でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は板橋地域（26.1%）、常盤台地域（25.0%）で２割半ばとなっています。（図８－１－３）

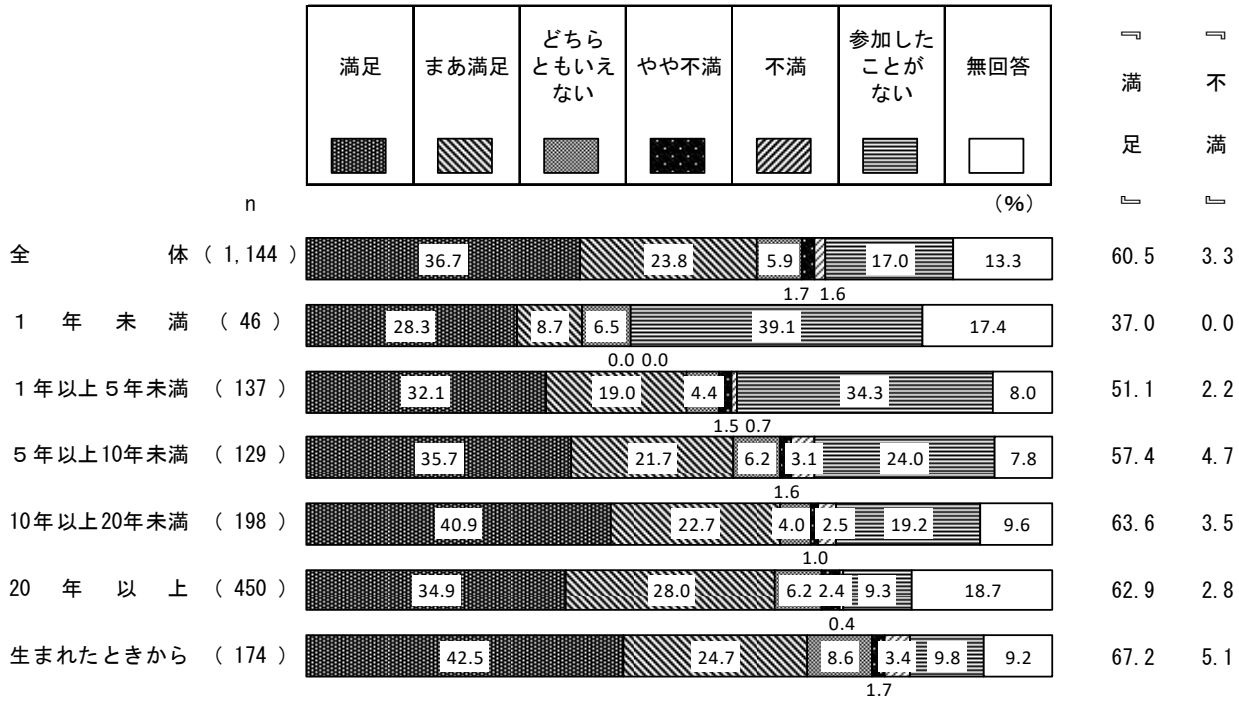
図８－１－３　いたばし花火大会の満足度（地域別）



③　居住年数別

居住年数別でみると、『満足』は居住年数が 10 年以上で６割台となっています。一方、『不満』は生まれたときから（5.1%）が最も高く、すべての居住年数でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は１年未満（39.1%）、１年以上５年未満（34.3%）で３割台となっています。（図８－１－４）

図８－１－４　いたばし花火大会の満足度（居住年数別）

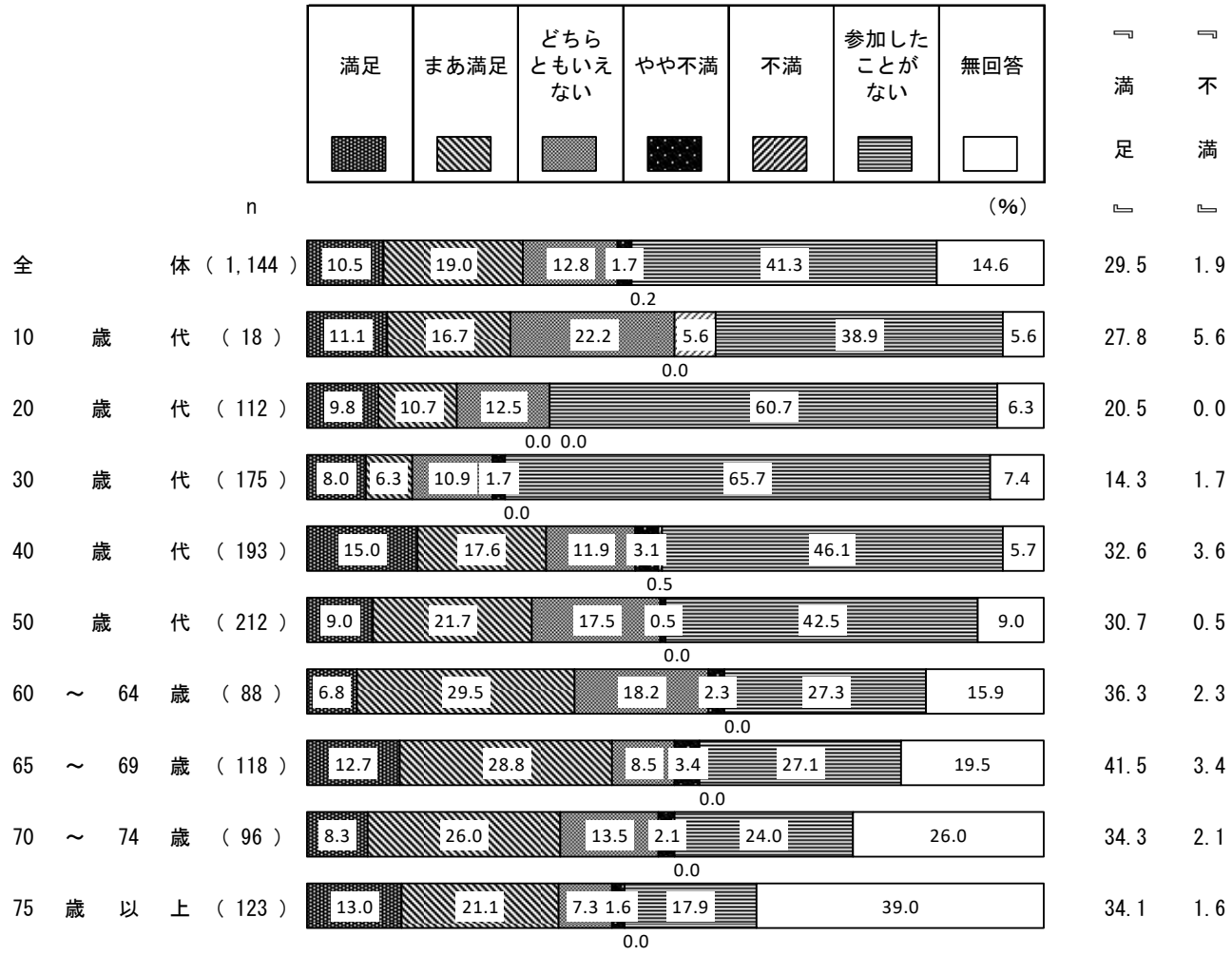


【板橋区民まつりの満足度】

①　年代別

板橋区民まつりの満足度について年代別でみると、『満足』は 65～69 歳（41.5%）で４割を超えています。一方、『不満』はすべての年代でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は 20 歳代（60.7%）、30 歳代（65.7%）で６割台となっています。（図８－１－５）

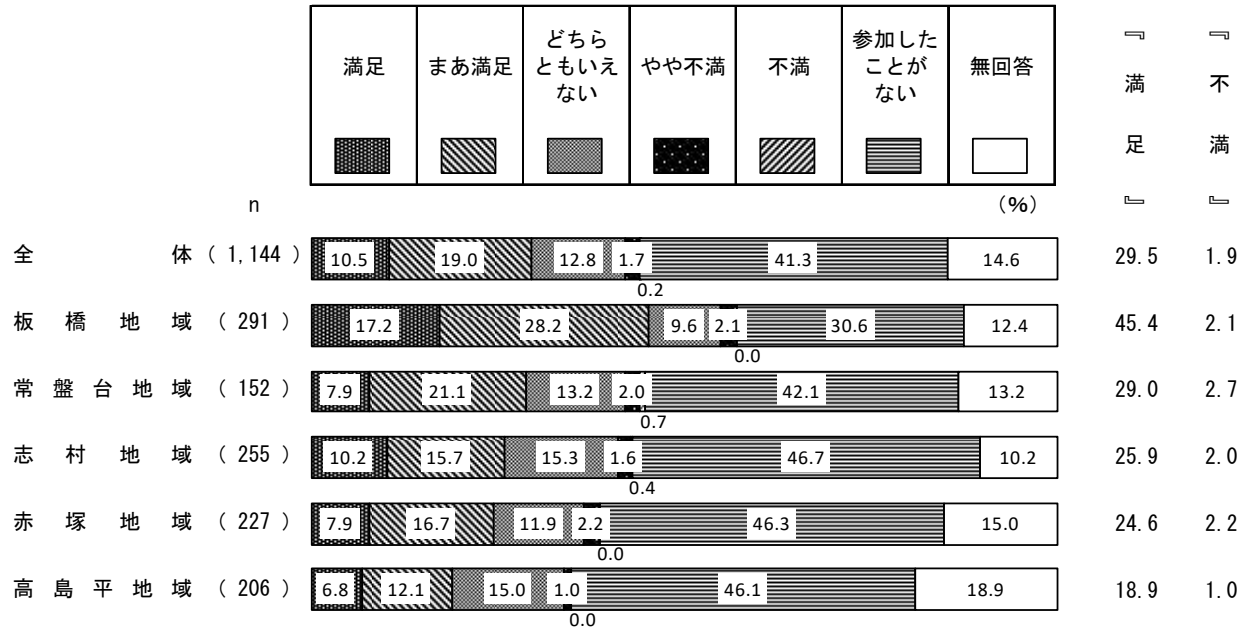
図８－１－５　板橋区民まつり満足度（年代別）



②　地域別

地域別でみると、『満足』は板橋地域（45.4%）で４割半ばとなっています。一方、『不満』はすべての地域でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は板橋地域を除く、すべての地域で４割台となっています。（図８－１－６）

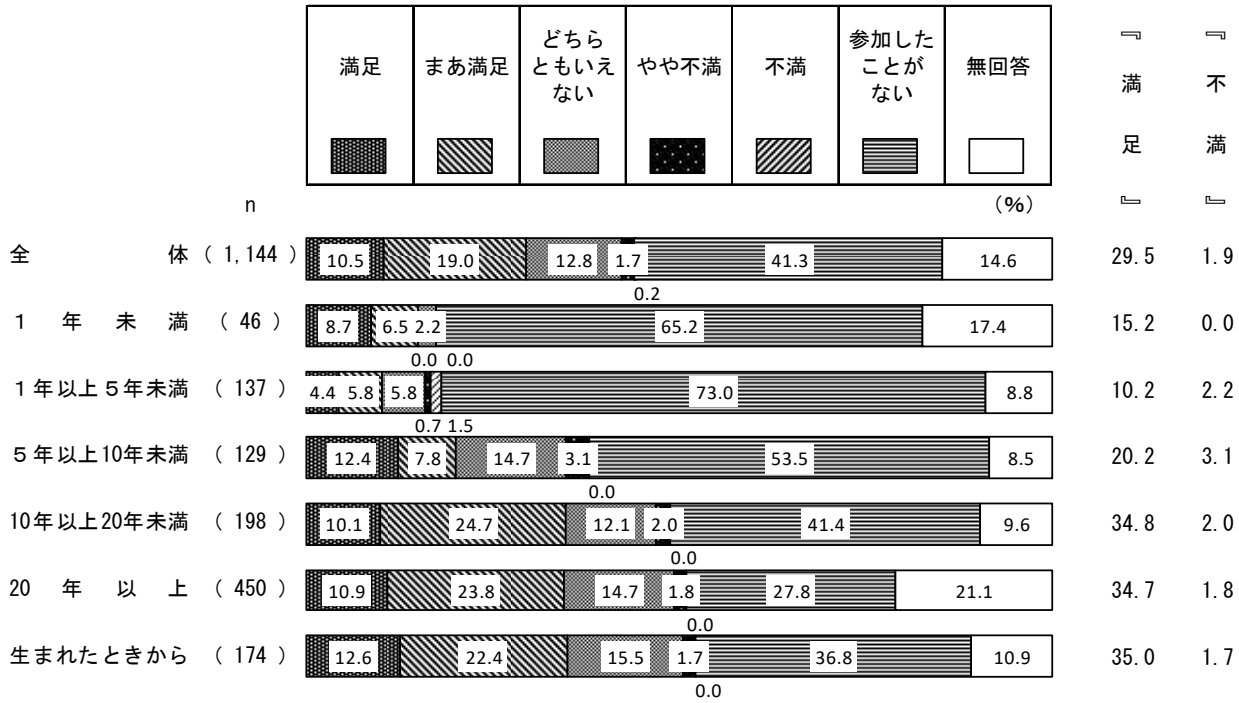
図８－１－６　板橋区民まつりの満足度（地域別）



③　居住年数別

居住年数別でみると、『満足』は居住年数が 10 年以上で３割台となっています。一方、『不満』はすべての居住年数でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は１年以上５年未満（73.0%）で７割を超え、１年未満（65.2%）で６割半ばとなっています。（図８－１－７）

図８－１－７　板橋区民まつりの満足度（居住年数別）

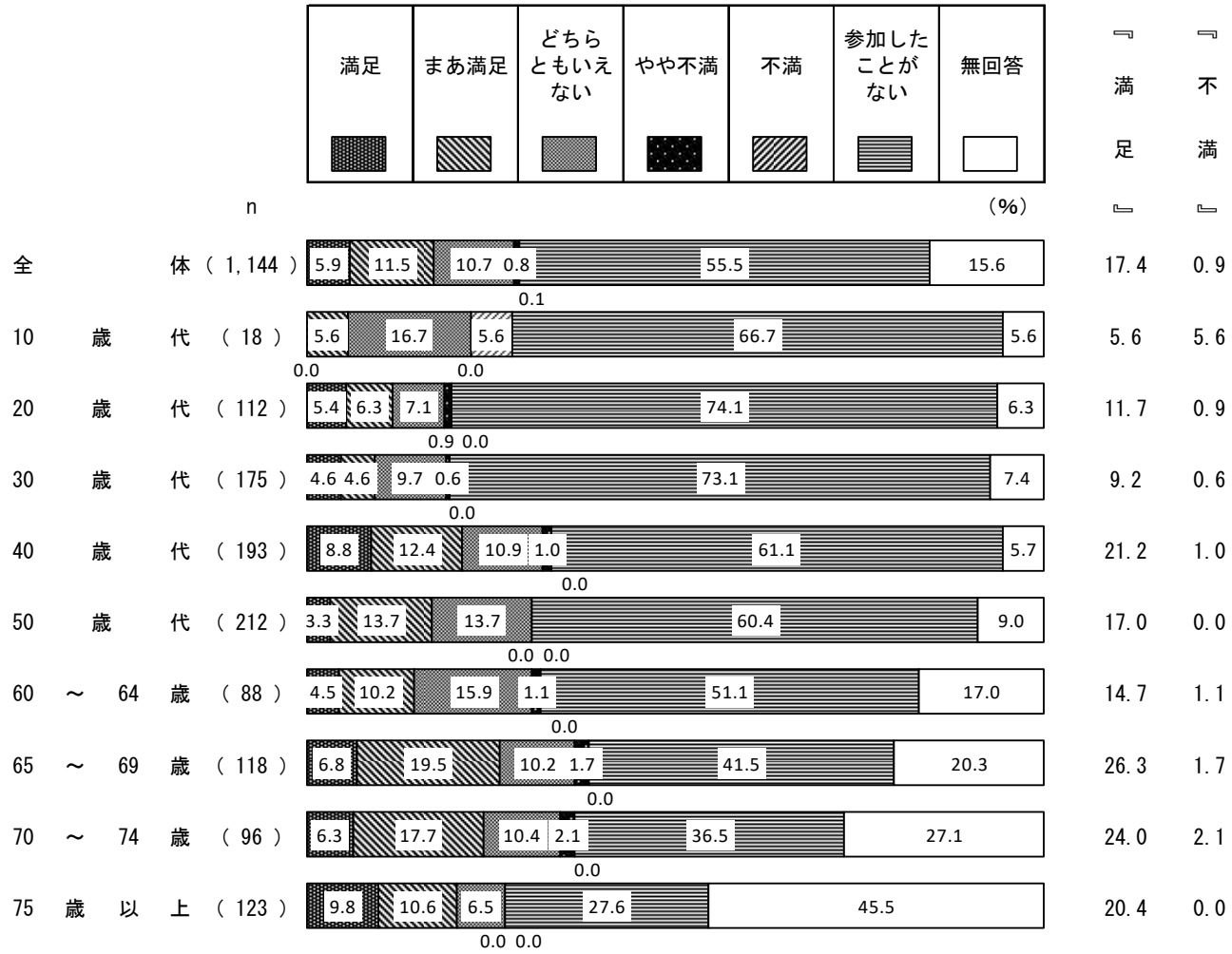


【板橋農業まつりの満足度】

①　年代別

板橋農業まつりの満足度について年代別でみると、『満足』は 40 歳代（21.2%）、65～69 歳（26.3%）、70～74 歳（24.0%）、75 歳以上（20.4%）で２割台となっています。一方、『不満』はすべての年代でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は 20 歳代（74.1%）、30 歳代（73.1%）で７割台となっています。（図８－１－８）

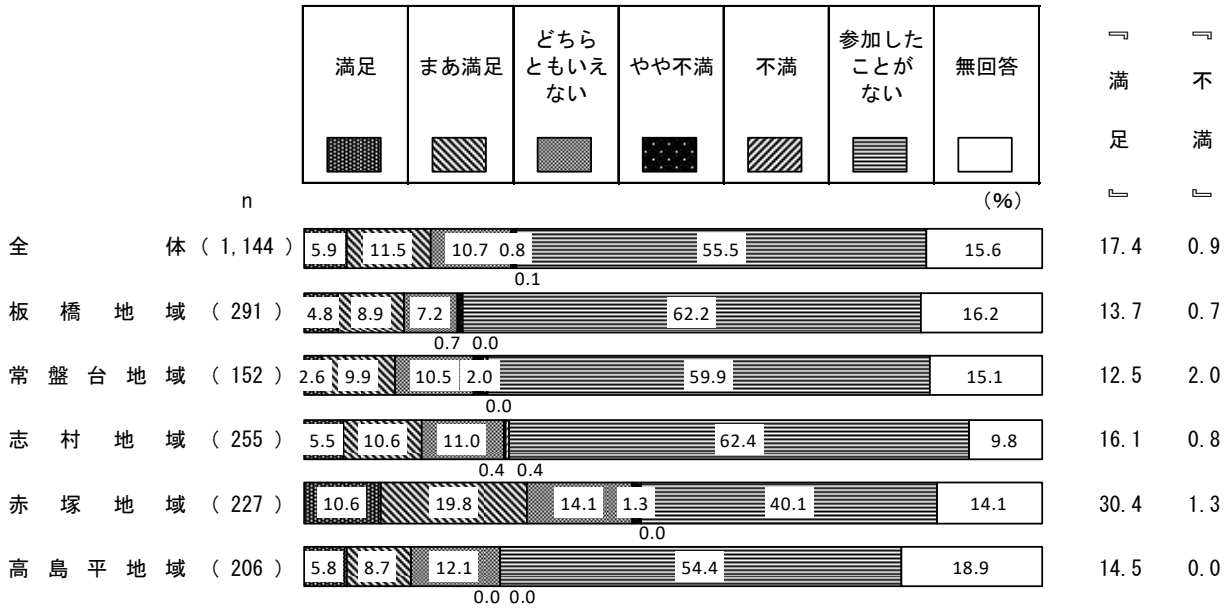
図８－１－８　板橋農業まつり満足度（年代別）



②　地域別

地域別でみると、『満足』は赤塚地域（30.4%）で３割となっています。一方、『不満』はすべての地域でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は板橋地域（62.2%）、志村地域（62.4%）で６割台となっています。（図８－１－９）

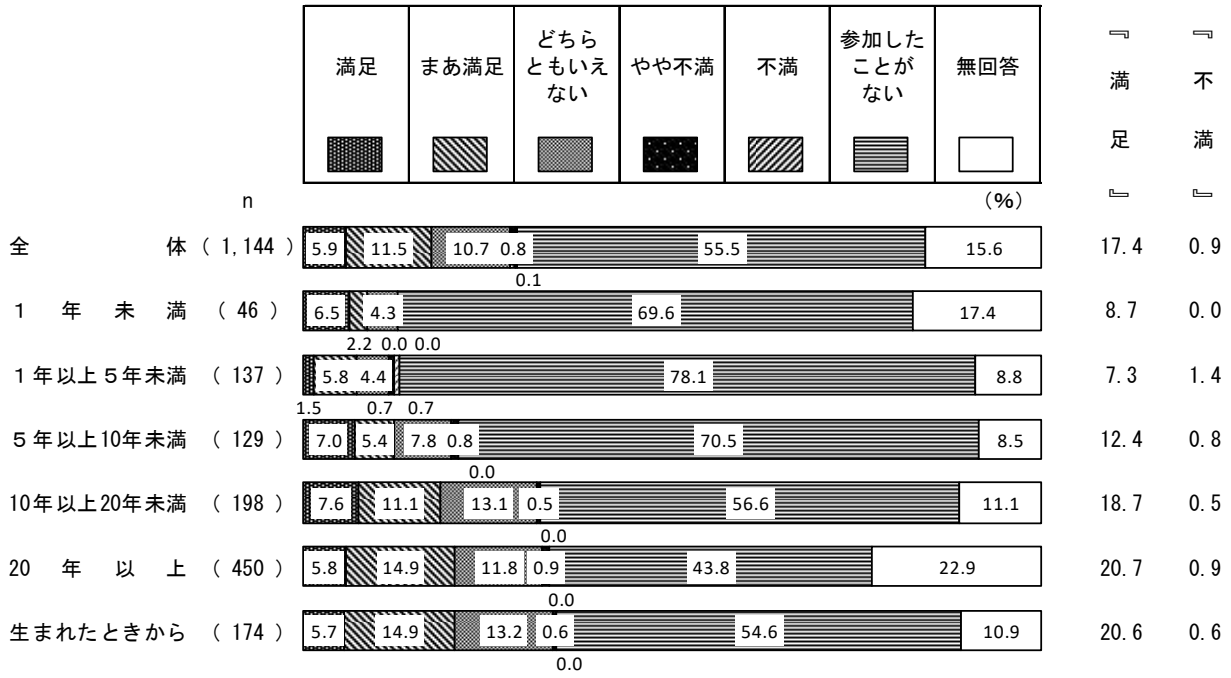
図８－１－９　板橋農業まつりの満足度（地域別）



③　居住年数別

居住年数別でみると、『満足』は20年以上（20.7%）、生まれたときから（20.6%）で約２割となっています。一方、『不満』はすべての居住年数でわずかとなっています。また、「参加したことがない」は１年以上５年未満（78.1%）、５年以上10年未満（70.5%）で７割台となっています。（図８－１－10）

図８－１－10　板橋農業まつりの満足度（居住年数別）

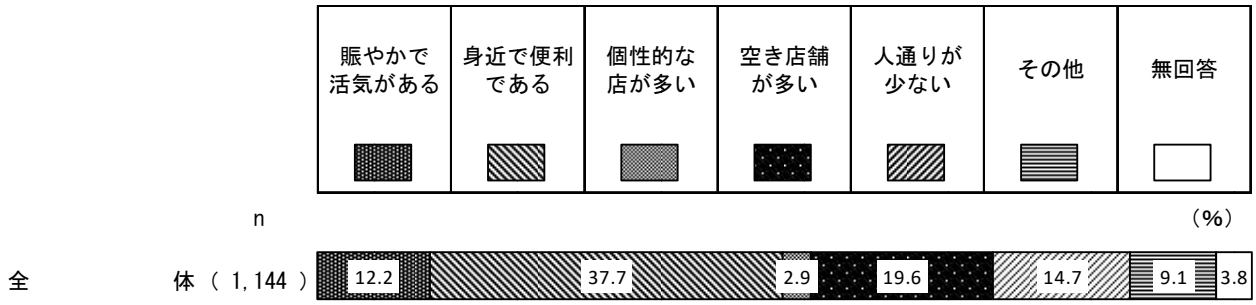


（２）身近な商店街に対する印象

◇「身近で便利である」が４割近く

問 20　あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図８－２－１

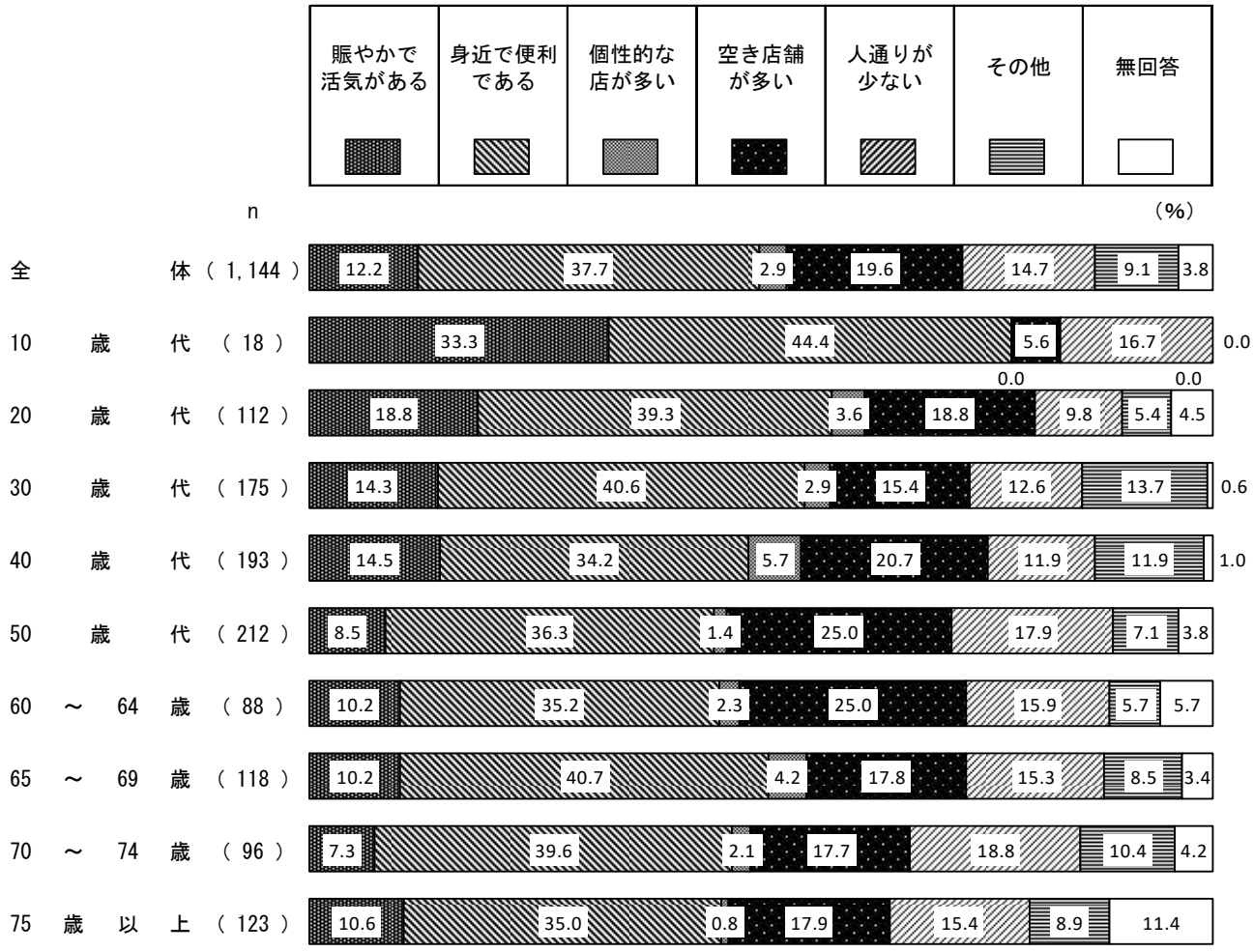


区内の身近な商店街に対する印象を聞いたところ、「身近で便利である」（37.7%）が４割近くとなっています。次いで「空き店舗が多い」（19.6%）、「人通りが少ない」（14.7%）、「賑やかで活気がある」（12.2%）が１割台となっています。（図８－２－１）

①　年代別

年代別でみると、「身近で便利である」は10歳代(44.4%)、30歳代(40.6%)、65～69歳(40.7%)で４割台となっています。「賑やかで活気がある」は 10 歳代（33.3%）で３割を超え、20 歳代（18.8%）で２割近くとなっています。一方、「空き店舗が多い」は 50 歳代（25.0%)、60～64 歳（25.0%)、40 歳代（20.7%）で２割台となっています。また、「人通りが少ない」は 50 歳代（17.9%)、70～74 歳（18.8%）で２割近くとなっています。（図８－２－２）

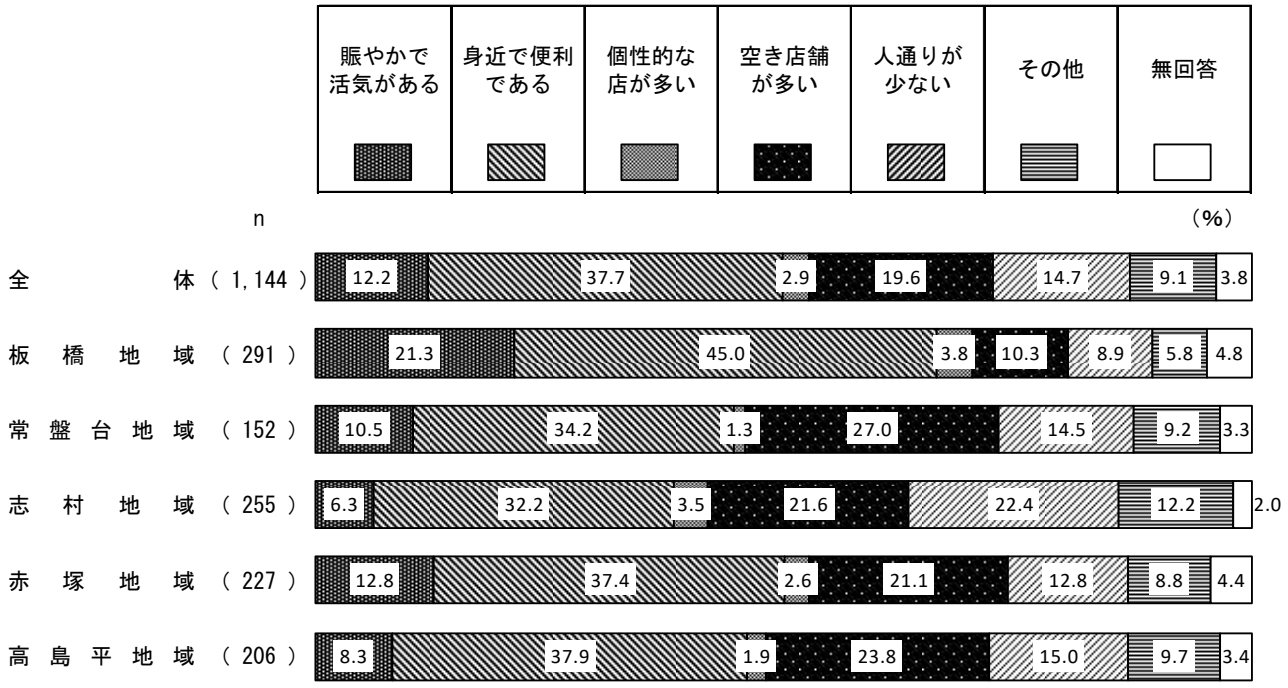
図８－２－２　身近な商店街に対する印象（年代別）



②　地域別

地域別でみると、「身近で便利である」は板橋地域（45.0%）で４割半ばとなっています。また、「賑やかで活気がある」は板橋地域（21.3%）で２割を超えています。一方、「空き店舗が多い」は板橋地域を除く、すべての地域で２割台となっています。また、「人通りが少ない」は志村地域（22.4%）で２割を超えています。（図８－２－３）

図８－２－３　身近な商店街に対する印象（地域別）

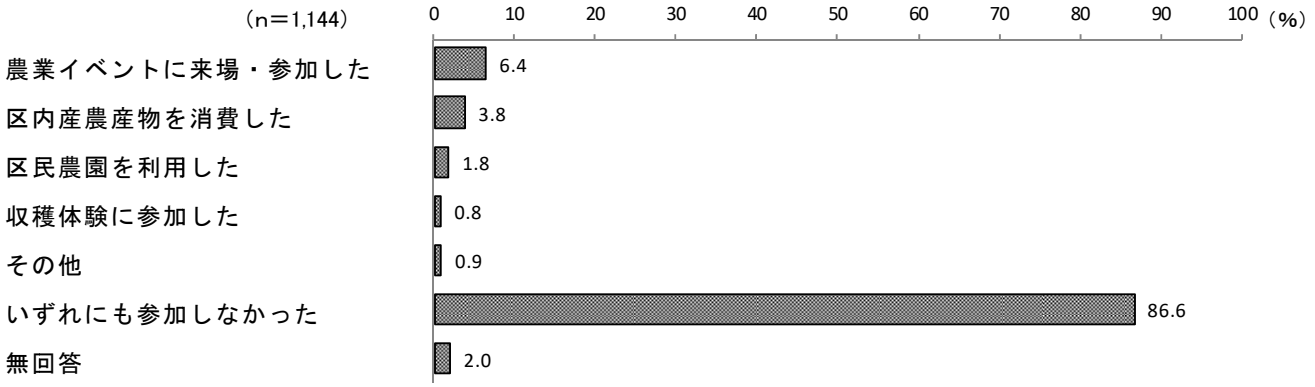


（３）過去１年間に農業にふれた機会

◇「いずれにも参加しなかった」が８割半ば

問 21　過去１年の間に区内の農業にふれる機会（板橋農業まつり参加、区内産農産物消費、区民農園利用、収穫体験参加等）がありましたか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図８－３－１



過去１年の間に区内の農業にふれる機会（板橋農業まつり参加、区内産農産物消費、区民農園利用、収穫体験参加等）があったか聞いたところ、「いずれにも参加しなかった」（86.6%）が８割半ばとなっています。一方、何らかの区内の農業にふれる機会があったと答えた方は、それぞれ１割未満となっています。（図８－３－１）

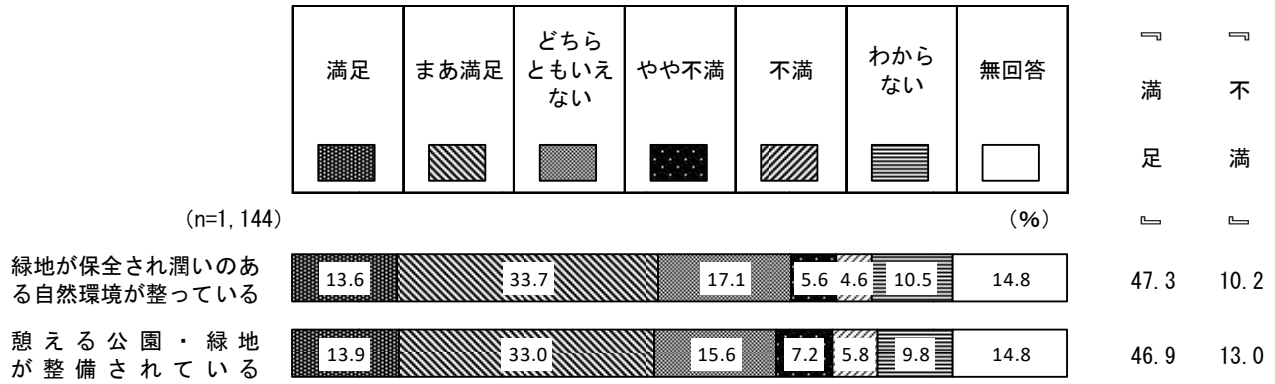
９．「緑と環境共生」について

（１）自然環境・公園に対する満足度

◇自然環境・公園ともに『満足』が４割台

問 22　「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」こと、「憩える公園・緑地が整備されている」ことについて、あなたの満足度をそれぞれ１つ選び、下の表に番号を記入してください。

図９－１－１



緑地が保全され潤いのある自然環境が整っていることに対する満足度を聞いたところ、「満足」（13.6%）と「まあ満足」（33.7%）を合わせた『満足』（47.3%）が５割近くとなっています。一方、「やや不満」（5.6%）、「不満」（4.6%）を合わせた『不満』（10.2%）は１割となっています。

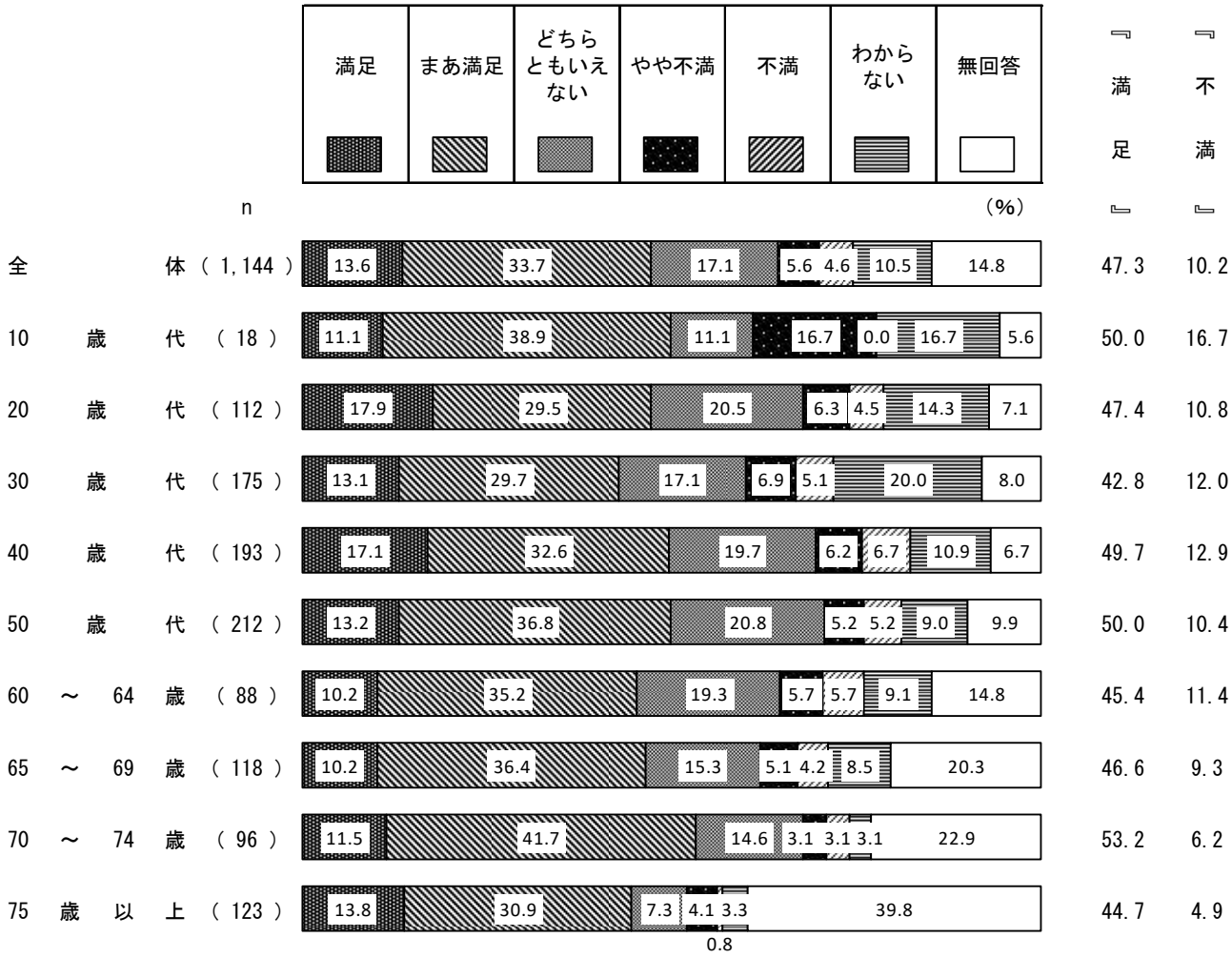
憩える公園・緑地が整備されていることに対する満足度については、『満足』（46.9%）が４割半ば、『不満』（13.0%）が１割を超えています。（図９－１－１）

【緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている】

①　年代別

年代別でみると、『満足』は 50 歳代（50.0%）、70～74 歳（53.2%）で５割台となっています。一方、『不満』は 10 歳代（16.7%）、20 歳代（10.8%）、30 歳代（12.0%）、40 歳代（12.9%）、50 歳代（10.4%）、60～64 歳（11.4）で１割台となっています。（図９－１－２）

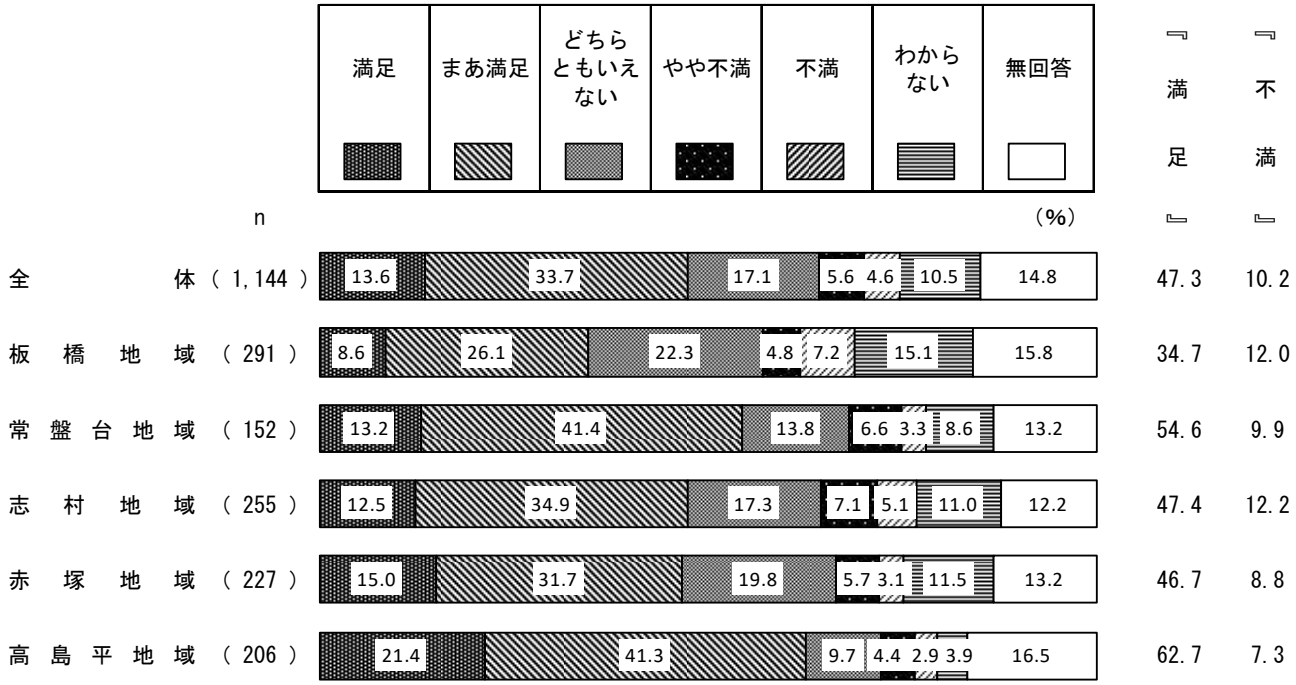
図９－１－２　緑地の保全・自然環境の整備に対する満足度（年代別）



②　地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域（62.7%）で６割を超え、常盤台地域（54.6%）で５割半ばとなっています。一方、『不満』は板橋地域（12.0%）、志村地域（12.2%）で１割を超えています。（図９－１－３）

図９－１－３　緑地の保全・自然環境の整備に対する満足度（地域別）

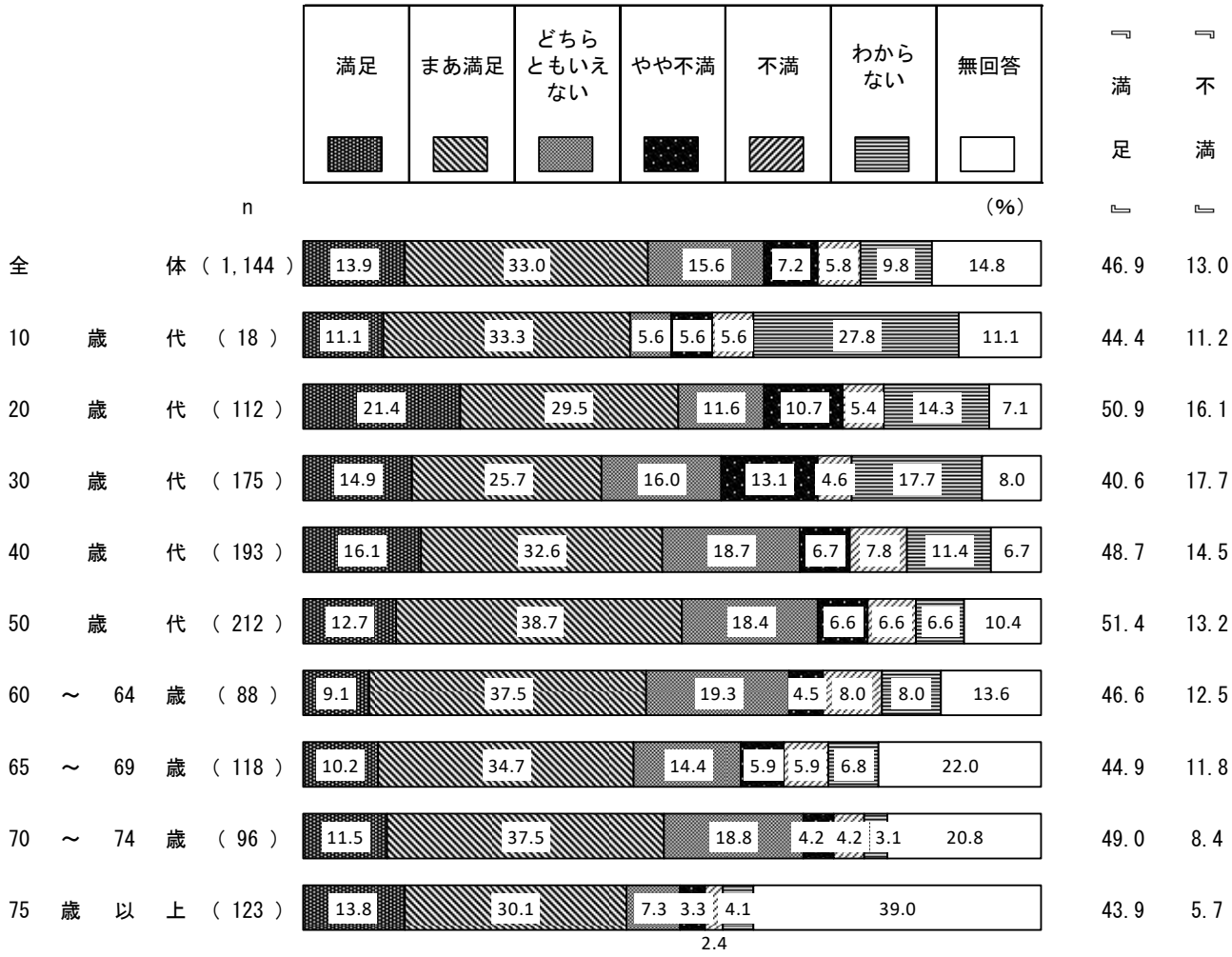


【憩える公園・緑地が整備されている】

①　年代別

年代別でみると、『満足』は 20 歳代（50.9%）、50 歳代（51.4%）で約５割となっています。一方、『不満』は 30 歳代（17.7%）で２割近く、70 歳以上を除くすべての年代で１割台となっています。（図９－１－４）

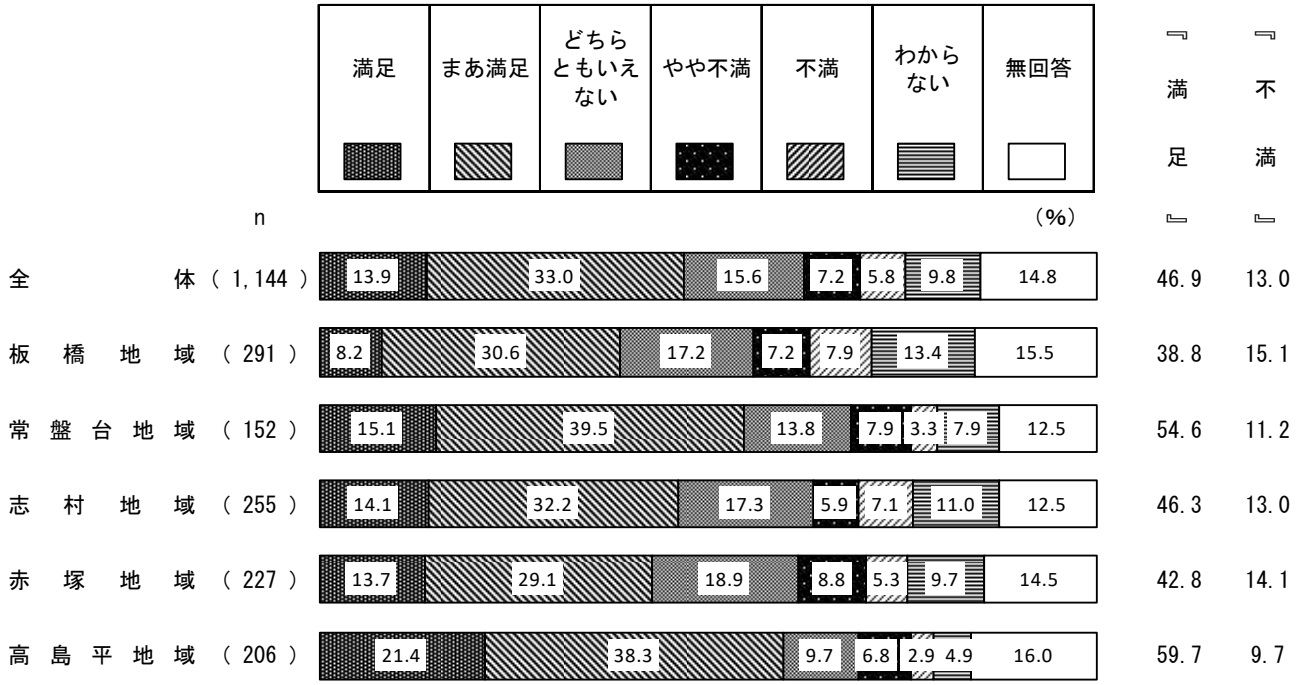
図９－１－４　公園・緑地の整備に対する満足度（年代別）



②　地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域（59.7%）、常盤台地域（54.6%）で５割台となっています。一方、『不満』は高島平地域（9.7%）を除くすべての地域で１割台となっています。（図９－１－５）

図９－１－５　公園・緑地の整備に対する満足度（地域別）

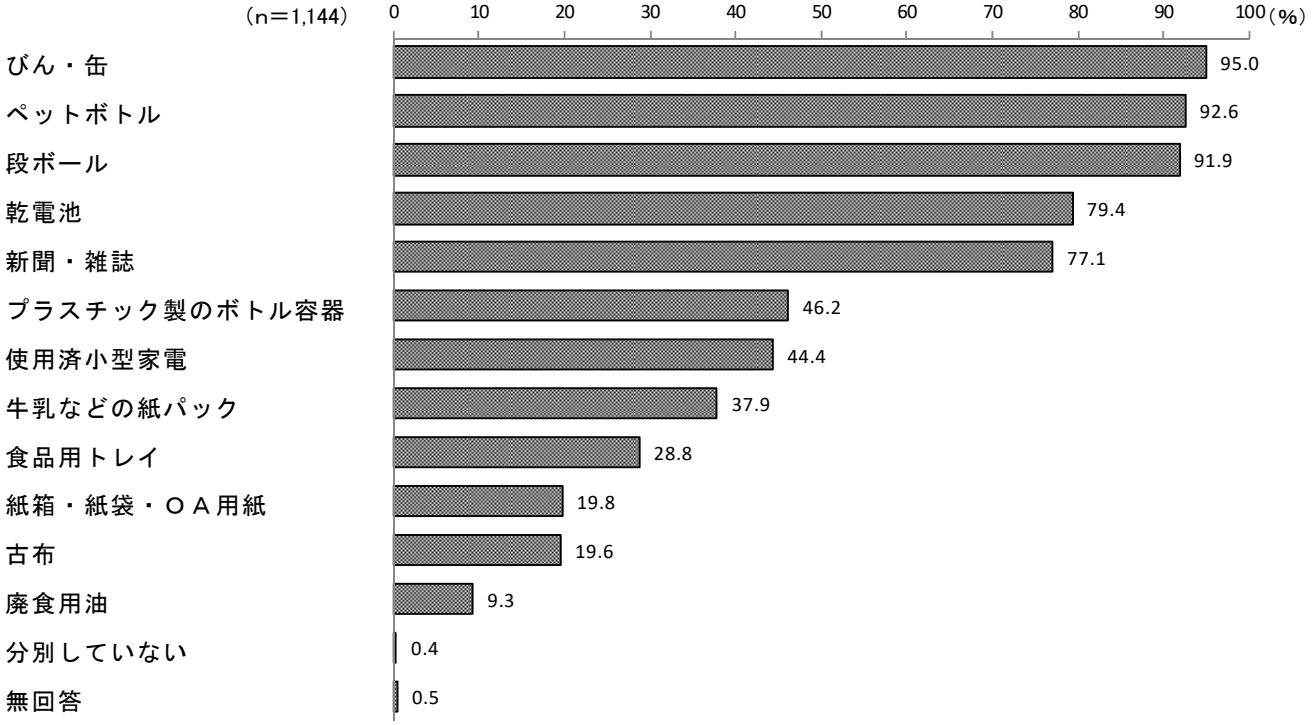


（２）資源としてごみと分別しているもの

◇「びん・缶」、「ペットボトル」、「段ボール」が９割台

問 23　資源として、あなたが日頃からごみと分別して出しているものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図９－２－１



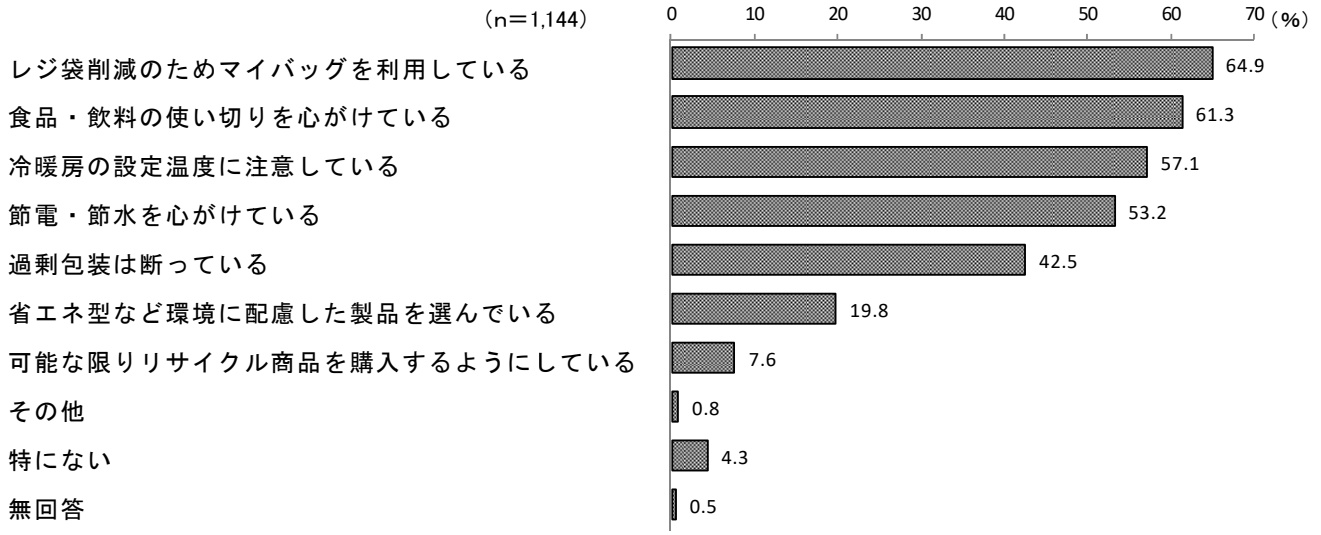
資源としてごみと分別しているものを聞いたところ、「びん・缶」（95.0%）、「ペットボトル」（92.6%）、「段ボール」（91.9%）が９割台となっています。次いで「乾電池」（79.4%）、「新聞・雑誌」（77.1%）が７割台となっています。一方、「分別していない」（0.4%）はわずかとなっています。（図９－２－１）

（３）環境のために取り組んでいること

◇「レジ袋削減のためマイバッグを利用している」が６割半ば

問 24　あなたが、環境のために取り組んでいることは何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図９－３－１



環境のために取り組んでいることを聞いたところ、「レジ袋削減のためマイバッグを利用している」（64.9%）、「食品・飲料の使い切りを心がけている」（61.3%）が６割台、「冷暖房の設定温度に注意している（57.1%）、「節電・節水を心がけている」（53.2%）が５割台となっています。一方、「特にない」（4.3%）はわずかとなっています。（図９－３－１）

① 性別

性別でみると、「レジ袋削減のためマイバッグを利用している」は女性（72.2%）で第１位となっており、男性（54.9%）より 17.3 ポイント高くなっています。「食品・飲料の使い切りを心がけている」は男性（59.3%）で第１位となっています。（表９－３－１）

表９－３－１　環境のために取り組んでいること（性別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 64.9	食品・飲料の使い切りを心がけている 61.3	冷暖房の設定温度に注意している 57.1	節電・節水を心がけている 53.2	過剰包装は断っている 42.5
性別	男性	455	食品・飲料の使い切りを心がけている 59.3	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 54.9	節電・節水を心がけている 49.9	冷暖房の設定温度に注意している 48.6	過剰包装は断っている 34.5
	女性	661	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 72.2	冷暖房の設定温度に注意している 63.2	食品・飲料の使い切りを心がけている 62.3	節電・節水を心がけている 56.0	過剰包装は断っている 48.4

②　年代別

年代別でみると、「レジ袋削減のためマイバッグを利用している」は 40 歳以上のすべての年代で第１位となっています。「食品・飲料の使い切りを心がけている」は 20 歳代（53.6%）、30 歳代（56.6%）で第１位となっています。（表９－３－２）

表９－３－２　環境のために取り組んでいること（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 64.9	食品・飲料の使い切りを心がけている 61.3	冷暖房の設定温度に注意している 57.1	節電・節水を心がけている 53.2	過剰包装は断っている 42.5
年代別	10　歳　代	18	節電・節水を心がけている 66.7	レジ袋削減のためマイバッグを利用している／過剰包装は断っている／冷暖房の設定温度に注意している 55.6			食品・飲料の使い切りを心がけている 50.0
	20　歳　代	112	食品・飲料の使い切りを心がけている 53.6	冷暖房の設定温度に注意している 48.2	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 42.0	節電・節水を心がけている 35.7	過剰包装は断っている 25.0
	30　歳　代	175	食品・飲料の使い切りを心がけている 56.6	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 52.6	冷暖房の設定温度に注意している 52.0	節電・節水を心がけている 44.6	過剰包装は断っている 40.6
	40　歳　代	193	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 67.4	食品・飲料の使い切りを心がけている 63.7	冷暖房の設定温度に注意している 52.3	節電・節水を心がけている 48.7	過剰包装は断っている 43.0
	50　歳　代	212	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 73.1	食品・飲料の使い切りを心がけている 59.4	冷暖房の設定温度に注意している 58.5	節電・節水を心がけている 53.8	過剰包装は断っている 51.4
	60 ～ 64 歳	88	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 65.9	食品・飲料の使い切りを心がけている 61.4	節電・節水を心がけている／冷暖房の設定温度に注意している 54.5		過剰包装は断っている 46.6
	65 ～ 69 歳	118	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 73.7	食品・飲料の使い切りを心がけている 72.0	節電・節水を心がけている／冷暖房の設定温度に注意している 61.9		過剰包装は断っている 39.8
	70 ～ 74 歳	96	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 70.8	節電・節水を心がけている 69.8	冷暖房の設定温度に注意している 67.7	食品・飲料の使い切りを心がけている 61.5	過剰包装は断っている 52.1
	75 歳 以 上	123	レジ袋削減のためマイバッグを利用している 74.8	冷暖房の設定温度に注意している 66.7	節電・節水を心がけている 65.0	食品・飲料の使い切りを心がけている 64.2	過剰包装は断っている 37.4

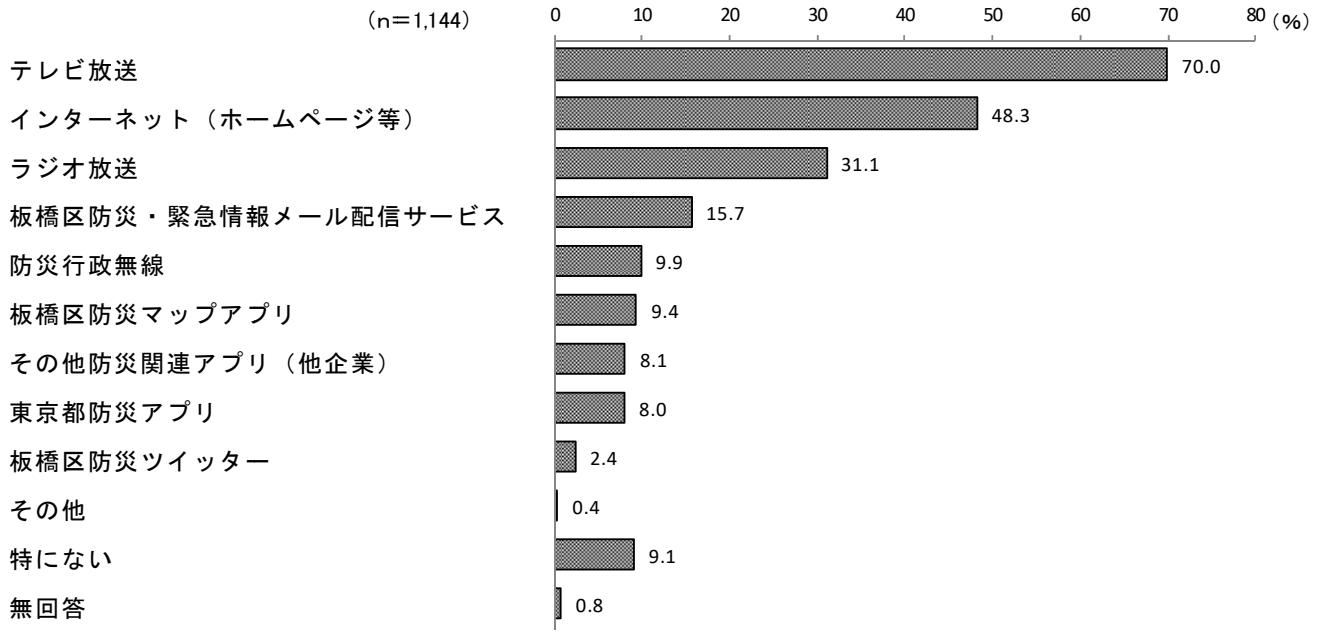
10. 「万全な備えの安心・安全」について

（１）災害情報を収集するための手段

◇「テレビ放送」が７割

問 25　災害情報を収集するために、あなたが確保している手段について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 10－１－１



災害情報を収集するための手段について聞いたところ、「テレビ放送」（70.0%）が７割となっています。次いで「インターネット（ホームページ等）」（48.3%）、「ラジオ放送」（31.1%）、「板橋区防災・緊急情報メール配信サービス」（15.7%）、「防災行政無線」（9.9%）となっています。一方、「特にない」（9.1%）は約１割となっています。（図 10－１－１）

①　年代別

年代別でみると、「テレビ放送」は 50 歳以上のすべての年代で第１位となっています。「インターネット（ホームページ等）」は 40 歳代以下のすべての年代で第１位となっています。

その他の特徴として、「板橋区防災マップアプリ」が 75 歳以上（16.3%）で、「特にない」が 20 歳代（19.6%）で第３位となっています。（表 10－１－１）

表 10－１－１　災害情報を収集するための手段（年代別）

（%）

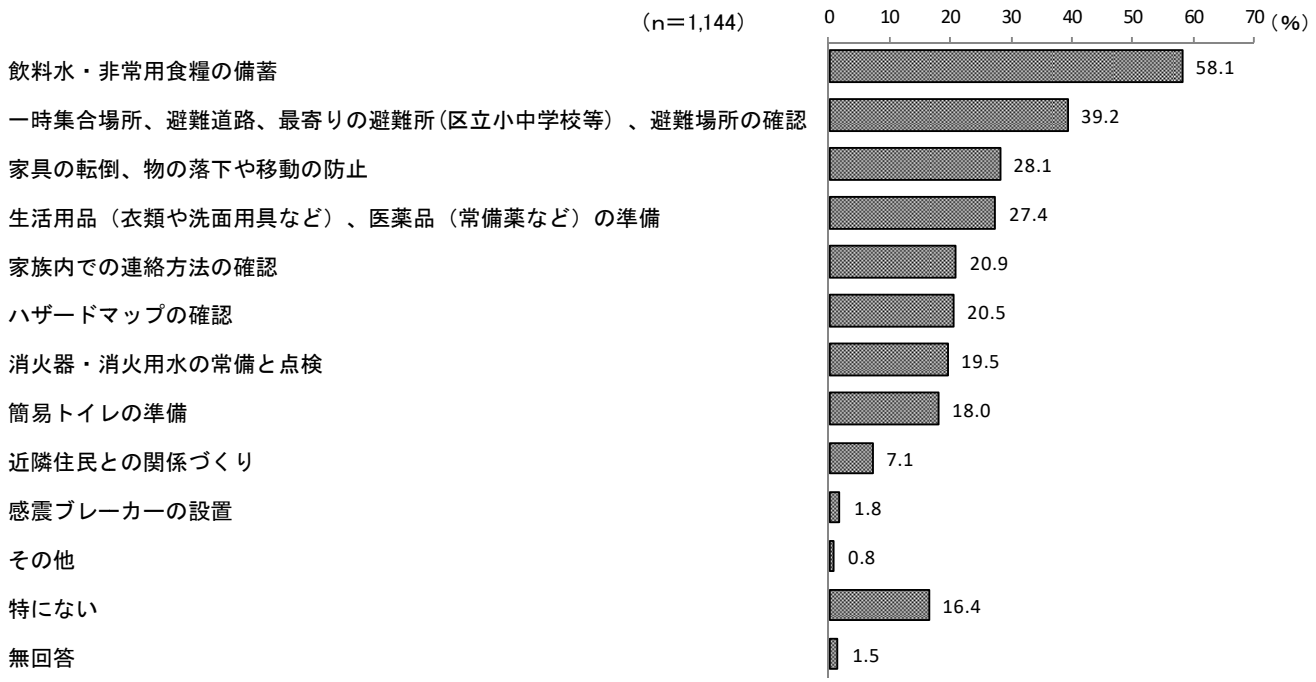
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	テレビ放送 70.0	インターネット（ホームページ等） 48.3	ラジオ放送 31.1	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 15.7	防災行政無線 9.9
年代別	10　歳　代	18	インターネット（ホームページ等） 77.8	テレビ放送 66.7	ラジオ放送 38.9	防災行政無線／東京都防災アプリ 16.7	
	20　歳　代	112	インターネット（ホームページ等） 53.6	テレビ放送 51.8	特にない 19.6	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 10.7	その他防災関連アプリ（他企業）／ラジオ放送 9.8
	30　歳　代	175	インターネット（ホームページ等） 69.1	テレビ放送 57.7	ラジオ放送 18.9	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス／特にない 12.6	
	40　歳　代	193	インターネット（ホームページ等） 64.8	テレビ放送 62.2	ラジオ放送 30.6	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 21.2	特にない 11.9
	50　歳　代	212	テレビ放送 67.5	インターネット（ホームページ等） 59.9	ラジオ放送 35.8	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 18.4	その他防災関連アプリ（他企業） 11.3
	60 ～ 64 歳	88	テレビ放送 85.2	インターネット（ホームページ等） 45.5	ラジオ放送 38.6	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 25.0	防災行政無線／板橋区防災マップアプリ 15.9
	65 ～ 69 歳	118	テレビ放送 87.3	ラジオ放送 39.0	インターネット（ホームページ等） 27.1	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 13.6	板橋区防災マップアプリ 11.9
	70 ～ 74 歳	96	テレビ放送 81.3	ラジオ放送 41.7	インターネット（ホームページ等） 24.0	防災行政無線 18.8	板橋区防災マップアプリ 17.7
	75 歳 以 上	123	テレビ放送 85.4	ラジオ放送 39.0	板橋区防災マップアプリ 16.3	防災行政無線 14.6	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 9.8

（２）災害に備えた家庭内での対策

◇「飲料水・非常用食料の備蓄」が６割近く

問 26　あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 10－２－１



災害に備えた家庭内での対策を聞いたところ、「飲料水・非常用食糧の備蓄」（58.1%）が６割近くとなっています。次いで「一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認」（39.2%）、「家具の転倒、物の落下や移動の防止」（28.1%）、「生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備」（27.4%）、「家族内での連絡方法の確認」（20.9%）となっています。一方、「特にない」（16.4%）は１割半ばとなっています。（図 10－２－１）

①　年代別

年代別でみると、「飲料水・非常用食糧の備蓄」はすべての年代で第１位となっています。「一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認」は 65～69 歳を除く、すべての年代で第２位となっています。「家具の転倒、物の落下や移動の防止」は 65～69 歳（34.7%）、70～74 歳（38.5%）で第２位となっています。

その他の特徴として、「ハザードマップの確認」は 30 歳代（21.1%）、65～69 歳（27.1%）で第４位、40 歳代（26.4%）で第５位となっています。また、「特にない」が 20 歳代（27.7%）で第３位となっています。

（表 10－２－１）

表 10－２－１　災害に備えた家庭内での対策（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	飲料水・非常用食糧の備蓄 58.1	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 39.2	家具の転倒、物の落下や移動の防止 28.1	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 27.4	家族内での連絡方法の確認 20.9
年代別	10　歳　代	18	飲料水・非常用食糧の備蓄 61.1	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 44.4	家具の転倒、物の落下や移動の防止／家族内での連絡方法の確認 38.9		生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 33.3
	20　歳　代	112	飲料水・非常用食糧の備蓄 46.4	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 32.1	特にない 27.7	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 21.4	家族内での連絡方法の確認 16.1
	30　歳　代	175	飲料水・非常用食糧の備蓄 50.3	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 40.0	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 27.4	ハザードマップの確認／特にない 21.1	
	40　歳　代	193	飲料水・非常用食糧の備蓄 62.7	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 46.1	家具の転倒、物の落下や移動の防止 32.6	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 29.5	ハザードマップの確認 26.4
	50　歳　代	212	飲料水・非常用食糧の備蓄 65.1	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 40.6	家具の転倒、物の落下や移動の防止 29.7	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 27.4	家族内での連絡方法の確認 23.1
	60 ～ 64 歳	88	飲料水・非常用食糧の備蓄 53.4	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 44.3	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 31.8	家具の転倒、物の落下や移動の防止／家族内での連絡方法の確認 27.3	
	65 ～ 69 歳	118	飲料水・非常用食糧の備蓄 69.5	家具の転倒、物の落下や移動の防止 34.7	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 32.2	ハザードマップの確認 27.1	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 26.3
	70 ～ 74 歳	96	飲料水・非常用食糧の備蓄 58.3	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認／家具の転倒、物の落下や移動の防止 38.5		消火器・消火用水の常備と点検 29.2	簡易トイレの準備 27.1
	75 歳 以 上	123	飲料水・非常用食糧の備蓄 53.7	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認 35.0	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備 33.3	家具の転倒、物の落下や移動の防止 30.9	家族内での連絡方法の確認 24.4

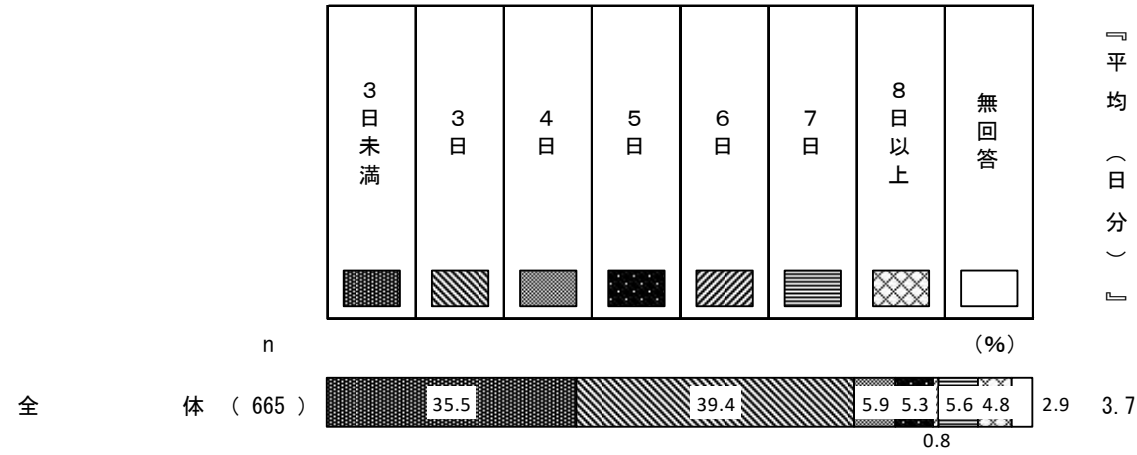
（２－１）飲料水・非常用食糧の備蓄日数

◇「３日」が約４割

（問 26 で「１　飲料水・非常用食料の備蓄」を選んだ方のみ）

問 26－１　およそ何日分の備蓄をしていますか。

図 10－２－２



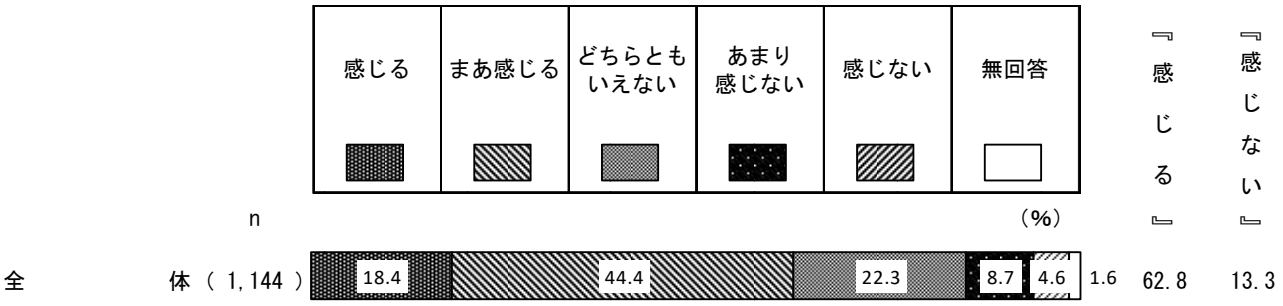
飲料水・非常用食糧を備蓄していると答えた人（665 人）に、およそ何日分の備蓄をしているかを聞いたところ、「３日」（39.4%）が約４割、「３日未満」（35.5%）が３割半ばとなっています。平均では 3.7 日分となっています。（図 10－２－２）

（３）お住まいの地域の治安

◇『感じる』が６割超え

問 27　あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 10－３－１

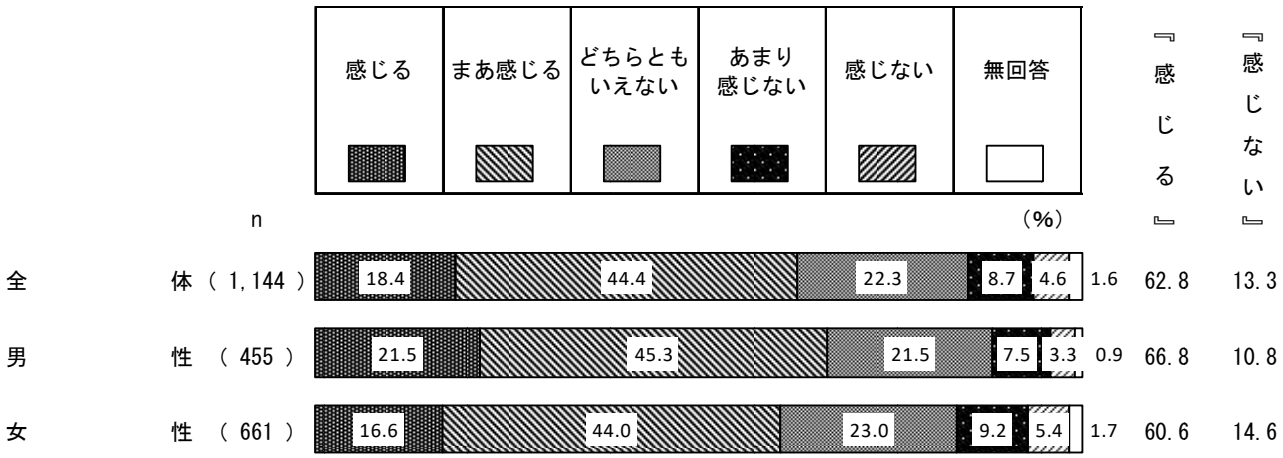


お住まいの地域の治安が保たれていると感じるかを聞いたところ、「感じる」（18.4％）が２割近くとなり、これに「まあ感じる」（44.4％）を合わせた『感じる』（62.8％）は６割を超えています。一方、「あまり感じない」（8.7％）、「感じない」（4.6％）を合わせた『感じない』（13.3％）は１割を超えています。（図 10－３－１）

① 性別

性別でみると、『感じる』は男性（66.8％）が女性（60.6％）より 6.2 ポイント高くなっています。（図 10－３－２）

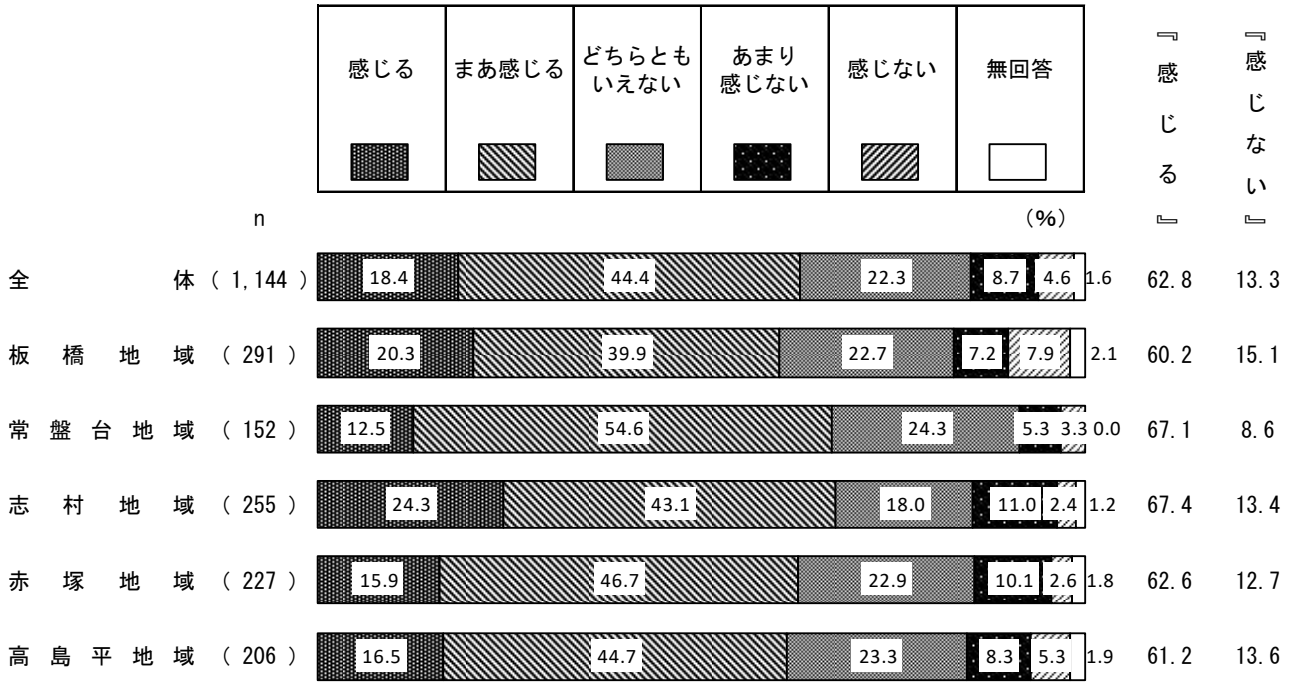
図 10－３－２　お住まいの地域の治安（性別）



②　地域別

地域別でみると、『感じる』はすべての地域で６割台となっています。一方、『感じない』は常盤台地域を除く、すべての地域で１割台となっています。（図 10－３－３）

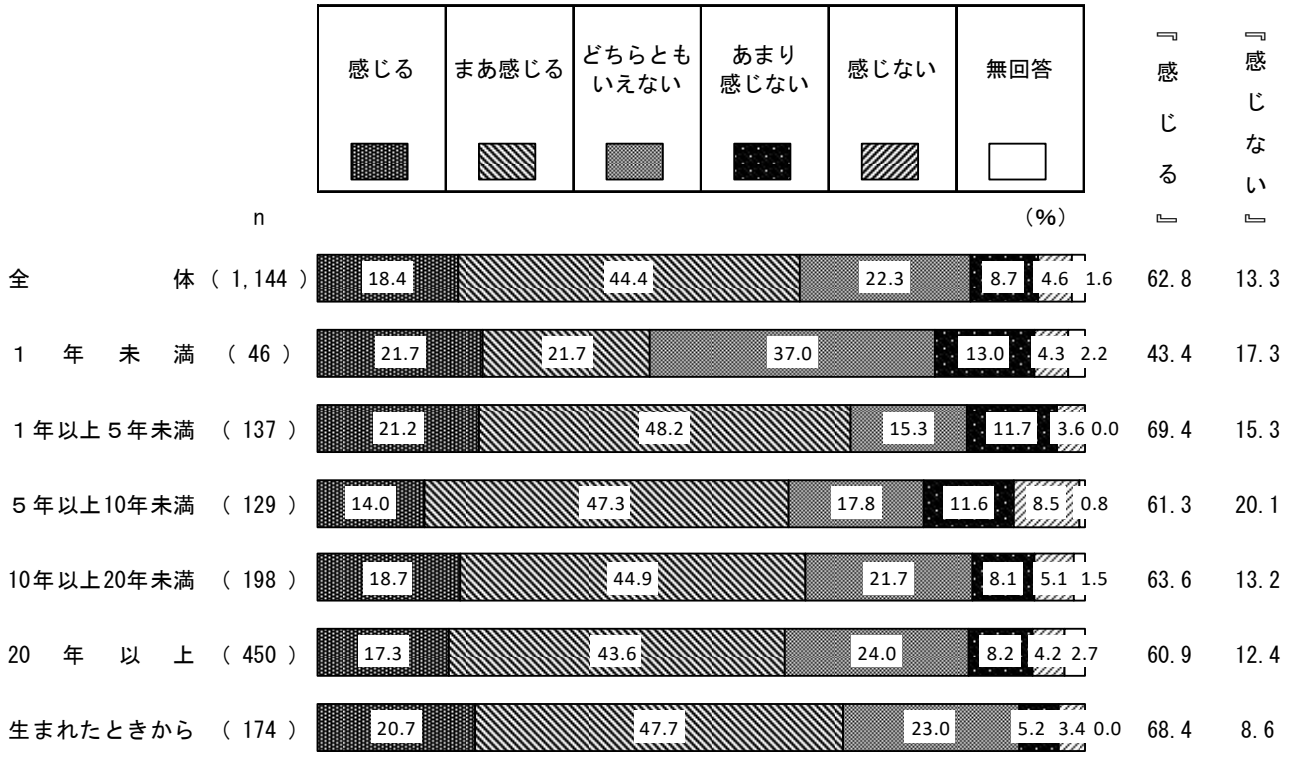
図 10－３－３　お住まいの地域の治安（地域別）



③　居住年数別

居住年数別でみると、『感じる』は居住年数が１年以上ではすべて６割台となっています。一方、『感じない』は５年以上 10 年未満（20.1%）で２割となっています。（図 10－３－４）

図 10－３－４　お住まいの地域の治安（居住年数別）



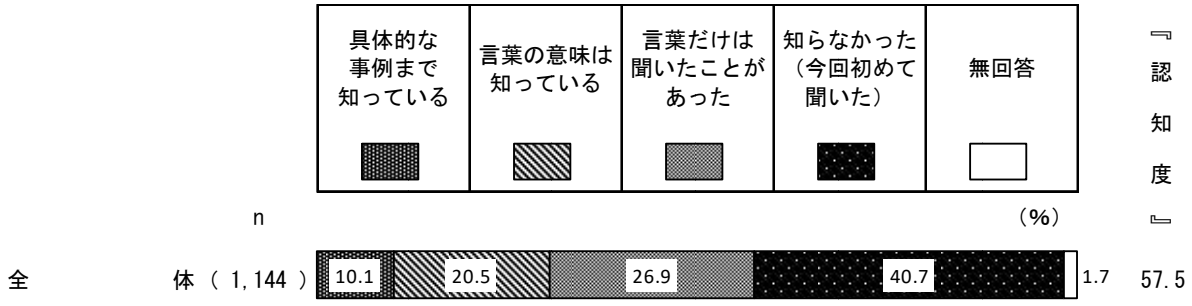
11. 「快適で魅力あるまち」について

（１）「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇『認知度』は６割近く

問 28　あなたは、「ユニバーサルデザイン」についてどの程度知っていますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 11－１－１

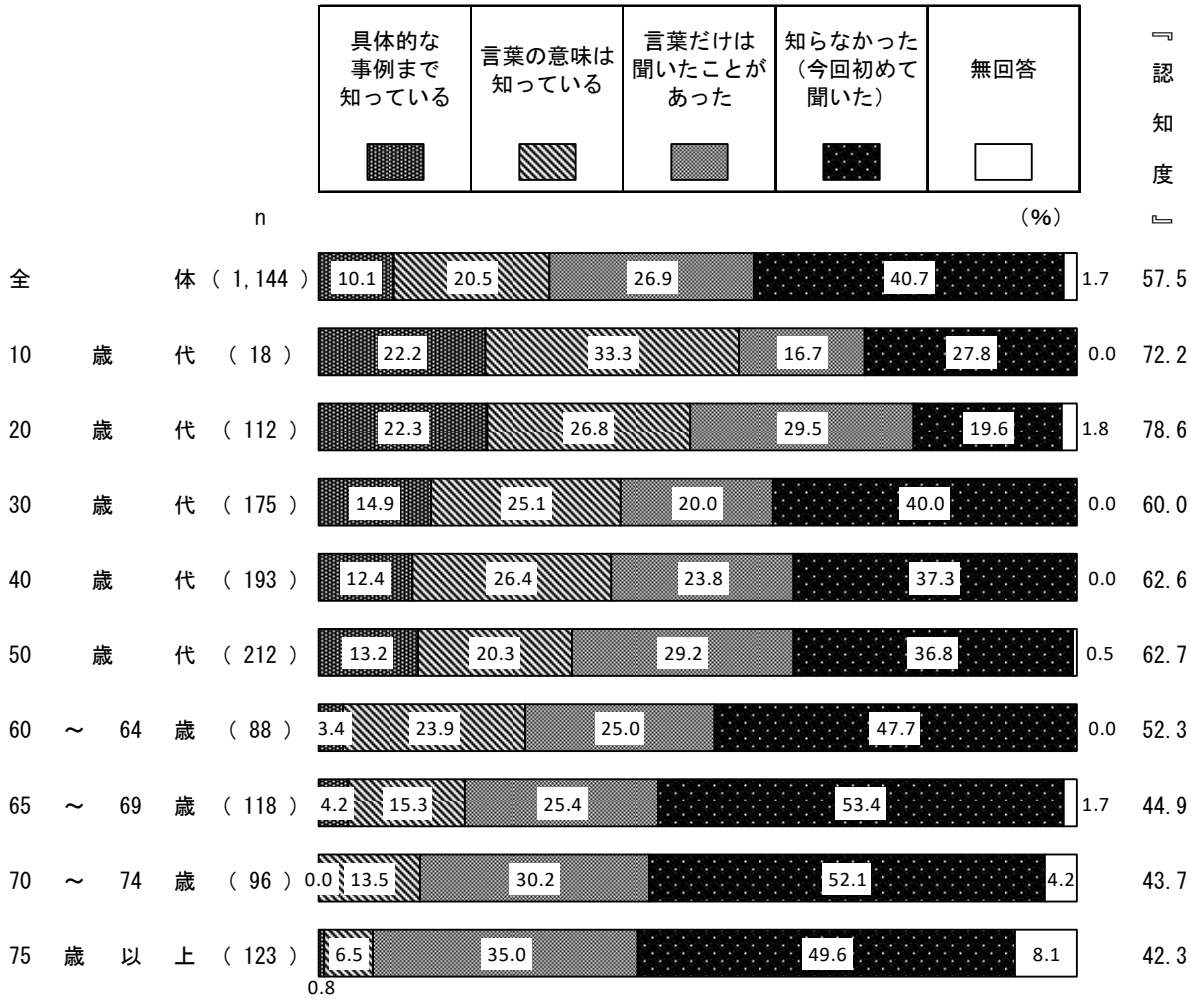


ユニバーサルデザインをどの程度知っているかを聞いたところ、「具体的な事例まで知っている」(10.1%)、「言葉の意味は知っている」(20.5%)、「言葉だけは聞いたことがあった」(26.9%)を合わせた『認知度』(57.5%)は６割近くとなっています。一方、「知らなかった（今回初めて聞いた)」(40.7%)は約４割となっています。(図 11－１－１)

①　年代別

年代別でみると、『認知度』は 10 歳代（72.2%）、20 歳代（78.6%）で７割台、30 歳代（60.0%）、40 歳代（62.6%）、50 歳代（62.7%）で６割台となっています。「具体的な事例まで知っている」は 10 歳代（22.2%）、20 歳代（22.3%）で２割を超えています。一方、「知らなかった（今回初めて聞いた）」は 65～69 歳（53.4%）、70～74 歳（52.1%）で５割を超えています。
（図 11－１－２）

図 11－１－２　ユニバーサルデザインの認知度（年代別）

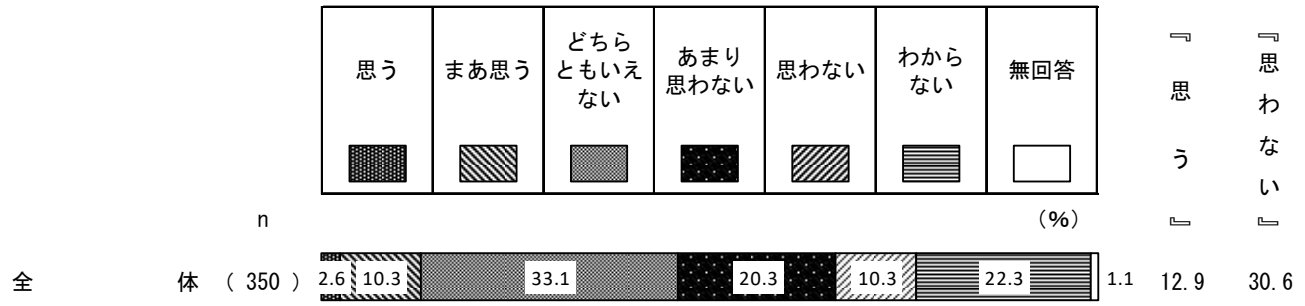


（１－１）取り組みの進捗状況

◇取組が進んでいると『思う』は１割超え

（問 28 で「１　具体的な事例まで知っている」「２　言葉の意味は知っている」と回答した方のみ）
問 28－１　板橋区では、ユニバーサルデザインを推進していますが、取組が進んでいると思いますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 11－１－３

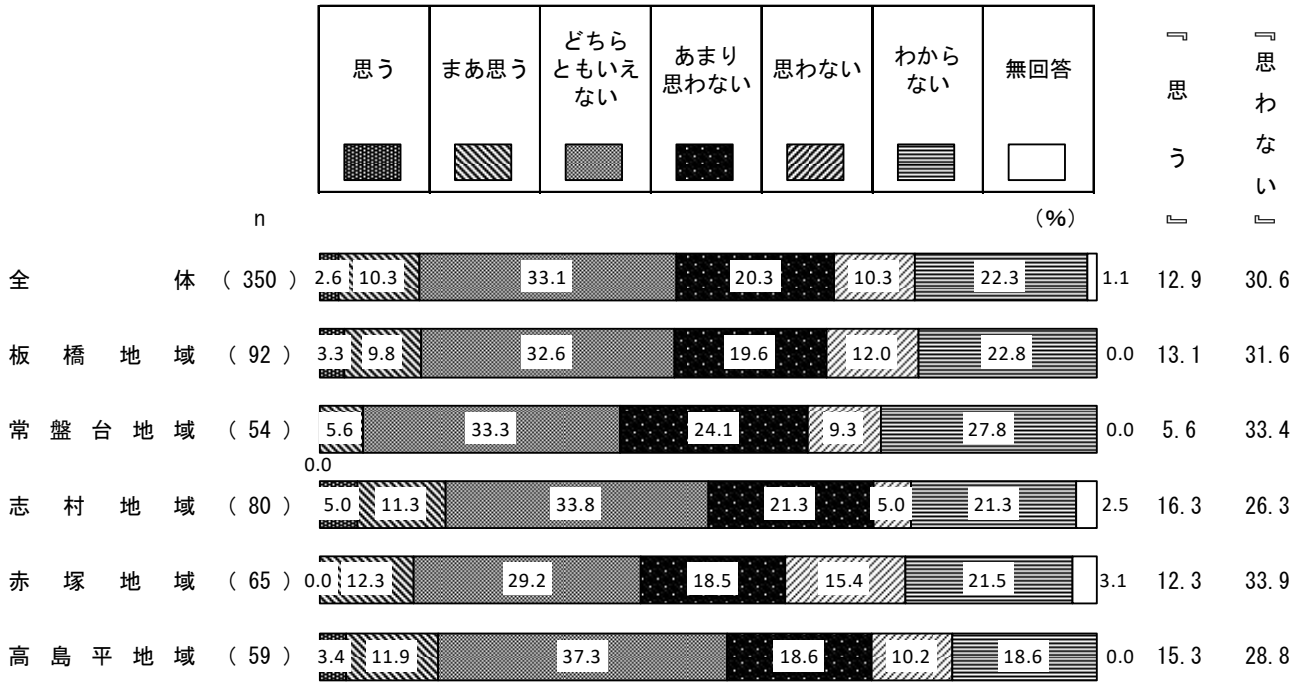


ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思うかを聞いたところ、「思う」（2.6%）と「まあ思う」（10.3%）を合わせた『思う』（12.9%）は１割を超えています。一方、「あまり思わない」（20.3%）と「思わない」（10.3%）を合わせた『思わない』（30.6%）は約３割となっています。また、「どちらともいえない」（33.1%）は３割を超え、「わからない」（22.3%）は２割を超えています。（図 11－１－３）

①　地域別

地域別でみると、『思う』は常盤台地域を除く、すべての地域で１割台となっています。一方、『思わない』は板橋地域（31.6%）、常盤台地域（33.4%）、赤塚地域（33.9%）で３割台となっています。（図 11－１－４）

図 11－１－４　ユニバーサルデザインの取組の進捗状況（地域別）

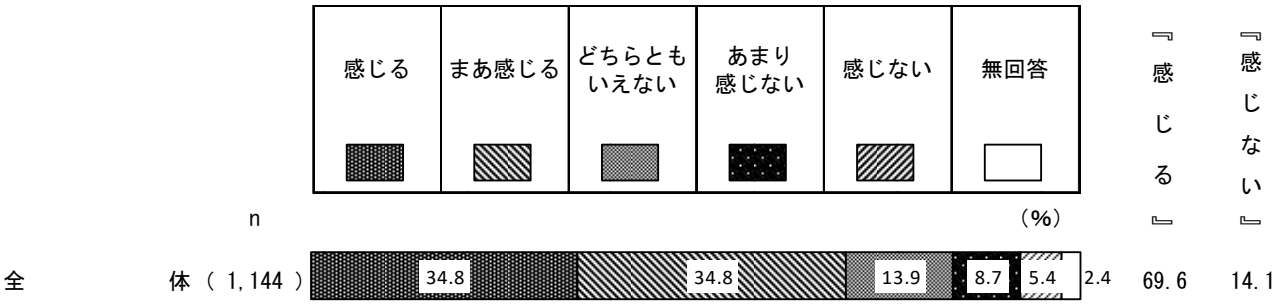


（２）電車やバスの利用しやすさ

◇『感じる』が約７割

問 29　あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 11－２－１

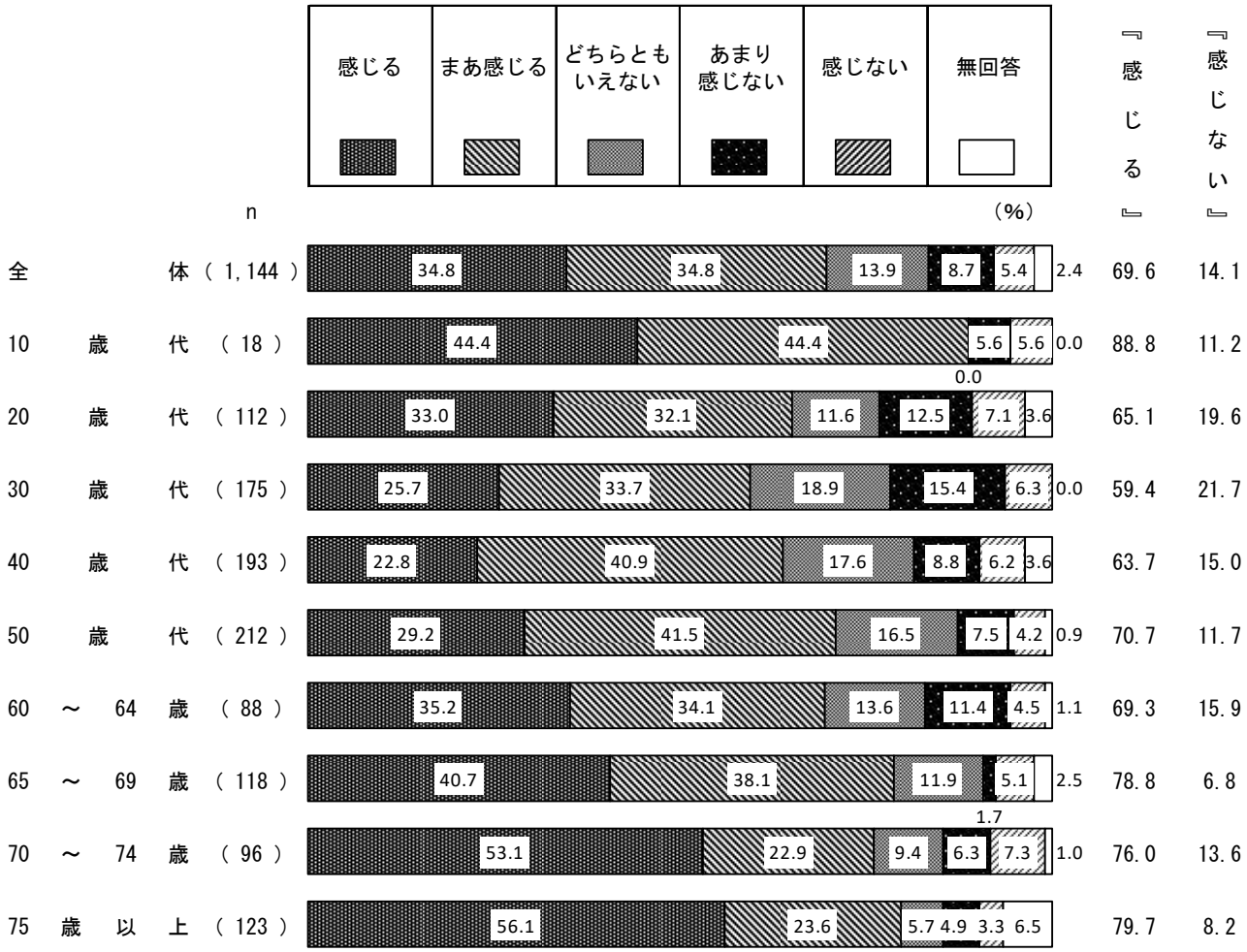


板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じているかを聞いたところ、「感じる」（34.8%）が３割半ばとなり、「まあ感じる」（34.8%）と合わせた『感じる』（69.6%）が約７割となっています。一方、「あまり感じない」（8.7%）と「感じない」（5.4%）を合わせた『感じない』（14.1%）は１割半ばとなっています。また、「どちらともいえない」（13.9%）は１割を超えています。（図 11－２－１）

①　年代別

年代別でみると、『感じる』は10歳代(88.8%)で最も高く、50歳代(70.7%)、65～69歳(78.8%)、70～74 歳（76.0%)、75 歳以上（79.7%）で７割台となっています。一方、『感じない』は 20 歳代（19.6%）で約２割、30 歳代（21.7%）で２割を超えています。(図 11－２－２)

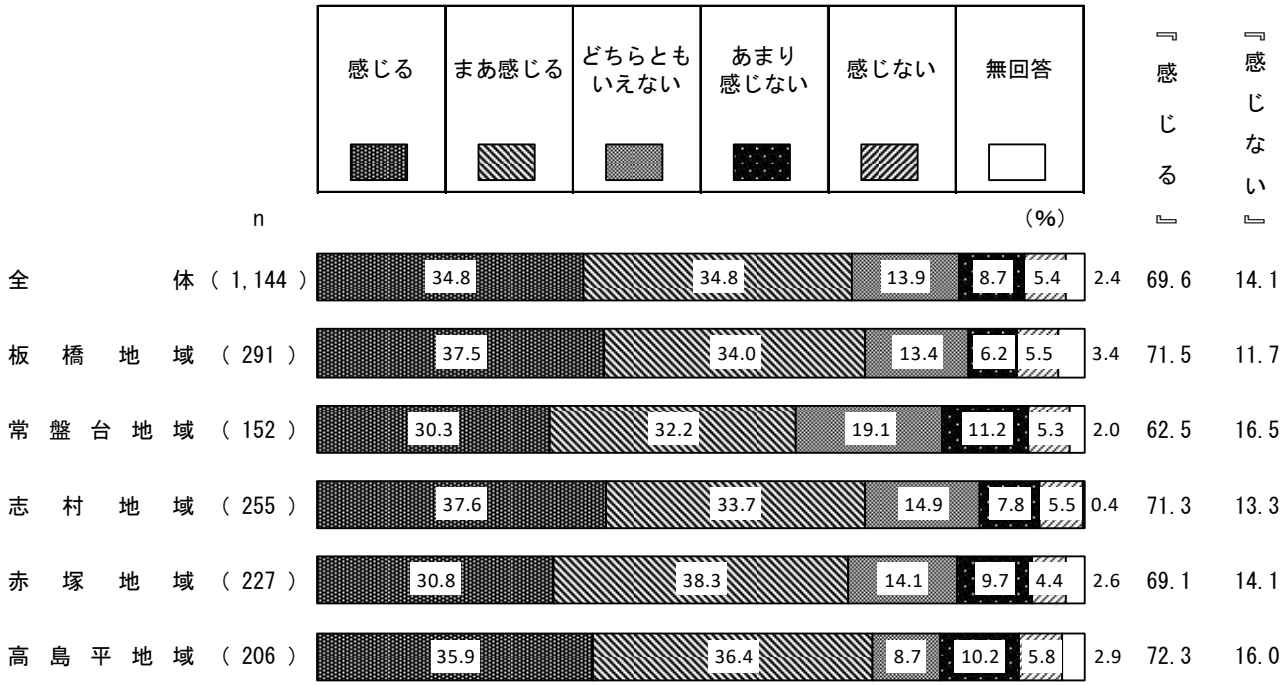
図 11－２－２　電車やバスの利用しやすさ（年代別）



②　地域別

地域別でみると、『感じる』は板橋地域（71.5%）、志村地域（71.3%）、高島平地域（72.3%）で７割台となっています。一方、『感じない』はすべての地域で１割台となっています。また「どちらともいえない」は常盤台地域（19.1%）で約２割となっています。（図 11－２－３）

図 11－２－３　電車やバスの利用しやすさ（地域別）

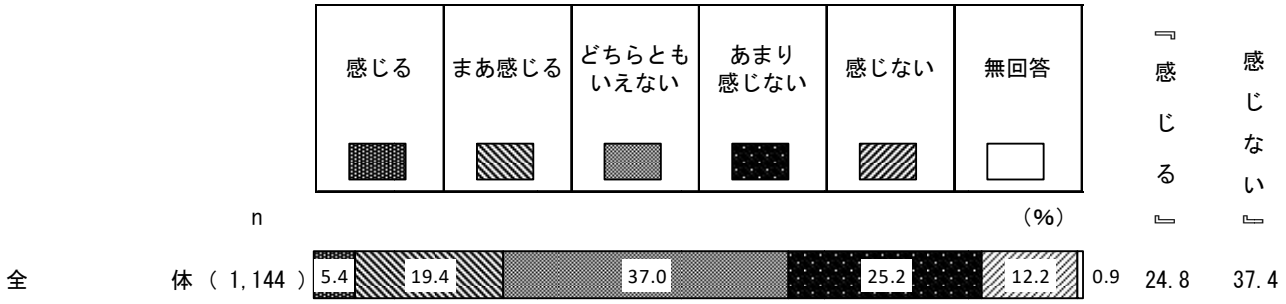


（３）建築物等とまちなみとの調和

◇『感じる』が２割半ば

問 30　板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいますが、建築物等（建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など）が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 11－３－１

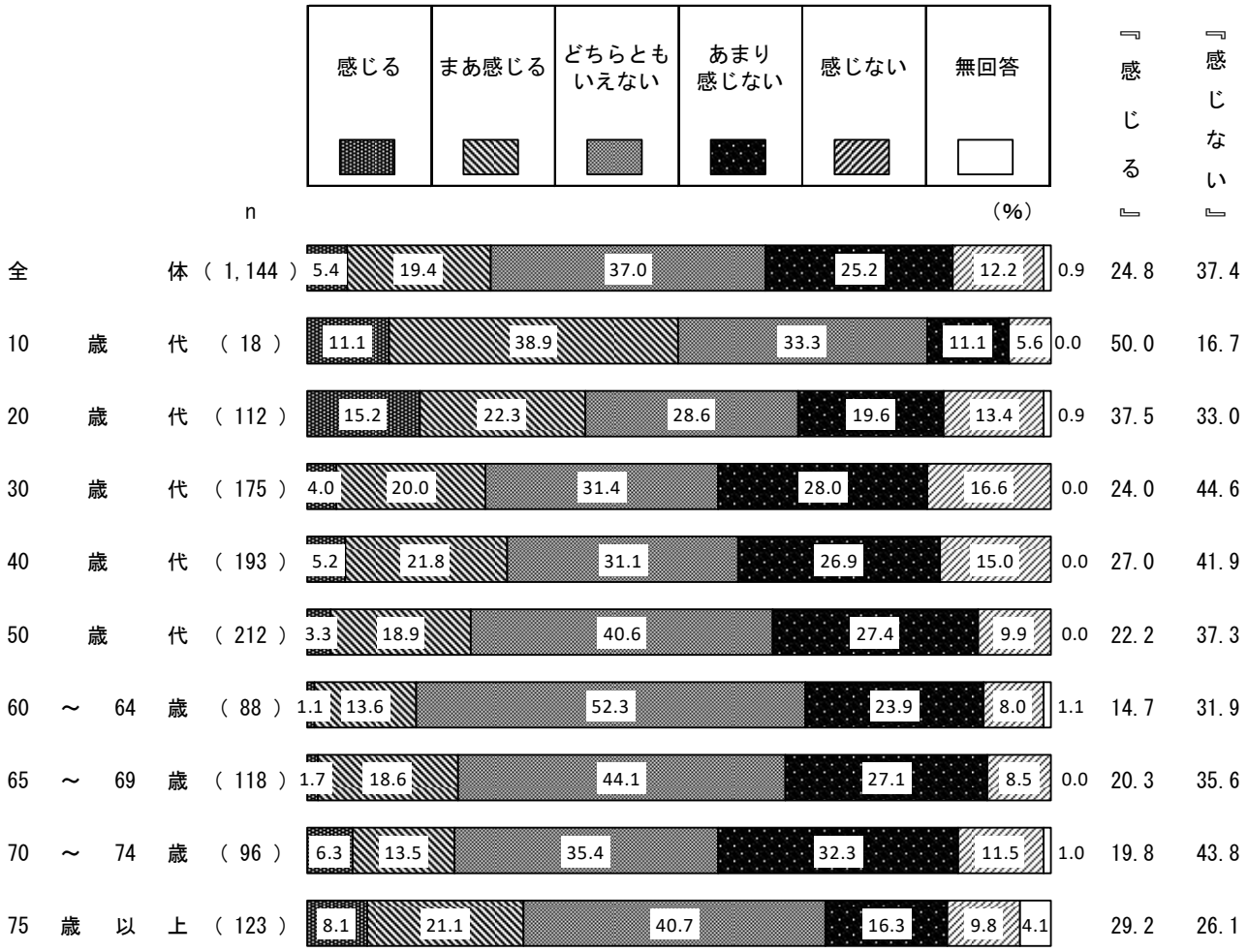


建築物等（建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など）が区のまちなみと調和して美しいと感じるかを聞いたところ、「感じる」（5.4%）と「まあ感じる」（19.4%）を合わせた『感じる』（24.8%）は２割半ばとなっています。一方、「あまり感じない」（25.2%）と「感じない」（12.2%）を合わせた『感じない』（37.4%）は４割近くとなっています。「どちらともいえない」（37.0%）は４割近くとなっています。（図 11－３－１）

①　年代別

年代別でみると、『感じる』は 10 歳代（50.0%）で５割、20 歳代（37.5%）で４割近くとなっていますが、60～64 歳（14.7%）、70～74 歳（19.8%）では１割台となっています。一方、『感じない』は 30 歳代（44.6%）、40 歳代（41.9%）、70～74 歳代（43.8%）で４割台となっています。また、「どちらともいえない」が 60～64 歳（52.3%）で５割を超え、50 歳代（40.6%）、65～69 歳（44.1%）、75 歳以上（40.7%）で４割台となっています。（図 11－３－２）

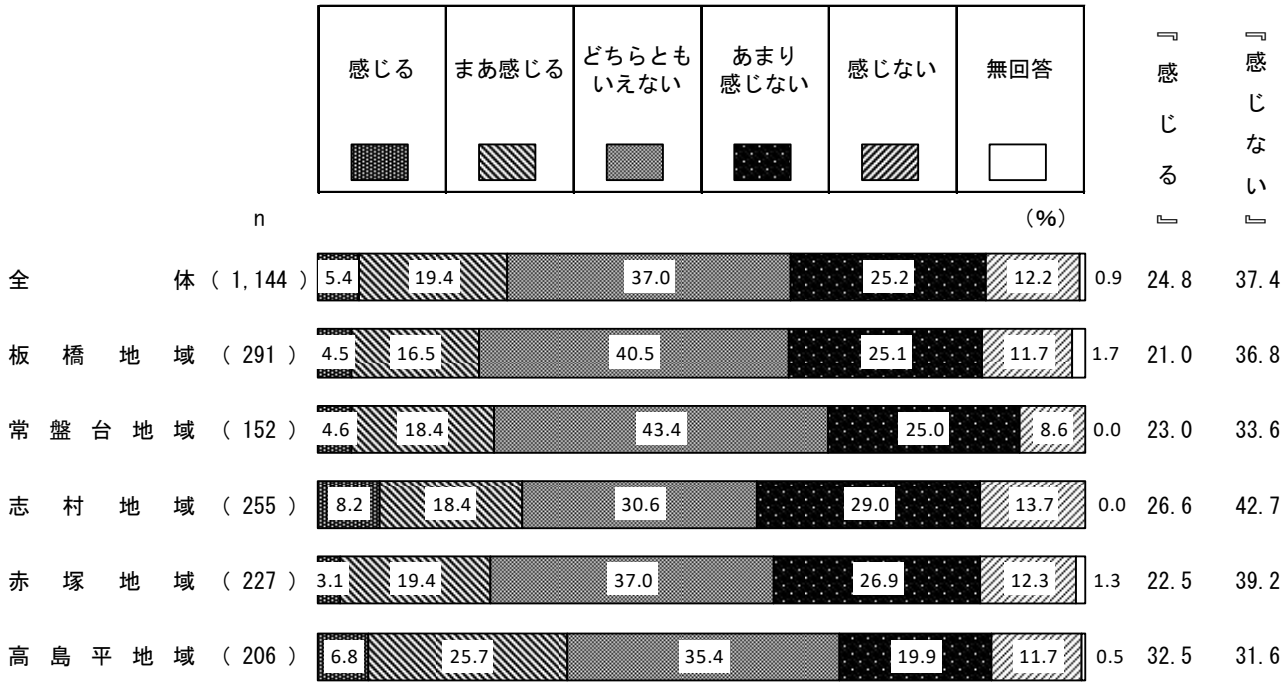
図 11－３－２　建築物等とまちなみとの調和（年代別）



②　地域別

地域別でみると、『感じる』は高島平地域（32.5%）で３割を超えており、それ以外の地域ではいずれも２割台となっています。一方、『感じない』は志村地域（42.7%）で４割を超えています。「どちらともいえない」は板橋地域（40.5%）、常盤台地域（43.4%）で４割台となっています。（図 11－３－３）

図 11－３－３　建築物等とまちなみとの調和（地域別）



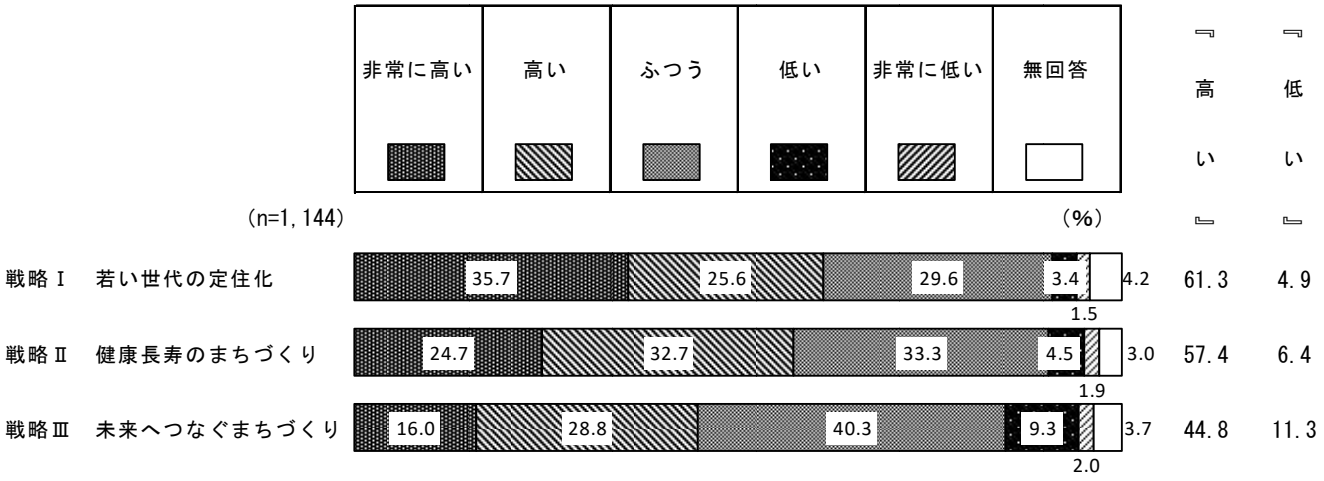
12. 「未来創造戦略」について

（１）未来創造戦略の重要度

◇重要度が『高い』は、「若い世代の定住化」が６割超え、「健康長寿のまちづくり」が６割近く、「未来へつなぐまちづくり」が４割半ば

問 31　未来創造戦略について、次の３つの戦略の「重要度」について、該当するものをそれぞれ１つずつ選び、番号に○印をつけてください。

図 12－１－１



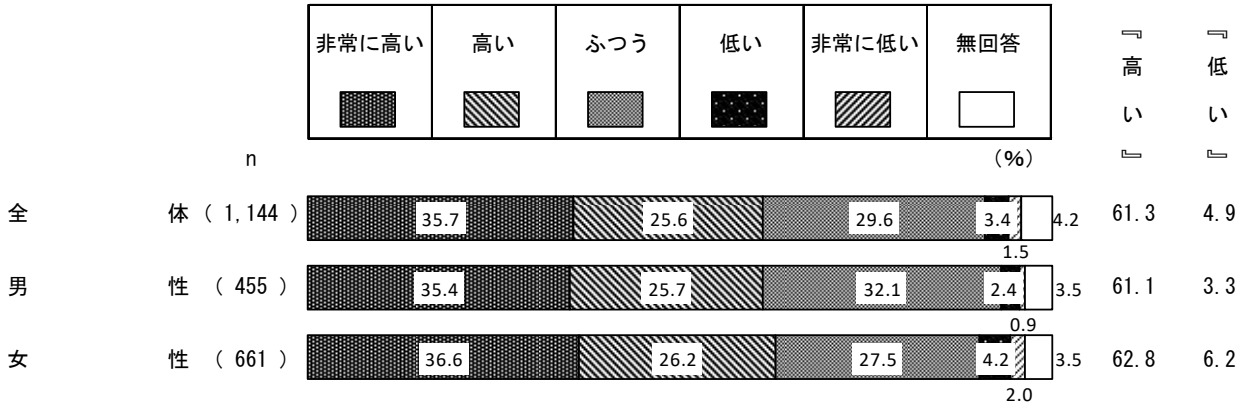
板橋区の掲げる未来創造戦略の重要度を聞いたところ、（戦略Ⅰ）若い世代の定住化は、「非常に高い」（35.7%）と「高い」（25.6%）を合わせた『高い』（61.3%）は６割を超え３つの戦略の中で最も高くなっています。次いで（戦略Ⅱ）健康長寿のまちづくりの『高い』（57.4%）が６割近く、（戦略Ⅲ）未来へつなぐまちづくりの『高い』（44.8%）が４割半ばとなっています。一方、「低い」と「非常に低い」を合わせた『低い』は（戦略Ⅲ）未来へつなぐまちづくり（11.3%）で１割を超えています。（図 12－１－１）

【戦略Ⅰ　若い世代の定住化戦略】

①　性別

（戦略Ⅰ）若い世代の定住化の重要度について性別でみると、大きな傾向の違いは見られません。（図 12－１－２）

図 12－１－２　戦略Ⅰ　若い世代の定住化戦略の重要度（性別）

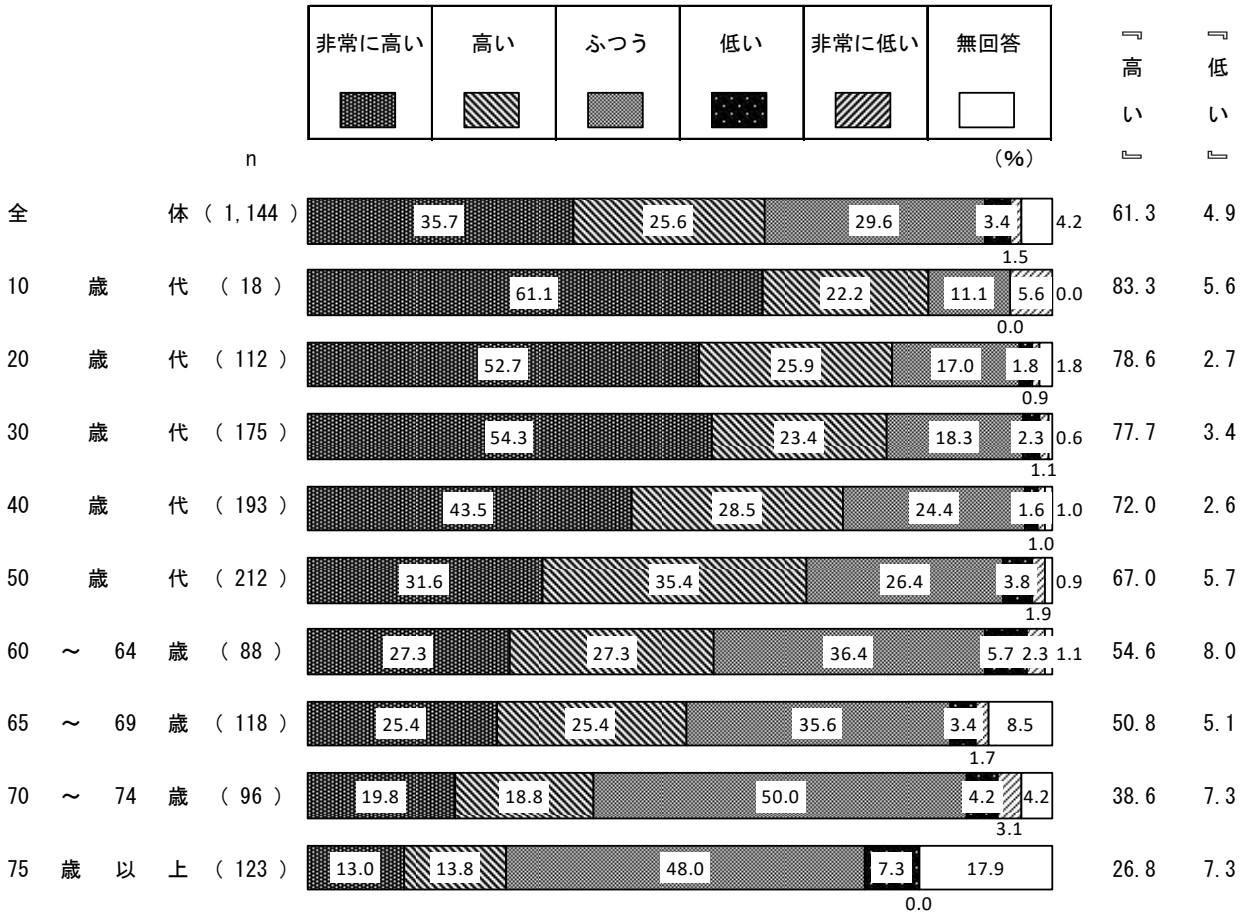


②　年代別

（戦略Ⅰ）若い世代の定住化の重要度について年代別でみると、『高い』は年代が若いほど高くなっており、10 歳代（83.3%）は８割を超え、20 歳代（78.6%）、30 歳代（77.7%）では７割台となっています。一方、『低い』はすべての年代で１割未満となっています。

（図 12－１－３）

図 12－１－３　戦略Ⅰ　若い世代の定住化戦略の重要度（年代別）

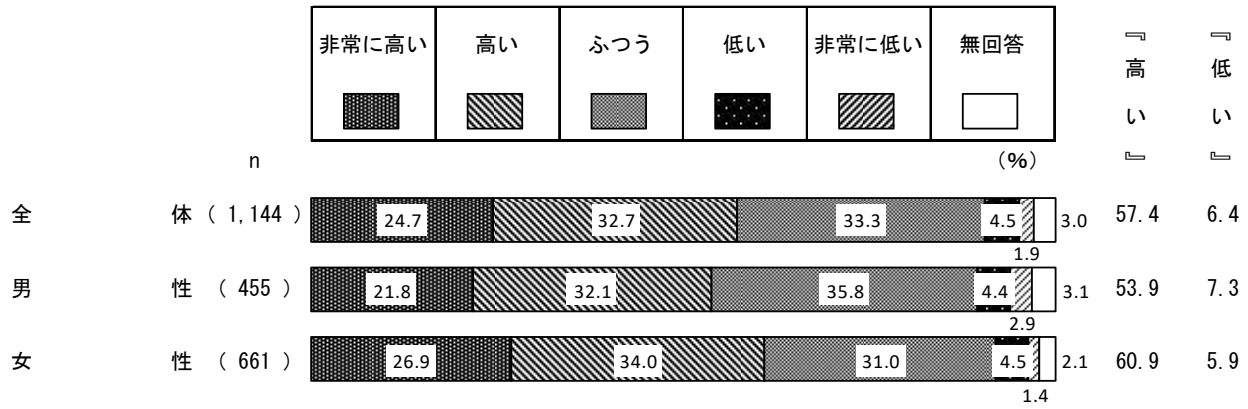


【戦略Ⅱ　健康長寿のまちづくり】

①　性別

戦略Ⅱ　健康長寿のまちづくりの重要度について性別でみると、『高い』は女性（60.9%）が男性（53.9%）より 7.0 ポイント高くなっています。（図 12－１－４）

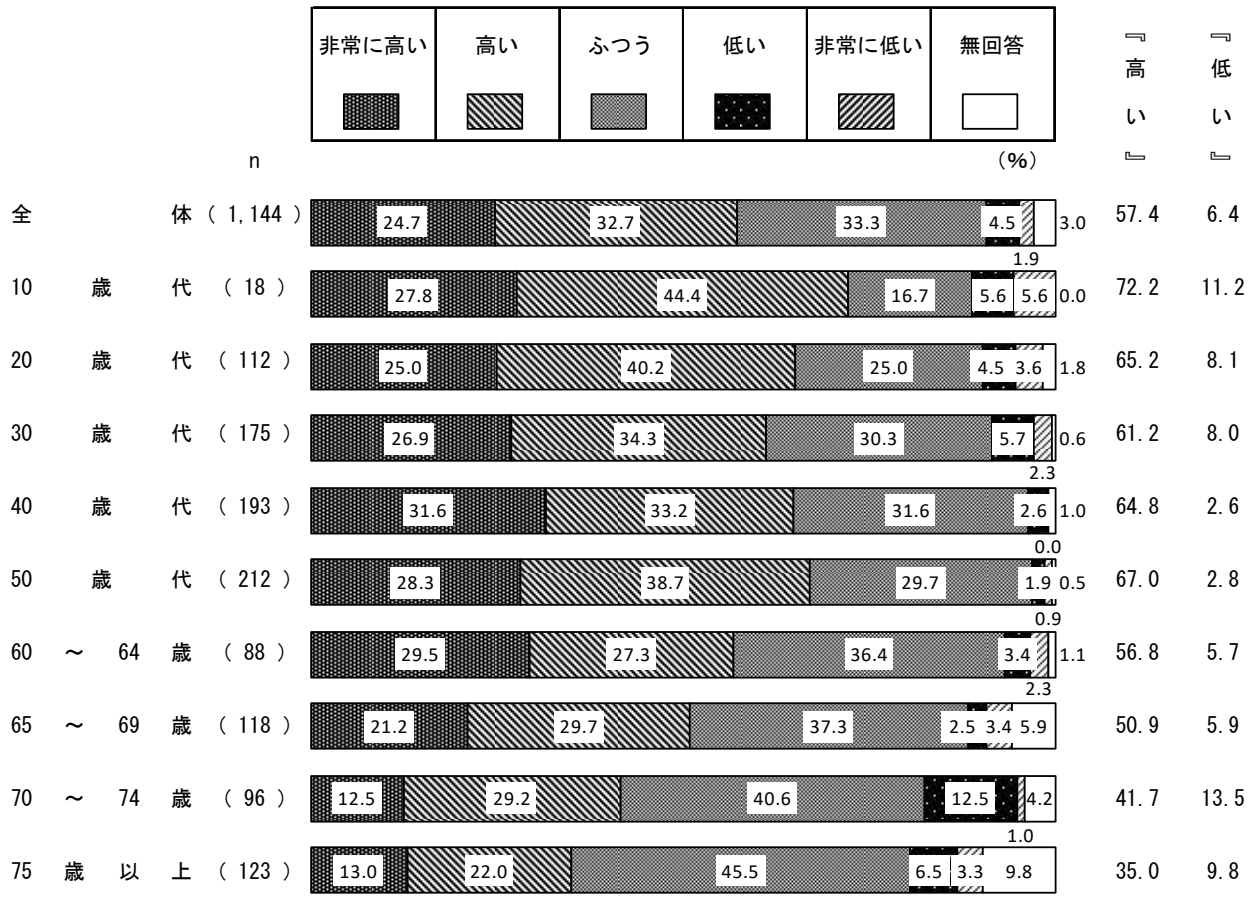
図 12－１－４　戦略Ⅱ　健康長寿のまちづくりの重要度（性別）



②　年代別

戦略Ⅱ　健康長寿のまちづくりの重要度について年代別でみると、『高い』は 10 歳代(72.2%)で７割を超え、20 歳代（65.2%)、30 歳代（61.2%)、40 歳代（64.8%)、50 歳代（67.0%）で６割台となっています。一方、『低い』は 10 歳代（11.2%)、70～74 歳（13.5%）で１割を超えています。（図 12－１－５）

図 12－１－５　戦略Ⅱ　健康長寿のまちづくりの重要度（年代別）

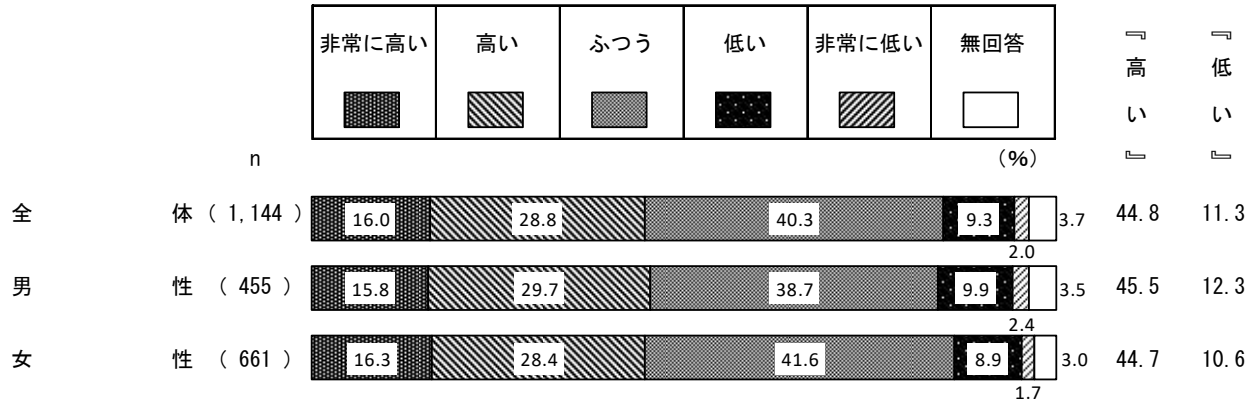


【戦略Ⅲ　未来へつなぐまちづくり】

①　性別

戦略Ⅲ　未来へつなぐまちづくりの重要度について性別でみると、大きな傾向の違いは見られません。（図 12－１－６）

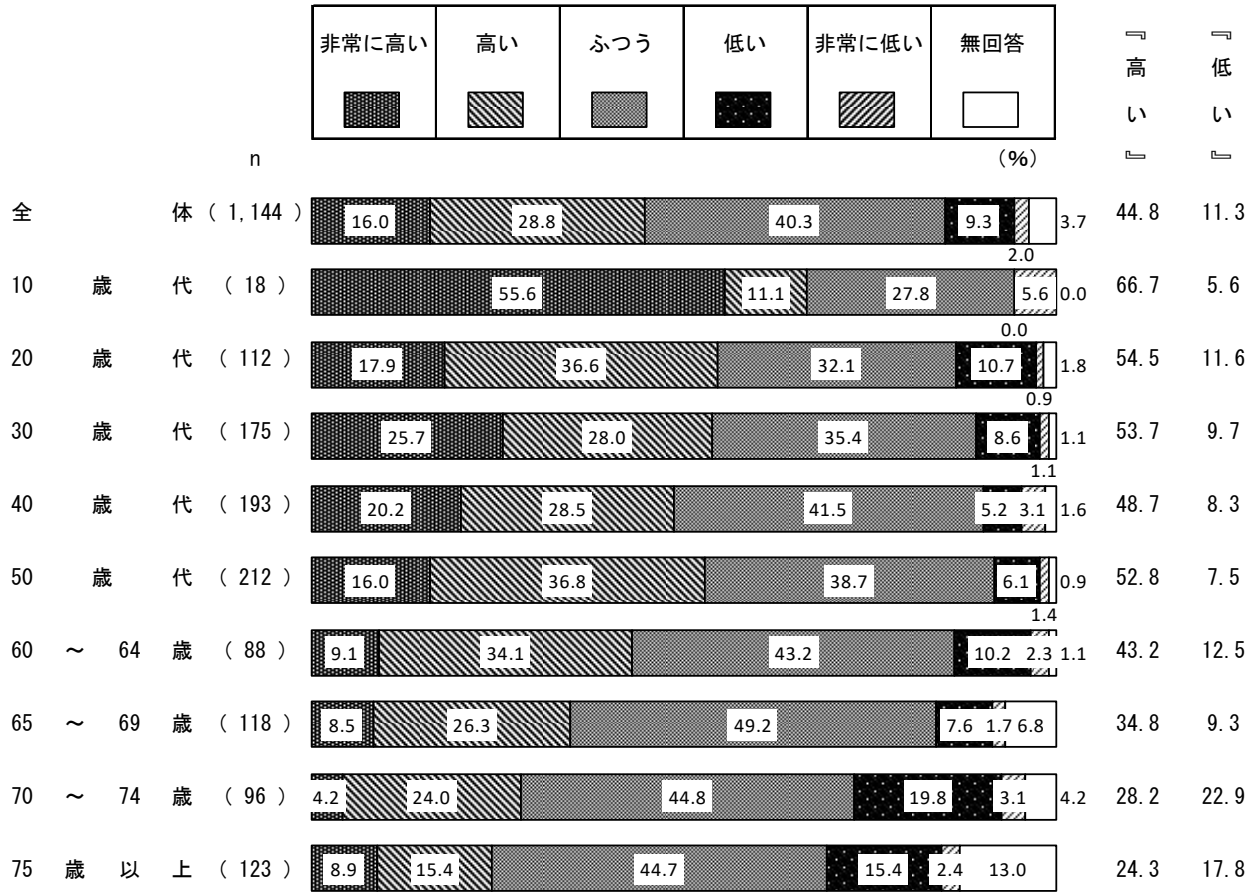
図 12－１－６　戦略Ⅲ　未来へつなぐまちづくりの重要度（性別）



②　年代別

戦略Ⅲ　未来へつなぐまちづくりの重要度について年代別でみると、『高い』は 10 歳代(66.7%)で６割半ば、20 歳代（54.5%）、30 歳代（53.7%）、50 歳代（52.8%）で５割台となっています。一方、『低い』は 70～74 歳（22.9%）で２割を超えています。（図 12－１－７）

図 12－１－７　戦略Ⅲ　未来へつなぐまちづくりの重要度（年代別）



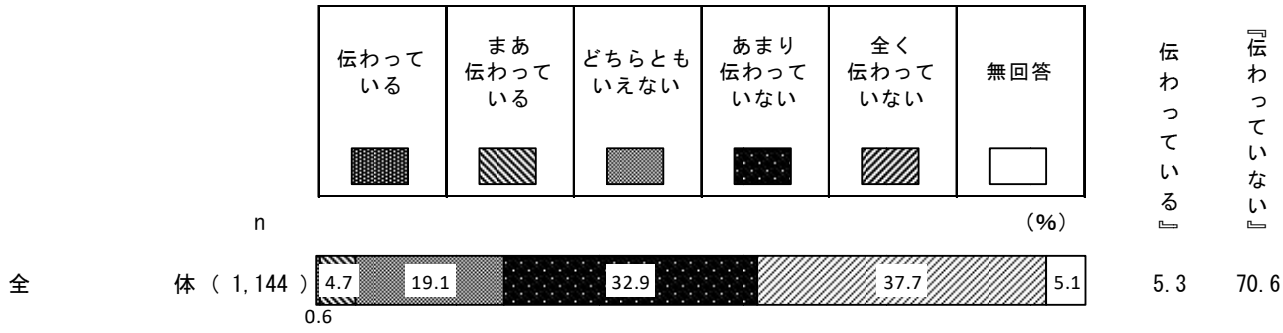
13. 「シティプロモーション（区の魅力情報の発信)」について

（１）区が発信する情報の伝達度

◇『伝わっている』が１割未満

問 32　板橋区では、「暮らしやすいが、叶うまち」をスローガンに 30～44 歳の女性を戦略ターゲットに設定した「板橋区シティプロモーション戦略」を策定し、魅力ある情報をわかりやすく伝える取組を「シティプロモーション」として展開しています。あなたは区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 13－１－１

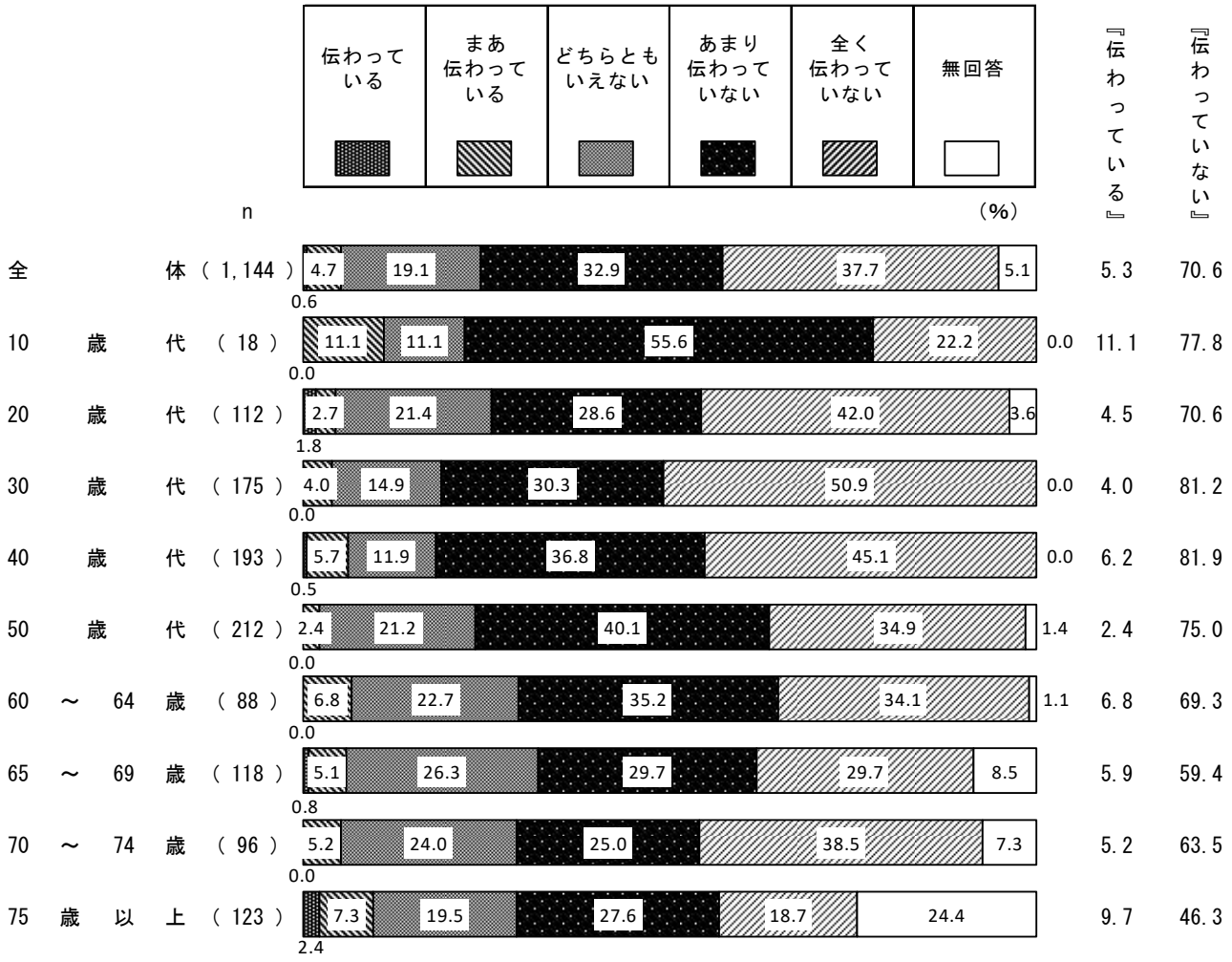


区からの情報が十分に伝わっていると思うかを聞いたところ、「伝わっている」(0.6%）と「まあ伝わっている」(4.7%）を合わせた『伝わっている』(5.3%）は１割未満となっています。一方、「あまり伝わっていない」(32.9%）と「全く伝わっていない」(37.7%）を合わせた『伝わっていない』(70.6%）は約７割となっています。また、「どちらともいえない」(19.1%）は約２割となっています。(図 13－１－１）

①　年代別

年代別でみると、『伝わっている』は 10 歳代を除く、すべての年代で１割未満となっています。一方、『伝わっていない』は 30 歳代（81.2%）、40 歳代（81.9%）で８割を超えています。（図 13－１－２）

図 13－１－２　区が発信する情報の伝達（年代別）



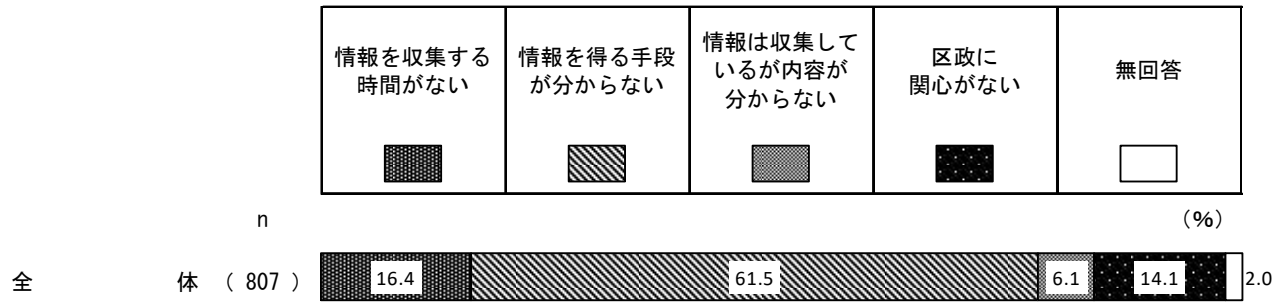
（１－１）情報が伝わっていない理由

◇「情報を得る手段が分からない」が６割超え

（問 32 で「４　あまり伝わっていない」、「５　全く伝わっていない」と回答した方のみ）

問 32-1　区からの情報が伝わっていないと思う主な理由は何ですか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 13－１－３

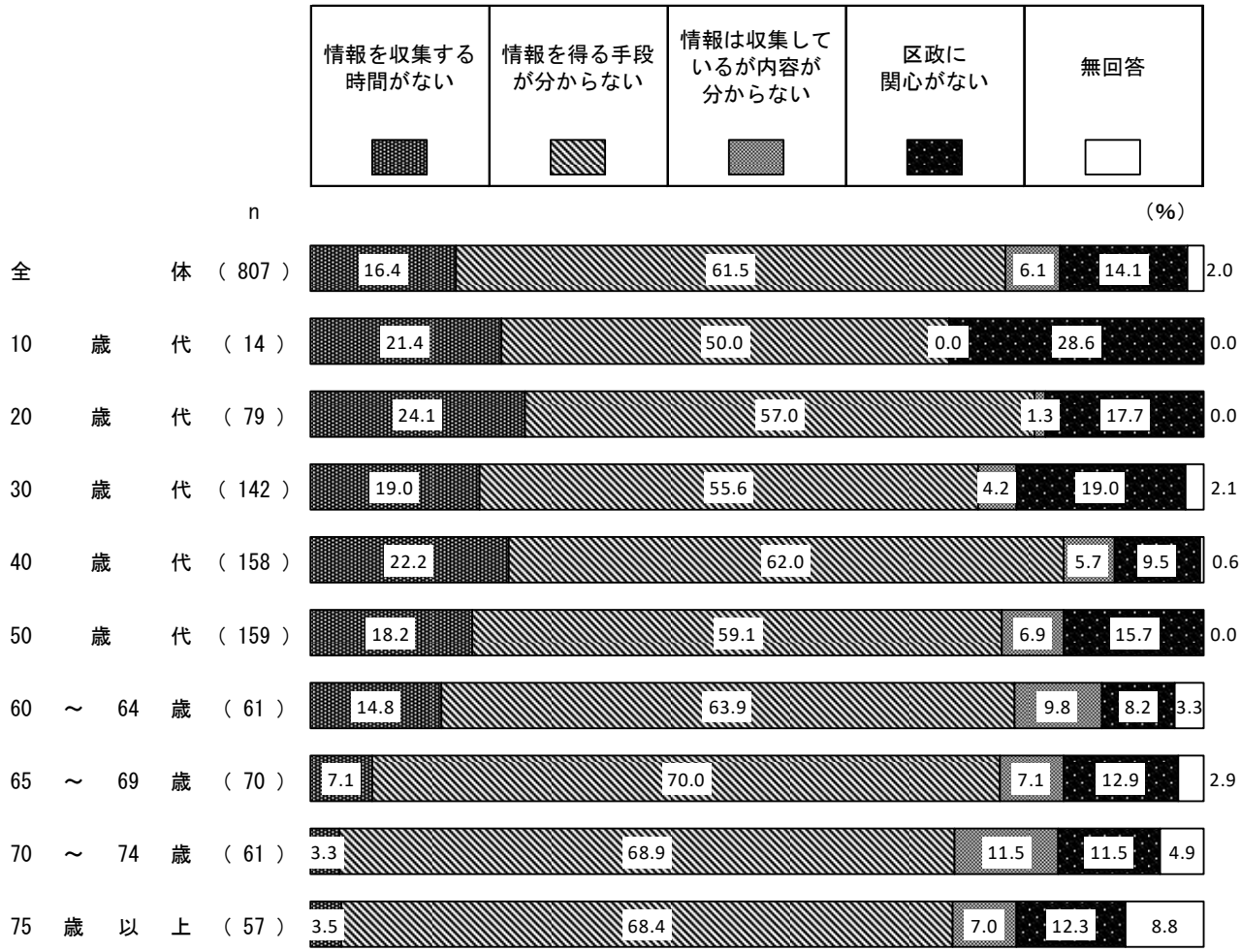


伝わっていないと回答された人（807 人）に区からの情報が伝わっていないと思う主な理由を聞いたところ、「情報を得る手段が分からない」（61.5%）が６割を超えています。次いで「情報を収集する時間がない」（16.4%)、「区政に関心がない」（14.1%）が１割半ばとなっています。（図 13－１－３）

①　年代別

年代別でみると、「情報を得る手段が分からない」は 65～69 歳（70.0%）で７割となっています。「情報を収集する時間がない」は 10 歳代（21.4%）、20 歳代（24.1%）、40 歳代（22.2%）で２割台となっています。（図 13－１－４）

図 13－１－４　情報が伝わっていない理由（年代別）

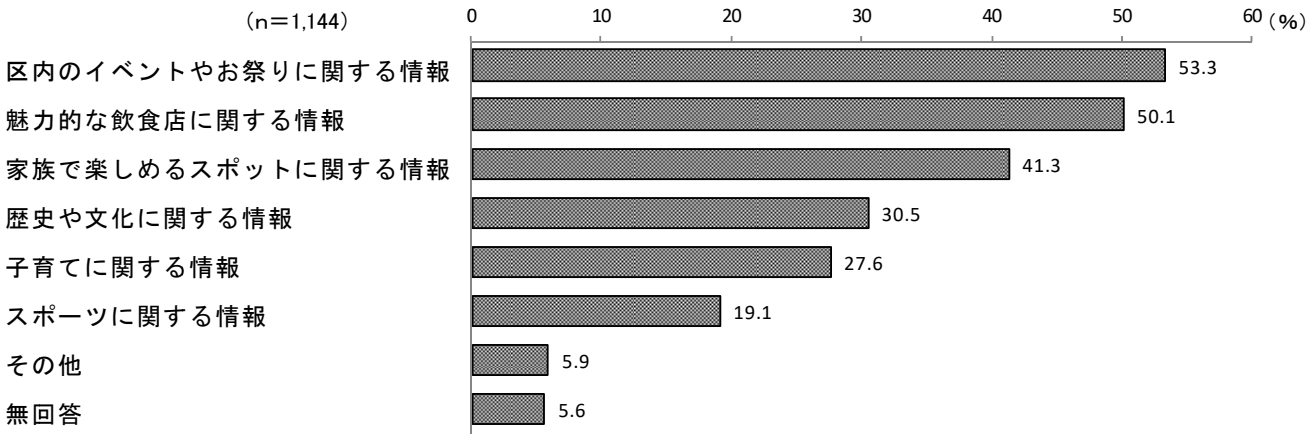


（２）期待する区の魅力発信

◇「区内のイベントやお祭りに関する情報」が５割超え

問 33　今後、どのような区の魅力発信を期待していますか。該当するものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図 13－２－１



今後、どのような区の魅力発信を期待しているかを聞いたところ、「区内のイベントやお祭りに関する情報」（53.3%）、「魅力的な飲食店に関する情報」（50.1%）が５割台となっています。次いで「家族で楽しめるスポットに関する情報」（41.3%）、「歴史や文化に関する情報」（30.5%）、「子育てに関する情報」（27.6%）となっています。（図 13－２－１）

①　年代別

年代別でみると、「区内のイベントやお祭りに関する情報」は 60～64 歳、75 歳以上を除く、すべての年代で第１位となっています。「魅力的な飲食店に関する情報」が 60～64 歳（64.8%）で、「歴史や文化に関する情報」が 75 歳以上（44.7%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「スポーツに関する情報」が 60～64 歳、65～69 歳を除くすべての年代で第５位となっています。（表 13－２－１）

表 13－２－１　期待する区の魅力発信（年代別）

（%）

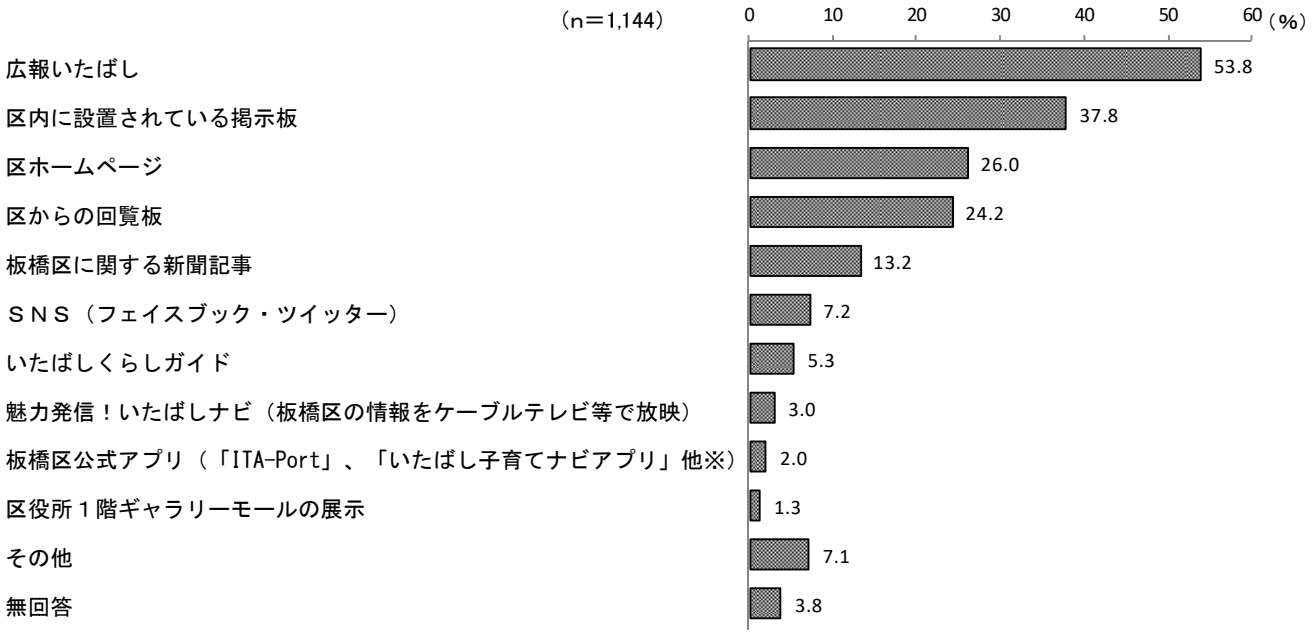
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	区内のイベントやお祭りに関する情報 53.3	魅力的な飲食店に関する情報 50.1	家族で楽しめるスポットに関する情報 41.3	歴史や文化に関する情報 30.5	子育てに関する情報 27.6
年代別	10　歳　代	18	区内のイベントやお祭りに関する情報 72.2	魅力的な飲食店に関する情報 55.6	子育てに関する情報／家族で楽しめるスポットに関する情報 27.8		歴史や文化に関する情報／スポーツに関する情報 16.7
	20　歳　代	112	区内のイベントやお祭りに関する情報 57.1	魅力的な飲食店に関する情報 54.5	家族で楽しめるスポットに関する情報 43.8	子育てに関する情報 38.4	スポーツに関する情報 19.6
	30　歳　代	175	区内のイベントやお祭りに関する情報 58.3	魅力的な飲食店に関する情報 56.6	家族で楽しめるスポットに関する情報 50.9	子育てに関する情報 46.9	スポーツに関する情報 15.4
	40　歳　代	193	区内のイベントやお祭りに関する情報 59.1	魅力的な飲食店に関する情報 50.8	家族で楽しめるスポットに関する情報 45.6	子育てに関する情報 38.9	スポーツに関する情報 22.3
	50　歳　代	212	区内のイベントやお祭りに関する情報 54.2	魅力的な飲食店に関する情報 53.3	家族で楽しめるスポットに関する情報 38.2	歴史や文化に関する情報 36.8	スポーツに関する情報 23.1
	60 ～ 64 歳	88	魅力的な飲食店に関する情報 64.8	区内のイベントやお祭りに関する情報 48.9	家族で楽しめるスポットに関する情報 45.5	歴史や文化に関する情報 40.9	子育てに関する情報 20.5
	65 ～ 69 歳	118	区内のイベントやお祭りに関する情報 50.0	魅力的な飲食店に関する情報 44.9	家族で楽しめるスポットに関する情報／歴史や文化に関する情報 42.4		子育てに関する情報 23.7
	70 ～ 74 歳	96	区内のイベントやお祭りに関する情報 49.0	歴史や文化に関する情報 46.9	魅力的な飲食店に関する情報 41.7	家族で楽しめるスポットに関する情報 36.5	スポーツに関する情報 26.0
	75 歳 以 上	123	歴史や文化に関する情報 44.7	区内のイベントやお祭りに関する情報 39.8	魅力的な飲食店に関する情報 31.7	家族で楽しめるスポットに関する情報 27.6	スポーツに関する情報 12.2

（３）区に関する情報の入手方法

◇「広報いたばし」が５割超え

問 34　あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 13－３－１



※「板橋区防災アプリ」、「ＩＴＡーマニア」

板橋区に関する情報の取得先を聞いたところ、「広報いたばし」(53.8%）が５割を超えています。次いで「区内に設置されている掲示板」(37.8%)、「区ホームページ」(26.0%)、「区からの回覧板」(24.2%)、「板橋区に関する新聞記事」(13.2%）となっています。（図 13－３－１）

①　年代別

年代別でみると、「広報いたばし」は 20 歳代、30 歳代を除くすべての年代で第１位となっています。「区内に設置されている掲示板」は 20 歳代（32.1%）、30 歳代（47.4%）となっています。

その他の特徴として、「ＳＮＳ（フェイスブック・ツイッター)」が 20 歳代（17.0%）、30 歳代（15.4%）で第４位、10 歳代（16.7%）で第５位となっています。（表 13－３－１）

表 13－３－１　区に関する情報の入手方法（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	広報いたばし 53.8	区内に設置されている掲示板 37.8	区ホームページ 26.0	区からの回覧板 24.2	板橋区に関する新聞記事 13.2
年代別	10 歳代	18	広報いたばし 33.3	区ホームページ／区内に設置されている掲示板 27.8		区からの回覧板 22.2	ＳＮＳ（フェイスブック・ツイッター) 16.7
	20 歳代	112	区内に設置されている掲示板 32.1	区ホームページ 31.3	広報いたばし 18.8	ＳＮＳ（フェイスブック・ツイッター) 17.0	区からの回覧板 12.5
	30 歳代	175	区内に設置されている掲示板 47.4	区ホームページ 38.3	広報いたばし 25.7	ＳＮＳ（フェイスブック・ツイッター) 15.4	その他 13.1
	40 歳代	193	広報いたばし 51.3	区内に設置されている掲示板 39.4	区ホームページ 36.8	区からの回覧板 16.6	その他 11.4
	50 歳代	212	広報いたばし 59.9	区内に設置されている掲示板 33.0	区ホームページ 27.4	区からの回覧板 24.5	板橋区に関する新聞記事 9.9
	60 ～ 64 歳	88	広報いたばし 77.3	区からの回覧板 35.2	区内に設置されている掲示板 31.8	区ホームページ 20.5	板橋区に関する新聞記事 15.9
	65 ～ 69 歳	118	広報いたばし 69.5	区内に設置されている掲示板 39.0	区からの回覧板 36.4	板橋区に関する新聞記事 26.3	区ホームページ 16.9
	70 ～ 74 歳	96	広報いたばし 72.9	区内に設置されている掲示板 40.6	区からの回覧板 37.5	板橋区に関する新聞記事 24.0	区ホームページ 11.5
	75 歳以上	123	広報いたばし 75.6	区内に設置されている掲示板 39.8	区からの回覧板 37.4	板橋区に関する新聞記事 26.0	区ホームページ 9.8

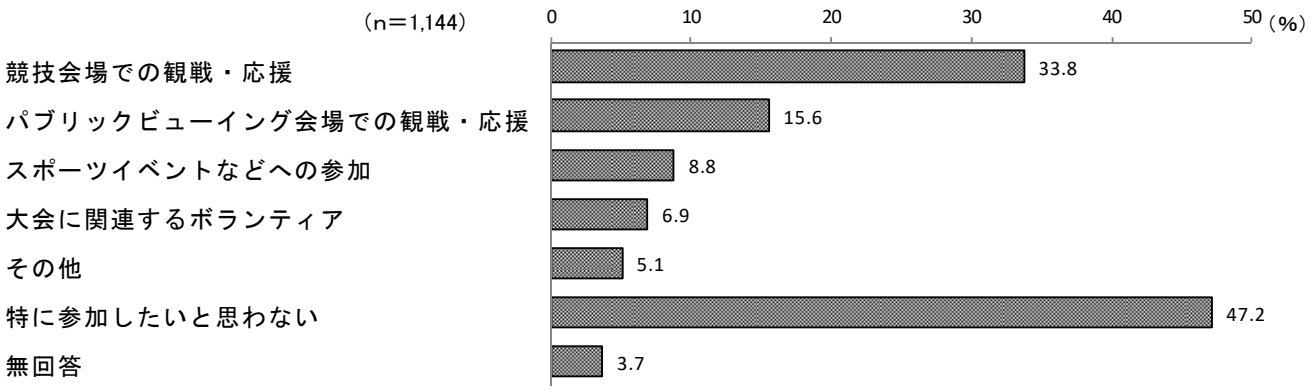
14. 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」について

（１）「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の参加方法（関わり方）

◇「競技会場での観戦・応援」が３割超え

問 35　東京 2020 大会にどのような形で参加したい（関わりたい）ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 14－１－１



東京 2020 大会にどのような形で参加したい（関わりたい）か聞いたところ、「競技会場での観戦・応援」（33.8%）が３割を超えています。次いで「パブリックビューイング会場での観戦・応援」（15.6%）、「スポーツイベントなどへの参加」（8.8%）、「大会に関連するボランティア」（6.9%）となっています。一方、「特に参加したいと思わない」（47.2%）が５割近くとなっています。（図 14－１－１）

①　年代別

年代別でみると、「競技会場での観戦・応援」は 40 歳代（49.7%）、50 歳代（41.0%）で第１位となっています。それ以外の年代では「特に参加したいとは思わない」が第１位となっています。（表 14－１－１）

表 14－１－１　「東京 2020 大会」の参加方法、関わり方（年代別）

（%）

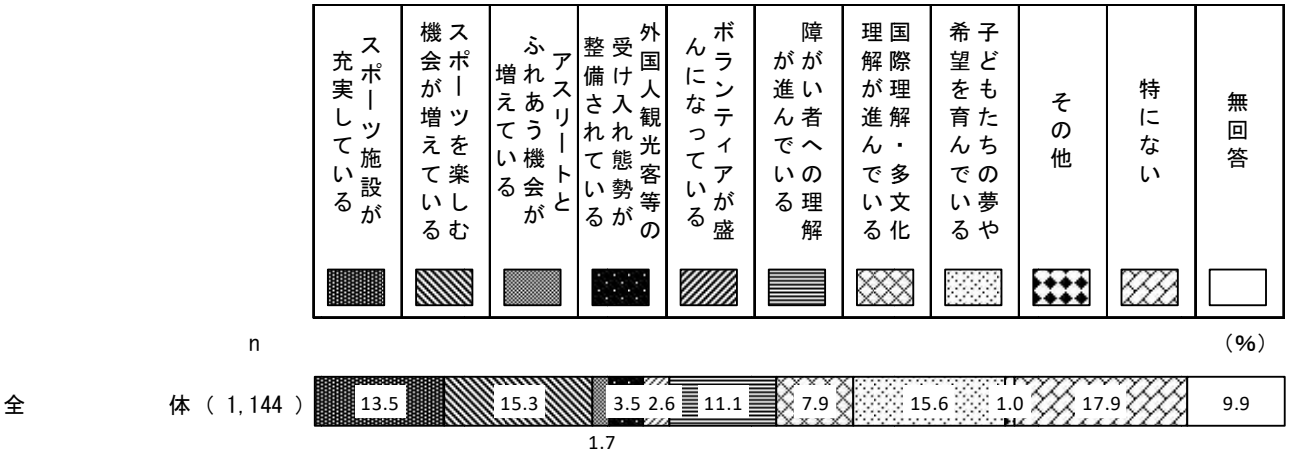
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	特に参加したいと思わない 47.2	競技会場での観戦・応援 33.8	パブリックビューイング会場での観戦・応援 15.6	スポーツイベントなどへの参加 8.8	大会に関連するボランティア 6.9
年代別	10　歳　代	18	特に参加したいと思わない 44.4	競技会場での観戦・応援／パブリックビューイング会場での観戦・応援 27.8		スポーツイベントなどへの参加 22.2	大会に関連するボランティア 16.7
	20　歳　代	112	特に参加したいと思わない 44.6	競技会場での観戦・応援 31.3	パブリックビューイング会場での観戦・応援 23.2	スポーツイベントなどへの参加 9.8	大会に関連するボランティア 8.9
	30　歳　代	175	特に参加したいと思わない 45.7	競技会場での観戦・応援 40.6	パブリックビューイング会場での観戦・応援 21.1	スポーツイベントなどへの参加 10.9	大会に関連するボランティア 6.3
	40　歳　代	193	競技会場での観戦・応援 49.7	特に参加したいと思わない 33.2	パブリックビューイング会場での観戦・応援 21.2	スポーツイベントなどへの参加 16.1	大会に関連するボランティア 9.8
	50　歳　代	212	競技会場での観戦・応援 41.0	特に参加したいと思わない 39.6	パブリックビューイング会場での観戦・応援 15.6	スポーツイベントなどへの参加／大会に関連するボランティア 10.4	
	60 ～ 64 歳	88	特に参加したいと思わない 59.1	競技会場での観戦・応援 29.5	パブリックビューイング会場での観戦・応援 9.1	大会に関連するボランティア 8.0	スポーツイベントなどへの参加 4.5
	65 ～ 69 歳	118	特に参加したいと思わない 55.1	競技会場での観戦・応援 23.7	パブリックビューイング会場での観戦・応援／その他 8.5		大会に関連するボランティア 2.5
	70 ～ 74 歳	96	特に参加したいと思わない 66.7	競技会場での観戦・応援 17.7	パブリックビューイング会場での観戦・応援 10.4	スポーツイベントなどへの参加／その他 3.1	
	75 歳 以 上	123	特に参加したいと思わない 55.3	競技会場での観戦・応援 16.3	その他 7.3	パブリックビューイング会場での観戦・応援 6.5	スポーツイベントなどへの参加 3.3

（２）レガシー（遺産）として期待すること

◇「子どもたちの夢や希望を育んでいる」「スポーツを楽しむ機会が増えている」が１割半ば

問 36　東京 2020 大会終了後、区内のレガシー（遺産）として最も期待するものは何ですか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 14－２－１

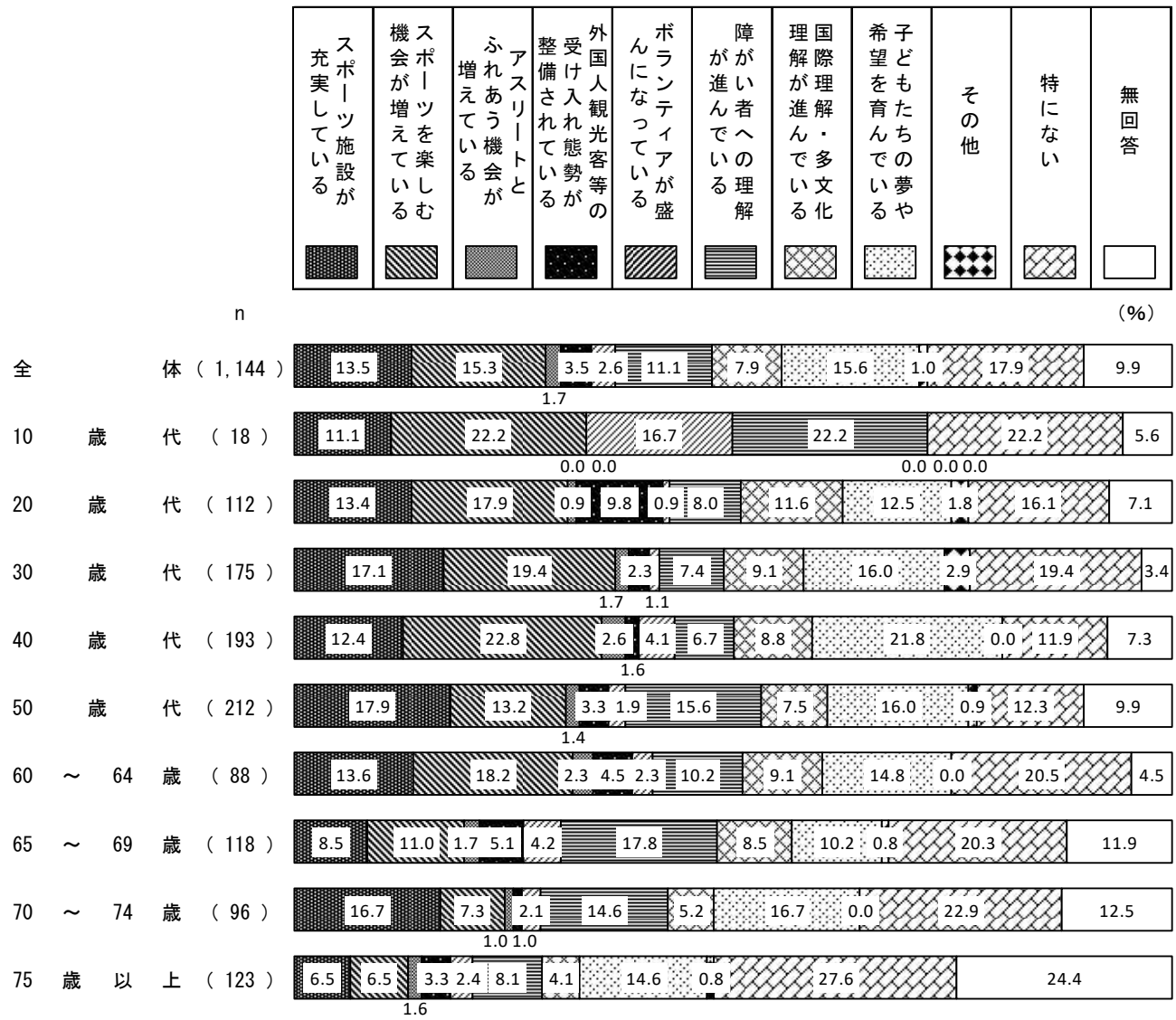


東京 2020 大会終了後、区内のレガシー（遺産）として最も期待するものを聞いたところ、「子どもたちの夢や希望を育んでいる」（15.6%）、「スポーツを楽しむ機会が増えている」（15.3%）が１割半ばとなっています。次いで「スポーツ施設が充実している」（13.5%）、「障がい者への理解が進んでいる」（11.1%）、「国際理解・多文化理解が進んでいる」（7.9%）となっています。一方、「特にない」（17.9%）は２割近くとなっています。（図 14－２－１）

①　年代別

年代別でみると、「子どもたちの夢や希望を育んでいる」は 40 歳代（21.8%）で２割を超えています。「スポーツを楽しむ機会が増えている」は 10 歳代（22.2%）、40 歳代（22.8%）で２割を超えています。また、20 歳代で「外国人観光客等の受け入れ態勢が整備されている」（9.8%）が約１割、「国際理解・多文化理解が進んでいる」（11.6%）が１割を超えて他の年代に比べ高くなっています。一方、「特にない」は 60 歳以上のすべての年代で２割台となっています。（図 14－２－２）

図 14－２－２　区内のレガシー（遺産）について期待すること（年代別）



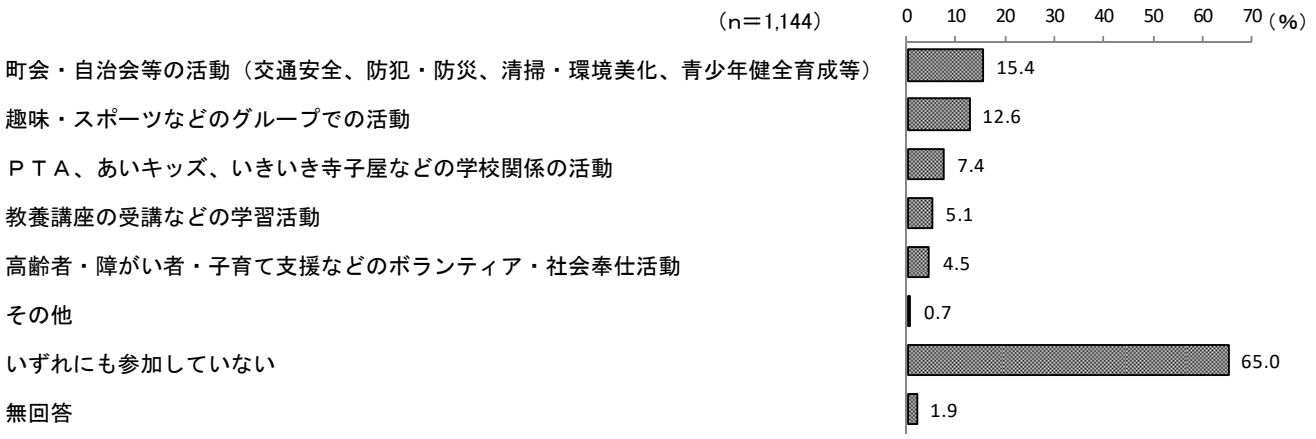
15. 社会活動・地域活動等

（１）社会活動・地域活動等への参加状況

◇「町会・自治会等の活動」が１割半ば

問 37　あなたは、過去１年間に以下のような社会活動・地域活動等に参加しましたか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 15－１－１



過去１年間の社会活動・地域活動等への参加状況を聞いたところ、「町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）」（15.4%）と「趣味・スポーツなどのグループでの活動」（12.6%）が１割台となっています。一方、「いずれにも参加していない」（65.0%）は６割半ばとなっています。（図 15－１－１）

① 性別

性別でみると、「いずれにも参加していない」は男性（68.4%）が女性（62.9%）より 5.5 ポイント高くなっています。（表 15－１－１）

表 15－１－１　社会活動・地域活動への参加状況（性別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	いずれにも参加していない 65.0	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 15.4	趣味・スポーツなどのグループでの活動 12.6	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 7.4	教養講座の受講などの学習活動 5.1
性別	男性	455	いずれにも参加していない 68.4	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 14.7	趣味・スポーツなどのグループでの活動 11.4	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 5.9	教養講座の受講などの学習活動 3.3
	女性	661	いずれにも参加していない 62.9	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 15.7	趣味・スポーツなどのグループでの活動 13.6	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 8.6	教養講座の受講などの学習活動 6.4

②　年代別

年代別でみると、「いずれにも参加していない」はすべての年代で第１位となっています。「町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）」は 50 歳以上の年代で第２位となっています。「趣味・スポーツなどのグループでの活動」は 20 歳代（11.6%）、30 歳代（9.1%）、70～74 歳（26.0%）で第２位となっています。「ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺小屋などの学校関係の活動」は 40 歳代（22.8%）で第２位となっています。
（表 15－１－２）

表 15－１－２　社会活動・地域活動への参加状況（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	いずれにも参加していない 65.0	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 15.4	趣味・スポーツなどのグループでの活動 12.6	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 7.4	教養講座の受講などの学習活動 5.1
年代別	10　歳　代	18	いずれにも参加していない 83.3	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 16.7			
	20　歳　代	112	いずれにも参加していない 77.7	趣味・スポーツなどのグループでの活動 11.6	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）／高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 3.6		ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動　他※ 2.7
	30　歳　代	175	いずれにも参加していない 76.6	趣味・スポーツなどのグループでの活動 9.1	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 8.6	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 5.7	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 2.9
	40　歳　代	193	いずれにも参加していない 55.4	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 22.8	趣味・スポーツなどのグループでの活動 16.1	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 15.5	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 5.7
	50　歳　代	212	いずれにも参加していない 68.4	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 13.7	趣味・スポーツなどのグループでの活動 9.4	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 8.0	教養講座の受講などの学習活動 5.2
	60 ～ 64 歳	88	いずれにも参加していない 70.5	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 14.8	教養講座の受講などの学習活動 5.7	趣味・スポーツなどのグループでの活動 4.5	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動　他※ 2.3
	65 ～ 69 歳	118	いずれにも参加していない 62.7	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 25.4	趣味・スポーツなどのグループでの活動 11.0	教養講座の受講などの学習活動 5.9	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.2
	70 ～ 74 歳	96	いずれにも参加していない 53.1	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）／趣味・スポーツなどのグループでの活動 26.0		教養講座の受講などの学習活動 11.5	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 7.3
	75 歳 以 上	123	いずれにも参加していない 49.6	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等） 28.5	趣味・スポーツなどのグループでの活動 17.9	教養講座の受講などの学習活動 7.3	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.9

③ 地域別

地域別でみると、「いずれにも参加していない」はすべての地域で第１位となっています。「町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等)」はすべての地域で第２位となっています。また、「趣味・スポーツなどのグループでの活動」が常盤台地域（14.5%)、赤塚地域（16.3%）で第２位になっています。（表 15－１－３）

表 15－１－３　社会活動・地域活動への参加状況（地域別）

（%）

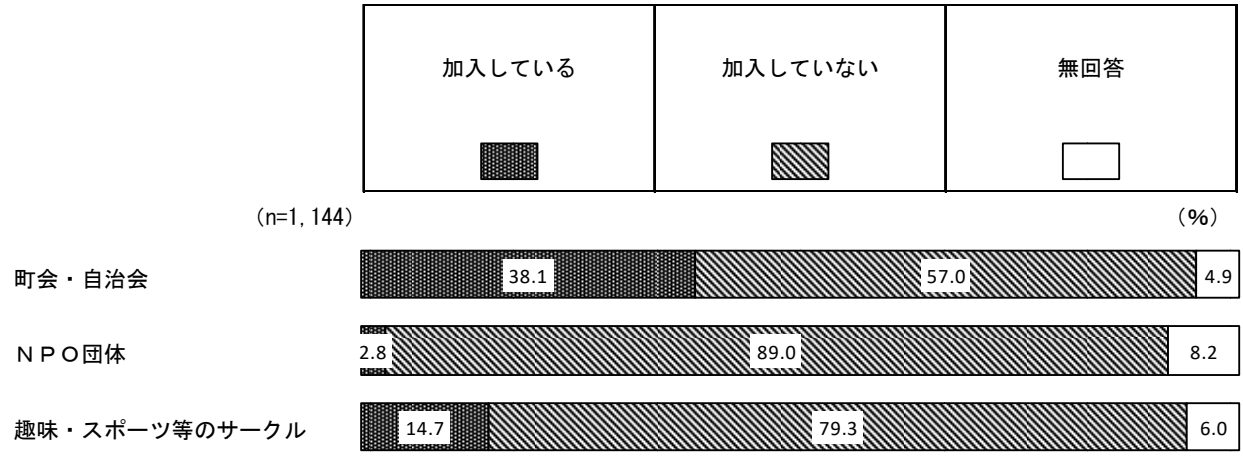
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	いずれにも参加していない 65.0	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等) 15.4	趣味・スポーツなどのグループでの活動 12.6	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 7.4	教養講座の受講などの学習活動 5.1
地域別	板橋地域	291	いずれにも参加していない 64.6	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等) 15.8	趣味・スポーツなどのグループでの活動 12.0	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動／教養講座の受講などの学習活動 7.6	
	常盤台地域	152	いずれにも参加していない 66.4	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）／趣味・スポーツなどのグループでの活動 14.5		教養講座の受講などの学習活動 6.6	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 5.9
	志村地域	255	いずれにも参加していない 67.8	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等) 15.3	趣味・スポーツなどのグループでの活動 10.6	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 8.2	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 4.7
	赤塚地域	227	いずれにも参加していない 63.0	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）／趣味・スポーツなどのグループでの活動 16.3		ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 7.5	教養講座の受講などの学習活動 5.3
	高島平地域	206	いずれにも参加していない 63.6	町会・自治会等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等) 15.0	趣味・スポーツなどのグループでの活動 11.2	ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動 8.3	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動 5.3

（２）地域で活動する団体・サークルへの加入状況

◇町会・自治会に「加入している」が４割近く

問 38　あなたは、現在、地域で活動する団体やサークルに加入していますか。加入状況について該当するものをそれぞれ選び、番号に○印をつけてください。

図 15－２－１



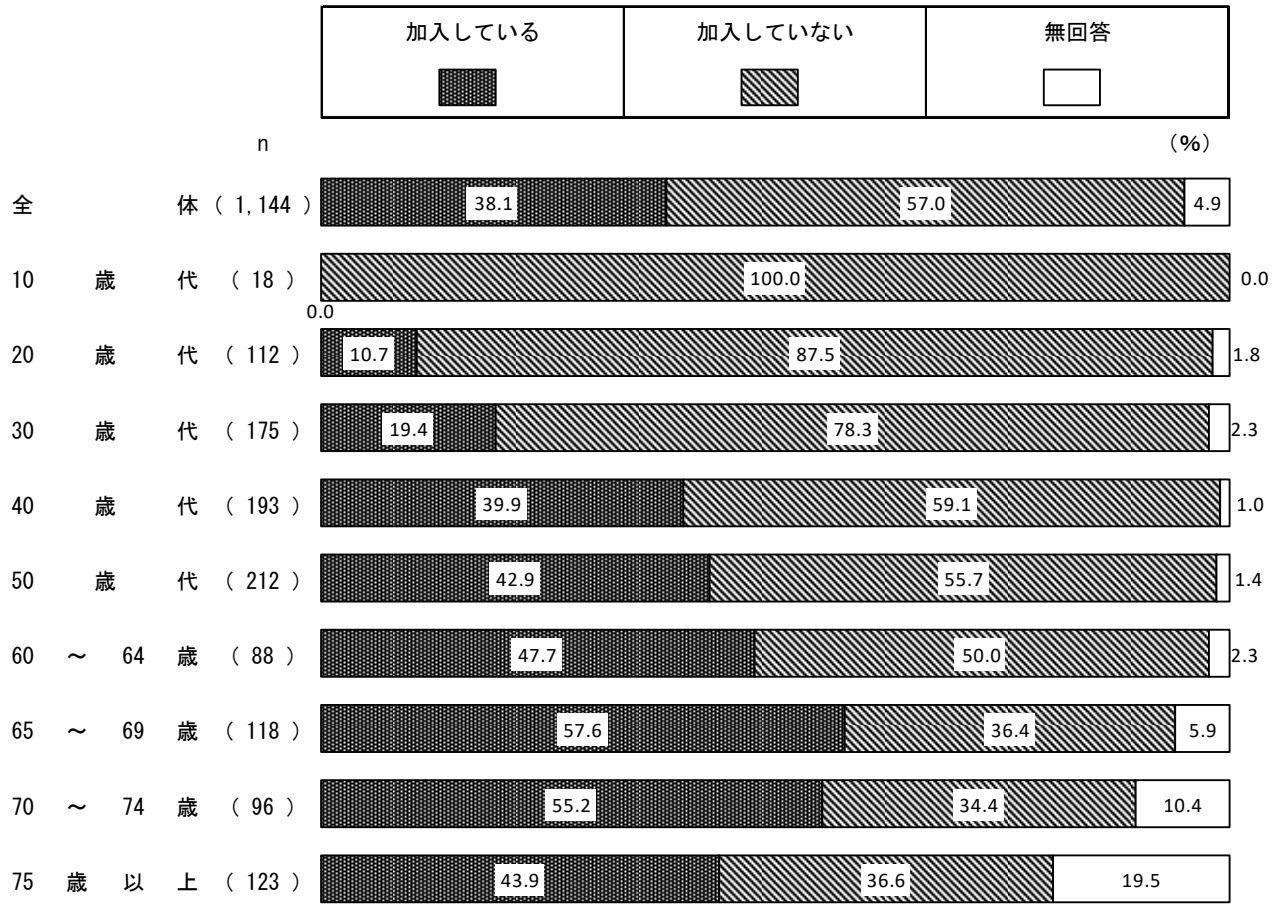
現在、地域で活動する団体やサークルへ加入しているかを聞いたところ、「加入している」は町会・自治会（38.1%）が４割近く、趣味・スポーツ等のサークル（14.7%）が１割半ば、となっています。（図 15－２－１）

【町会・自治会】

①　年代別

町会・自治会の加入状況を年代別でみると、「加入している」は 65～69 歳（57.6%）、70～74 歳（55.2%）で５割台ですが、20 歳代（10.7%）、30 歳代（19.4%）では１割台となっています。（図 15－２－２）

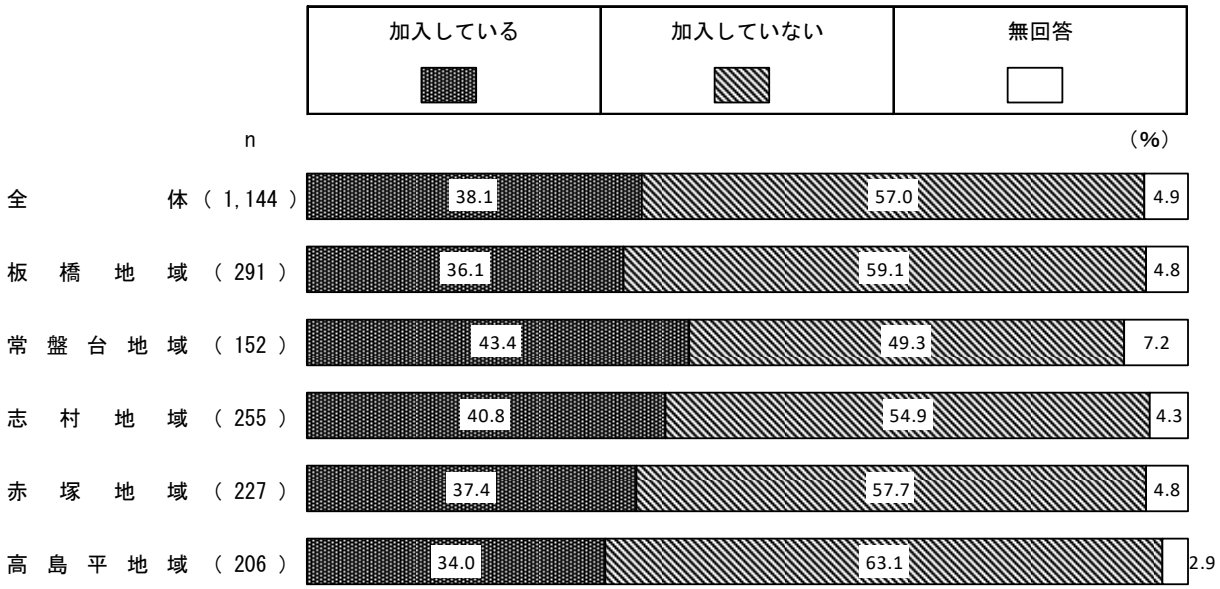
図 15－２－２　町会・自治会への加入状況（年代別）



② 地域別

町会・自治会への加入状況を地域別でみると、「加入している」は常盤台地域（43.4%）、志村地域（40.8%）で４割台となっています。（図 15－２－３）

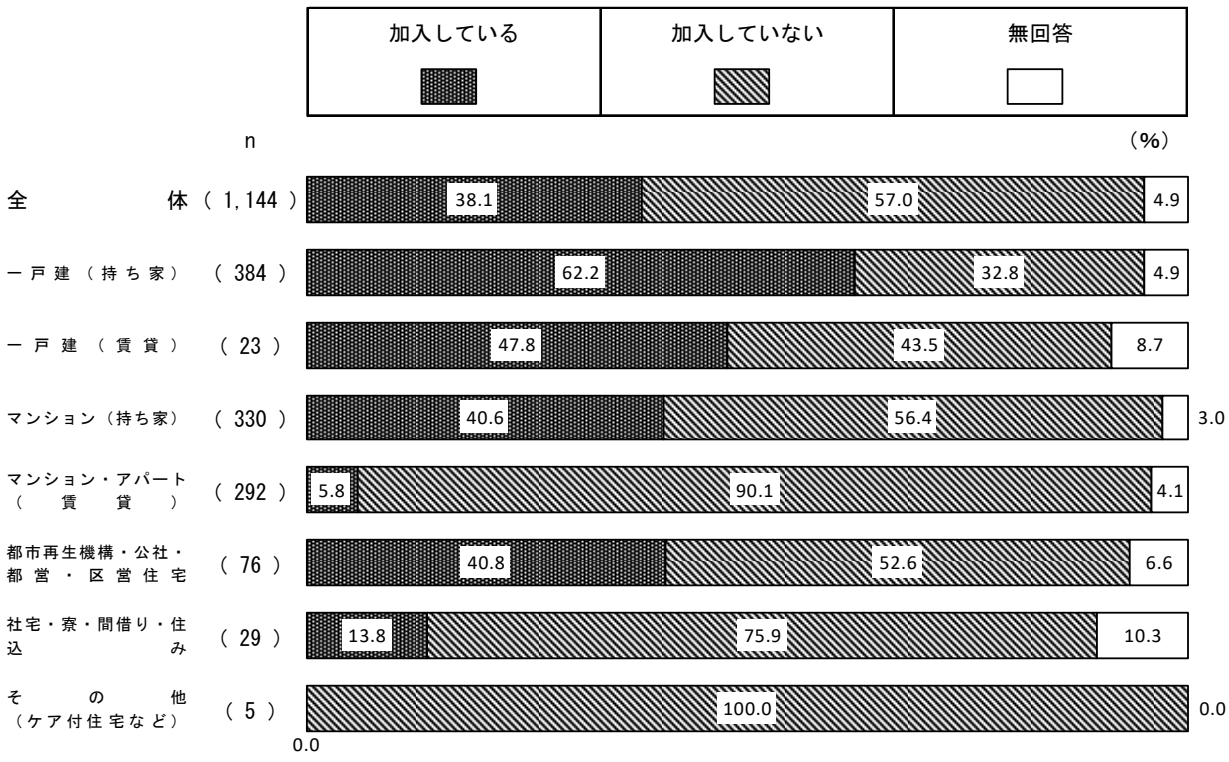
図 15－２－３　町会・自治会への加入状況（年代別）



③ 住居形態別

町会･自治会への加入状況を住居形態別でみると､「加入している」は一戸建(持ち家)(62.2%)では６割を超えていますが、マンション・アパート（賃貸）(5.8%) は１割未満となっています。（図 15－２－４）

図 15－２－４　町会・自治会への加入状況（住居形態別）

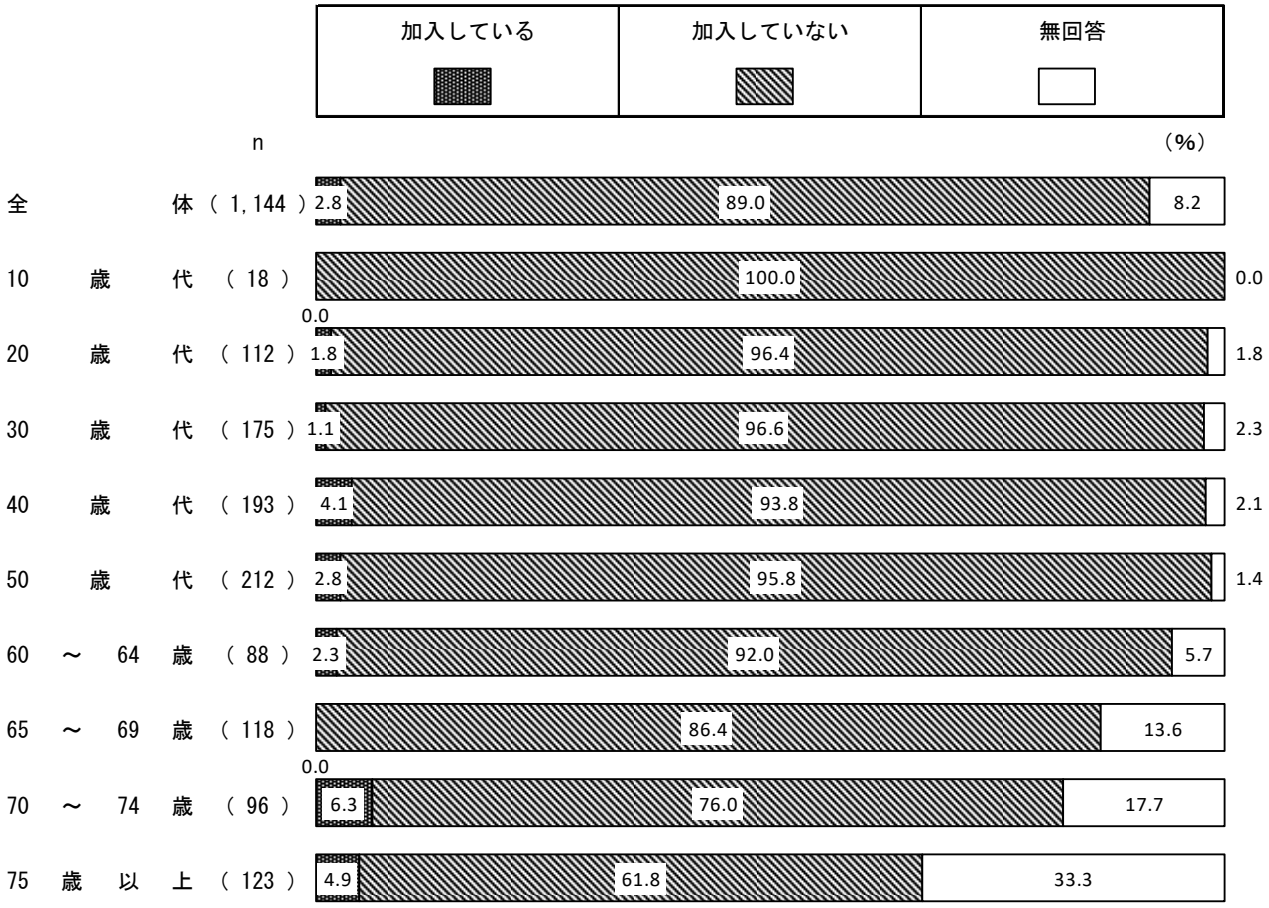


【ＮＰＯ団体】

①　年代別

ＮＰＯ団体への加入状況を年代別でみると、大きな傾向の違いはみられません。
（図 15－２－５）

図 15－２－５　ＮＰＯ団体への加入状況（年代別）

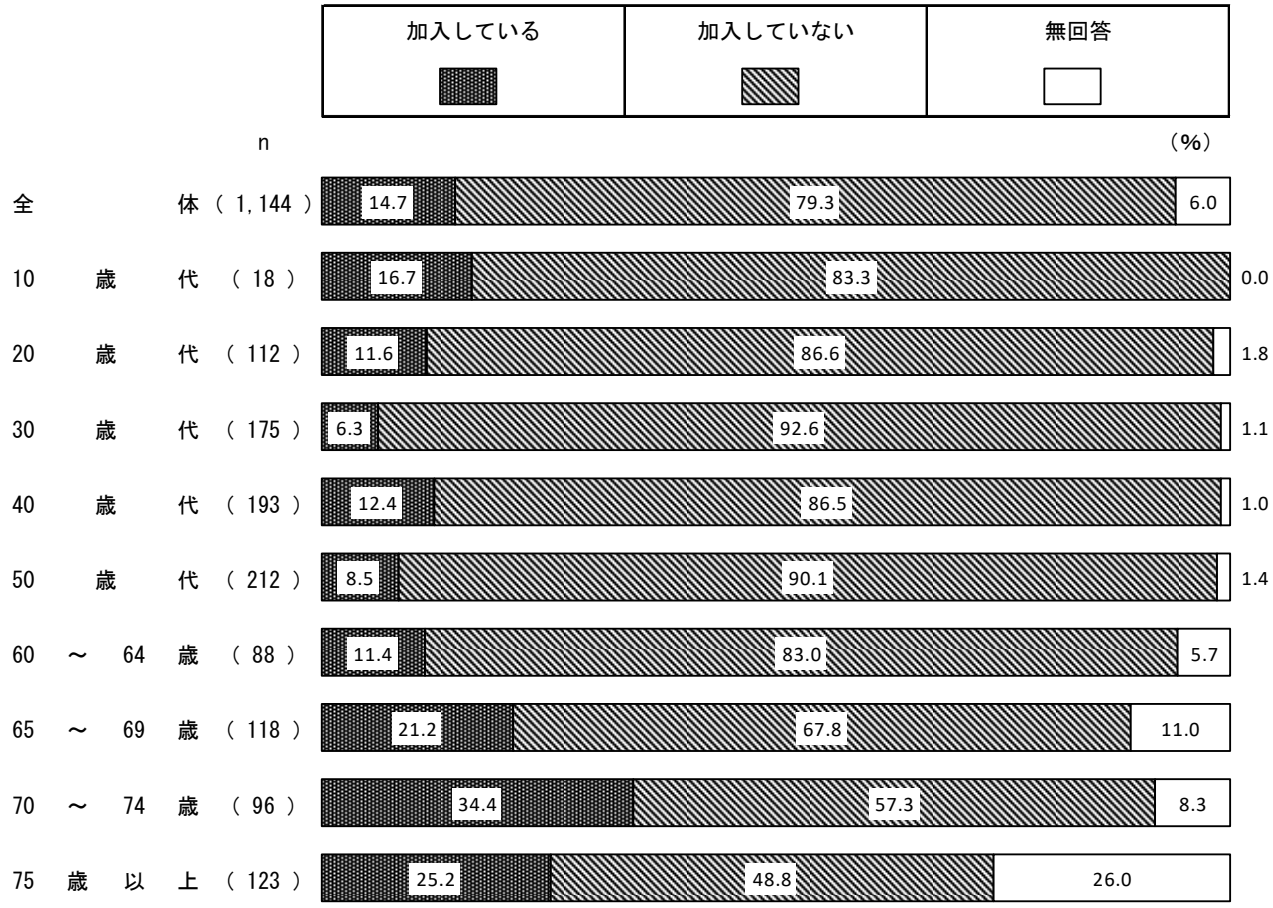


【趣味・スポーツ等のサークル】

①　年代別

趣味・スポーツ等のサークルの加入状況を年代別でみると、「加入している」は 70～74 歳（34.4%）で３割半ばとなっています。（図 15－２－６）

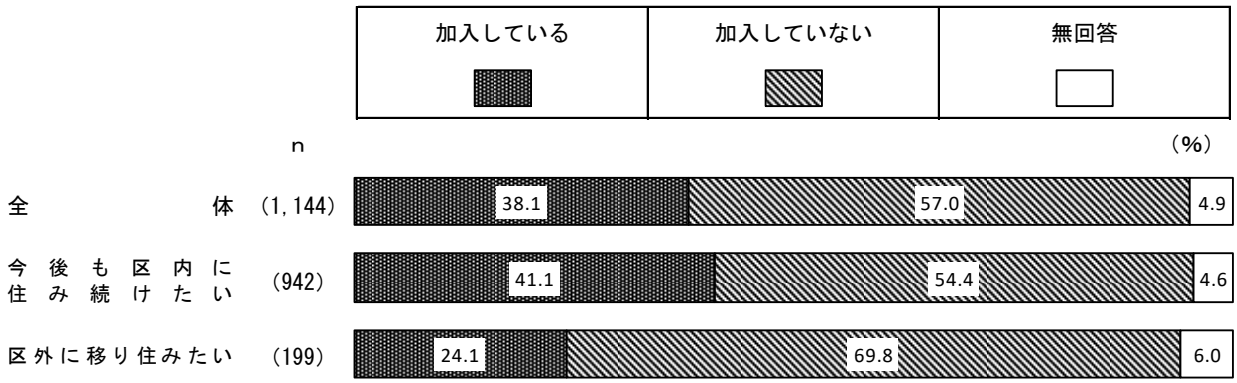
図 15－２－６　趣味・スポーツ等のサークルの加入状況（年代別）



（２－１）町会・自治会の加入状況（問３８）と定住意向（問３）

町会・自治会への加入状況と定住意向との関係をみると、今後も区内に住み続けたいと考えている方が町会・自治会に「加入している」（41.1%）は４割を超えています。区外に移り住みたいと考えている方の「加入していない」（69.8%）は約７割となっています。（図 15－２－７）

図 15－２－７　町会・自治会への加入状況（定住意向別）



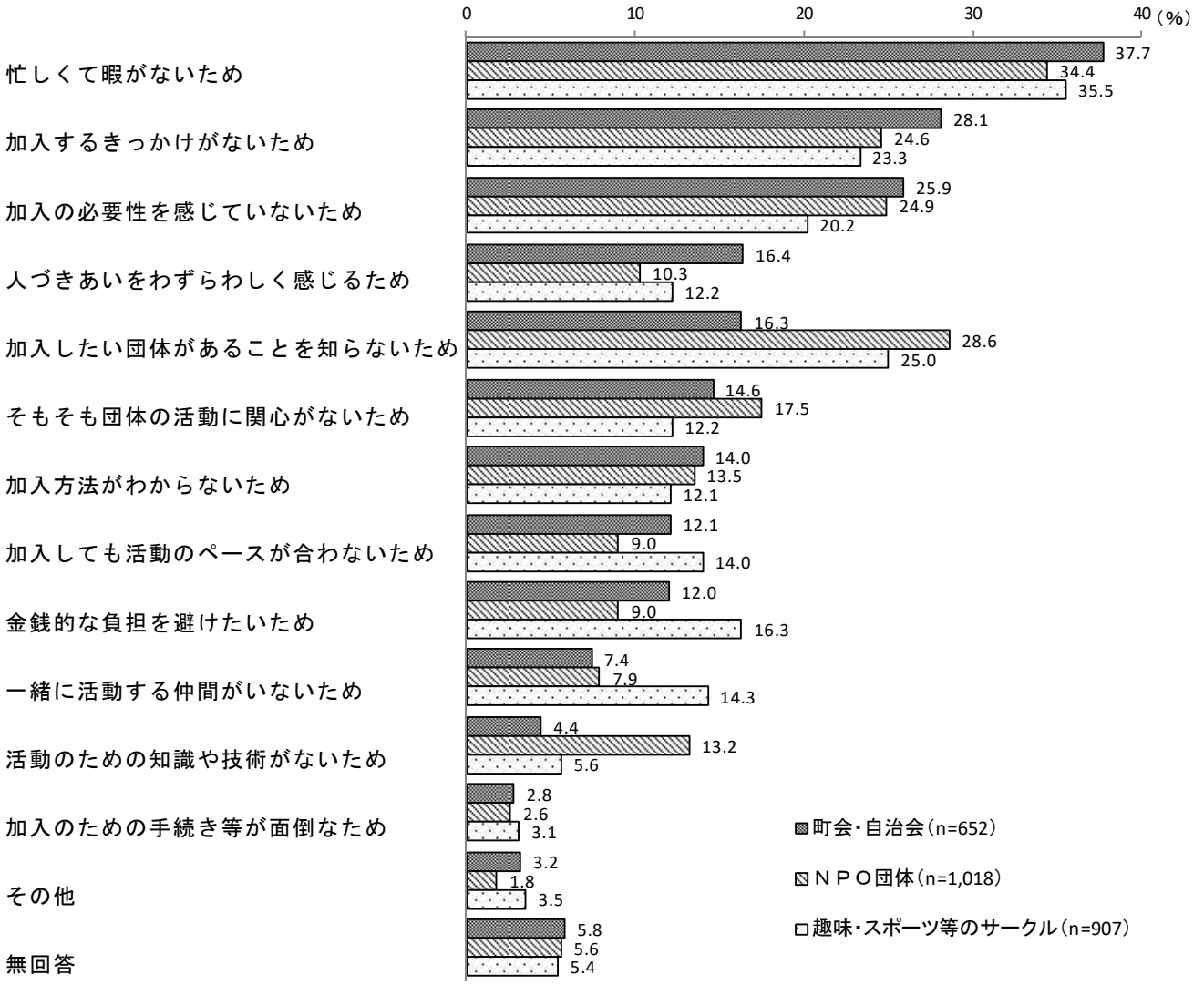
（２－２）地域で活動する団体・サークルに加入していない理由

◇「忙しくて暇がないため」がそれぞれ３割台

（問 38 で「２」～「４」と回答した方のみ）

「２　加入していない」と回答した方はその主な理由を３つまで選び、下の表に番号を記入してください。

図 15－２－８



問 38 で、地域で活動する団体やサークルそれぞれに「加入していない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「忙しくて暇がないため」が町会・自治会（37.7%）、ＮＰＯ団体（34.4%）、趣味・スポーツ等のサークル（35.5%）でそれぞれ３割台となっています。（図 15－２－８）

【町会・自治会】

①　年代別

年代別でみると、「忙しくて暇がないため」が 64 歳以下のすべての年代で第１位となっています。「加入するきっかけがないため」が 65～69 歳（37.2%）で、「加入の必要性を感じないため」が 70～74 歳（33.3%）、75 歳以上（26.7%）で、「加入しても活動のペースが合わないため」が 70～74 歳（33.3%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「加入しても活動のペースが合わないため」が 65～69 歳（20.9%）で第３位となっています。（表 15－２－１）

表 15－２－１　町会・自治会に加入していない理由（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		652	忙しくて暇がないため 37.7	加入するきっかけがないため 28.1	加入の必要性を感じていないため 25.9	人づきあいをわずらわしく感じるため 16.4	加入したい団体があることを知らないため 16.3
年代別	10　歳　代	18	忙しくて暇がないため 44.4	加入するきっかけがないため 38.9	加入したい団体があることを知らないため 33.3	加入方法がわからないため 27.8	加入の必要性を感じていないため/　そもそも団体の活動に関心がないため 22.2
	20　歳　代	98	忙しくて暇がないため 35.7	加入の必要性を感じていないため 27.6	加入するきっかけがないため 26.5	加入したい団体があることを知らないため 21.4	そもそも団体の活動に関心がないため 20.4
	30　歳　代	137	忙しくて暇がないため 40.1	加入の必要性を感じていないため 33.6	加入するきっかけがないため 30.7	加入したい団体があることを知らないため 20.4	人づきあいをわずらわしく感じるため 18.2
	40　歳　代	114	忙しくて暇がないため 43.0	加入するきっかけがないため 26.3	加入の必要性を感じていないため 22.8	加入したい団体があることを知らないため 17.5	人づきあいをわずらわしく感じるため 15.8
	50　歳　代	118	忙しくて暇がないため 43.2	加入するきっかけがないため 23.7	加入の必要性を感じていないため 19.5	人づきあいをわずらわしく感じるため 16.1	加入したい団体があることを知らないため 15.3
	60 ～ 64 歳	44	忙しくて暇がないため 40.9	加入するきっかけがないため 38.6	人づきあいをわずらわしく感じるため 29.5	加入の必要性を感じていないため 25.0	一緒に活動する仲間がいないため 22.7
	65 ～ 69 歳	43	加入するきっかけがないため 37.2	忙しくて暇がないため 25.6	加入しても活動のペースが合わないため／人づきあいをわずらわしく感じるため 20.9		加入方法がわからないため／加入の必要性を感じていないため 18.6
	70 ～ 74 歳	33	加入しても活動のペースが合わないため／加入の必要性を感じていないため 33.3		加入するきっかけがないため／忙しくて暇がないため 27.3		人づきあいをわずらわしく感じるため 24.2
	75 歳 以 上	45	加入の必要性を感じていないため 26.7	忙しくて暇がないため 20.0	加入するきっかけがないため 15.6	その他 13.3	加入方法がわからないため／加入の必要性を感じていないため／加入しても活動のペースが合わないため　他※ 8.9

【ＮＰＯ団体】

① 年代別

年代別でみると、「忙しくて暇がないため」が 64 歳以下のすべての年代で第１位となっています。「加入するきっかけがないため」が 65～69 歳（27.5%）、75 歳以上（21.1%）で、「加入の必要性を感じていないため」が 70～74 歳（38.4%）、75 歳以上（21.1%）で、「加入したい団体があることを知らないため」が 65～69 歳（27.5%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「活動のための知識や技術がないため」が 75 歳以上（17.1%）で第３位、65～69 歳（23.5%）、70～74 歳（24.7%）で第４位、60～64 歳（19.8%）で第５位となっています。（表 15－２－２）

表 15－２－２　ＮＰＯ団体に加入していない理由（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,018	忙しくて暇がないため 34.4	加入したい団体があることを知らないため 28.6	加入の必要性を感じていないため 24.9	加入するきっかけがないため 24.6	そもそも団体の活動に関心がないため 17.5
年代別	10 歳 代	18	加入するきっかけがないため／忙しくて暇がないため 38.9		加入方法がわからないため 33.3	加入したい団体があることを知らないため 27.8	加入の必要性を感じていないため／そもそも団体の活動に関心がないため 22.2
	20 歳 代	108	忙しくて暇がないため 35.2	加入するきっかけがないため／加入の必要性を感じていないため 28.7		加入したい団体があることを知らないため 22.2	そもそも団体の活動に関心がないため 21.3
	30 歳 代	169	忙しくて暇がないため 38.5	加入したい団体があることを知らないため 30.2	加入の必要性を感じていないため 25.4	そもそも団体の活動に関心がないため 23.1	加入するきっかけがないため 21.3
	40 歳 代	181	忙しくて暇がないため 45.3	加入したい団体があることを知らないため 33.1	加入するきっかけがないため 27.6	加入の必要性を感じていないため 20.4	そもそも団体の活動に関心がないため 11.6
	50 歳 代	203	忙しくて暇がないため 38.9	加入したい団体があることを知らないため 32.0	加入するきっかけがないため 21.2	加入の必要性を感じていないため 20.2	加入方法がわからないため 16.3
	60 ～ 64 歳	81	忙しくて暇がないため 35.8	加入したい団体があることを知らないため／加入の必要性を感じていないため 29.6		加入するきっかけがないため 21.0	活動のための知識や技術がないため 19.8
	65 ～ 69 歳	102	加入したい団体があることを知らないため／加入するきっかけがないため 27.5		加入の必要性を感じていないため 26.5	活動のための知識や技術がないため 23.5	忙しくて暇がないため 21.6
	70 ～ 74 歳	73	加入の必要性を感じていないため 38.4	加入したい団体があることを知らないため 28.8	加入するきっかけがないため 27.4	活動のための知識や技術がないため 24.7	そもそも団体の活動に関心がないため 23.3
	75 歳 以 上	76	加入するきっかけがないため／加入の必要性を感じていないため 21.1		活動のための知識や技術がないため／一緒に活動する仲間がいないため 17.1		加入したい団体があることを知らないため／忙しくて暇がないため 15.8

【趣味・スポーツ等のサークル】

①　年代別

年代別でみると、「忙しくて暇がないため」が 20 歳代（37.1%）、30 歳代（39.5%）、40 歳代（45.5%）、50 歳代（38.7%）、60～64 歳（42.5%）で第１位となっています。「加入の必要性を感じていないため」は 65 歳以上のすべての年代で第１位となっています。

その他の特徴として、「一緒に活動する仲間がいないため」は 65～69 歳（21.3%）、75 歳以上（18.3%）で第２位、70～74 歳（21.8%）で第３位、60～64 歳（17.8%）で第５位となっています。（表 15－２－３）

表 15－２－３　趣味・スポーツ等のサークルに加入していない理由（年代別）

（%）

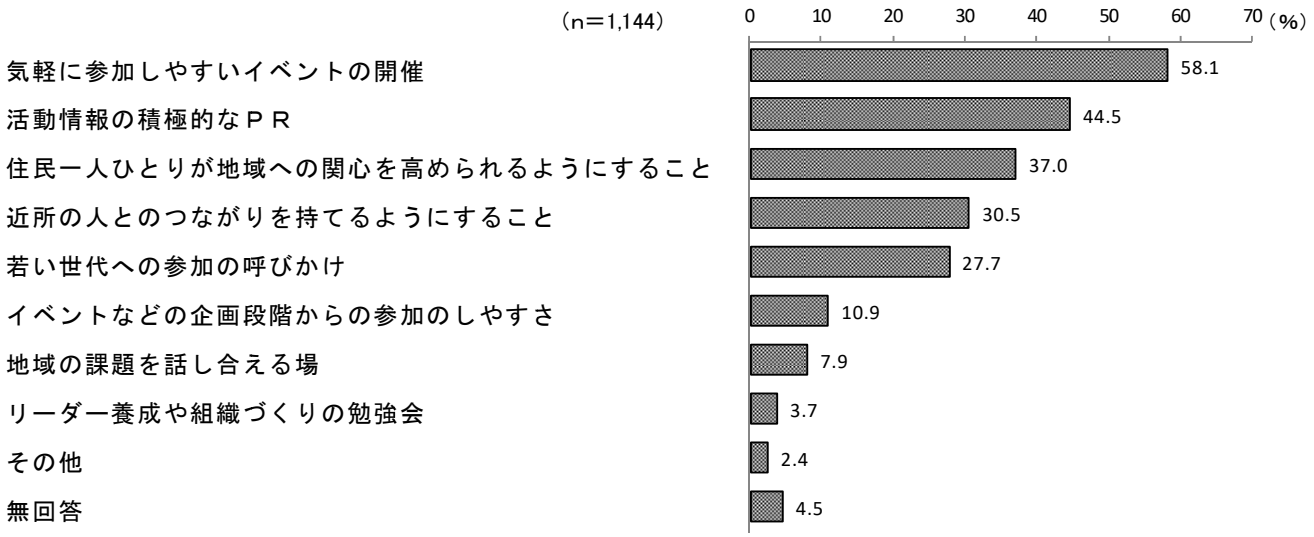
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		907	忙しくて暇がないため 35.5	加入したい団体があることを知らないため 25.0	加入するきっかけがないため 23.3	加入の必要性を感じていないため 20.2	金銭的な負担を避けたいため 16.3
年代別	10　歳　代	15	加入方法がわからないため 40.0	忙しくて暇がないため 33.3	加入するきっかけがないため／加入の必要性を感じていないため 26.7		加入したい団体があることを知らないため／そもそも団体の活動に関心がないため 20.0
	20　歳　代	97	忙しくて暇がないため 37.1	加入したい団体があることを知らないため 28.9	加入するきっかけがないため 26.8	加入の必要性を感じていないため 21.6	金銭的な負担を避けたいため 19.6
	30　歳　代	162	忙しくて暇がないため 39.5	加入したい団体があることを知らないため 32.7	加入の必要性を感じていないため 24.1	金銭的な負担を避けたいため 19.1	加入するきっかけがないため 17.3
	40　歳　代	167	忙しくて暇がないため 45.5	加入したい団体があることを知らないため 26.9	加入するきっかけがないため 25.7	加入しても活動のペースが合わないため／金銭的な負担を避けたいため 18.0	
	50　歳　代	191	忙しくて暇がないため 38.7	加入したい団体があることを知らないため 29.8	加入するきっかけがないため 26.2	加入方法がわからないため 15.2	加入しても活動のペースが合わないため 14.7
	60 ～ 64 歳	73	忙しくて暇がないため 42.5	加入するきっかけがないため 28.8	加入の必要性を感じていないため 21.9	人づきあいをわずらわしく感じるため 20.5	一緒に活動する仲間がいないため 17.8
	65 ～ 69 歳	80	加入の必要性を感じていないため 22.5	加入したい団体があることを知らないため／一緒に活動する仲間がいないため 21.3		加入しても活動のペースが合わないため 20.0	忙しくて暇がないため 18.8
	70 ～ 74 歳	55	加入の必要性を感じていないため 36.4	加入するきっかけがないため 32.7	一緒に活動する仲間がいないため／人づきあいをわずらわしく感じるため 21.8		加入方法がわからないため／忙しくて暇がないため 20.0
	75 歳 以 上	60	加入の必要性を感じていないため 21.7	一緒に活動する仲間がいないため 18.3	金銭的な負担を避けたいため 16.7	加入するきっかけがないため／人づきあいをわずらわしく感じるため 13.3	

（３）地域の活動を活発にするために必要なこと

◇「気軽に参加しやすいイベントの開催」が６割近く

問 39　あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が必要だと思いますか。該当するものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図 15－３－１



地域の活動を活発にするために必要なことを聞いたところ、「気軽に参加しやすいイベントの開催」（58.1%）が６割近くで最も高く、次いで「活動情報の積極的なＰＲ」（44.5%）、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」（37.0%）、「近所の人とのつながりを持てるようにすること」（30.5%）、「若い世代への参加の呼びかけ」（27.7%）となっています。（図 15－３－１）

①　年代別

年代別でみると、「気軽に参加しやすいイベントの開催」は 70 歳以上を除くすべての年代で第１位となっています。「活動情報の積極的なＰＲ」は 70～74 歳（46.9%）で、「近所の人とのつながりを持てるようにすること」は 75 歳以上（41.5%）で第１位となっています。
（表 15－３－１）

表 15－３－１　地域の活動を活発にするために必要なこと（年代別）

（%）

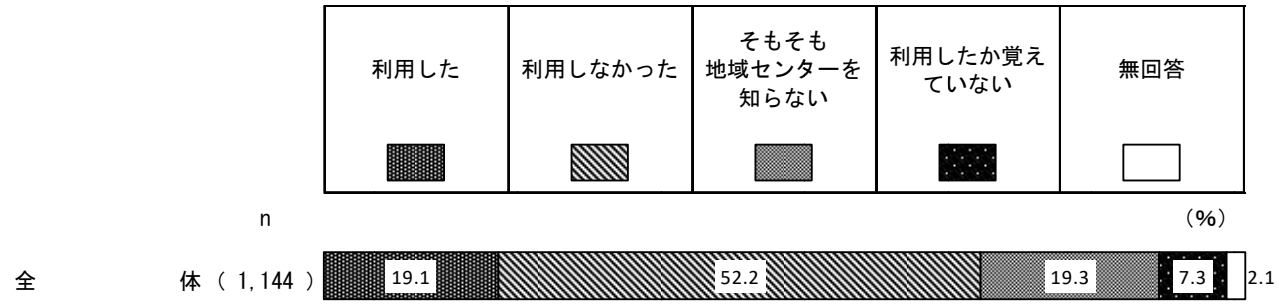
		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	気軽に参加しやすいイベントの開催 58.1	活動情報の積極的なＰＲ 44.5	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 37.0	近所の人とのつながりを持てるようにすること 30.5	若い世代への参加の呼びかけ 27.7
年代別	10　歳　代	18	気軽に参加しやすいイベントの開催 66.7	活動情報の積極的なＰＲ 50.0	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 44.4	若い世代への参加の呼びかけ 27.8	近所の人とのつながりを持てるようにすること 22.2
	20　歳　代	112	気軽に参加しやすいイベントの開催 60.7	活動情報の積極的なＰＲ 48.2	若い世代への参加の呼びかけ 36.6	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 31.3	近所の人とのつながりを持てるようにすること 25.0
	30　歳　代	175	気軽に参加しやすいイベントの開催 76.0	活動情報の積極的なＰＲ 39.4	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 30.9	若い世代への参加の呼びかけ 29.7	近所の人とのつながりを持てるようにすること 22.3
	40　歳　代	193	気軽に参加しやすいイベントの開催 65.8	活動情報の積極的なＰＲ 49.2	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 30.1	近所の人とのつながりを持てるようにすること 28.5	若い世代への参加の呼びかけ 26.9
	50　歳　代	212	気軽に参加しやすいイベントの開催 58.0	活動情報の積極的なＰＲ 47.2	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 46.7	近所の人とのつながりを持てるようにすること 30.7	若い世代への参加の呼びかけ 24.1
	60 ～ 64 歳	88	気軽に参加しやすいイベントの開催 62.5	活動情報の積極的なＰＲ 48.9	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 47.7	近所の人とのつながりを持てるようにすること 31.8	若い世代への参加の呼びかけ 20.5
	65 ～ 69 歳	118	気軽に参加しやすいイベントの開催 50.8	活動情報の積極的なＰＲ 45.8	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 43.2	近所の人とのつながりを持てるようにすること 33.9	若い世代への参加の呼びかけ 29.7
	70 ～ 74 歳	96	活動情報の積極的なＰＲ 46.9	気軽に参加しやすいイベントの開催 44.8	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること／近所の人とのつながりを持てるようにすること 38.5		若い世代への参加の呼びかけ 30.2
	75 歳 以 上	123	近所の人とのつながりを持てるようにすること 41.5	気軽に参加しやすいイベントの開催 35.0	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること 30.9	活動情報の積極的なＰＲ 30.1	若い世代への参加の呼びかけ 26.0

（４）過去１年間における地域センターの利用状況

◇「利用した」は約２割

問 40　あなたは、過去１年の間に、地域活動の拠点である地域センター（区内 18 か所）を利用しましたか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 15－４－１

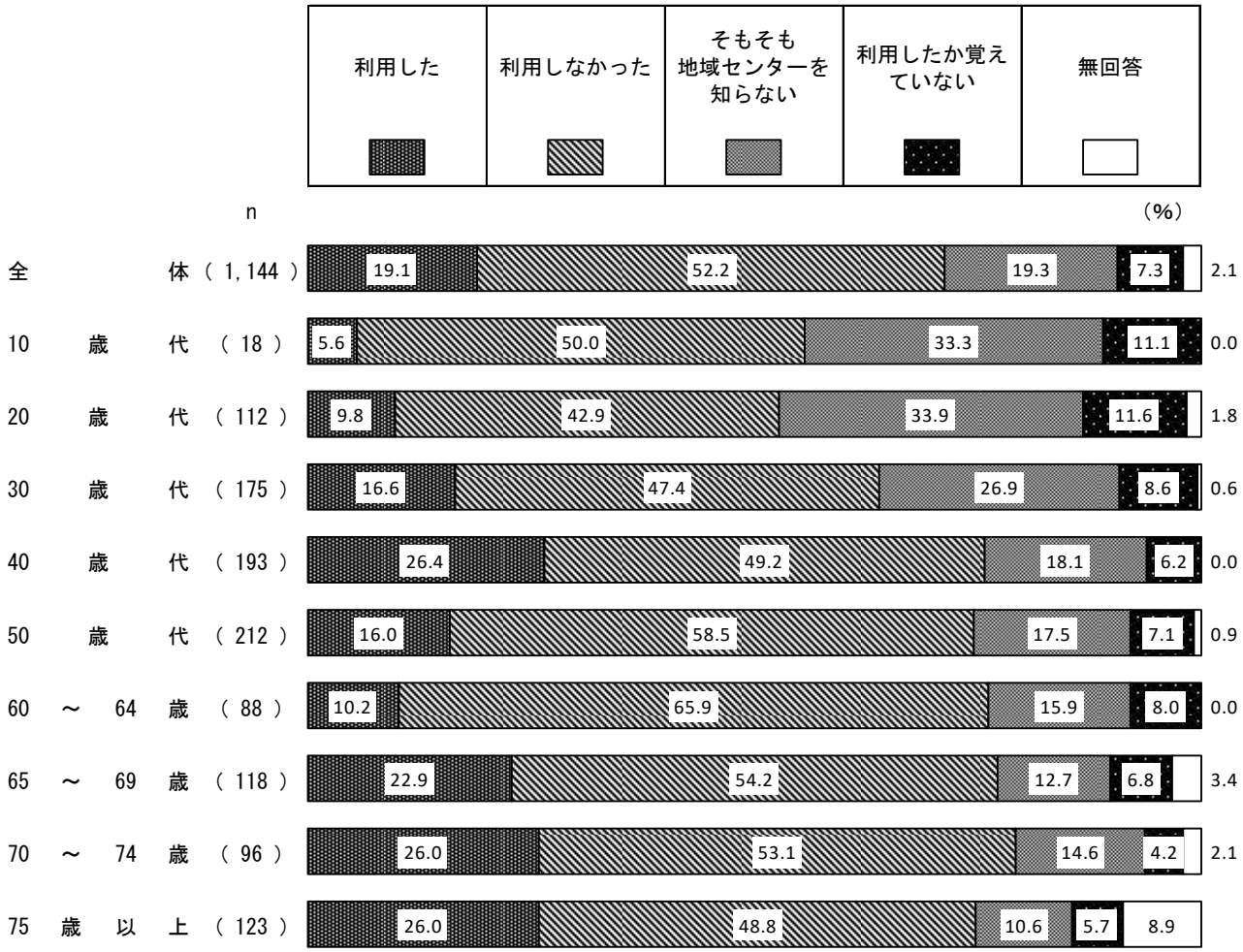


過去１年間における地域センターの利用状況を聞いたところ、「利用した」（19.1%）は約２割となっています。一方、「利用しなかった」（52.2%）は５割を超え、「そもそも地域センターを知らない」（19.3%）は約２割となっています。（図 15－４－１）

①　年代別

年代別でみると、「利用した」は 40 歳代（26.4%）、65～69 歳（22.9%）、70～74 歳（26.0%）、75 歳以上（26.0%）で２割台となっています。一方、「利用しなかった」は 60～64 歳（65.9%）で６割半ばとなっており、「そもそも地域センターを知らない」は 10 歳代（33.3%）、20 歳代（33.9%）で３割を超えています。（図 15－４－２）

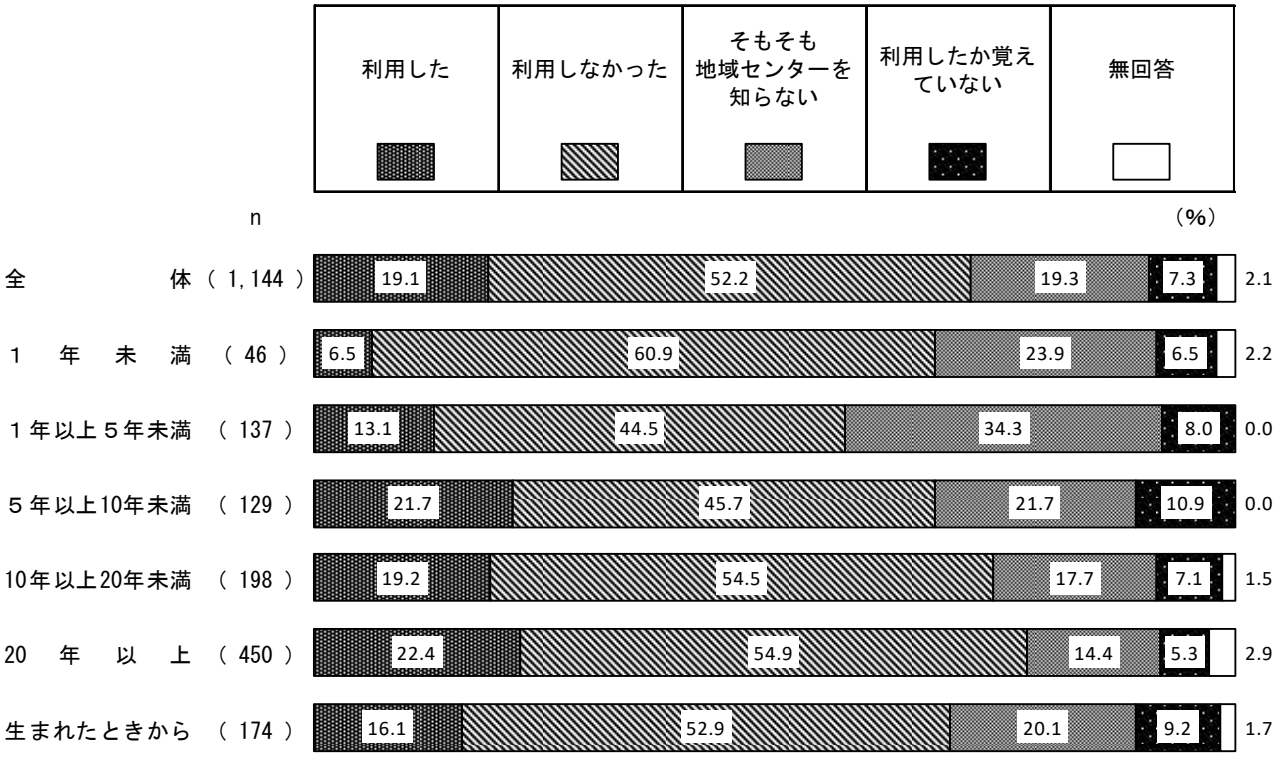
図 15－４－２　過去１年間における地域センターの利用状況（年代別）



② 居住年数別

居住年数別でみると、「利用した」は５年以上 10 年未満（21.7%）、20 年以上（22.4%）で２割台となっています。一方、「利用しなかった」は１年未満（60.9%）で約６割となっており、「そもそも地域センターを知らない」は１年以上５年未満（34.3%）で３割半ばとなっています。（図 15－４－３）

図 15－４－３　過去１年間における地域センターの利用状況（年代別）



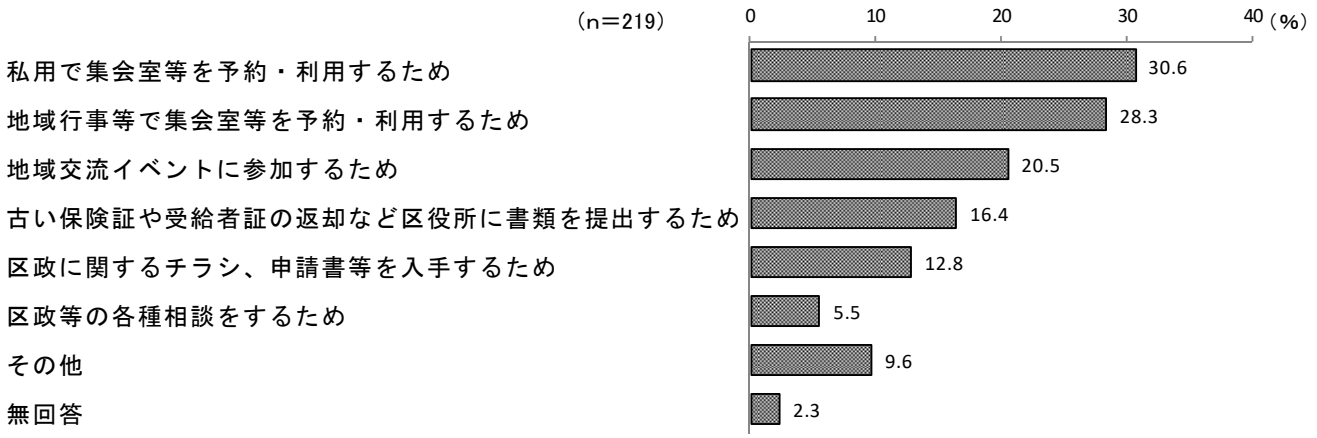
（４－１）地域センターの利用目的

◇「私用で集会室等を予約・利用するため」が約３割

（問 40 で「１　利用した」と回答した方のみ）

問 40－１　利用した目的として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 15－４－４



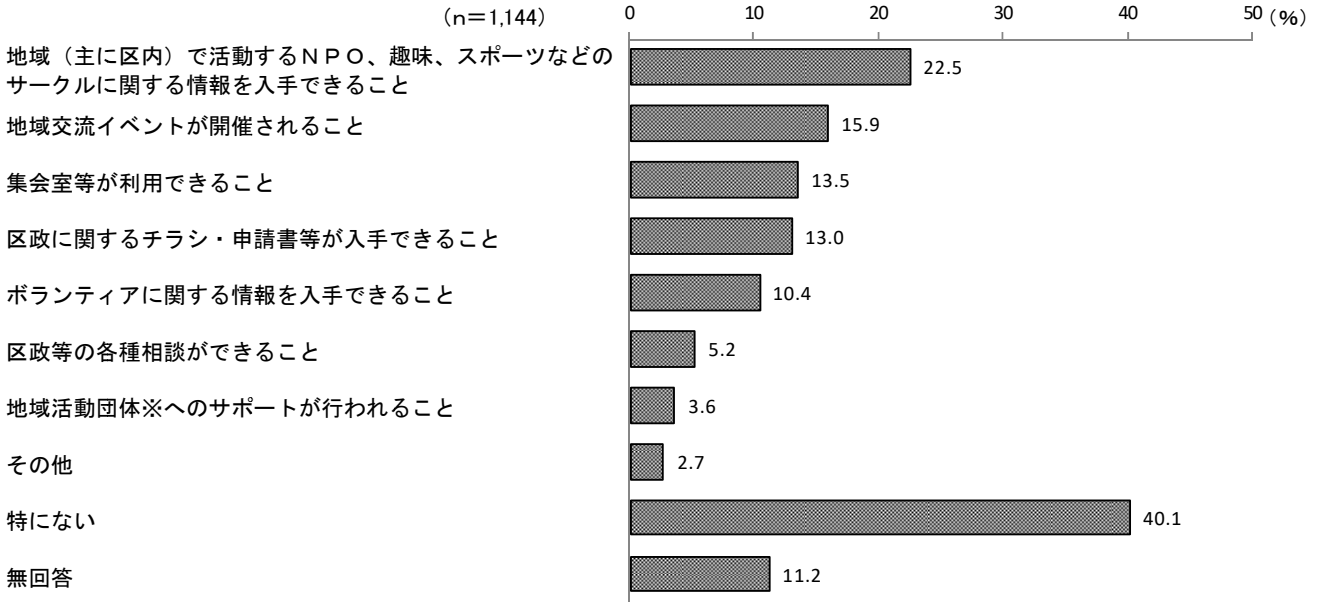
過去１年間に地域センターを利用したと答えた人（219 人）に、地域センターを利用した目的を聞いたところ、「私用で集会室等を予約・利用するため」（30.6%）が約３割で最も高く、次いで「地域行事等で集会室等を予約・利用するため」（28.3%）、「地域交流イベントに参加するため」（20.5%）、「古い保険証や受給者証の返却など区役所に書類を提出するため」（16.4%）、「区政に関するチラシ、申請書等を入手するため」（12.8%）となっています。（図 15－４－４）

（５）地域センターに求めるサービス

◇「地域（主に区内）で活動する NPO、趣味、スポーツなどのサークルに関する情報を入手できること」が２割超え

問 41　地域センターにどのような区民サービスがあれば、あなたは地域センターを利用しますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

図 15－５－１



※地域活動団体：町会・自治会、ＮＰＯや趣味・スポーツ等のサークル

地域センターに求めるサービスを聞いたところ、「地域（主に区内）で活動する NPO、趣味、スポーツなどのサークルに関する情報を入手できること」（22.5%）が２割を超えて最も高く、次いで「地域交流イベントが開催されること」(15.9%)、「集会室等が利用できること」(13.5%)、「区政に関するチラシ・申請書等が入手できること」（13.0%）となっています。一方、「特にない」（40.1%）が４割となっています。（図 15－５－１）

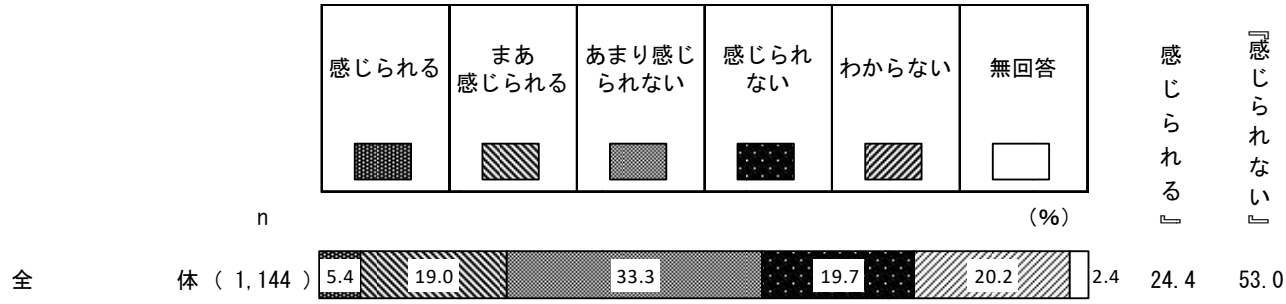
16. 今後の行政サービスと負担のあり方

（１）税金に見合った行政サービスの提供

◇税金に見合った行政サービスが受けられていると『感じられる』は２割半ば

問 42　あなたは、日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられますか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 16－１－１

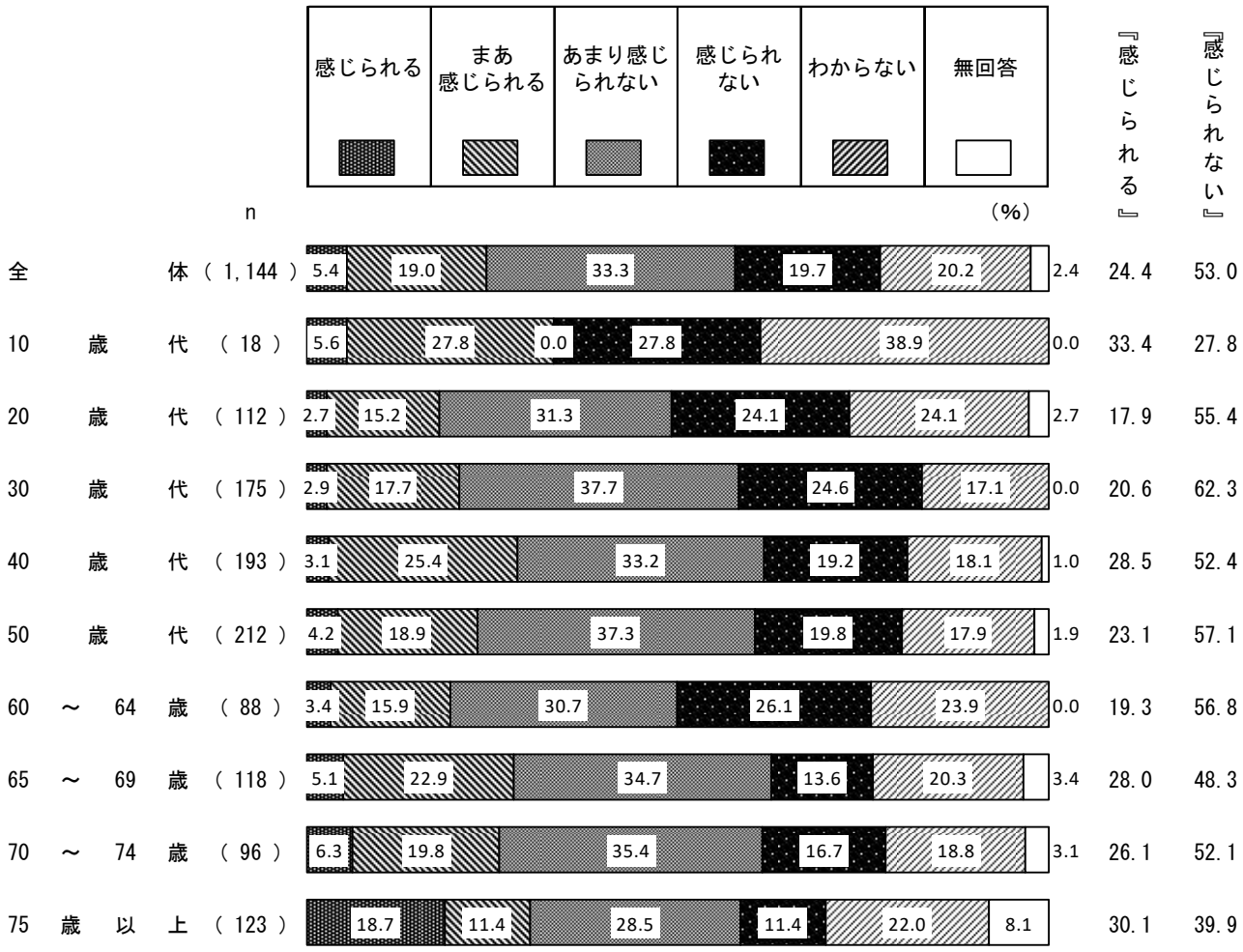


日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられるかを聞いたところ、「感じられる」（5.4%）と「まあ感じられる」（19.0%）を合わせた『感じられる』（24.4%）は２割半ばとなっています。一方、「あまり感じられない」（33.3%）と「感じられない」（19.7%）を合わせた『感じられない』（53.0%）が５割を超えています。
（図 16－１－１）

①　年代別

年代別でみると、『感じられる』は 10 歳代（33.4%）で３割を超え、75 歳以上（30.1%）で３割となっていますが、20 歳代（17.9%）、60～64 歳代（19.3%）では１割台となっています。一方、『感じられない』は 30 歳代（62.3%）で６割を超えていますが、75 歳以上（39.9%）では約４割となっています。（図 16－１－２）

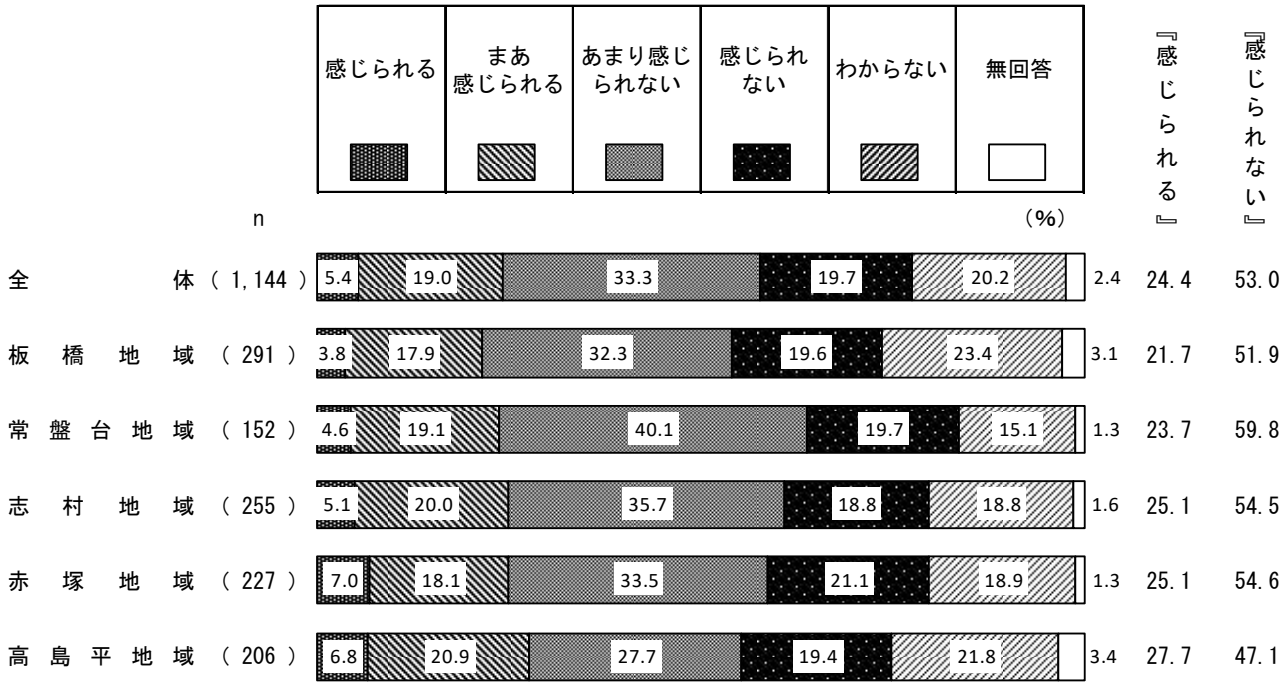
図 16－１－２　税金に見合った行政サービスの提供（年代別）



②　地域別

地域別でみると、『感じられる』はすべての地域で２割台となっています。一方、『感じられない』は常盤台地域（59.8%）で約６割、高島平地域（47.1%）では５割近くとなっています。（図 16－１－３）

図 16－１－３　税金に見合った行政サービスの提供（地域別）

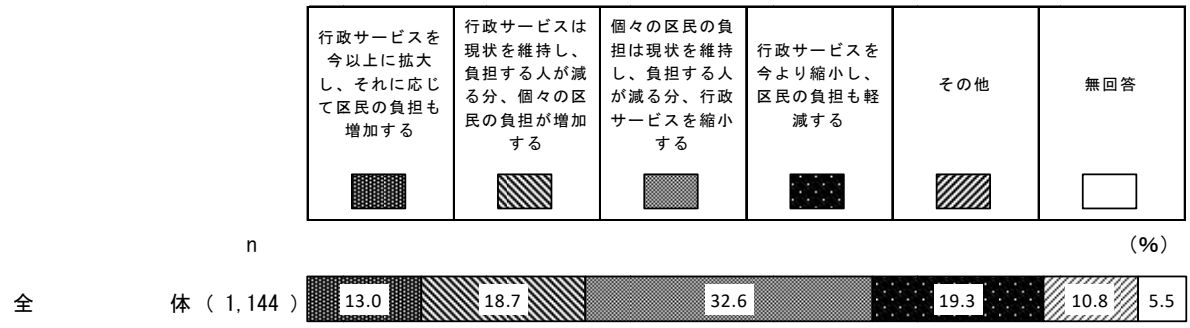


（２）将来的な行政サービスと住民負担のバランス

◇「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」が３割超え

問 43　あなたは、区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 16－２－１

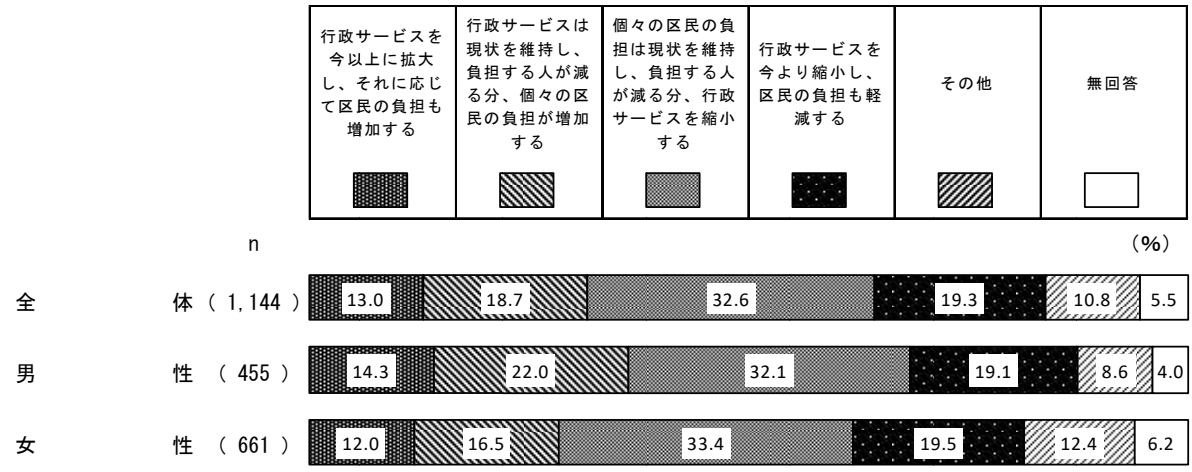


区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えるかを聞いたところ、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」（32.6%）が３割を超えて最も高くなっています。次いで、「行政サービスを今より縮小し、区民の負担も軽減する」（19.3%）、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」（18.7%）、「行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する」（13.0%）となっています。（図 16－２－１）

①　性別

性別でみると、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」は男性（22.0%）が女性（16.5%）より 5.5 ポイント高くなっています。
（図 16－２－２）

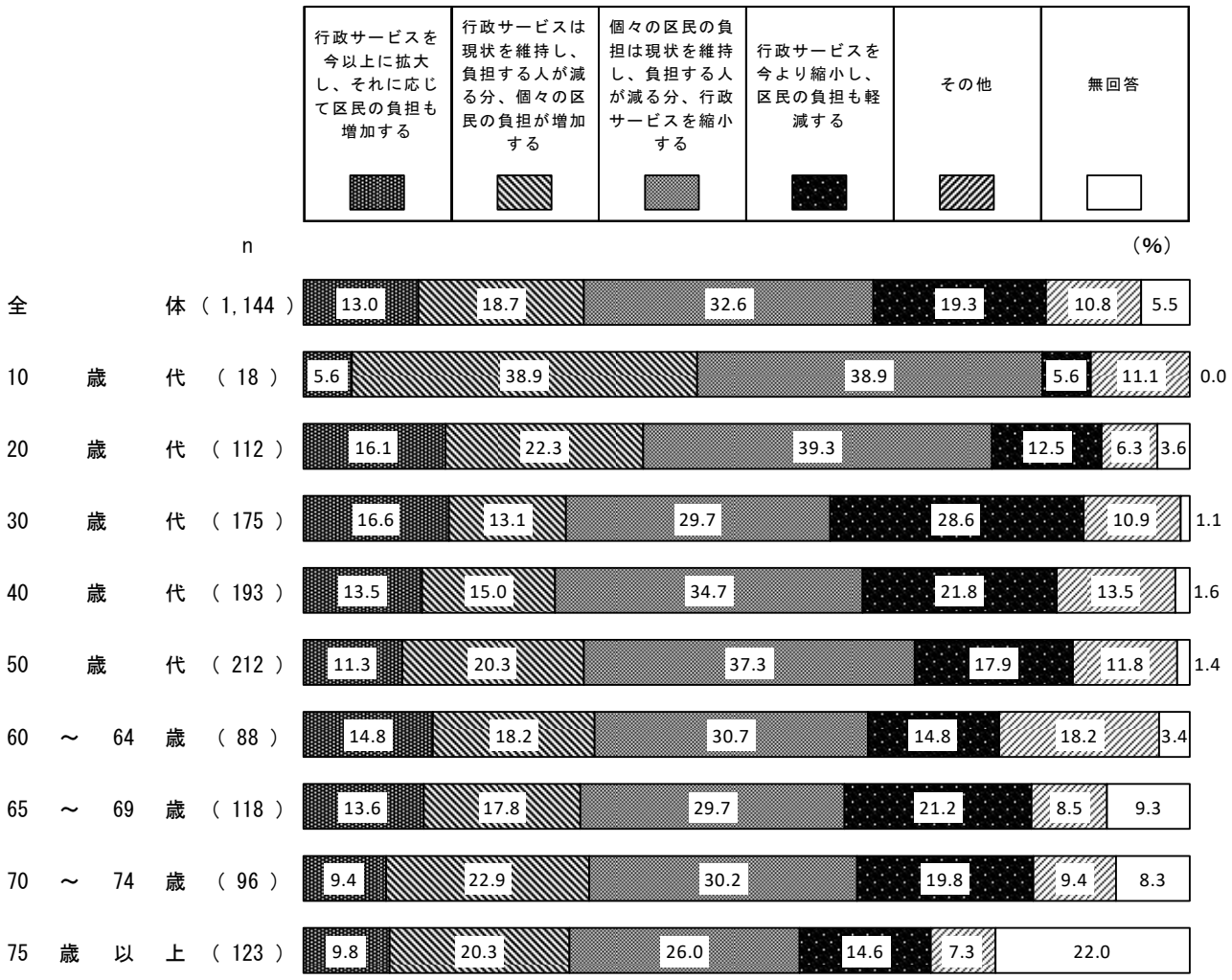
図 16－２－２　将来的な行政サービスと住民負担のバランス（性別）



②　年代別

年代別でみると、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」はすべての年代で最も高くなっています。「行政サービスを今より縮小し、区民の負担も軽減する」は 30 歳代（28.6%）、40 歳代（21.8%）、65～69 歳（21.2%）で２割台となっています。また、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」は 10 歳代（38.9%）で４割近く、20 歳代（22.3%）、50 歳代（20.3%）、70～74 歳（22.9%）、75 歳以上（20.3%）で２割台となっています。（図 16－２－３）

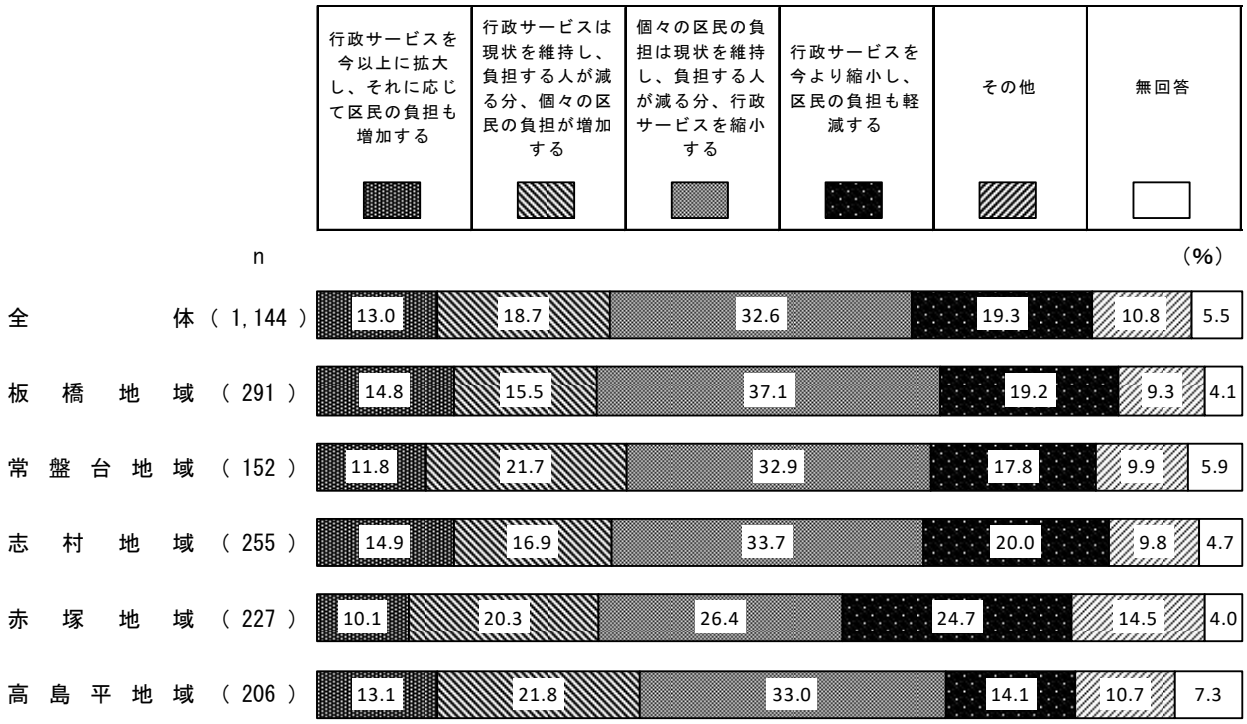
図 16－２－３　将来的な行政サービスと住民負担のバランス（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する」は赤塚地域を除く、すべての地域で３割台となっています。「行政サービスを今より縮小し、区民の負担も軽減する」は志村地域（20.0%）、赤塚地域（24.7%）で２割台となっています。また、「行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する」は常盤台地域（21.7%）、赤塚地域（20.3%）、高島平地域（21.8%）で２割台となっています。（図 16－２－４）

図 16－２－４　将来的な行政サービスと住民負担のバランス（地域別）



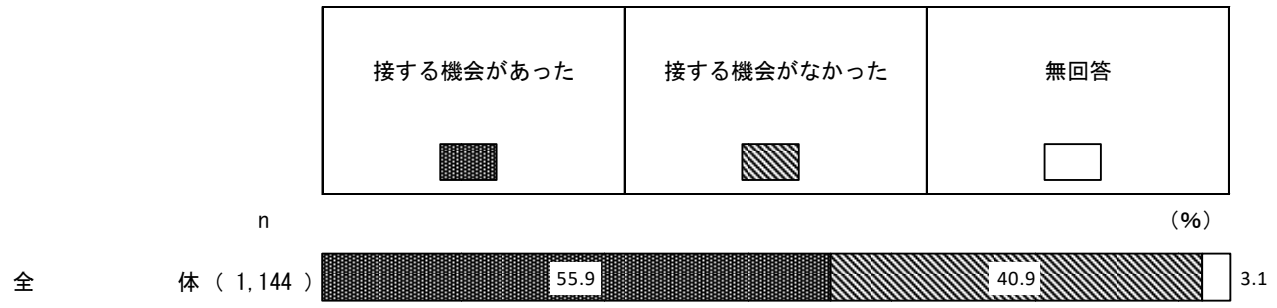
17. 板橋区職員に期待する能力・資質

（１）最近１年間での職員と接する機会の有無

◇「接する機会があった」が５割半ば

問 44　あなたは過去１年間で、区役所の窓口（電話含む）を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接したりする機会がありましたか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 17－１－１



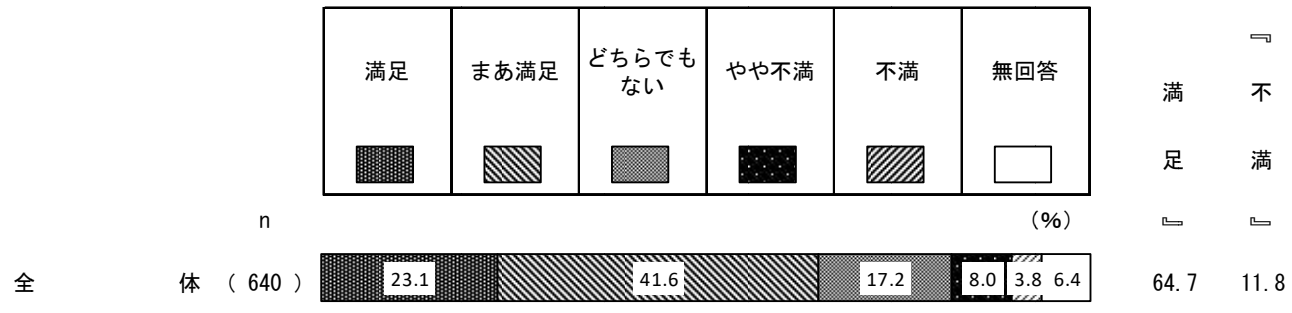
過去１年間で職員と接する機会があったかを聞いたところ、「接する機会があった」（55.9%）と答えた人は５割半ばで、「接する機会がなかった」（40.9%）は約４割となっています。（図 17－１－１）

（１－１）職員の対応に対する満足度

◇『満足』が６割半ば

（問 44 で「１　接する機会があった」と回答した方のみ）
問 44－１　その際に接した職員の対応に関する満足度について、該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 17－１－２



問 44 で、過去１年間で、区役所の窓口（電話含む）を利用したり、地域活動やイベント等で職員と「接する機会があった」と答えた人（640 人）に、その際の職員の対応に関する満足度を聞いたところ、「満足」（23.1%）と「まあ満足」（41.6%）を合わせた『満足』（64.7%）が６割半ばとなっています。「やや不満」（8.0%）と「不満」（3.8%）を合わせた『不満』（11.8%）は１割を超えています。（図 17－１－２）

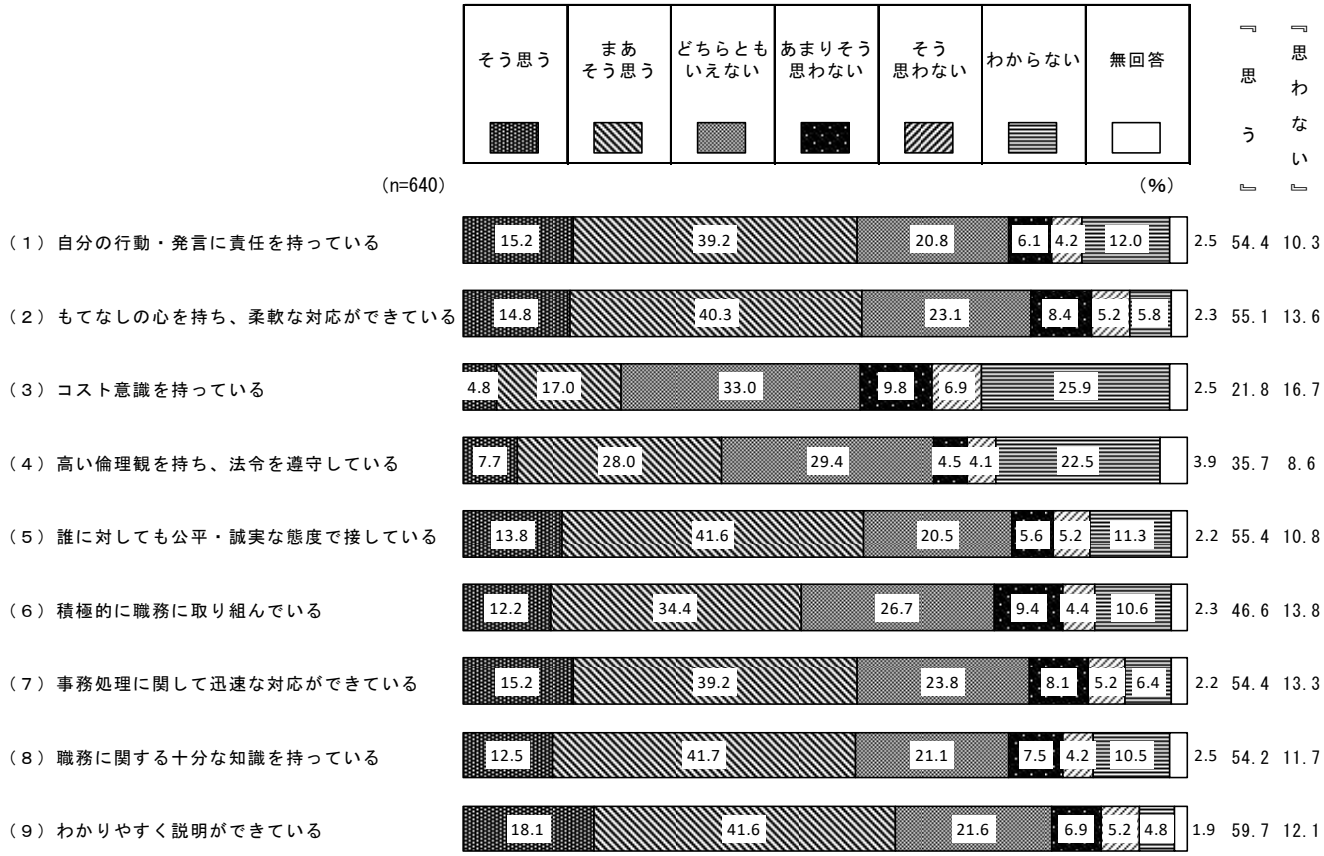
（１－２）職員の能力・資質の現状評価

◇「わかりやすく説明できている」で約６割

（問 44 で「１　接する機会があった」と回答した方のみ）

問 44－２　板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。それぞれ１つずつ選び、番号に○印をつけてください。

図 17－１－３



問 44 で、過去１年間で、区役所の窓口(電話含む)を利用したり、地域活動やイベント等で職員と「接する機会があった」と答えた人（640 人）に、板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思うか、９項目に分けて聞いたところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』の割合は、（９）わかりやすく説明ができている（59.7%）が約６割で、このほかにも５項目で５割台となっています。一方、（４）高い倫理観を持ち、法令を遵守している（35.7%）が３割半ば、（３）コスト意識を持っている（21.8%）が約２割にとどまっています。ただし、この２項目はいずれも「わからない」が２割台となっています。

また、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』は（４）高い倫理観を持ち、法令を遵守している（8.6%）を除く、すべての項目で１割台となっています。

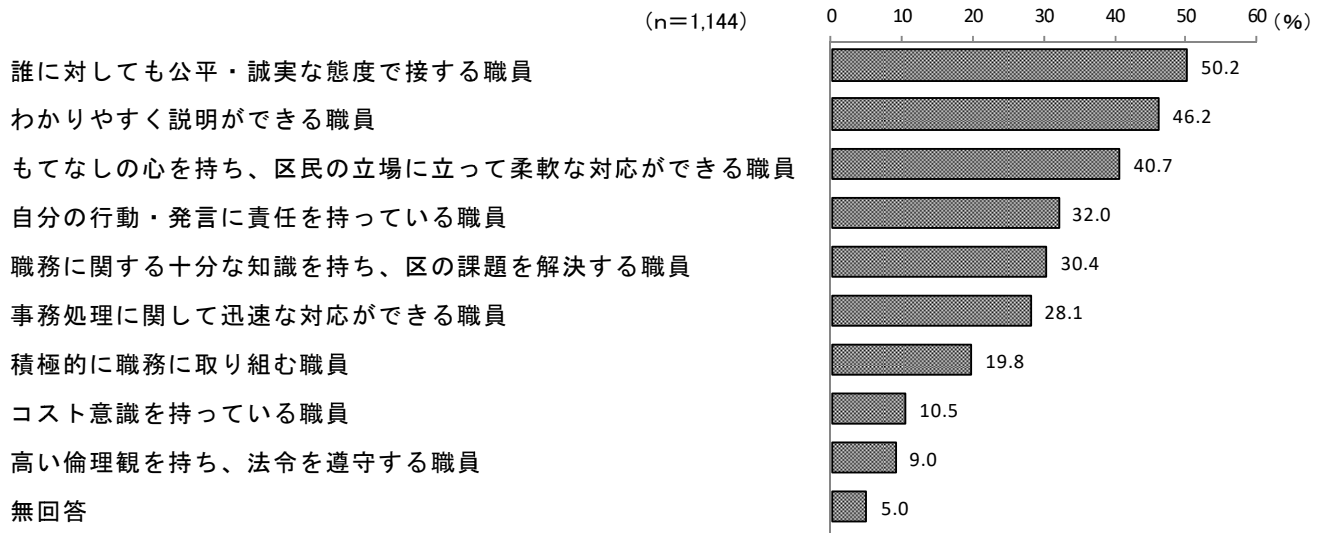
（図 17－１－３）

（２）職員に求める姿

◇「誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員」が５割

問 45　あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。該当するものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

図 17－２－１



特に求める板橋区職員の姿を聞いたところ、「誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員」（50.2%）が５割で最も高く、次いで「わかりやすく説明ができる職員」（46.2%）、「もてなしの心を持ち、区民の立場に立って柔軟な対応ができる職員」（40.7%）が４割台となっています。（図 17－２－１）

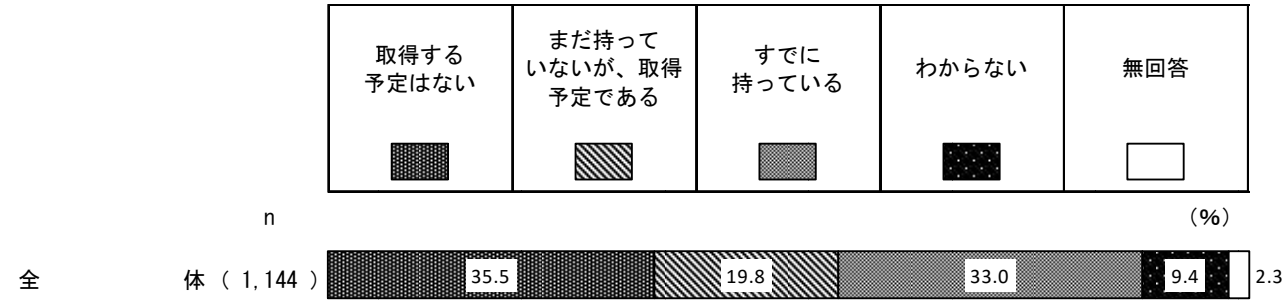
18. その他

（１）「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況

◇「すでに持っている」は３割超え

問 46　「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況について、該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 18－１－１

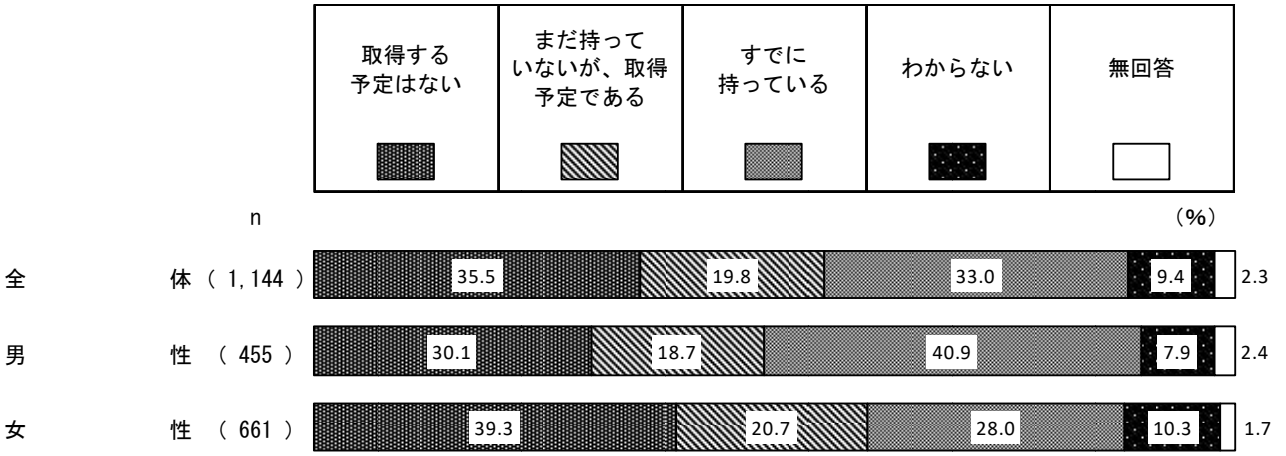


「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況について聞いたところ、「すでに持っている」（33.0%）は３割を超えています。「まだ持っていないが、取得予定である」（19.8%）と合わせると将来的には５割を超える方が取得することになります。一方、「取得する予定はない」（35.5%）が３割半ばとなっています。（図 18－１－１）

① 性別

性別でみると、「すでに持っている」は男性（40.9%）が女性（28.0%）より 12.9 ポイント高くなっています。一方、「取得する予定はない」は女性（39.3%）が男性（30.1%）より 9.2 ポイント高くなっています。（図 18－１－２）

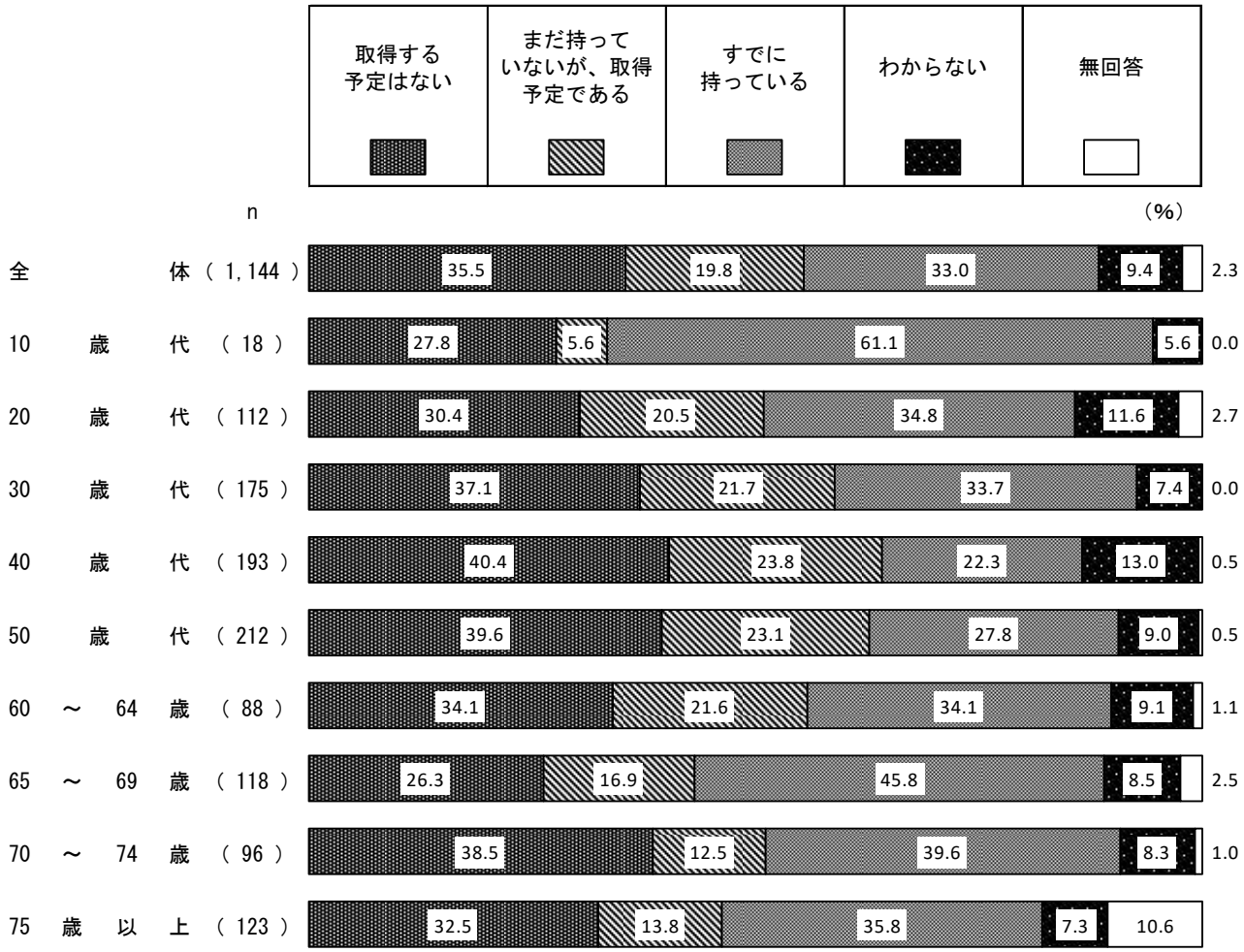
図 18－１－２　「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況（性別）



② 年代別

年代別でみると、「すでに持っている」は 10 歳代（61.1%）で６割を超え、65～69 歳（45.8%）で４割半ばとなっていますが、40 歳代（22.3%）では２割前半と他の年代よりも低くなっています。一方、「取得する予定はない」は 40 歳代（40.4%）、50 歳代（39.6%）で約４割となっています。（図 18－１－３）

図 18－１－３　「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況（年代別）



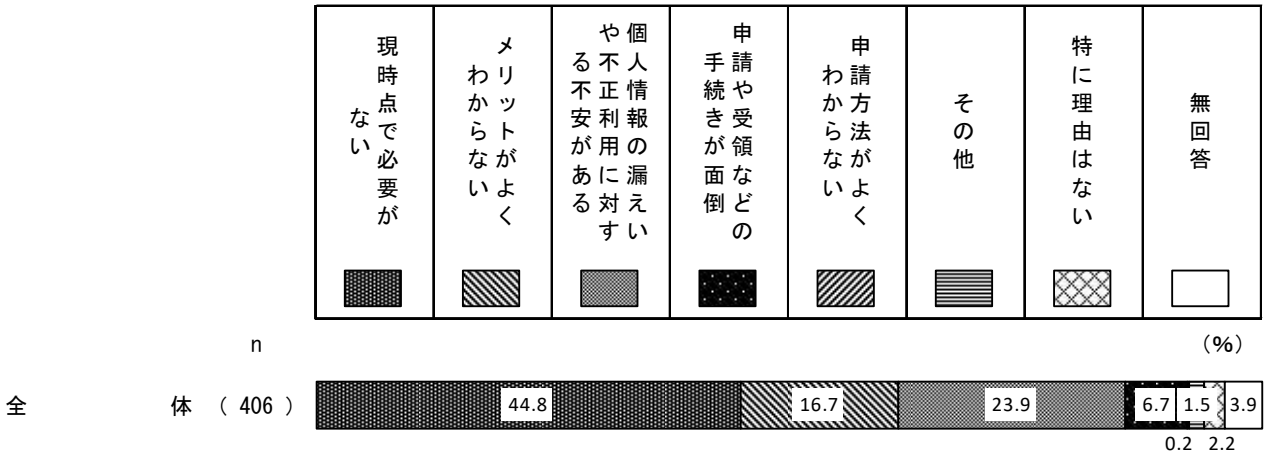
（１－１）取得する予定はない理由

◇「現時点で必要がない」が４割半ば

（問 46 で「１　取得する予定はない」と回答した方のみ）

問 46－１　その理由として該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 18－１－４

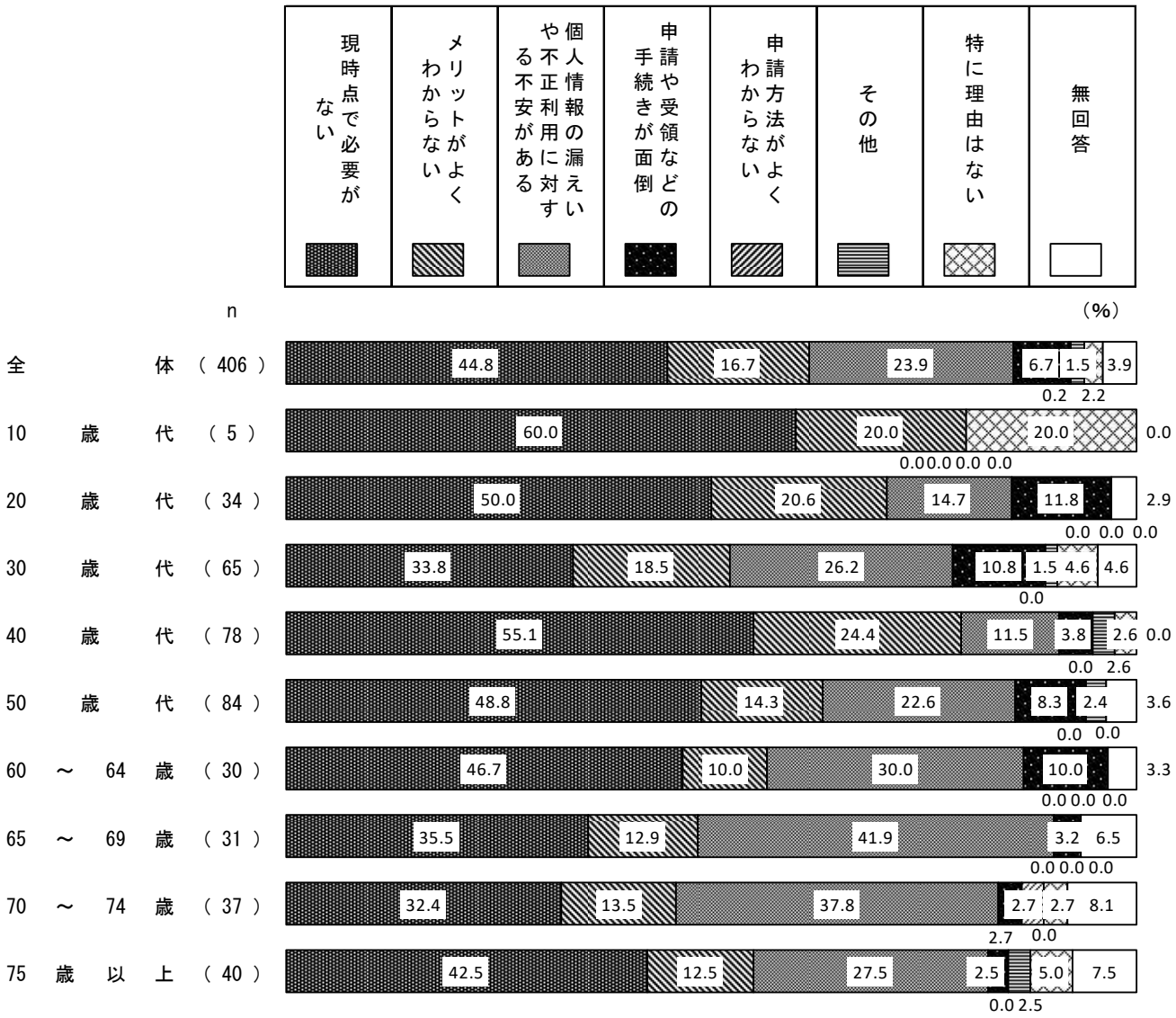


「マイナンバー（個人番号）カード」を取得する予定はない理由を聞いたところ、「現時点で必要がない」（44.8%）が４割半ばとなっています。次いで、「個人情報の漏えいや不正利用に対する不安がある」（23.9%）、「メリットがよくわからない」（16.7%）となっています。
（図 18－１－４）

③ 年代別

年代別でみると、「現時点で必要がない」は 20 歳代（50.0%）、40 歳代（55.1%）で５割台となっています。「個人情報の漏えいや不正利用に対する不安がある」は 65～69 歳（41.9%）で４割を超え、70～74 歳（37.8%）で４割近くとなっています。（図 18－１－５）

図 18－１－５　「マイナンバー（個人番号）カード」を取得していない理由（年代別）

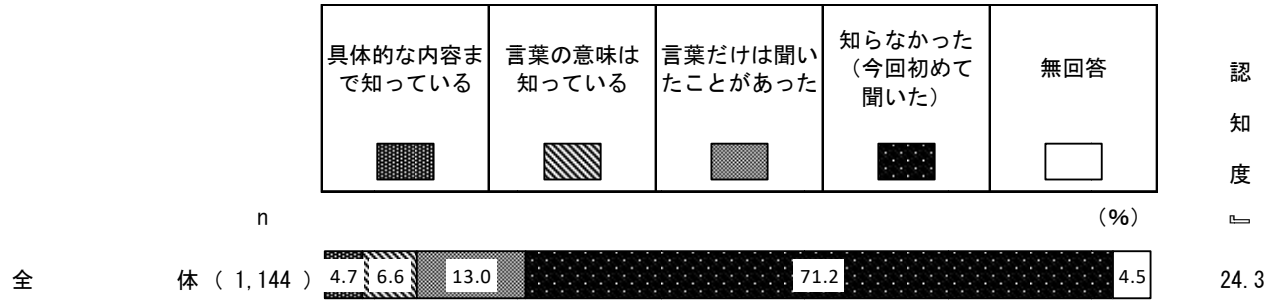


（２）ＳＤＧｓ（えすでぃーじーず）の認知度

◇『認知度』は２割半ば

問 47　板橋区基本構想が掲げる将来像の実現に向けた基本目標や基本政策の方向性は、2015 年 9 月の国連サミットにおいて全会一致で採択されたＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）と軌を一にしており、各施策の推進はＳＤＧｓのゴールにつながっています。ＳＤＧｓについて、該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

図 18－２－１

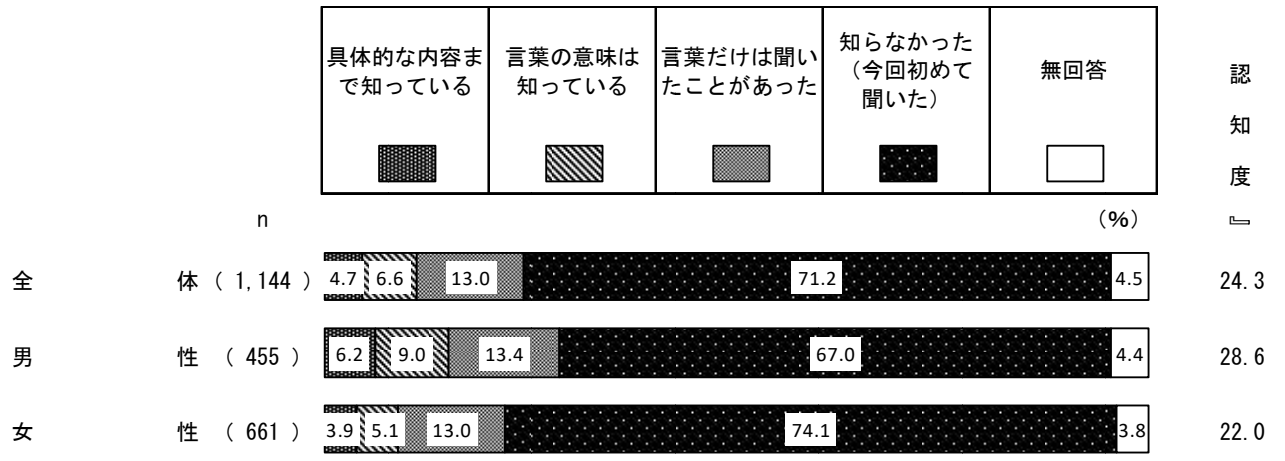


ＳＤＧｓの認知度について聞いたところ、「知らなかった（今回初めて聞いた)」(71.2%）が７割を超え最も高くなっています。「具体的な内容まで知っている」(4.7%)、「言葉の意味は知っている」(6.6%)、「言葉だけは聞いたことがあった」(13.0%）を合わせた『認知度』(24.3%）は２割半ばとなっています。(図 18－２－１）

① 性別

性別でみると、『認知度』は男性（28.6%）が女性（22.0%）より 6.6 ポイント高くなっています。(図 18－２－２）

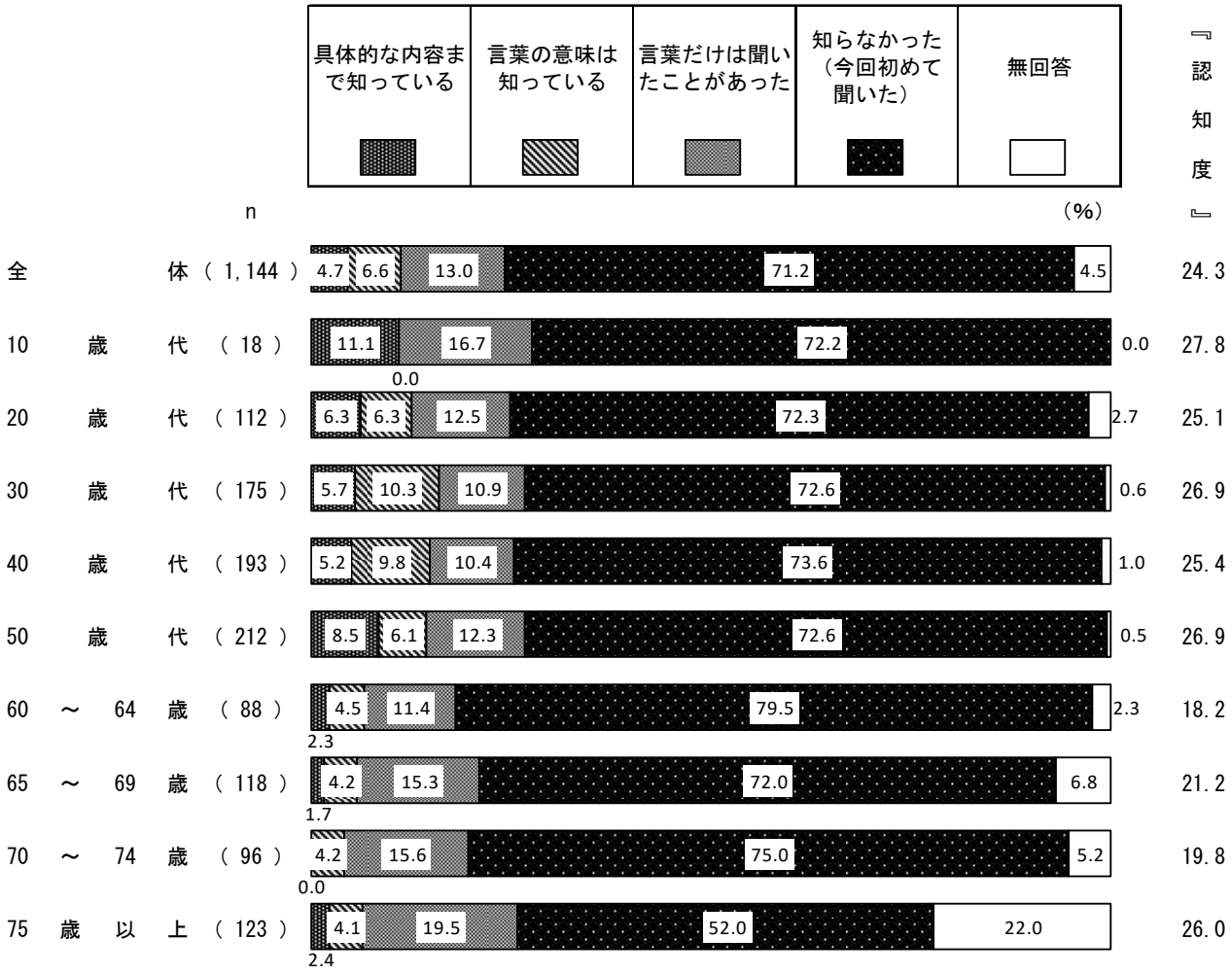
図 18－２－２　ＳＤＧｓの認知度（性別）



② 年代別

年代別でみると、『認知度』は 60～64 歳、70～74 歳を除く、すべての年代で２割台となっています。（図 18－２－３）

図 18－２－３　ＳＤＧｓの認知度（年代別）



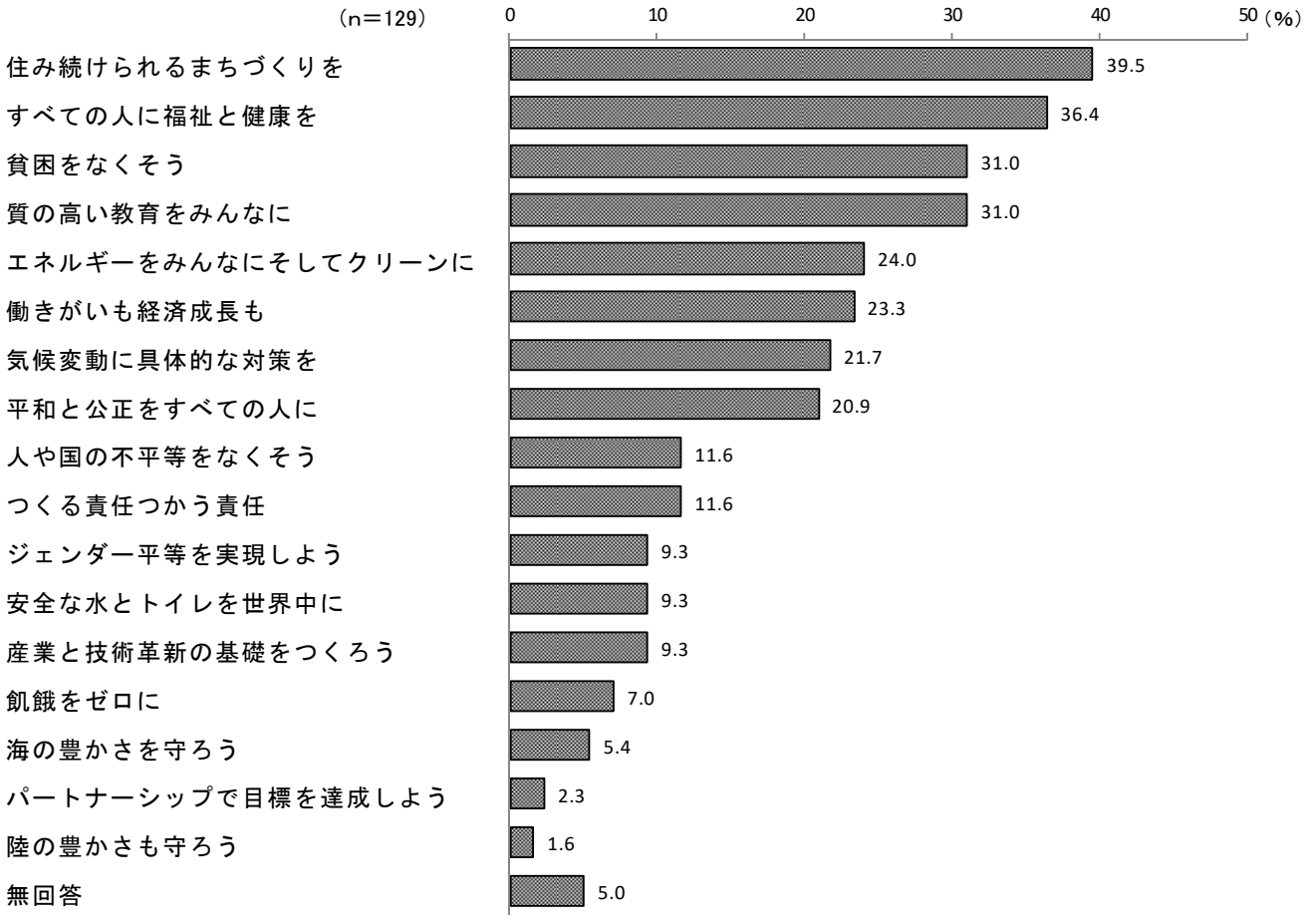
（２－１）ＳＤＧｓで重点的に取り組むべきもの

◇「住み続けられるまちづくりを」が約４割

（問 47 で「１　具体的な内容まで知っている」「２　言葉の意味は知っている」と回答した方のみ）

問 47－１　区がＳＤＧｓの１７の国際目標の中で重点的に取り組むべきものを３つ選び、番号に○印をつけてください。

図 18－２－４



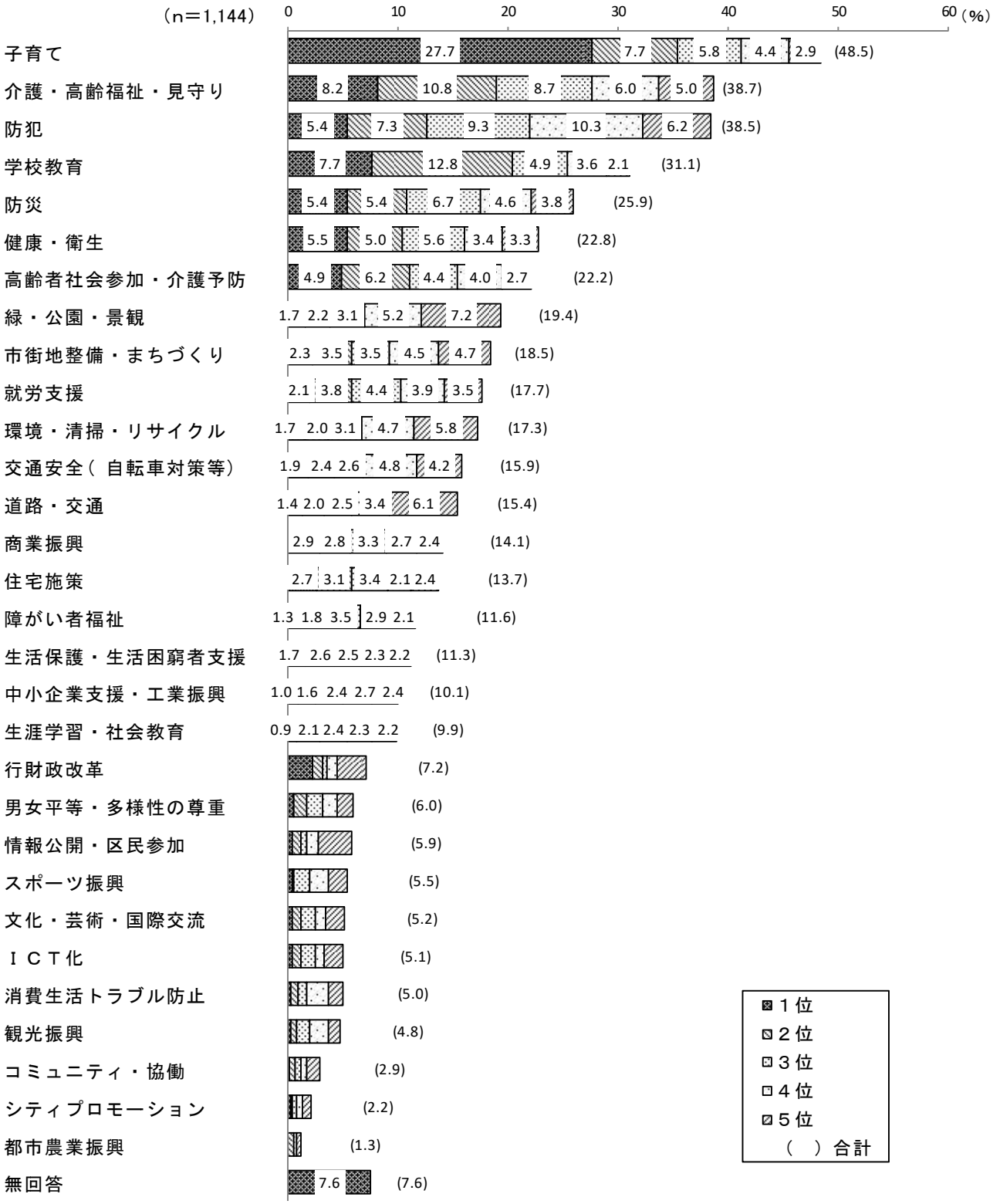
ＳＤＧｓの「具体的な内容まで知っている」「言葉の意味は知っている」と答えた人（129 人）に、区がＳＤＧｓの１７の国際目標の中で重点的に取り組むべきものを聞いたところ、「住み続けられるまちづくりを」（39.5%）が約４割で最も高くなっています。次いで、「すべての人に福祉と健康を」（36.4%）、「貧困をなくそう」（31.0%）、「質の高い教育をみんなに」（31.0%）となっています。（図 18－２－４）

（３）板橋区発展のために力を入れるべき分野

◇第１位から第５位までの合計では「子育て」が５割近く

問 48　板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に５つまで選んで下の表に番号を記入してください。

図 18－３－１



今後、区が重点的に力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に５つまで聞いたところ、第１位から第５位までの合計の割合では、「子育て」(48.5%) が５割近くで最も高く、次いで「介護・高齢福祉・見守り」(38.7%)、「防犯」(38.5%)、「学校教育」(31.1%) などとなっています。

また、第１位の割合では、「子育て」(27.7%) が３割近くで最も高く、次いで「介護・高齢者福祉・見守り」(8.2%)、「学校教育」(7.7%)、「健康・衛生」(5.5%)、「防犯」(5.4%)、「防災」(5.4%) などとなっています。(図 18－３－１)

① 性別

性別でみると、「子育て」は男女とも第１位となっており、女性 (50.8%) が男性 (46.2%) より 4.6 ポイント高くなっています。「介護・高齢者福祉・見守り」は女性 (42.5%) で第２位、男性 (34.3%) で第３位となっています。また、「防犯」は男性 (37.4%) で第２位、女性 (39.6%) で第３位になっています。(表 18－３－１)

表 18－３－１　行政サービスで重点的に力を入れるべき分野（性別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	子育て 48.4	介護・高齢福祉・見守り 38.8	防犯 38.5	学校教育 31.0	防災 26.0
性別	男性	455	子育て 46.2	防犯 37.4	介護・高齢福祉・見守り 34.3	学校教育 32.7	防災 24.0
	女性	661	子育て 50.8	介護・高齢福祉・見守り 42.5	防犯 39.6	学校教育 30.7	防災 28.3

② 年代別

年代別でみると、「子育て」は 20 歳代（69.6%）、30 歳代（65.1%）で６割台、10 歳代（55.6%）、40 歳代（55.4%）で５割半ば、50 歳代（46.2%）が４割半ば、65～69 歳（39.0%）が約４割で第１位となっています。「介護・高齢者福祉・見守り」は 60～64 歳（46.6%）、70～74 歳（39.6%）、75 歳以上（56.1%）で第１位となっています。

その他の特徴として、「高齢者社会参加・介護予防」が 75 歳以上（25.2%）で第３位、60～64 歳（30.7%）で第４位、65～69 歳（24.6%）で第５位となっています。（表 18－３－２）

表 18－３－２　行政サービスで重点的に力を入れるべき分野（年代別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	子育て 48.4	介護・高齢福祉・見守り 38.8	防犯 38.5	学校教育 31.0	防災 26.0
年代別	10 歳代	18	子育て 55.6	介護・高齢福祉・見守り 44.4	学校教育 38.9	交通安全（自転車対策等） 33.3	観光振興／環境・清掃・リサイクル 27.8
	20 歳代	112	子育て 69.6	学校教育 38.4	介護・高齢福祉・見守り 29.5	防犯 27.7	健康・衛生 23.2
	30 歳代	175	子育て 65.1	防犯 42.9	学校教育 40.0	防災 30.3	介護・高齢福祉・見守り 25.1
	40 歳代	193	子育て 55.4	防犯 46.6	学校教育 45.1	介護・高齢福祉・見守り 36.3	防災 27.5
	50 歳代	212	子育て 46.2	介護・高齢福祉・見守り 44.8	防犯 41.0	防災 29.2	学校教育 27.4
	60 ～ 64 歳	88	介護・高齢福祉・見守り 46.6	防犯 39.8	子育て 38.6	高齢者社会参加・介護予防 30.7	防災 26.1
	65 ～ 69 歳	118	子育て 39.0	介護・高齢福祉・見守り 37.3	防犯 35.6	健康・衛生 26.3	高齢者社会参加・介護予防／就労支援／防災 24.6
	70 ～ 74 歳	96	介護・高齢福祉・見守り 39.6	子育て 38.5	防犯 34.4	防災 26.0	交通安全（自転車対策等） 25.0
	75 歳以上	123	介護・高齢福祉・見守り 56.1	防犯 35.8	高齢者社会参加・介護予防 25.2	防災 22.8	子育て／健康・衛生 22.0

③ 地域別

地域別でみると、「子育て」はすべての地域で第１位となっている。

その他の特徴として、「高齢者社会参加・介護予防」は常盤台地域（27.0%）で第５位となっています。（表 18－３－３）

表 18－３－３　行政サービスで重点的に力を入れるべき分野（地域別）

（%）

		n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
全体		1,144	子育て 48.4	介護・高齢福祉・見守り 38.8	防犯 38.5	学校教育 31.0	防災 26.0
地域別	板橋地域	291	子育て 44.7	介護・高齢福祉・見守り 41.6	防犯 39.2	学校教育 27.8	防災 25.8
	常盤台地域	152	子育て 55.3	介護・高齢福祉・見守り／防犯 38.8		学校教育 36.2	高齢者社会参加・介護予防 27.0
	志村地域	255	子育て 49.4	防犯 41.6	介護・高齢福祉・見守り 35.3	防災 29.4	学校教育 27.5
	赤塚地域	227	子育て 50.2	介護・高齢福祉・見守り 39.6	防犯 38.3	学校教育 33.5	防災 26.4
	高島平地域	206	子育て 47.6	介護・高齢福祉・見守り 39.8	学校教育 35.4	防犯 33.5	防災 27.2

第３章　　分析

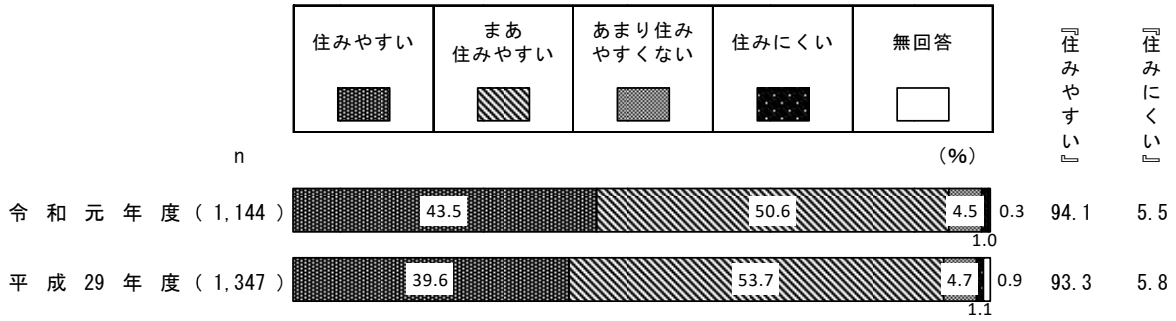
１．前回調査との比較

（１）区での住み心地

①　住みやすさ

板橋区の住みやすさについて、平成 29 年度と比較して大きな変化はありませんが、「住みやすい」は、平成 29 年度から 3.9 ポイント増加し、「まあ住みやすい」が 3.1 ポイント減少しています。（図１－１－１）

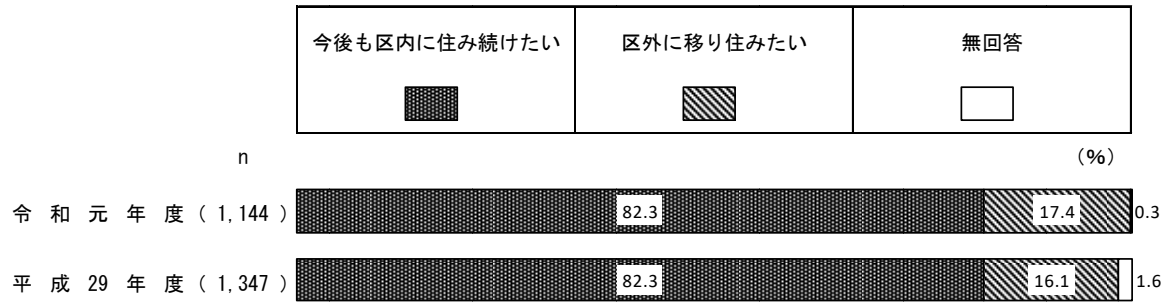
図１－１－１　住みやすさ（経年変化）



②　定住意向

板橋区の定住意向について、平成 29 年度と比較して、大きな変化はありませんでした。（図１－２－１）

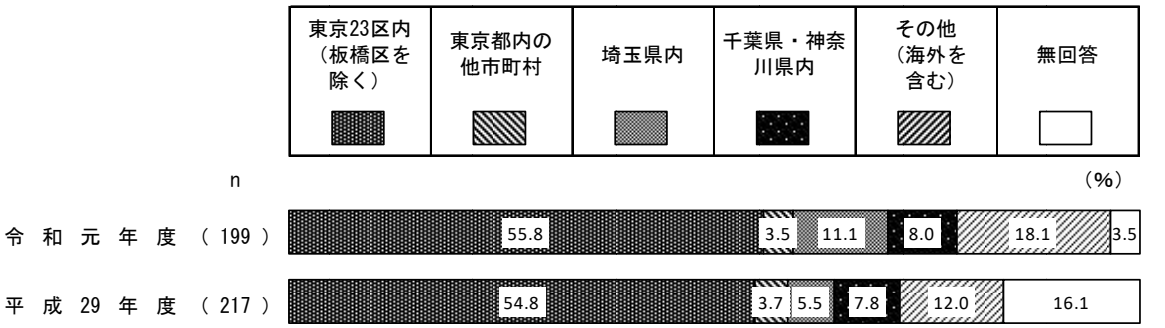
図１－２－１　定住意向（経年変化）



③　区外に移り住むとしたら住みたい地域

区外に移り住むとしたら住みたい地域について、平成 29 年度と比較して、「埼玉県内」は、平成 29 年度から 5.6 ポイント、「その他（海外を含む）」が 6.1 ポイント増加しています。（図１－３－１）

図１－３－１　定住意向（経年変化）

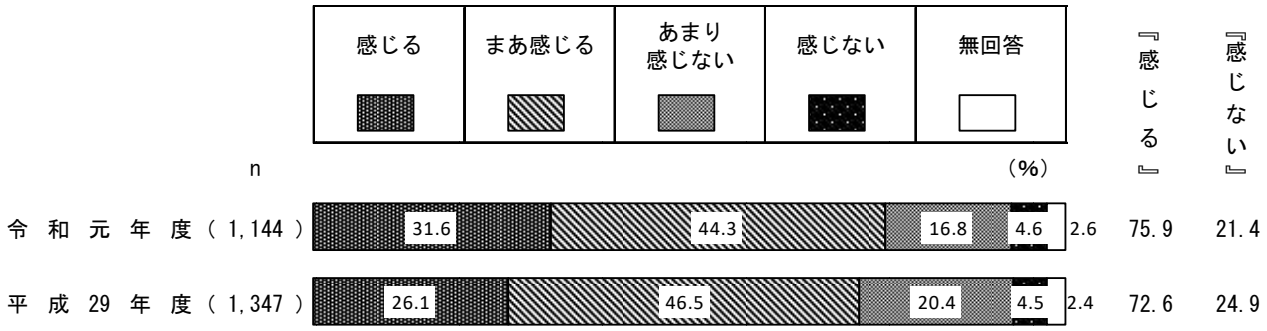


④ 板橋区に対する「愛着」と「誇り」

【愛着】

板橋区に対して愛着を感じるかについて、平成 29 年度と比較したところ、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた『感じる』が 3.3 ポイント増加し、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』が 3.5 ポイント減少しています。（図１－４－１）

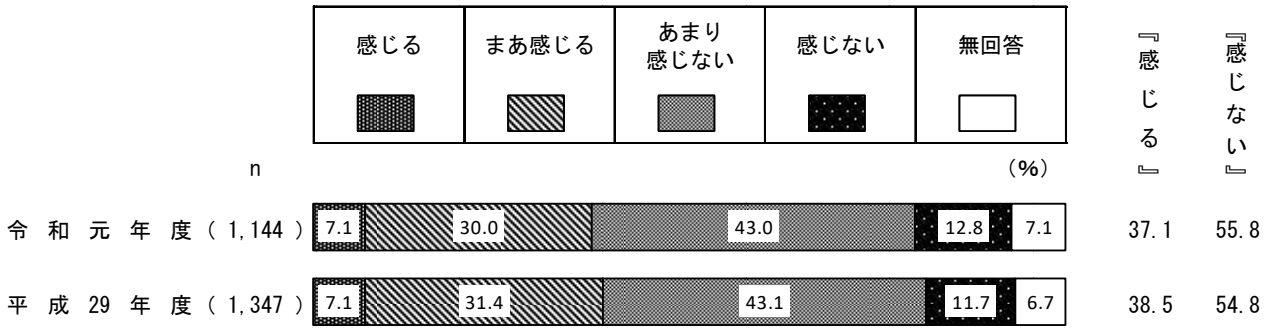
図１－４－１　板橋区に対する愛着（経年変化）



【誇り】

板橋区に対して誇りを感じるかについて、平成 29 年度と比較したところ、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた『感じる』が 1.4 ポイント減少し、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』が 1.0 ポイント増加しています。（図１－４－２）

図１－４－２　板橋区に対する誇り（経年変化）



（２）行政サービスで重点的に力を入れるべき分野

今後、区が重点的に力を入れるべき分野について、重要だと思う順に５つまで聞いたところ、第１位から第５位までの合計の割合では、平成 29 年度と比較すると「子育て」が第１位を維持し、「介護・高齢福祉・見守り」は２つ順位を上げ第２位に、「防犯」、「学校教育」が１つ順位を下げ第３位と第４位となっています。「防災」は２つ順位を上げ第５位となっています。（表２－１－１）

表２－１－１　行政サービスで重点的に力を入れるべき分野（経年変化）

（%）

	n	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
令　和　元　年	1,144	子育て 48.4	介護・高齢福祉・見守り 38.8	防犯 38.5	学校教育 31.0	防災 26.0
平　成　29　年	1,347	子育て 49.2	防犯 35.8	学校教育 35.6	介護・高齢福祉・見守り 33.7	高齢者社会参加・介護予防 25.0

２．属性別にみた主な特徴

これまでの「住み心地」から「その他」までの調査項目について、属性ごとの主な特徴を挙げると以下の通りです。

●区での住み心地

問２　住みやすさ（94.1%）

〇住みやすいと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 20 歳代（90.1%）
- マンション・アパート（賃貸）（90.7%）
- 居住年数１年未満（84.8%）、１年以上５年未満（89.8%）

問３　定住意向（82.3%）

〇住み続けたいと思う人の割合が全体を下回っている属性

- 20 歳代（71.4%）、30 歳代（73.7%）
- 学生（65.7%）
- 未就学児と同居している方（73.8%）
- マンション・アパート（賃貸）（75.0%）
- 居住年数１年未満（69.6%）、１年以上５年未満（65.0%）、５年以上 10 年未満（71.3%）
- 直前の居住地域が千葉県・神奈川県内（75.0%）

〇住み続けたいと思う理由に占める上位の属性

▽　不動産価値や家賃が手頃で良質な物件があるため

- 20 歳代（20.0%）、30 歳代（21.7%）、居住年数１年以上５年未満（25.0%）

▽　子育てしやすい環境であるため

- 30 歳代（24.8%）、40 歳代（25.8%）、二世代同居（子と同居）（23.1%）、未就学児と同居している方（45.8%）、小学生と同居している方（45.2%）、中学生と同居している方（46.2%）、居住年数１年以上５年未満（28.1%）、居住年数５年以上 10 年未満（21.7%）

▽　医療・福祉・介護サービスが充実しているため

- 70～74 歳（27.9%）、75 歳以上（30.8%）、板橋地域（23.8%）、志村地域（17.2%）、無職（30.6%）、65～74 歳の家族と同居している方（23.5%）、75 歳以上の家族と同居している方（25.7%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（25.0%）、居住年数 20 年以上（21.8%）

▽　にぎわいのある商店街があるため

- 板橋地域（33.5%）、直前の居住地が東京都内の他市町村（20.7%）

〇転出したい地域に「千葉県・神奈川県内」を上位に挙げている属性

- 20 歳代（21.9%）、板橋地域（9.6%）、高島平地域（10.5%）、単身世帯（11.9%）、居住年数１年以上５年未満（10.4%）、居住年数 20 年以上（15.0%）

〇転出したいと思う理由に占める上位の属性

▽　消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため

- 20 歳代（31.3%）、板橋地域（19.2%）、単身世帯（31.0%）

▽　子育てしやすい環境であるため

- 30 歳代（23.9%）、40 歳代（21.1%）、二世代同居（子と同居）（23.2%）、未就学児と同居している方（29.4%）、居住年数５年以上 10 年未満（18.9%）

▽　健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため
- 一戸建（持ち家）（17.5%）

問４　愛着（75.9%）と誇り（37.1%）

〇板橋区に愛着と誇りを感じる人の割合が全体を下回っている属性
- 20 歳代（愛着 75.0%、誇り 27.7%）30 歳代（愛着 66.9%、誇り 26.9%）
- 高島平地域（愛着 75.2%、誇り 31.5%）
- 未就学児と同居している方（愛着 73.1%、誇り 31.6%）
- マンション・アパート（賃貸）（愛着 68.5%、誇り 29.1%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（愛着 73.7%、誇り 31.5%）
- 居住年数１年未満（愛着 60.9%、誇り 21.8%）、１年以上５年未満（愛着 56.2%、誇り 21.1%）
- 直前の居住地が千葉県・神奈川県内（愛着 67.7%、誇り 33.4%）

〇愛着を感じる理由に占める上位の属性

▽　子育てしやすい環境であるため
- 30 歳代（29.1%）、40 歳代（30.7%）、二世代同居（子と同居）（32.5%）、未就学児と同居している方（51.6%）、小学生と同居している方（57.5%）、中学生と同居している方（56.3%）、居住年数１年以上５年未満（29.9%）、居住年数５年以上 10 年未満（29.7%）

▽　医療・福祉・介護サービスが充実しているため
- 70～74 歳（27.1%）、75 歳以上（31.5%）、自営業・自由業（29.6%）、無職（30.4%）、75 歳以上の家族と同居している方（28.3%）

▽　にぎわいのある商店街があるため
- 板橋地域（46.1%）、単身世帯（32.9%）、居住年数１年以上５年未満（29.9%）、居住年数５年以上 10 年未満（30.8%）、居住年数 10 年以上 20 年未満（30.1%）、直前の居住地が東京都の他市町村（41.2%）

〇誇りを感じる理由に占める上位の属性

▽　子育てしやすい環境であるため
- 40 歳代（33.3%）、二世代同居（子と同居）（25.6%）、未就学児と同居している方（39.0%）、小学生と同居している方（38.5%）、中学生と同居している方（47.8%）

▽　にぎわいのある商店街があるため
- 板橋地域（32.7%）、単身世帯（32.1%）、マンション・アパート（賃貸）（28.2%）

▽　消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため
- マンション（持ち家）（30.1%）

▽　健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため
- 高島平地域（24.6%）

●「子育て安心」について

問５　地域における子育て支援策について

〇重要だと思うものに「住宅や生活環境」を上位に挙げている属性
- 20 歳代（25.0%）、30 歳代（23.4%）、二世代同居（親と同居）（28.5%）、未就学児と同居している方（23.8%）、居住年数１年未満（39.1%）

問６　子育てを支える担い手について

〇参加してみたいと思うものに占める上位の属性

▽　子育てに関する悩みについて相談にのる活動

➢女性（9.2%）、50 歳代（10.4%）、70～74 歳（10.4%）、常盤台地域（11.2%）、自営業・自由業（10.5%）、主婦・主夫（12.1%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（10.5%）

▽　子育てイベントの企画・運営

➢20 歳代（8.0%）、30 歳代（9.1%）、学生（8.6%）、未就学児と同居している方（11.5%）

▽　子育て関連情報を提供する活動

➢三世代同居（11.8%）

問７　子どもの貧困対策について

〇重要だと思うものに「若者の就労支援」を上位に挙げている属性

➢居住年数１年未満（23.9%）

●「魅力ある学び支援」について

問８　子供たちのたくましく生きる力が教育を通してはぐくまれている（32.2%）

〇学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じる人の割合が全体を下回っている属性

➢70～74 歳（21.9%）、75 歳以上（23.6%）

➢常盤台地域（26.9%）

➢主婦・主夫（25.4%）

➢単身世帯（25.8%）、夫婦のみ（23.3%）

➢75 歳以上の家族と同居している方（25.4%）

➢マンション・アパート（賃貸）（26.7%）

➢居住年数５年以上 10 年未満（27.9%）

➢直前の居住地が東京都内の他市町村（18.1%）、埼玉県内（25.0%）

問９　学校教育を通じて身に付けてほしい力

〇身に付けてほしい力に占める上位の属性

▽　多様性を認める心

➢20 歳代（37.5%）、30 歳代（31.4%）、二世代同居（親と同居）（29.7%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（28.9%）、居住年数１年以上５年未満（30.7%）、居住年数５年以上 10 年未満（29.5%）、生まれたときから（29.3%）、直前の居住地が千葉県・神奈川県内（27.1%）

▽　体力

➢60～64 歳（21.6%）、75 歳以上（22.0%）

▽　規範意識

➢75 歳以上の家族と同居している方（24.6%）

問 10　生涯学習活動に取り組む環境づくり

〇重要だと思うことに占める上位の属性

▽　一緒に楽しむ仲間が作りやすい

➢20 歳代（17.9%）、マンション・アパート（賃貸）（15.1%）、居住年数１年未満（19.6%）

▽　講座や教室等の時間帯が選びやすい

➢30 歳代（17.1%）、60～64 歳（20.5%）、未就学児と同居している方（17.7%）、居住年数１年以上５年未満（18.2%）

▽　講座や教室等の情報が手に入りやすい
- 自営業・自由業（23.7%）、小学生と同居している方（19.2%）

●「安心の福祉・介護」について

問 11　介護状態になることに対する不安（79.8%）

〇自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じる人の割合が全体を下回っている属性
- 学生（54.3%）
- 三世代同居（67.6%）

〇不安を感じる理由に占める上位の属性

▽　介護してくれる人がいない
- 40 歳代（34.6%）、単身世帯（48.6%）、二世代同居（親と同居）（41.1%）、マンション・アパート（賃貸）（36.9%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（36.1%）、居住年数１年以上５年未満（35.8%）、生まれたときから（38.2%）

▽　住み慣れた家やまちに住み続けることが難しくなる
- 60～64 歳(27.8%)、65～69 歳(34.8%)、70～74 歳(34.2%)、65～74 歳の家族と同居する方(32.5%)

▽　介護サービスの内容がよくわからない
- 75 歳以上（36.2%）、高島平地域（33.8%）、無職（38.4%）、直前の居住地が埼玉県内（34.2%）

問 12　住み慣れた地域で住み続けるための支援策

〇重要だと思うものに占める上位の属性

▽　高齢者向け住宅の整備
- 30 歳代（32.6%）、60～64 歳（38.6%）

▽　地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり
- 65～69 歳（37.3%）、70～74 歳（36.5%）、小学生と同居する方（41.3%）、中学生と同居する方（41.7%）

▽　元気な高齢者を増やすための社会参加活動の支援
- 三世代同居（47.1%）、小学生と同居している方（34.6%）、居住年数１年以上５年未満（27.7%）

●「豊かな健康長寿社会」について

問 13　「いたばし健康づくりプロジェクト」について

〇いたばし健康づくりプロジェクトについて、聞いたことがないが全体（64.7%）を上回っている属性
- 男性（71.0%）
- 10 歳代（83.3%）、20 歳代（85.7%）、30 歳代（81.1%）、40 歳代（71.5%）
- 会社員・公務員（76.3%）、学生（80.0%）
- 二世代同居（親と同居）（73.4%）
- 未就学児と同居している方（71.5%）
- マンション・アパート（賃貸）（76.0%）
- 居住年数１年未満（93.5%）、１年以上５年未満（82.5%）、５年以上 10 年未満（75.2%）
- 直前の居住地が千葉県・神奈川県内（81.3%）

〇いたばし健康づくりプロジェクトを知った方法において「広報いたばし」が全体（54.2%）を上回っている属性

- 50 歳（66.7%）、65～69 歳（72.0%）
- 自営業・自由業（62.1%）
- 二世代同居（子と同居）（58.1%）、二世代同居（親と同居）（59.5%）
- 75 歳以上の家族と同居している方（70.7%）
- 一戸建て（持ち家）（59.1%）
- 生まれたときから（62.3%）
- 直前の居住地が東京都内の他市町村（60.0%）、直前の居住地が千葉県・神奈川県内（76.5%）

問 14　健康のために普段から行っていること

〇健康のために普段から行っていることに占める上位の属性

▽　適度な運動をしている

- 男性（43.7%）、75 歳以上（54.5%）、学生（48.6%）、無職（47.3%）、単身世帯（41.4%）、夫婦のみの世帯（42.7%）、65～74 歳の家族と同居している方（45.3%）

▽　規則正しく食事をとるようにしている

- 65～69 歳（52.5%）、75 歳以上（52.0%）、志村地域（41.6%）、主婦・主夫（44.6%）、無職（45.7%）、一戸建て（持ち家）（42.2%）

▽　睡眠を十分とるようにしている

- 男性（42.2%）、70～74 歳（52.1%）、75 歳以上（55.3%）、夫婦のみの世帯（45.6%）、75 歳以上の家族と同居している方（43.9%）、一戸建て（持ち家）（43.2%）、居住年数 20 年以上（44.4%）

●「心躍るスポーツ・文化」について

問 15　過去１年間に鑑賞・体験活動した文化芸術

〇鑑賞・体験活動した文化芸術に占める上位の属性

▽　有形・無形文化財

- 50 歳代（18.9%）、会社員・公務員（16.0%）、中学生と同居している方（18.3%）、居住年数５年以上 10 年未満（18.6%）、直前の居住地が千葉県・神奈川県内（17.7%）

▽　落語・漫談・歌唱などの芸能

- 75 歳以上（19.5%）、三世代同居（17.6%）、75 歳以上の家族と同居している方（17.5%）

問 16　過去１年間での異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション

〇異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーションに「道案内をした」を上位に挙げている属性

- 20 歳代（31.3%）、二世代同居（親と同居）（25.3%）

問 17　運動・スポーツの頻度

〇運動・スポーツを月に１回以上行っている割合が全体（66.3%）を下回っている属性

- 未就学児と同居している方（54.6%）
- 都市再生機構・公社・都営・区営住宅（52.7%）
- 居住年数１年未満（49.9%）

問 18　戦争体験の語り継ぎを大切だと思う（94.5%）

〇戦争体験を語り継ぐことを大切だと思う人の割合は、全体で９割を超えており、属性による大きな傾向の違いは見られません。

●「光り輝く板橋ブランド・産業活力」について

問 19　満足度は、いたばし花火大会（60.5%）、板橋区民まつり（29.5%）、板橋農業まつり（17.4%）

〇「参加したことがない」の割合は、いたばし花火大会（17.0%）、板橋区民まつり（41.3%）、板橋農業まつり（55.5%）であり、不満はわずかです。

〇いたばし花火大会の満足度が全体を下回っている属性

- 30 歳代（56.6%）、65～69 歳（55.9%）、75 歳以上（53.7%）
- 板橋地域（47.4%）、常盤台地域（49.3%）
- 自営業・自由業（56.6%）
- 単身世帯（45.3%）
- マンション・アパート（賃貸）（50.0%）
- 居住年数１年未満（37.0%）、１年以上５年未満（51.1%）

〇板橋区民まつりの満足度が全体を下回っている属性

- 20 歳代（20.5%）、30 歳代（14.3%）
- 高島平地域（18.9%）
- マンション・アパート（賃貸）（21.6%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（19.7%）
- 居住年数１年以上５年未満（10.2%）、５年以上 10 年未満（20.2%）

〇板橋農業まつりの満足度が全体を下回っている属性

- 30 歳代（9.2%）
- 学生（8.6%）
- マンション・アパート（賃貸）（9.2%）
- 居住年数１年未満（8.7%）、１年以上５年未満（7.3%）

問 20　身近な商店街に対する印象

〇「賑やかで活気がある」を上位に挙げている属性

- 20 歳代（18.8%）、板橋地域（21.3%）、学生（25.7%）、小学生と同居している方（16.3%）、居住年数１年以上５年未満（16.8%）、居住年数５年以上 10 年未満（17.8%）

問 21　過去１年間に農業にふれた機会

〇参加しなかった人の割合が全体（86.6%）を上回っている属性

- 10 歳代（100.0%）、20 歳代（94.6%）、30 歳代（91.4%）、50 歳代（92.0%）、60～64 歳（92.0%）
- 板橋地域（90.7%）、常盤台地域（93.4%）
- 会社員・公務員（90.6%）、学生（97.1%）
- 二世代同居（親と同居）（91.1%）
- マンション（持ち家）（91.8%）、マンション・アパート（賃貸）（90.8%）
- 居住年数１年以上５年未満（93.4%）、５年以上 10 年未満（90.7%）
- 直前の居住地が千葉県・神奈川県内（94.8%）

●「緑と環境共生」について

問 22　満足度は、自然環境（47.3%）・公園（46.9%）

〇自然環境の満足度が全体を下回っている属性

- 30 歳代（42.8%）
- 板橋地域（34.7%）
- マンション・アパート（賃貸）（38.7%）

➢ 居住年数５年以上 10 年未満（37.2%）

〇公園の満足度が全体を下回っている属性

➢ 30 歳代（40.6%）
➢ 板橋地域（38.8%）、
➢ 単身世帯（40.5%）
➢ マンション・アパート（賃貸）（39.0%）
➢ 居住年数５年以上 10 年未満（38.8%）

問 23　資源としてごみと分別しているもの

〇「分別していない」の割合はわずかで、分別している資源上位５項目は、属性による大きな傾向の違いは見られません。

問 24　環境のために取り組んでいること

〇環境のために取り組んでいることが「特にない」の割合はわずかで、環境のために取り組んでいること上位５項目は、属性による大きな傾向の違いは見られません。

●「万全な備えの安心・安全」について

問 25　災害情報を収集するための手段

〇災害情報を収集するための手段に占める上位の属性

▽　板橋区防災マップアプリ
➢ 70～74 歳（17.7%）、75 歳以上（16.3%）

▽　板橋区防災・緊急情報メール配信サービス
➢ 小学生と同居している方（42.3%）、中学生と同居している方（41.7%）

▽　特にない
➢ 20 歳代（19.6%）、居住年数１年未満（19.6%）

問 26　災害に備えた家庭内での対策

〇災害時に備えた家庭内での対策に占める上位の属性

▽　生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備
➢ 常盤台地域（34.2%）、未就学児と同居している方（33.1%）、小学生と同居している方（36.5%）、居住年数５年以上 10 年未満（33.3%）

▽　家族内での連絡方法の確認
➢ 小学生と同居している方（34.6%）、中学生と同居している方（35.0%）

▽　特にない
➢ 20 歳代（27.7%）、単身世帯（23.3%）、マンション・アパート（賃貸）（24.7%）、居住年数１年未満（28.3%）

〇飲料水・非常用食料の備蓄日数に占める上位の属性

▽　７日
➢ 65～69 歳（12.2%）

▽　５日
➢ 70～74 歳（10.7%）、主婦・主夫（11.9%）

問 27　住まいの地域の治安が保たれていると感じる（62.8%）

〇住まいの地域の治安が保たれていると感じる人の割合が全体を下回っている属性

➢ 60～64 歳（51.2%）、70～74 歳（58.3%）

- 主婦・主夫（58.5%）、無職（55.4%）
- 都市再生機構・公社・都営・区営住宅（57.9%）
- 居住年数１年未満（43.4%）
- 直前の居住地が東京都内の他市町村（58.3%）

●「快適で魅力あるまち」について

問 28　ユニバーサルデザインの認知度（57.5%）

〇認知度の割合が全体を下回っている属性

- 65～69 歳（44.9%）、70～74 歳（43.7%）、75 歳以上（42.3%）
- 自営業・自由業（46.0%）、主婦・主夫（49.7%）、アルバイト・パート（50.0%）、無職（48.4%）
- 65～74 歳以上の家族と同居している方（47.6%）、75 歳以上の家族と同居している方（48.2%）
- 居住年数 20 年以上（50.7%）

〇取組が進んでいると思う人の割合が全体（12.9%）を下回っている属性

- 常盤台地域（5.6%）

問 29　電車・バスの利用しやすさ（69.6%）

〇利用しやすいと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 30 歳代（59.4%）
- 未就学児と同居している方（59.2%）
- 居住年数１年未満（60.9%）

問 30　建築物等とまちなみとの調和（24.8%）

〇建築物等とまちなみとが調和して美しいと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 60～64 歳（14.7%）、70～74 歳（19.8%）
- 65～74 歳の家族と同居している方（19.4%）

●「未来創造戦略」について

問 31　重要と感じる人の割合は、未来創造戦略Ⅰ（61.3%）、戦略Ⅱ（57.4%）、戦略Ⅲ（44.8%）

〇戦略Ⅰ　若い世代の定住化の重要度を高いと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 60～64 歳（54.6%）、65～69 歳（50.8%）、70～74 歳（38.6%）、75 歳以上（26.8%）
- 自営業・自由業（52.7%）、主婦・主夫（51.6%）、無職（37.5%）
- 単身世帯（52.6%）
- 75 歳以上の家族と同居している方（48.2%）
- 居住年数 20 年以上（49.3%）
- 直前の居住地が東京都内の他市町村（51.4%）

〇戦略Ⅱ　健康長寿のまちづくりの重要度を高いと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 70～74 歳（41.7%）、75 歳以上（35.0%）
- 無職（38.1%）
- 居住年数１年未満（47.8%）

〇戦略Ⅲ　未来へつなぐまちづくりの重要度を高いと感じる人の割合が全体を下回っている属性

- 65～69 歳（34.8%）、70～74 歳（28.2%）、75 歳以上（24.3%）
- 無職（26.1%）
- 単身世帯（38.0%）、三世代同居（38.3%）
- 65～74 歳の家族と同居している方（38.1%）、75 歳以上の家族と同居している方（36.0%）

➢ 居住年数 20 年以上（38.0%）
➢ 直前の居住地が東京都内の他市町村（34.7%）

●「シティプロモーション（区の魅力情報の発信）」について

問 32　区の発信する情報が伝わっていないと思う割合（70.6%）

〇区からの情報が充分に伝わっていないと感じる人の割合が全体を上回っている属性
➢ 30 歳代（81.2%）、40 歳代（81.9%）
➢ 会社員・公務員（77.7%）、学生（77.1%）
➢ 未就学児と同居している方（80.0%）、小学生と同居している方（77.9%）
➢ 居住年数１年以上５年未満（86.1%）、５年以上 10 年未満（82.9%）

〇伝わっていない理由で「情報を得る手段が分からない」が全体（61.5%）を上回っている属性
➢ 65～69 歳（70.0%）、70～74 歳（68.9%）、75 歳以上（68.4%）
➢ 板橋地域（67.3%）、高島平地域（68.1%）
➢ 無職（71.2%）
➢ 65～74 歳の家族と同居している方（69.5%）
➢ 居住年数 20 年以上（67.6%）

問 33　区の魅力発信

〇期待する区の魅力発信について占める上位の属性
▽　歴史や文化に関する情報
➢ 65～69 歳（42.4%）、70～74 歳（46.9%）、単身世帯（37.5%）、75 歳以上の家族と同居している方（43.0%）、居住年数 20 年以上（38.9%）
▽　子育てに関する情報
➢ 30 歳代（46.9%）、未就学児と同居している方（70.0%）、小学生と同居している方（55.8%）、居住年数５年以上 10 年未満（43.4%）

問 34　区の情報入手方法

〇区に関する情報の取得先として「ＳＮＳ（フェイスブック・ツイッター）」を上位に挙げている属性
➢ 20 歳代（17.0%）、30 歳代（15.4%）、居住年数５年以上 10 年未満（14.0%）

●「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」について

問 35　参加方法（関わり方）

〇参加方法（関わり方）に関して「スポーツイベントなどへの参加」を上位に挙げている属性
➢ 40 歳代（16.1%）、三世代同居（17.6%）、未就学児と同居している方（15.4%）、小学生と同居している方（22.1%）、居住年数５年以上 10 年未満（15.5%）

問 36 レガシー（遺産）として期待すること

〇レガシー（遺産）として期待することに占める上位の属性
▽　国際理解・多文化理解が進んでいる
➢ 20 歳代（11.6%）、小学生と同居している方（9.6%）、直前の居住地が千葉県・神奈川県内（13.5%）
▽　外国人観光客等の受け入れ態勢が整備されている
➢ 居住年数１年未満（13.0%）

●社会活動・地域活動等

問 37　社会活動・地域活動への参加状況

〇過去１年間に参加した社会活動・地域活動等のうち「ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺小屋などの学校関係の活動」を上位に挙げている属性

- 40 歳代（22.8%）、二世代同居（子と同居）（17.4%）、未就学児と同居している方（17.7%）、小学生と同居している方（50.0%）、中学生と同居している方（36.7%）、居住年数５年以上 10 年未満（17.8%）、居住年数 10 年以上 20 年未満（18.2%）

問 38　地域で活動する団体・サークルの加入状況

町会・自治会（38.1%）、ＮＰＯ団体（2.8%）、趣味・スポーツ等のサークル（14.7%）

〇町会・自治会へ加入している割合が全体を下回っている属性

- 20 歳代（10.7%）、30 歳代（19.4%）
- 学生（5.7%）
- 単身世帯（24.6%）
- 未就学児と同居している方（28.5%）
- マンション・アパート（賃貸）（5.8%）
- 居住年数１年未満（10.9%）、１年以上５年未満（13.1%）、５年以上 10 未満（28.7%）

〇ＮＰＯ団体の加入している割合はわずかだった

〇趣味・スポーツ等のサークルへの加入している割合が全体を下回っている属性

- 男性（11.2%）
- 30 歳代（6.3%）、50 歳代（8.5%）
- 会社員・公務員（8.3%）
- 二世代同居（親と同居）（11.4%）
- 未就学児と同居している方（10.8%）
- マンション・アパート（賃貸）（6.8%）、都市再生機構・公社・都営・区営住宅（9.2%）
- 居住年数１年未満（2.2%）、５年以上 10 年未満（8.5%）

〇町会・自治会に加入していない理由に占める上位の属性

▽　人づきあいをわずらわしく感じるため

- 60～64 歳（29.5%）、65～69 歳（20.9%）、主婦・主夫（26.2%）、直前の居住地が東京都内の他市町村（24.4%）

▽　加入しても活動のペースが合わないため

- 70～74 歳（33.3%）

▽　加入方法がわからないため

- 高島平地域（24.6%）、自営業・自由業（22.9%）、居住年数１年以上５年未満（23.0%）

▽　加入したい団体があることを知らないため

- 居住年数５年以上 10 年未満（23.1%）

〇ＮＰＯ団体に加入していない理由に占める上位の属性

▽　活動のための知識や技術がないため、一緒に活動する仲間がいないため

- 75 歳以上（17.1%）

▽　加入するきっかけがないため

- 高島平地域（32.2%）、小学生と同居している方（31.3%）

▽　加入方法がわからないため
　➢居住年数１年未満（22.2%）

〇趣味・スポーツ等のサークルに加入していない理由に占める上位の属性

▽　加入の必要性を感じていないため
　➢70～74 歳（36.4%）、常盤台地域（28.1%）、無職（26.9%）

▽　金銭的な負担を避けたいため
　➢主婦・主婦（24.3%）、未就学児と同居している方（22.6%）、小学生と同居している方（23.5%）

▽　加入方法がわからないため
　➢居住年数１年未満（25.0%）

▽そもそも団体の活動に関心がないため
　➢直前の居住地が東京都内の他市町村（21.4%）

問 39　地域の活動を活発にするために必要なこと

〇地域の活動を活発にするために必要なことに占める上位の属性

▽　若い世代への参加の呼びかけ
　➢20 歳代（36.6%）、主婦・主夫（30.6%）、学生（40.0%）、夫婦のみの世帯（31.0%）、三世代同居（44.1%）、未就学児と同居している方（33.1%）、小学生と同居している方（41.3%）

▽　近所の人とのつながりを持てるようにすること
　➢70～74 歳（38.5%）、75 歳以上の家族と同居している方（39.5%）

問 40　地域センターの利用状況（19.1%）

〇過去１年間に地域センターを利用した人の割合が全体を下回っている属性
　➢20 歳代（9.8%）、60～64 歳（10.2%）
　➢学生（2.9%）
　➢二世代同居（親と同居）（10.1%）
　➢マンション・アパート（賃貸）（11.3%）
　➢居住年数１年未満（6.5%）

〇地域センターの利用目的で「地域行事等で集会室等を予約・利用するため」を上位に挙げている属性
　➢70～74 歳（52.0%）

問 41　地域センターに求めるサービス

〇地域センターに求めるサービスに占める上位の属性

▽　区政に関するチラシ・申請書等が入手できること
　➢50 歳代（16.5%）、70～74 歳（18.8%）、常盤台地域（19.7%）、主婦・主夫（18.5%）、三世代同居（23.5%）、75 歳以上の家族と同居している方（17.5%）、直前の居住地が東京都内の他市町村（18.1%）

▽　集会室等が利用できること
　➢三世代同居（23.5%）、未就学児と同居している方（20.8%）、小学生と同居している方（27.9%）、中学生と同居している方（25.0%）

●今後の行政サービスと負担のあり方

問 42　税金に見合った行政サービスの提供が受けられていると感じられる人の割合（24.4%）

〇税金に見合ったサービスが受けられていると感じる人の割合が全体を下回っている属性
　➢20 歳代（17.9%）、60～64 歳（19.3%）

- 二世代同居（親と同居）（17.1%）
- 居住年数１年未満（17.3%）
- 直前の居住地が東京都内の他市町村（16.6%）

問 43　将来的な行政サービスと住民負担のバランス

○「サービス維持・負担増」が「サービス縮小・負担減」よりも高い属性
- 男性、20 歳代、50 歳代、60～64 歳、70～74 歳、75 歳以上、高島平地域、学生、二世代同居（親と同居）、三世代同居

○「サービス拡大・負担増」が「サービス維持・負担増」よりも高い属性
- 30 歳代、居住年数１年未満

●板橋区職員に期待する能力・資質

問 44　過去１年間での職員と接する機会が無かった人の割合（40.9%）

○過去１年間での職員と接する機会がなかった人の割合が全体を上回っている属性
- 10 歳代（72.2%）、20 歳代（48.2%）
- 常盤台地域（47.4%）
- 学生（74.3%）
- 二世代同居（親と同居）（55.1%）、三世代同居（58.8%）
- 生まれたときから（47.1%）

○接した職員に対する満足度が高い人の割合が全体（64.7%）を下回っている属性
- 70～74 歳（58.5%）
- 自営業・自由業（52.9%）
- 三世代同居（57.1%）

○職員が自分の行動・発言に責任を持っていると思う人の割合が全体（54.4%）を下回っている属性
- 50 歳代（47.9%）
- 夫婦のみの世帯（44.9%）
- 65～74 歳の家族と同居している方（48.6%）

○職員がもてなしの心をもち、柔軟な対応ができていると思う人の割合が全体（55.1%）を下回っている属性
- 75 歳以上（48.4%）
- 自営業・自由業（45.1%）
- 75 歳以上の家族と同居している方（43.3%）
- 直前の居住地が千葉県・神奈川県内（46.5%）

○職員がコスト意識を持っていると思う人の割合が全体（21.8%）を下回っている属性
- 50 歳代（16.3%）、60～64 歳（15.3%）
- 板橋地域（18.1%）
- 夫婦のみの世帯（14.7%）
- 65～74 歳の家族と同居している方（16.7%）
- 直前の居住地が千葉県・神奈川県内（13.8%）

○職員が高い倫理観を持ち、法令を遵守していると思う人の割合が全体（35.7%）を下回っている属性
- 75 歳以上（29.1%）
- 板橋地域（28.3%）

- 自営業・自由業（23.5%）
- 65～74 歳の家族と同居している方（26.4%）、75 歳以上の家族と同居している方（23.4%）
- 直前の居住地が千葉県・神奈川県内（27.5%）

〇職員が誰に対しても公平・誠実な態度で接していると思う人の割合が全体（55.4%）を下回っている属性

- 70～74 歳（47.2%）
- 自営業・自由業（41.2%）
- 65～74 歳の家族と同居している方（43.0%）、75 歳以上の家族と同居している方（40.0%）

〇職員が積極的に職務に取り組んでいると思う人の割合が全体（46.6%）を下回っている属性

- 自営業・自由業（37.3%）

〇職員が事務処理に関して迅速な対応ができていると思う人の割合が全体（54.4%）を下回っている属性

- 40 歳代（47.7%）
- 高島平地域（49.5%）
- 自営業・自由業（41.1%）、アルバイト・パート（49.0%）
- 夫婦のみの世帯（49.3%）
- 65～74 歳の家族と同居している方（48.6%）
- 居住年数 10 年以上 20 年未満（49.1%）

〇職員が職務に関する十分な知識を持っていると思う人の割合が全体（54.2%）を下回っている属性

- 60～64 歳（49.2%）、65～69 歳（49.3%）、70～74 歳（43.4%）
- 常盤台地域（48.7%）
- 自営業・自由業（47.1%）、無職（48.1%）
- 夫婦のみの世帯（49.4%）
- 65～74 歳の家族と同居している方（48.6%）
- 直前の居住地が千葉県・神奈川県内（44.8%）

〇職員がわかりやすく説明ができていると思う人の割合が全体（59.7%）を下回っている属性

- 70～74 歳（50.9%）
- 自営業・自由業（45.1%）

問 45　職員に求める姿

〇職員に求める姿に占める上位の属性

▽　事務処理に関して迅速な対応ができる職員

- 50 歳代（33.0%）、常盤台地域（32.9%）、主婦・主夫（30.6%）、居住年数１年以上５年未満（34.3%）

▽　積極的に職務に取り組む職員

- 自営業・自由業（34.2%）

●その他

問 46　「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況（33.0%）

〇すでに持っている人の割合が全体を下回っている属性

- 女性（28.0%）
- 40 歳代（22.3%）、50 歳代（27.8%）
- 二世代同居（子と同居）（28.8%）
- 小学生と同居している方（28.8%）

〇取得する予定のない理由として「メリットがよくわからない」が全体（16.7%）を上回っている属性

- 40 歳代（24.4%）、二世代同居（子と同居）（21.2%）、未就学児と同居している方（27.3%）、小学生と同居している方（35.9%）、生まれたときから（24.2%）、直前の居住地が東京都内の他市町村（26.1%）、直前の居住地が埼玉県内（25.5%）

問 47　ＳＤＧｓの認知度（24.3%）

〇ＳＤＧｓの認知度が全体を下回っている属性

- 60～64 歳（18.2%）
- 主婦・主夫（17.2%）、アルバイト・パート（13.0%）
- 二世代同居（親と同居）（19.6%）、65～74 歳の家族と同居している方（19.4%）、75 歳以上の家族と同居している方（19.3%）
- 居住年数１年未満（15.2%）
- 直前の居住地が埼玉県内（17.4%）

〇ＳＤＧｓの 17 の国際目標の中で重点的に取り組むべきものに占める上位の属性

▽　気候変動に具体的対策を

- 男性（27.5%）

▽　働きがいも経済成長も

- 会社員・公務員（25.8%）

▽　すべての人に福祉と健康を

- 50 歳代（48.4%）、志村地域（42.9%）、赤塚地域（42.9%）、高島平地域（47.6%）、二世代同居（子と同居）（45.5%）、マンション（持ち家）（42.6%）、居住年数 20 年以上（42.9%）

問 48　行政サービスで重点的に力を入れるべき分野

〇重点的に力を入れるべき分野に占める上位の属性

▽　高齢者社会参加・介護予防

- 60～64 歳（30.7%）、75 歳以上（25.2%）、常盤台地域（27.0%）、65～74 歳以上の家族と同居している方（28.1%）

▽　交通安全（自転車対策等）

- 70～74 歳（25.0%）、無職（23.9%）

▽　生活保護・生活困窮者支援

- 都市再生機構・公社・都営・区営住宅（27.6%）

▽　市街地整備・まちづくり

- 居住年数１年未満（30.4%）、直前の居住地が千葉県・神奈川県内（28.1%）

▽　緑・公園・景観

- 学生（31.4%）、居住年数１年以上５年未満（28.5%）

属性別にみた主な特徴一覧

属性	調査項目				
	問 2 住みやすさ 全体 94.1%	問 3 定住意向 全体 82.3%	問 3-1 定住理由 ①通勤・通学 ②長期定住 ③消費生活・利便 ④治安 ⑤緑・公園・景観	問 3-2 転出先 ①23 区内 ②その他（海外を含む） ③埼玉	問 3-3 転出理由 ①通勤・通学 ②緑・公園・景観 ③商店街 ④不動産／治安
性別					
年代別	■20 歳代 90.1%	■20 歳代 71.4% ■30 歳代 73.7%	■20 歳代、30 歳代 「不動産」が上位 ■30 歳代、40 歳代 「子育て」が上位 ■70～74 歳、75 歳以上 「医療・福祉・介護」が上位	■20 歳代 「千葉・神奈川」が上位	■20 歳代 「消費生活・利便」が上位 ■30 歳代、40 歳代 「子育て」が上位
地域別			■板橋地域 「医療・福祉・介護」、「商店街」が上位 ■志村地域 「医療・福祉・介護」が上位	■板橋地域、高島平地域 「千葉・神奈川」が上位	■板橋地域 「消費生活・利便」が上位
職業別		■学生 65.7%	■無職 「医療・福祉・介護」が上位		
世帯構成別			■二世代同居（子と同居） 「子育て」が上位	■単身世帯 「千葉・神奈川」が上位	■単身世帯 「消費生活・利便」が上位 ■二世代同居（子と同居） 「子育て」が上位
同居家族別		■未就学児 73.8%	■未就学児、小学生、中学生 「子育て」が上位 ■65～74 歳の家族、75 歳以上 「医療・福祉・介護」が上位		■未就学児 「子育て」が上位
住居形態別	■マンション・アパート（賃貸）90.7%	■マンション・アパート（賃貸）75.0%	■都市再生機構等 「医療・福祉・介護」が上位		■一戸建（持ち家） 「健康づくり」が上位
居住年数別	■1 年未満 84.8% ■1 年以上 5 年未満 89.8%	■1 年未満 69.6% ■1 年以上 5 年未満 65.0% ■5 年以上 10 年未満 71.3%	■1 年以上 5 年未満 「不動産」が上位 ■1 年以上 5 年未満 5 年以上 10 年未満 「子育て」が上位 ■20 年以上 「医療・福祉・介護」が上位	■1 年以上 5 年未満、20 年以上 「千葉・神奈川」が上位	■5 年以上 10 年未満 「子育て」が上位
直前の居住地別		■千葉・神奈川 75.0%	■都内の他市町村 「商店街」が上位		

※Ｐ219～Ｐ232 に記載した属性別にみた主な特徴をまとめたものです。

属性	調査項目				
	問 4 愛着 感じる 75.9%	問 4 誇り 感じる 37.1%	問 4-1 愛着理由 ①長期定住 ②消費生活・利便 ③通勤・通学 ④治安／ 緑・公園・景観	問 4-1 誇り理由 ①緑・公園・景観 ②治安／通勤・通学 ④医療・福祉・介護 ⑤長期定住	問 5 子育て支援策 ①安心して遊べる場 ②保育サービス ③経済負担軽減 ④両立支援 ⑤相談の場
性別					
年代別	■20 歳代 75.0% ■30 歳代 66.9%	■20 歳代 27.7% ■30 歳代 26.9%	■30 歳代、40 歳代 「子育て」が上位 ■70～74 歳、75 歳以上 「医療・福祉・介護」 が上位	■40 歳代 「子育て」が上位	■20 歳代、30 歳代 「住宅や生活環境」が 上位
地域別	■高島平地域 75.2%	■高島平地域 31.5%	■板橋地域 「商店街」が上位	■板橋地域 「商店街」が上位 ■高島平地域 「健康づくり」が上位	
職業別			■自営業・自由業、 無職 「医療・福祉・介護」 が上位		
世帯構成別			■単身世帯 「商店街」が上位 ■二世代同居（子と同 居） 「子育て」が上位	■単身世帯 「商店街」が上位 ■二世代同居（子と同 居） 「子育て」が上位	■二世代同居（親と同 居） 「住宅や生活環境」が 上位
同居家族別	■未就学児 73.1%	■未就学児 31.6%	■未就学児、小学生 中学生 「子育て」が上位 ■75 歳以上の家族 「医療・福祉・介護」 が上位	■未就学児、小学生 中学生 「子育て」が上位	■未就学児 「住宅や生活環境」が 上位
住居形態別	■マンション・アパー ト（賃貸）68.5% ■都市再生機構等 73.7%	■マンション・アパー ト（賃貸）29.1% ■都市再生機構等 31.5%		■マンション（持ち家） 「消費生活・利便」 が上位 ■マンション・アパー ト（賃貸） 「商店街」が上位	
居住年数別	■1 年未満 60.9% ■1 年以上 5 年未満 56.2%	■1 年未満 21.8% ■1 年以上 5 年未満 21.1%	■1 年以上 5 年未満、 5 年以上 10 年未満 「子育て」、「商店街」 が上位 ■10 年以上 20 年未満 「商店街」が上位		■1 年未満 「住宅や生活環境」が 上位
直前の 居住地別	■千葉・神奈川 67.7%	■千葉・神奈川 33.4%	■都内の他市町村 「商店街」が上位		

属性	調査項目				
	問６地域における子育て ①特にない ②見守り活動 ③サポート活動 ④直接的支援 ⑤勉強	問７子供の貧困対策 ①経済的支援 ②居場所づくり ③学力の定着・向上・機会均等 ④親の就労支援 ⑤子育て環境	問８子供たちの生きる力 感じる 32.2%	問９学校教育 ①基礎学力 ②仲間を思いやる心 ③主体的・能動的な行動 ④好奇心・探求心 ⑤責任感	問 10 生涯学習 ①身近な活動する場 ②費用がかからない ③始めるきっかけが豊富
性別	■女性 「相談」が上位				
年代別	■20 歳代、30 歳代 「子育てイベント」が上位 ■50 歳代、70～74 歳 「相談」が上位		■70～74 歳 21.9% ■75 歳以上 23.6%	■20 歳代、30 歳代 「多様性」が上位 ■60～64 歳、75 歳以上 「体力」が上位	■20 歳代 「仲間づくり」が上位 ■30 歳代、60～64 歳 「時間帯が選びやすい」が上位
地域別	■常盤台地域 「相談」が上位		■常盤台地域 26.9%		
職業別	■自営業・自由業、主婦・主夫 「相談」が上位 ■学生 「子育てイベント」が上位		■主婦・主夫 25.4%		■自営業・自由業、 「情報の入手しやすさ」が上位
世帯構成別	■三世代同居 「関連情報提供」が上位		■単身世帯 25.8% ■夫婦のみ 23.3%	■二世代同居（親と同居） 「多様性」が上位	
同居家族別	■未就学児 「子育てイベント」が上位		■75 歳以上の家族 25.4%	■75 歳以上の家族 「規範意識」が上位	■未就学児 「時間帯が選びやすい」が上位 ■小学生 「情報の入手しやすさ」が上位
住居形態別	■都市再生機構等 「相談」が上位		■マンション・アパート（賃貸） 26.7%	■都市再生機構等 「多様性」が上位	■マンション・アパート（賃貸）「仲間づくり」が上位
居住年数別		■1 年未満 「若者の就労支援」が上位	■5 年以上 10 年未満 27.9%	■1 年以上 5 年未満 5 年以上 10 年未満 生まれたときから 「多様性」が上位	■1 年未満 「仲間づくり」が上位 ■1 年以上 5 年未満 「時間帯が選びやすい」が上位
直前の居住地別			■都内の他市町村 18.1% ■埼玉 25.0%	■千葉・神奈川 「多様性」が上位	

属性	調査項目			
	問 11 介護に対する不安 感じる 79.8%	問 11-1 介護に対する不安理由 ①家族に迷惑 ②金銭的余裕 ③施設に入れない	問 12 住み慣れた地域で住み続けるために ①介護サービス提供者との結びつき ②見守り体制 ③在宅医療と介護サービスの連携	問 13 いたばし健康づくりプロジェクト 聞いたことがない 64.7%
性別				■男性 71.0%
年代別		■40 歳代「介護者不在」が上位 ■60～64 歳、65～69 歳、70～74 歳 「定住困難」が上位 ■75 歳以上 「介護サービスの内容の不明」が上位	■30 歳代、60～64 歳 「高齢者向け住宅の整備」が上位 ■65～69 歳、70～74 歳 「地域密着型介護サービス」が上位	■10 歳代 83.3% ■20 歳代 85.7% ■30 歳代 81.1% ■40 歳代 71.5%
地域別		■高島平地域 「介護サービスの内容の不明」が上位		
職業別	■学生 54.3%	■無職 「介護サービスの内容の不明」が上位		■会社員・公務員 76.3% ■学生 80.0%
世帯構成別	■三世代同居 67.6%	■単身世帯、二世代同居（親と同居）　「介護者不在」が上位	■三世代同居 「高齢者の社会参加活動」が上位	■二世代同居（親と同居）73.4%
同居家族別		■65～74 歳の家族 「定住困難」が上位	■小学生、中学生 「地域密着型介護サービス」が上位 ■小学生 「高齢者の社会参加活動」が上位	■未就学児 71.5%
住居形態別		■マンション・アパート（賃貸）都市再生機構等 「介護者不在」が上位		■マンション・アパート（賃貸）76.0%
居住年数別		■1 年以上 5 年未満、生まれたときから 「介護者不在」が上位	■1 年以上 5 年未満 「高齢者の社会参加活動」が上位	■1 年未満 93.5% ■1 年以上 5 年未満 82.5% ■5 年以上 10 年未満 75.2%
直前の居住地別		■埼玉 「介護サービスの内容の不明」が上位		■千葉・神奈川 81.3%

属性	調査項目			
	問 13-1 いたばし健康づくり プロジェクト認知方法 広報いたばし 54.2%	問 14 健康のために 行っていること ①健康診断等の受信 ②歩く ③禁煙 ④栄養バランス ⑤口腔ケア	問 15 鑑賞・体験活動した 文化芸術 ①メディア芸術 ②音楽 ③美術・写真 ④演劇・舞踏・舞踊 ⑤１年間全くふれていない	問 16 異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション ①全くなかった ②あいさつ ③仕事
性別		■男性 「適度な運動」「睡眠」が上位		
年代別	■50 歳 66.7% ■65～69 歳 72.0%	■65～69 歳、75 歳以上 「規則正しい食事」が上位 ■70～74 歳、75 歳以上 「睡眠」が上位 ■75 歳以上 「適度な運動」が上位	■50 歳代 「有形・無形文化財」が上位 ■75 歳以上 「落語・漫談・歌唱」が上位	■20 歳代 「道案内」が上位
地域別		■志村地域 「規則正しい食事」が上位		
職業別	■自営業・自由業 62.1%	■学生、無職 「適度な運動」が上位 ■主婦・主夫、無職 「規則正しい食事」が上位	■会社員・公務員 「有形・無形文化財」が上位	
世帯構成別	■二世代同居（子と同居）58.1% ■二世代同居（親と同居）59.5%	■単身世帯、夫婦のみ 「適度な運動」が上位 ■夫婦のみ 「睡眠」が上位	■三世代同居 「落語・漫談・歌唱」が上位	■二世代同居（親と同居） 「道案内」が上位
同居家族別	■75 歳以上の家族 70.7%	■65～74 歳の家族 「適度な運動」が上位 ■75 歳以上の家族 「睡眠」が上位	■中学生 「有形・無形文化財」が上位 ■75 歳以上の家族 「落語・漫談・歌唱」が上位	
住居形態別	■一戸建（持ち家）59.1%	■一戸建（持ち家） 「規則正しい食事」、「睡眠」が上位		
居住年数別	■生まれたときから 62.3%	■20 年以上 「睡眠」が上位	■5 年以上 10 年未満 「有形・無形文化財」が上位	
直前の居住地別	■都内の他市町村 60.0% ■千葉・神奈川 76.5%		■千葉・神奈川 「有形・無形文化財」が上位	

属性	調査項目				
	問 17 運動・スポーツ 月に１回以上行っている 66.3%	問 18 戦争体験の語り継ぎ 大切だと思う 94.5%	問 19 区のイベントに対する満足度		
			いたばし花火大会 満足 60.5% 参加したことがない 17.0%	板橋区民まつり 満足 29.5% 参加したことがない 41.3%	板橋農業まつり 満足 17.4% 参加したことがない 55.5%
性別					
年代別			■30 歳代 56.6% ■65～69 歳 55.9% ■75 歳以上 53.7%	■20 歳代 20.5% ■30 歳代 14.3%	■30 歳代 9.2%
地域別			■板橋地域 47.4% ■常盤台地域 49.3%	■高島平地域 18.9%	
職業別			■自営業・自由業 56.6%		■学生 8.6%
世帯構成別			■単身世帯 45.3%		
同居家族別	■未就学児 54.6%				
住居形態別	■都市再生機構等 52.7%		■マンション・アパート（賃貸）50.0%	■マンション・アパート（賃貸）21.6% ■都市再生機構等 19.7%	■マンション・アパート（賃貸）9.2%
居住年数別	■１年未満 49.9%		■1 年未満 37.0% ■1 年以上 5 年未満 51.1%	■1 年以上 5 年未満 10.2% ■5 年以上 10 年未満 20.2%	■1 年未満 8.7% ■1 年以上 5 年未満 7.3%
直前の居住地別					

属性	調査項目			
	問 20 身近な商店街に対する印象 ①身近で便利 ②空き店舗が多い ③人通りが少ない	問 21 農業にふれた機会 いずれにも参加しなかった 86.6%	問 22 自然環境・公園に対する満足度	
			緑地保全 満足 47.3%	公園整備 満足 46.9%
性別				
年代別	■20 歳代 「賑やかで活気がある」が上位	■10 歳代 100.0% ■20 歳代 94.6% ■30 歳代 91.4% ■50 歳代 92.0% ■60～64 歳 92.0%	■30 歳代 42.8%	■30 歳代 40.6%
地域別	■板橋地域 「賑やかで活気がある」が上位	■板橋地域 90.7% ■常盤台地域 93.4%	■板橋地域 34.7%	■板橋地域 38.8%
職業別	■学生 「賑やかで活気がある」が上位	■会社員・公務員 90.6% ■学生 97.1%		
世帯構成別		■二世代同居（親と同居）91.1%		
同居家族別	■小学生 「賑やかで活気がある」が上位			■単身世帯 40.5%
住居形態別		■マンション（持ち家）91.8% ■マンション・アパート（賃貸）90.8%	■マンション・アパート（賃貸）38.7%	■マンション・アパート（賃貸）39.0%
居住年数別	■1 年以上 5 年未満、5 年以上 10 年未満 「賑やかで活気がある」が上位	■1 年以上 5 年未満 93.4% ■5 年以上 10 年未満 90.7%	■5 年以上 10 年未満 37.2%	■5 年以上 10 年未満 38.8%
直前の居住地別		■千葉・神奈川 94.8%		

属性	調査項目			
	問 23 ごみ分別 ①びん・缶 ②ペットボトル ③段ボール 分別していない 0.4%	問 24 環境のための取り組み ①マイバッグ ②食品の使い切り ③冷暖房の設定温度 特にない 4.3%	問 25 災害情報収集手段 ①テレビ ②インターネット ③ラジオ	問 26 災害時の対策 ①飲料水・非常用食糧 ②避難場所・経路の確認 ③家具の転倒・物の落下防止
性別				
年代別			■20 歳代 「特にない」が上位 ■70～74 歳、75 歳以上 「板橋区防災マップアプリ」 が上位	■20 歳代 「特にない」が上位
地域別				■常盤台地域 「生活用品、医薬品準備」 が上位
職業別				
世帯構成別				■単身世帯 「特にない」が上位
同居家族別			■小学生、中学生 「防災・緊急情報メール」 が上位	■未就学児、小学生 「生活用品、医薬品準備」 が上位 ■小学生、中学生 「家族内での連絡方法の確認」 が上位
住居形態別				■マンション･アパート（賃貸） 「特にない」が上位
居住年数別			■1 年未満 「特にない」が上位	■1 年未満 「特にない」が上位 ■5 年以上 10 年未満 「生活用品、医薬品準備」 が上位
直前の 居住地別				

属性	調査項目			
	問 26-1 備蓄日数 ①３日 ②３日未満 ③４日	問 27 地域の治安 感じる 62.8%	問 28 ユニバーサルデザイン 認知度 57.5%	問 28-1 ユニバーサルデザインの取組の進み具合 思う 12.9%
性別				
年代別	■65～69 歳 「7 日」が上位 ■70～74 歳 「5 日」が上位	■60～64 歳 51.2% ■70～74 歳 58.3%	■65～69 歳 44.9% ■70～74 歳 43.7% ■75 歳以上 42.3%	
地域別				■常盤台地域 5.6%
職業別	■主婦・主夫 「5 日」が上位	■主婦・主夫 58.5% ■無職 55.4%	■自営業・自由業 46.0% ■主婦・主夫 49.7% ■アルバイト・パート 50.0% ■無職 48.4%	
世帯構成別				
同居家族別			■65～74 歳の家族 47.6% ■75 歳以上の家族 48.2%	
住居形態別		■都市再生機構等 57.9%		
居住年数別		■1 年未満 43.4%	■20 年以上 50.7%	
直前の居住地別		■都内の他市町村 58.3%		

属性	調査項目				
	問 29 電車･バスの利便性 感じる 69.6%	問 30 建築物とまちなみとの調和 感じる 24.8%	問 31 未来創造戦略 戦略Ⅰ 重要度が高い 61.3%	問 31 未来創造戦略 戦略Ⅱ 重要度が高い 57.4%	問 31 未来創造戦略 戦略Ⅲ 重要度が高い 44.8%
性別					
年代別	■30 歳代 59.4%	■60～64 歳 14.7% ■70～74 歳 19.8%	■60～64 歳 54.6% ■65～69 歳 50.8% ■70～74 歳 38.6% ■75 歳以上 26.8%	■70～74 歳 41.7% ■75 歳以上 35.0%	■65～69 歳 34.8% ■70～74 歳 28.2% ■75 歳以上 24.3%
地域別					
職業別			■自営業・自由業 52.7% ■主婦・主夫 51.6% ■無職 37.5%	■無職 38.1%	■無職 26.1%
世帯構成別			■単身世帯 52.6%		■単身世帯 38.0% ■三世代同居 38.3%
同居家族別	■未就学児 59.2%	■65～74 歳の家族 19.4%	■75 歳以上の家族 48.2%		■65～74 歳の家族 38.1% ■75 歳以上の家族 36.0%
住居形態別					
居住年数別	■1 年未満 60.9%		■20 年以上 49.3%	■1 年未満 47.8%	■20 年以上 38.0%
直前の居住地別			■都内の他市町村 51.4%		■都内の他市町村 34.7%

属性	調査項目			
	問 32 シティプロモーション 伝わっていない 70.6%	問 32-1 伝わっていない理由 手段が分からない 61.5%	問 33 区の魅力発信 ①イベント・お祭り ②飲食店 ③家族で楽しめるスポット	問 34 区の情報入手方法 ①広報いたばし ②掲示板 ③ホームページ ④回覧板 ⑤新聞記事
性別				
年代別	■30 歳代 81.2% ■40 歳代 81.9%	■65～69 歳 70.0% ■70～74 歳 68.9% ■75 歳以上 68.4%	■30 歳代 「子育て」が上位 ■65～69 歳、70～74 歳 「歴史や文化」が上位	■20 歳代、30 歳代 「ＳＮＳ」が上位
地域別		■板橋地域 67.3% ■高島平地域 68.1%		
職業別	■会社員・公務員 77.7% ■学生 77.1%	■無職 71.2%		
世帯構成別			■単身世帯 「歴史や文化」が上位	
同居家族別	■未就学児 80.0% ■小学生 77.9%	■65～74 歳の家族 69.5%	■未就学児、小学生 「子育て」が上位 ■75 歳以上の家族 「歴史や文化」が上位	
住居形態別				
居住年数別	■1 年以上 5 年未満 86.1% ■5 年以上 10 年未満 82.9%	■20 年以上 67.6%	■5 年以上 10 年未満 「子育て」が上位 ■20 年以上 「歴史や文化」が上位	■5 年以上 10 年未満 「ＳＮＳ」が上位
直前の 居住地別				

属性	調査項目		
	問 35 オリンピック・パラリンピックへの関わり ①参加したいと思わない ②競技会場での観戦・応援 ②パブリックビューイング	問 36 レガシーとしての期待 ①特にない ②子どもたちの夢や希望 ③スポーツを楽しむ機会 ④スポーツ施設の充実 ⑤障がい者への理解	問 37 社会活動・地域活動等への参加状況 ①いずれにも参加していない ②町会・自治会等の活動 ③趣味・スポーツ
性別			
年代別	■40 歳代 「スポーツイベント参加」が上位	■20 歳代 「国際理解・多文化理解」が上位	■40 歳代 「学校関係の活動」が上位
地域別			
職業別			
世帯構成別	■三世代同居 「スポーツイベント参加」が上位		■二世代同居（子と同居） 「学校関係の活動」が上位
同居家族別	■未就学児、小学生 「スポーツイベント参加」が上位	■小学生 「国際理解・多文化理解」が上位	■未就学児、小学生、中学生 「学校関係の活動」が上位
住居形態別			
居住年数別	■5 年以上 10 年未満 「スポーツイベント参加」が上位	■1 年未満 「外国人観光客の受け入れ態勢の整備」が上位	■5 年以上 10 年未満 10 年以上 20 年未満 「学校関係の活動」が上位
直前の居住地別		■千葉・神奈川 「国際理解・多文化理解」が上位	

属性	調査項目					
	問 38 地域で活動する団体・サークルへの加入状況			問 38-1 未加入理由		
	町会・自治会 加入している 38.1%	ＮＰＯ団体 加入している 2.8%	趣味・スポーツ等のサークル 加入している 14.7%	町会・自治会 ①暇がない ②きっかけがない ③必要性を感じていない	ＮＰＯ団体 ①暇がない ②団体を知らない ③必要性を感じていない	趣味・スポーツ等のサークル ①暇がない ②団体を知らない ③きっかけがない
性別			■男性 11.2%			
年代別	■20 歳代 10.7% ■30 歳代 19.4%		■30 歳代 6.3% ■50 歳代 8.5%	■60～64 歳、65～69 歳 「人づきあいをわずらわしく感じる」が上位 ■70～74 歳 「活動のペースが合わない」が上位	■75 歳以上 「知識や技術がない」「仲間がいない」が上位	■70～74 歳 「必要性を感じていない」が上位
地域別				■高島平地域 「加入方法がわからない」が上位	■高島平地域 「きっかけがない」が上位	■常盤台地域 「必要性を感じていない」が上位
職業別	■学生 5.7%		■会社員・公務員 8.3%	■自営業・自由業 「加入方法がわからない」が上位 ■主婦・主夫 「人づきあいをわずらわしく感じる」が上位		■無職 「必要性を感じていない」が上位 ■主婦・主夫 「金銭的負担」が上位
世帯構成別	■単身世帯 24.6%		■二世代同居（親と同居）11.4%			
同居家族別	■未就学児 28.5%		■未就学児 10.8%		■小学生 「きっかけがない」が上位	■未就学児、小学生 「金銭的負担」が上位
住居形態別	■マンション・アパート（賃貸）5.8%		■マンション・アパート（賃貸）6.8% ■都市再生機構等 9.2%			
居住年数別	■1 年未満 10.9% ■1 年以上 5 年未満 13.1% ■5 年以上 10 年未満 28.7%		■1 年未満 2.2% ■5 年以上 10 年未満 8.5%	■1 年以上 5 年未満 「加入方法が分からない」が上位 ■5 年以上 10 年未満 「団体を知らない」が上位	■1 年未満 「加入方法が分からない」が上位	■1 年未満 「加入方法が分からない」が上位
直前の居住地別				■都内の他市町村 「人づきあいをわずらわしく感じる」が上位		■都内の他市町村 「関心がない」が上位

属性	調査項目			
	問 39 地域活動の活発化 ①イベント ②活動情報のＰＲ ②地域への関心	問 40 地域センターの利用 利用した 19.1%	問 40-1 地域センターの利用目的 ①私用での集会室等の予約・利用 ②地域行事での集会室等の予約・利用 ③イベントへの参加	問 41 地域センターに求めるサービス ①特にない ②地域活動団体の情報 ③地域交流イベント
性別				
年代別	■20 歳代 「若い世代への参加の呼びかけ」が上位 ■70～74 歳 「近所とのつながり」が上位	■20 歳代 9.8% ■60～64 歳 10.2%	■70～74 歳 「地域行事での集会室等の予約・利用」が上位	■50 歳代、70～74 歳 「申請書等入手」が上位
地域別				■常盤台地域 「申請書等入手」が上位
職業別	■主婦・主夫、学生 「若い世代への参加の呼びかけ」が上位	■学生 2.9%		■主婦・主夫 「申請書等入手」が上位
世帯構成別	■夫婦のみ、三世代同居 「若い世代への参加の呼びかけ」が上位	■二世代同居（親と同居）10.1%		■三世代同居 「集会室等利用」 「申請書等入手」が上位
同居家族別	■未就学児、小学生 「若い世代への参加の呼びかけ」が上位 ■75 歳以上の家族 「近所とのつながり」が上位			■未就学児、小学生、中学生 「集会室等利用」が上位 ■75 歳以上の家族 「申請書等入手」が上位
住居形態別		■マンション・アパート（賃貸）11.3%		
居住年数別		■1 年未満 6.5%		
直前の居住地別				■都内の他市町村 「申請書等入手」が上位

属性	調査項目			
	問 42 税金に見合った行政サービス 感じられる 24.4%	問 43 行政サービスと住民負担のバランス ①サービス縮小・負担維持 32.6% ②サービス縮小・負担軽減 19.3% ③サービス維持・負担増加 18.7% ④サービス拡大・負担増加 13.0%	問 44 区の職員と接する機会 接する機会がなかった　40.9%	問 44-1 職員の対応に対する満足度 満足 64.7%
性別		■男性では「サービス維持・負担増」の割合が「サービス縮小・負担減」の割合より高い		
年代別	■20 歳代 17.9% ■60～64 歳 19.3%	■20 歳代、50 歳代、60～64 歳、70～74 歳、75 歳以上では「サービス維持・負担増」の割合が「サービス縮小・負担減」の割合より高い ■30 歳代では「サービス拡大・負担増」の割合が「サービス維持・負担増」の割合より高い	■10 歳代 72.2% ■20 歳代 48.2%	■70～74 歳 58.5%
地域別		■高島平地域では「サービス維持・負担増」の割合が「サービス縮小・負担減」の割合より高い	■常盤台地域 47.4%	
職業別		■学生では「サービス維持・負担増」の割合が「サービス縮小・負担減」の割合より高い	■学生 74.3%	■自営業・自由業 52.9%
世帯構成別	■二世代同居（親と同居）17.1%	■二世代同居（親と同居）、三世代同居では「サービス維持・負担増」の割合が「サービス縮小・負担減」の割合より高い	■二世代同居（親と同居）55.1% ■三世代同居 58.8%	■三世代同居 57.1%
同居家族別				
住居形態別				
居住年数別	■1 年未満 17.3%	■1 年未満では「サービス拡大・負担増」の割合が「サービス維持・負担増」の割合より高い	■生まれたときから 47.1%	
直前の居住地別	■都内の他市町村 16.6%			

属性	調査項目				
	問 44-2　職員の能力・現状評価				
	(1)責任を持っている 思う 54.4%	(2)もてなしの心、柔軟な対応 思う 55.1%	(3)コスト意識 思う 21.8%	(4)倫理観・法令遵守 思う 35.7%	(5)誰に対しても公平・誠実 思う 55.4%
性別					
年代別	■50 歳代 47.9%	■75 歳以上 48.4%	■50 歳代 16.3% ■60～64 歳 15.3%	■75 歳以上 29.1%	■70～74 歳 47.2%
地域別			■板橋地域 18.1%	■板橋地域 28.3%	
職業別		■自営業・自由業 45.1%		■自営業・自由業 23.5%	■自営業・自由業 41.2%
世帯構成別	■夫婦のみ 44.9%		■夫婦のみ 14.7%		
同居家族別	■65～74 歳の家族 48.6%	■75 歳以上の家族 43.3%	■65～74 歳の家族 16.7%	■65～74 歳の家族 26.4% ■75 歳以上の家族 23.4%	■65～74 歳の家族 43.0% ■75 歳以上の家族 40.0%
住居形態別					
居住年数別					
直前の居住地別		■千葉・神奈川 46.5%	■千葉・神奈川 13.8%	■千葉・神奈川 27.5%	

属性	調査項目			
	問 44-2　職員の能力・現状評価			
	(6)積極的に職務に取り組む 思う 46.6%	(7)迅速な対応 思う 54.4%	(8)十分な知識 思う 54.2%	(9)わかりやすい説明 思う 59.7%
性別				
年代別		■40 歳代 47.7%	■60～64 歳 49.2% ■65～69 歳 49.3% ■70～74 歳 43.4%	■70～74 歳 50.9%
地域別		■高島平地域 49.5%	■常盤台地域 48.7%	
職業別	■自営業・自由業 37.3%	■自営業・自由業 41.1% ■アルバイト・パート 49.0%	■自営業・自由業 47.1% ■無職 48.1%	■自営業・自由業 45.1%
世帯構成別		■夫婦のみ 49.3%	■夫婦のみ 49.4%	
同居家族別		■65～74 歳の家族 48.6%	■65～74 歳の家族 48.6%	
住居形態別				
居住年数別		■10 年以上 20 年未満 49.1%		
直前の居住地別			■千葉・神奈川 44.8%	

属性	調査項目			
	問 45 職員に求める姿 ①誰に対しても公平・誠実 50.2% ②わかりやすい説明 46.2% ③もてなしの心、柔軟な対応 40.7% ④責任を持っている 32.0% ⑤十分な知識を持ち、区の課題を解決 30.4%	問 46 マイナンバーカード取得状況 すでに持っている 33.0%	問 46-1 取得していない理由 ①現時点で必要がない 44.8% ②個人情報の漏えいや不正利用に対する不安 23.9% ③メリットがよくわからない 16.7%	問 47ＳＤＧｓの認知度 認知度 24.3%
性別		■女性 28.0%		
年代別	■50 歳代 「迅速な対応ができる職員」が上位	■40 歳代 22.3% ■50 歳代 27.8%	■40 歳代 24.4% 「メリットがよくわからない」	■60～64 歳 18.2%
地域別	■常盤台地域 「迅速な対応ができる職員」が上位			
職業別	■自営業・自由業 「積極的に職務に取り組む」が上位 ■主婦・主夫 「迅速な対応ができる職員」が上位			■主婦・主夫 17.2% ■アルバイト・パート 13.0%
世帯構成別		■二世代同居（子と同居）28.8%	■二世代同居（子と同居）21.2% 「メリットがよくわからない」	■二世代同居（親と同居）19.6%
同居家族別		■小学生 28.8%	■未就学児 27.3% ■小学生 35.9% 「メリットがよくわからない」	■65～74 歳の家族 19.4% ■75 歳以上の家族 19.3%
住居形態別				
居住年数別	■１年以上５年未満 「迅速な対応ができる職員」が上位		■生まれたときから 24.2% 「メリットがよくわからない」	■１年未満 15.2%
直前の居住地別			■都内の他市町村 26.1% ■埼玉 25.5% 「メリットがよくわからない」	■埼玉 17.4%

属性	調査項目	
	問 47-1ＳＤＧｓで重点的に取り組むべきもの ①住み続けられるまちづくり ②すべての人に福祉と健康を ③貧困をなくそう ④質の高い教育をみんなに ⑤エネルギーをみんなにそしてクリーンに	問 48 区が重点的に力を入れるべき分野 ①子育て ②介護・高齢福祉・見守り ③防犯 ④学校教育 ⑤防災
性別	■男性 「気候変動に具体的な対策を」が上位	
年代別	■50 歳代 「すべての人に福祉と健康を」が上位	■60～64 歳、75 歳以上 「高齢者社会参加・介護予防」が上位 ■70～74 歳 「交通安全（自転車対策等）が上位
地域別	■志村地域、赤塚地域、高島平地域 「すべての人に福祉と健康を」が上位	■常盤台地域 「高齢者社会参加・介護予防」が上位
職業別	■会社員・公務員 「働きがいも経済成長も」が上位	■無職 「交通安全（ 自転車対策等）」が上位 ■学生 「緑・公園・景観」が上位
世帯構成別	■二世代同居（子と同居） 「すべての人に福祉と健康を」が上位	
同居家族別		■65～74 歳の家族 「高齢者社会参加・介護予防」が上位
住居形態別	■マンション（持ち家） 「すべての人に福祉と健康を」が上位	■都市再生機構・公社・都営・区営住宅 「生活保護・生活困窮者支援」が上位
居住年数別	■20 年以上 「すべての人に福祉と健康を」が上位	■１年未満 「市街地整備・まちづくり」が上位 ■１年以上５年未満 「緑・公園・景観」が上位
直前の居住地別		■千葉・神奈川 「市街地整備・まちづくり」が上位

第４章　　集計表

(1)属性

回答方法

全体	Web	郵送
1,144	245	899
100.0	21.4	78.6

問1　次の各質問について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

ア　あなたの性別は、

全体	男性	女性	回答しない	無回答
1,144	455	661	5	23
100.0	39.8	57.8	0.4	2.0

イ　あなたの年齢は、

全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
1,144	18	112	175	193	212	88	118	96	123	9
100.0	1.6	9.8	15.3	16.9	18.5	7.7	10.3	8.4	10.8	0.8

ウ　あなたがお住まいの地域は、

全体	板橋地域（板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見）	常盤台地域（大谷口・常盤台・桜川）	志村地域（清水・志村坂上・中台・前野）	赤塚地域（下赤塚・成増・徳丸）	高島平地域（蓮根・舟渡・高島平）	無回答
1,144	291	152	255	227	206	13
100.0	25.4	13.3	22.3	19.8	18.0	1.1

エ あなたの国籍は、

全体	日本	日本以外	無回答
1,144	1,045	22	77
100.0	91.3	1.9	6.7

オ あなたの職業は、

全体	会社員・公務員	自営業・自由業	会社役員	主婦・主夫	学生	アルバイト・パート	無職	その他	無回答
1,144	481	76	24	157	35	162	184	15	10
100.0	42.0	6.6	2.1	13.7	3.1	14.2	16.1	1.3	0.9

カ あなたのお宅の世帯の構成は、

全体	単身世帯	夫婦のみ	二世代同居（子と同居）	二世代同居（親と同居）	三世代同居	その他	無回答
1,144	232	274	420	158	34	23	3
100.0	20.3	24.0	36.7	13.8	3.0	2.0	0.3

（カで「単身世帯」以外を回答した方のみ）

キ あなた自身を除き、あなたのお宅に同居する家族は、（複数回答可）

全体	未就学児	小学生	中学生	65～74歳の家族	75歳以上の家族	左記以外の家族と同居している	無回答
909	130	104	60	139	114	564	108
100.0	14.3	11.4	6.6	15.3	12.5	62.0	11.9

ク あなたのお住まいの家の住居形態は、

全体	一戸建（持ち家）	一戸建（賃貸）	マンション（持ち家）	マンション・アパート（賃貸）	都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅	社宅・寮・間借り・住込み	その他（ケア付住宅など）	無回答
1,144	384	23	330	292	76	29	5	5
100.0	33.6	2.0	28.8	25.5	6.6	2.5	0.4	0.4

ケ あなたは板橋区にお住まいになって通算で何年になりますか。

全体	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満（「生まれたときから」を除く）	20年以上（「生まれたときから」を除く）	生まれたときから	無回答
1,144	46	137	129	198	450	174	10
100.0	4.0	12.0	11.3	17.3	39.3	15.2	0.9

（ケで「生まれたときから」以外を回答した方のみ）

コ あなたは、板橋区に来られる直前にどちらにお住まいでしたか。

全体	東京23区内（板橋区を除く）	東京都内の他市町村	埼玉県内	千葉県・神奈川県内	その他（海外を含む）	無回答
960	408	72	144	96	183	57
100.0	42.5	7.5	15.0	10.0	19.1	5.9

（2）区での住み心地

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	住みやすい	まあ住みやすい	あまり住みやすくない	住みにくい	無回答
1,144	498	579	51	12	4
100.0	43.5	50.6	4.5	1.0	0.3

『住みやすい』	『住みにくい』
1,077	63
94.1	5.5

問3　あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	今後も区内に住み続けたい	区外に移り住みたい	無回答
1,144	942	199	3
100.0	82.3	17.4	0.3

（問3で「今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ）
問3－1　そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	子育てしやすい環境であるため	子どもの教育環境が充実しているため	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	地域コミュニティが親しみやすいため	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	にぎわいのある商店街があるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	治安が良く安心して暮らせるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	災害（震災や水害）対策が充実しているため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため
942	107	29	49	75	100	158	45	10	113	6	201	14	14	163
100.0	11.4	3.1	5.2	8.0	10.6	16.8	4.8	1.1	12.0	0.6	21.3	1.5	1.5	17.3

環境を守り資源を大切にしているため	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	職場・学校が近いため	楽しい祭り・イベントがあるため	消費生活が便利い（買い物の便が良い・物価が安い）なため	区のイメージが良いため	家族や親戚が近くに住んでいるため	長年住んでいるため	その他	無回答
12	399	117	16	305	11	144	361	26	2
1.3	42.4	12.4	1.7	32.4	1.2	15.3	38.3	2.8	0.2

（問3で「区外に移り住みたい」と回答した方のみ）
問3－2　板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	東京23区内（板橋区を除く）	東京都内の他市町村	埼玉県内	千葉県・神奈川県内	その他（海外を含む）	無回答
199	111	7	22	16	36	7
100.0	55.8	3.5	11.1	8.0	18.1	3.5

（問3で「区外に移り住みたい」と回答した方のみ）
問3－3　そう思った主な理由は何ですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。
板橋区より区外の方が、

全体	子育てしやすい環境であるため	子どもの教育環境が充実しているため	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	地域コミュニティが親しみやすいため	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	にぎわいのある商店街があるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	治安が良く安心して暮らせるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	災害（震災や水害）対策が充実しているため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため
199	24	13	10	4	33	12	2	3	34	10	33	12	8	52
100.0	12.1	6.5	5.0	2.0	16.6	6.0	1.0	1.5	17.1	5.0	16.6	6.0	4.0	26.1

環境を守り資源を大切にしているため	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	職場・学校が近いため	楽しい祭り・イベントがあるため	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため	イメージが良いため	家族や親戚の住居に近いため	その他	無回答
3	74	26	6	29	26	31	12	7
1.5	37.2	13.1	3.0	14.6	13.1	15.6	6.0	3.5

問4　あなたは板橋区に「愛着」と「誇り」を感じますか。該当するものをそれぞれ1つ選び、番号に○印をつけてください。
「愛着」

全体	感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	無回答
1,144	362	507	192	53	30
100.0	31.6	44.3	16.8	4.6	2.6

『感じる』	『感じない』
869	245
75.9	21.4

「誇り」

全体	感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	無回答
1,144	81	343	492	147	81
100.0	7.1	30.0	43.0	12.8	7.1

『感じる』	『感じない』
424	639
37.1	55.8

（問4で「感じる」「まあ感じる」と回答した方のみ）
問4－1 「愛着を感じる」「誇りを感じる」理由をそれぞれ5つまで選んで下の表に番号を記入してください。
「愛着を感じる理由」

全体	子育てしやすい環境であるため	子どもの教育環境が充実しているため	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	地域コミュニティが親しみやすいため	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	にぎわいのある商店街があるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	治安が良く安心して暮らせるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	災害（震災や水害）対策が充実しているため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため
869	139	44	85	116	98	167	85	23	200	18	245	33	29	245
100.0	16.0	5.1	9.8	13.3	11.3	19.2	9.8	2.6	23.0	2.1	28.2	3.8	3.3	28.2

環境を守り資源を大切にしているため	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	職場・学校が近いため	楽しい祭り・イベントがあるため	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため	区のイメージが良いため	家族や親戚が近くに住んでいるため	長年住んでいるため	その他	無回答
29	327	133	77	332	39	190	484	18	39
3.3	37.6	15.3	8.9	38.2	4.5	21.9	55.7	2.1	4.5

「誇りを感じる理由」

全体	子育てしやすい環境であるため	子どもの教育環境が充実しているため	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	地域コミュニティが親しみやすいため	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	にぎわいのある商店街があるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	治安が良く安心して暮らせるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	災害（震災や水害）対策が充実しているため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため
424	77	44	59	78	25	124	34	16	81	28	141	62	40	142
100.0	18.2	10.4	13.9	18.4	5.9	29.2	8.0	3.8	19.1	6.6	33.3	14.6	9.4	33.5

環境を守り資源を大切にしているため	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	職場・学校が近いため	楽しい祭り・イベントがあるため	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため	区のイメージが良いため	家族や親戚が近くに住んでいるため	長年住んでいるため	その他	無回答
45	141	25	55	94	36	34	107	3	31
10.6	33.3	5.9	13.0	22.2	8.5	8.0	25.2	0.7	7.3

（3）「子育て安心」（基本政策Ⅰ-1）

問5　子育て世帯の方々が、地域において安心して子育てするために、あなたが重要だと思うものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	身近に悩みを相談する場があること	在宅で子育てできる支援体制	住宅や生活環境	保育サービスの充実	子育てに伴う経済的負担の軽減	子どもが安心して遊べる場があること	妊娠期からのサポート体制	子育てと仕事の両立支援	その他	特にない	無回答
1,144	360	86	233	514	477	566	127	436	21	39	103
100.0	31.5	7.5	20.4	44.9	41.7	49.5	11.1	38.1	1.8	3.4	9.0

問6　地域における子育てを支える担い手として、あなたが参加してみたいと思うものはありますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	子育てに関する悩みについて相談にのる活動	子育て関連情報を提供する活動	登下校時等の声かけや見守り活動	子どもに勉強を教える活動	子育てイベントの企画・運営	学校行事や校外学習等をサポートする活動	子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動	その他	特にない	無回答
1,144	78	39	164	88	52	129	105	8	372	109
100.0	6.8	3.4	14.3	7.7	4.5	11.3	9.2	0.7	32.5	9.5

問7　子どもの貧困対策として、重要だと思うものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	確かな学力の定着・向上と教育の機会均等	健康増進と生活習慣の形成支援	若者の就労支援	親の就労支援	子育てしやすい環境づくり	経済的支援の充実	家庭教育支援の充実	地域人材の育成支援・活用	子どもの居場所づくり	相談窓口の充実	支援制度の周知	その他	特にない	無回答
1,144	374	197	147	354	304	410	114	100	409	215	243	10	36	70
100.0	32.7	17.2	12.8	30.9	26.6	35.8	10.0	8.7	35.8	18.8	21.2	0.9	3.1	6.1

（4）「魅力ある学び支援」（基本政策Ⅰ-2）

問8　子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
1,144	103	265	273	117	49	262	75
100.0	9.0	23.2	23.9	10.2	4.3	22.9	6.6

『感じる』	『感じない』
368	166
32.2	14.5

問9　あなたが学校教育を通じて、子どもたちに身に付けてほしいと思う力は何ですか。
該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	基礎学力	主体的・能動的に行動する力	好奇心や探究心	規範意識	責任感	仲間を思いやる心	もてなしの心	体力	外国語によるコミュニケーション能力	パソコンなどの知識	多様性を認める心	その他	無回答
1,144	623	352	319	181	301	606	137	169	131	31	280	14	66
100.0	54.5	30.8	27.9	15.8	26.3	53.0	12.0	14.8	11.5	2.7	24.5	1.2	5.8

問10　生涯学習活動に取り組むための環境づくりとして、あなたが重要だと思うことを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	講座や教室等の情報が手に入りやすい	講座や教室等の時間帯が選びやすい	講座や教室等の費用がかからない	身近に活動する場所がある	一緒に楽しむ仲間が作りやすい	始めるきっかけが豊富にある	その他	無回答
1,144	142	122	213	245	124	178	15	105
100.0	12.4	10.7	18.6	21.4	10.8	15.6	1.3	9.2

(5)「安心の福祉・介護」(基本政策Ⅰ-3)

問11　あなたは、自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じますか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答
1,144	585	328	129	71	20	11
100.0	51.1	28.7	11.3	6.2	1.7	1.0

『感じる』	『感じない』
913	91
79.8	7.9

(問11で「感じる」「まあ感じる」と回答した方のみ)

問11－1　その理由として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	家族に迷惑をかける	金銭的に余裕がない	介護施設に入りたくても入れない	介護してくれる人がいない	介護サービスの内容がよくわからない	住み慣れた家やまちに住み続けることが難しくなる	その他	無回答
913	637	546	328	279	271	203	18	2
100.0	69.8	59.8	35.9	30.6	29.7	22.2	2.0	0.2

問12　介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で住み続けるために、あなたが重要だと思う取組を3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ	在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携	認知症患者を地域で支える取組	ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実	介護予防サービスの充実	高齢者向け住宅の整備	地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり	元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援	その他	無回答
1,144	492	408	134	462	222	324	349	270	24	141
100.0	43.0	35.7	11.7	40.4	19.4	28.3	30.5	23.6	2.1	12.3

（6）「豊かな健康長寿社会（基本政策Ⅱ－1）」

問13　板橋区が実施している「いたばし健康づくりプロジェクト」について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	参加したことがある	参加したことはないが、内容を知っている	聞いたことはあるが、内容はわからない	聞いたことがない	無回答	『認知度』
1,144	33	60	296	740	15	389
100.0	2.9	5.2	25.9	64.7	1.3	34.0

（問13で「参加したことがある」「参加したことはないが、内容を知っている」「聞いたことはあるが、内容はわからない」と回答した方のみ）

問13－1　「いたばし健康づくりプロジェクト」を主にどのような方法で知りましたか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	区ホームページ	広報いたばし	SNS（フェイスブック・ツイッター）	区の刊行物	区内に設置されている掲示板	友人・知人から聞いた	その他	覚えていない	無回答
389	17	211	－	35	38	32	2	39	15
100.0	4.4	54.2	－	9.0	9.8	8.2	0.5	10.0	3.9

問14　あなたが健康のために普段から行っていることは何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	健康診断や人間ドックを受診している	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている	適度な運動をしている	栄養バランスに気をつけて食事をしている	規則正しく食事をとるようにしている	たばこを吸わないようにしている	歯や口腔のケアに気をつけている	お酒の飲みすぎに注意している	睡眠を十分とるようにしている	自分なりのリフレッシュ方法を実践している	その他	特に行っていない	無回答
1,144	684	524	440	487	400	489	478	296	451	355	11	53	14
100.0	59.8	45.8	38.5	42.6	35.0	42.7	41.8	25.9	39.4	31.0	1.0	4.6	1.2

（7)「心躍るスポーツ・文化」(基本政策Ⅱ-2)

問15　あなたが過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	音楽	演劇・舞踏・舞踊	美術・写真	映画・アニメーションなどのメディア芸術	歌舞伎・雅楽などの伝統芸能	落語・漫談・歌唱などの芸能	茶道・華道・書道などの生活文化	囲碁・将棋などの国民娯楽	有形・無形文化財	その他	1年間全くふれていない	無回答
1,144	509	234	323	610	62	130	67	30	141	24	211	19
100.0	44.5	20.5	28.2	53.3	5.4	11.4	5.9	2.6	12.3	2.1	18.4	1.7

問16　過去1年間における、異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション（あいさつや世間話、道案内等）について、
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	あいさつをした	世間話をした	道案内をした	事業・イベント等で交流した	親族又は友人とコミュニケーションがあった	仕事で関わりがあった	学校で交流した	その他	コミュニケーションは全くなかった	無回答
1,144	345	148	202	55	115	282	36	39	428	36
100.0	30.2	12.9	17.7	4.8	10.1	24.7	3.1	3.4	37.4	3.1

問17　あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか（ハイキング・軽い体操・ウォーキングなども含む）。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	週に3回以上	週に1回～2回程度	月に1回～2回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	行っていない	無回答
1,144	269	316	174	40	27	299	19
100.0	23.5	27.6	15.2	3.5	2.4	26.1	1.7

問18　板橋区は平和都市宣言をしていますが、平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについて、あなたはどう思いますか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	大切だと思う	まあ大切だと思う	どちらともいえない	それほど大切だと思わない	大切だと思わない	無回答
1,144	920	161	35	11	5	12
100.0	80.4	14.1	3.1	1.0	0.4	1.0

『大切だと思う』	『大切だと思わない』
1,081	16
94.5	1.4

（8）「光輝く板橋ブランド・産業活力」（基本政策Ⅱ－3）

問19　いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ1つ選び、下の表に番号を記入してください。

「いたばし花火大会」

全体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	参加したことがない	無回答	『満足』	『不満』
1,144	420	272	68	20	18	194	152	692	38
100.0	36.7	23.8	5.9	1.7	1.6	17.0	13.3	60.5	3.3

「板橋区民まつり」

全体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	参加したことがない	無回答	『満足』	『不満』
1,144	120	217	146	20	2	472	167	337	22
100.0	10.5	19.0	12.8	1.7	0.2	41.3	14.6	29.5	1.9

「板橋農業まつり」

全体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	参加したことがない	無回答	『満足』	『不満』
1,144	68	131	122	9	1	635	178	199	10
100.0	5.9	11.5	10.7	0.8	0.1	55.5	15.6	17.4	0.9

問20　あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	賑やかで活気がある	身近で便利である	個性的な店が多い	空き店舗が多い	人通りが少ない	その他	無回答
1,144	140	431	33	224	168	104	44
100.0	12.2	37.7	2.9	19.6	14.7	9.1	3.8

問21　過去1年の間に区内の農業にふれる機会（板橋農業まつり参加、区内産農産物消費、区民農園利用、収穫体験参加等）がありましたか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	農業イベントに来場・参加した	区内産農産物を消費した	区民農園を利用した	収穫体験に参加した	その他	いずれにも参加しなかった	無回答
1,144	73	44	21	9	10	991	23
100.0	6.4	3.8	1.8	0.8	0.9	86.6	2.0

（9）「緑と環境共生」（基本政策Ⅲ-1）

問22　「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」こと、「憩える公園・緑地が整備されている」ことについて、あなたの満足度をそれぞれ1つ選び、下の表に番号を記入してください。

「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」

全体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	無回答	『満足』	『不満』
1,144	156	386	196	64	53	120	169	542	117
100.0	13.6	33.7	17.1	5.6	4.6	10.5	14.8	47.3	10.2

「憩える公園・緑地が整備されている」

全体	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	無回答	『満足』	『不満』
1,144	159	378	178	82	66	112	169	537	148
100.0	13.9	33.0	15.6	7.2	5.8	9.8	14.8	46.9	13.0

問23　資源として、あなたが日頃からごみと分別して出しているものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	段ボール	新聞・雑誌	びん・缶	牛乳などの紙パック	紙箱・紙袋・ＯＡ用紙	乾電池	ペットボトル	食品用トレイ	古布	廃食用油	プラスチック製のボトル容器	使用済小型家電	分別していない	無回答
1,144	1,051	882	1,087	434	226	908	1,059	329	224	106	529	508	5	6
100.0	91.9	77.1	95.0	37.9	19.8	79.4	92.6	28.8	19.6	9.3	46.2	44.4	0.4	0.5

問24　あなたが、環境のために取り組んでいることは何ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	レジ袋削減のためマイバッグを利用している	過剰包装は断っている	省エネ型など環境に配慮した製品を選んでいる	節電・節水を心がけている	可能な限りリサイクル商品を購入するようにしている	食品・飲料の使い切りを心がけている	冷暖房の設定温度に注意している	その他	特にない	無回答
1,144	743	486	227	609	87	701	653	9	49	6
100.0	64.9	42.5	19.8	53.2	7.6	61.3	57.1	0.8	4.3	0.5

(10)「万全な備えの安心・安全」(基本政策Ⅲ-2)

問25　災害情報を収集するために、あなたが確保している手段について、該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	防災行政無線	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス	板橋区防災マップアプリ	東京都防災アプリ	その他防災関連アプリ（他企業）	板橋区防災ツイッター	テレビ放送	ラジオ放送	インターネット（ホームページ等）	その他	特にない	無回答
1,144	113	180	107	91	93	27	801	356	553	5	104	9
100.0	9.9	15.7	9.4	8.0	8.1	2.4	70.0	31.1	48.3	0.4	9.1	0.8

問26　あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	飲料水・非常用食糧の備蓄	生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備	消火器・消火用水の常備と点検	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認	ハザードマップの確認	家具の転倒、物の落下や移動の防止	簡易トイレの準備	家族内での連絡方法の確認	近隣住民との関係づくり	感震ブレーカーの設置	その他	特にない	無回答
1,144	665	314	223	448	234	321	206	239	81	21	9	188	17
100.0	58.1	27.4	19.5	39.2	20.5	28.1	18.0	20.9	7.1	1.8	0.8	16.4	1.5

(問26で「飲料水・非常用食糧の備蓄」を選んだ方のみ)

問26－1　およそ何日分の備蓄をしていますか。記載例を参考に(　　)内に数値を記入してください(飲料水は一人1日3ℓが目安)。

全体	3日未満	3日	4日	5日	6日	7日	8日以上	無回答	平均（日分）
665	236	262	39	35	5	37	32	19	3.65
100.0	35.5	39.4	5.9	5.3	0.8	5.6	4.8	2.9	

問27　あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
1,144	211	508	255	99	53	18	719	152
100.0	18.4	44.4	22.3	8.7	4.6	1.6	62.8	13.3

(11)「快適で魅力あるまち」(基本政策Ⅲ-3)

問28　あなたは、「ユニバーサルデザイン」についてどの程度知っていますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	具体的な事例まで知っている	言葉の意味は知っている	言葉だけは聞いたことがあった	知らなかった　今回初めて聞いた）	無回答	『認知度』
1,144	116	234	308	466	20	658
100.0	10.1	20.5	26.9	40.7	1.7	57.5

（問28で「具体的な事例まで知っている」「言葉の意味は知っている」と回答した方のみ）

問28－１　板橋区では、ユニバーサルデザインを推進していますが、取組が進んでいると思いますか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	思う	まあ思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
350	9	36	116	71	36	78	4	45	107
100.0	2.6	10.3	33.1	20.3	10.3	22.3	1.1	12.9	30.6

問29　あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
1,144	398	398	159	99	62	28	796	161
100.0	34.8	34.8	13.9	8.7	5.4	2.4	69.6	14.1

問30　板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいますが、建築物等（建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など）が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
1,144	62	222	423	288	139	10	284	427
100.0	5.4	19.4	37.0	25.2	12.2	0.9	24.8	37.4

（12）未来創造戦略

問31　未来創造戦略について、次の3つの戦略の「重要度」について、該当するものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

戦略Ⅰ　若い世代の定住化戦略「若い世代が住み続けたくなる・住みたくなるまちづくりを戦略的に展開します。」

全体	非常に高い	高い	ふつう	低い	非常に低い	無回答	『高い』	『低い』
1,144	408	293	339	39	17	48	701	56
100.0	35.7	25.6	29.6	3.4	1.5	4.2	61.3	4.9

戦略Ⅱ　健康長寿のまちづくり戦略

「元気な高齢者を増やし、地域の支えあいによる超高齢社会に適応したまちづくりを戦略的に展開します。」

全体	非常に高い	高い	ふつう	低い	非常に低い	無回答	『高い』	『低い』
1,144	282	374	381	51	22	34	656	73
100.0	24.7	32.7	33.3	4.5	1.9	3.0	57.4	6.4

戦略Ⅲ　未来へつなぐまちづくり戦略「快適で魅力あるまちづくりによって交流とにぎわいを創出し、都市としての魅力を高めます。」

全体	非常に高い	高い	ふつう	低い	非常に低い	無回答	『高い』	『低い』
1,144	183	329	461	106	23	42	512	129
100.0	16.0	28.8	40.3	9.3	2.0	3.7	44.8	11.3

(13)シティプロモーション（区の魅力情報の発信）

問32　板橋区では、「暮らしやすいが、叶うまち」をスローガンに30～44歳の女性を戦略ターゲットに設定した「板橋区シティプロモーション戦略」を策定し、魅力ある情報をわかりやすく伝える取組を「シティプロモーション」として展開しています。あなたは区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	伝わっている	まあ伝わっている	どちらともいえない	あまり伝わっていない	全く伝わっていない	無回答
1,144	7	54	218	376	431	58
100.0	0.6	4.7	19.1	32.9	37.7	5.1

『伝わっている』	『伝わっていない』
61	807
5.3	70.6

（問32で「あまり伝わっていない」、「全く伝わっていない」と回答した方のみ）

問32-1　区からの情報が伝わっていないと思う主な理由は何ですか。該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	情報を収集する時間がない	情報を得る手段が分からない	情報は収集しているが内容が分からない	区政に関心がない	無回答
807	132	496	49	114	16
100.0	16.4	61.5	6.1	14.1	2.0

問33　今後、どのような区の魅力発信を期待していますか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	区内のイベントやお祭りに関する情報	子育てに関する情報	家族で楽しめるスポットに関する情報	歴史や文化に関する情報	魅力的な飲食店に関する情報	スポーツに関する情報	その他	無回答
1,144	610	316	473	349	573	218	67	64
100.0	53.3	27.6	41.3	30.5	50.1	19.1	5.9	5.6

問34　あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	区ホームページ	広報いたばし	SNS（フェイスブック・ツイッター）	魅力発信！いたばしナビ（板橋区の情報をケーブルテレビ等で放映）	いたばしくらしガイド	区役所1階ギャラリーモールの展示	板橋区公式アプリ（「ITA・port」、「いたばし子育てナビアプリ」、「板橋区防災マップアプリ」、「ITA・マニア」）	区内に設置されている掲示板	区からの回覧板	板橋区に関する新聞記事	その他	無回答
1,144	297	615	82	34	61	15	23	433	277	151	81	44
100.0	26.0	53.8	7.2	3.0	5.3	1.3	2.0	37.8	24.2	13.2	7.1	3.8

(14)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

問35　東京2020大会にどのような形で参加したい(関わりたい)ですか。該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	スポーツイベントなどへの参加	競技会場での観戦・応援	パブリックビューイング会場での観戦・応援	大会に関連するボランティア	その他	特に参加したいと思わない	無回答
1,144	101	387	178	79	58	540	42
100.0	8.8	33.8	15.6	6.9	5.1	47.2	3.7

問36　東京2020大会終了後、区内のレガシー(遺産)として最も期待するものは何ですか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	スポーツ施設が充実している	スポーツを楽しむ機会が増えている	アスリートとふれあう機会が増えている	外国人観光客等の受け入れ態勢が整備されている	ボランティアが盛んになっている	障がい者への理解が進んでいる	国際理解・多文化理解が進んでいる	子どもたちの夢や希望を育んでいる	その他	特にない	無回答
1,144	155	175	19	40	30	127	90	179	11	205	113
100.0	13.5	15.3	1.7	3.5	2.6	11.1	7.9	15.6	1.0	17.9	9.9

(15)社会活動・地域活動等

問37　あなたは、過去1年間に以下のような社会活動・地域活動等に参加しましたか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	町会・自治会等の活動(交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等)	PTA、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動	教養講座の受講などの学習活動	高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動	趣味・スポーツなどのグループでの活動	その他	いずれにも参加していない	無回答
1,144	176	85	58	52	144	8	744	22
100.0	15.4	7.4	5.1	4.5	12.6	0.7	65.0	1.9

問38　あなたは、現在、地域で活動する団体やサークルに加入していますか。
加入状況について該当するものをそれぞれ選び、番号に○印をつけてください。

「町会・自治会」

全体	加入している	加入していない	無回答
1,144	436	652	56
100.0	38.1	57.0	4.9

「NPO団体」

全体	加入している	加入していない	無回答
1,144	32	1,018	94
100.0	2.8	89.0	8.2

「趣味・スポーツ等のサークル」

全体	加入している	加入していない	無回答
1,144	168	907	69
100.0	14.7	79.3	6.0

また、「加入していない」と回答した方はその主な理由を3つまで選び、下の表に番号を記入してください。

「町会・自治会」

全体	加入したい団体があることを知らないため	加入方法がわからないため	加入のための手続き等が面倒なため	加入するきっかけがないため	加入しても活動のペースが合わないため	忙しくて暇がないため	金銭的な負担を避けたいため	活動のための知識や技術がないため	一緒に活動する仲間がいないため	加入の必要性を感じていないため	そもそも団体の活動に関心がないため	人づきあいをわずらわしく感じるため	その他	無回答
652	106	91	18	183	79	246	78	29	48	169	95	107	21	38
100.0	16.3	14.0	2.8	28.1	12.1	37.7	12.0	4.4	7.4	25.9	14.6	16.4	3.2	5.8

「NPO団体」

全体	加入したい団体があることを知らないため	加入方法がわからないため	加入のための手続き等が面倒なため	加入するきっかけがないため	加入しても活動のペースが合わないため	忙しくて暇がないため	金銭的な負担を避けたいため	活動のための知識や技術がないため	一緒に活動する仲間がいないため	加入の必要性を感じていないため	そもそも団体の活動に関心がないため	人づきあいをわずらわしく感じるため	その他	無回答
1,018	291	137	26	250	92	350	92	134	80	253	178	105	18	57
100.0	28.6	13.5	2.6	24.6	9.0	34.4	9.0	13.2	7.9	24.9	17.5	10.3	1.8	5.6

「趣味・スポーツ等のサークル」

全体	加入したい団体があることを知らないため	加入方法がわからないため	加入のための手続き等が面倒なため	加入するきっかけがないため	加入しても活動のペースが合わないため	忙しくて暇がないため	金銭的な負担を避けたいため	活動のための知識や技術がないため	一緒に活動する仲間がいないため	加入の必要性を感じていないため	そもそも団体の活動に関心がないため	人づきあいをわずらわしく感じるため	その他	無回答
907	227	110	28	211	127	322	148	51	130	183	111	111	32	49
100.0	25.0	12.1	3.1	23.3	14.0	35.5	16.3	5.6	14.3	20.2	12.2	12.2	3.5	5.4

問39　あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が必要だと思いますか。
該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	活動情報の積極的なＰＲ	若い世代への参加の呼びかけ	気軽に参加しやすいイベントの開催	イベントなどの企画段階からの参加のしやすさ	地域の課題を話し合える場	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること	近所の人とのつながりを持てるようにすること	リーダー養成や組織づくりの勉強会	その他	無回答
1,144	509	317	665	125	90	423	349	42	28	52
100.0	44.5	27.7	58.1	10.9	7.9	37.0	30.5	3.7	2.4	4.5

問40　あなたは、過去１年の間に、地域活動の拠点である地域センター（区内18か所）を利用しましたか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	利用した	利用しなかった	そもそも地域センターを知らない	利用したか覚えていない	無回答
1,144	219	597	221	83	24
100.0	19.1	52.2	19.3	7.3	2.1

（問40で「利用した」と回答した方のみ）
問40－１　利用した目的として該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	地域行事等で集会室等を予約・利用するため	私用で集会室等を予約・利用するため	地域交流イベントに参加するため	区政に関するチラシ、申請書等を入手するため	区政等の各種相談をするため	古い保険証や受給者証の返却など区役所に書類を提出するため	その他	無回答
219	62	67	45	28	12	36	21	5
100.0	28.3	30.6	20.5	12.8	5.5	16.4	9.6	2.3

問41　地域センターにどのような区民サービスがあれば、あなたは地域センターを利用しますか。
該当するものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

全体	集会室等が利用できること	地域交流イベントが開催されること	区政に関するチラシ・申請書等が入手できること	区政等の各種相談ができること	地域活動団体へのサポートが行われること	地域（主に区内）で活動するＮＰＯ、趣味、スポーツなどのサークルに関する情報を入手できること	ボランティアに関する情報を入手できること	その他	特にない	無回答
1,144	155	182	149	60	41	257	119	31	459	128
100.0	13.5	15.9	13.0	5.2	3.6	22.5	10.4	2.7	40.1	11.2

（16）今後の行政サービスと負担のあり方

問42　あなたは、日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられますか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	感じられる	まあ感じられる	あまり感じられない	感じられない	わからない	無回答
1,144	62	217	381	225	231	28
100.0	5.4	19.0	33.3	19.7	20.2	2.4

『感じられる』	『感じられない』
279	606
24.4	53.0

問43　あなたは、区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えますか。
あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する	行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する	個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する	行政サービスを今より縮小し、区民の負担も軽減する	その他	無回答
1,144	149	214	373	221	124	63
100.0	13.0	18.7	32.6	19.3	10.8	5.5

（17）板橋区職員に期待する能力・資質

問44　あなたは過去１年間で、区役所の窓口（電話含む）を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接したりする機会がありましたか。
該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	接する機会があった	接する機会がなかった	無回答
1,144	640	468	36
100.0	55.9	40.9	3.1

（問44で「接する機会があった」と回答した方のみ）
問44－１　その際に接した職員の対応に関する満足度について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	『満足』	『不満』
640	148	266	110	51	24	41	414	75
100.0	23.1	41.6	17.2	8.0	3.8	6.4	64.7	11.8

（問44で「接する機会があった」と回答した方のみ）
問44－２　板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。それぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。
（1）自分の行動・発言に責任を持っている

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	97	251	133	39	27	77	16	348	66
100.0	15.2	39.2	20.8	6.1	4.2	12.0	2.5	54.4	10.3

（2）もてなしの心を持ち、柔軟な対応ができている

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	95	258	148	54	33	37	15	353	87
100.0	14.8	40.3	23.1	8.4	5.2	5.8	2.3	55.1	13.6

（3）コスト意識を持っている

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	31	109	211	63	44	166	16	140	107
100.0	4.8	17.0	33.0	9.8	6.9	25.9	2.5	21.8	16.7

(4)高い倫理観を持ち、法令を遵守している

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	49	179	188	29	26	144	25	228	55
100.0	7.7	28.0	29.4	4.5	4.1	22.5	3.9	35.7	8.6

(5)誰に対しても公平・誠実な態度で接している

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	88	266	131	36	33	72	14	354	69
100.0	13.8	41.6	20.5	5.6	5.2	11.3	2.2	55.4	10.8

(6)積極的に職務に取り組んでいる

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	78	220	171	60	28	68	15	298	88
100.0	12.2	34.4	26.7	9.4	4.4	10.6	2.3	46.6	13.8

(7)事務処理に関して迅速な対応ができている

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	97	251	152	52	33	41	14	348	85
100.0	15.2	39.2	23.8	8.1	5.2	6.4	2.2	54.4	13.3

（8）職務に関する十分な知識を持っている

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	80	267	135	48	27	67	16	347	75
100.0	12.5	41.7	21.1	7.5	4.2	10.5	2.5	54.2	11.7

（9）わかりやすく説明ができている

全体	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	『思う』	『思わない』
640	116	266	138	44	33	31	12	382	77
100.0	18.1	41.6	21.6	6.9	5.2	4.8	1.9	59.7	12.1

問45　あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。該当するものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

全体	自分の行動・発言に責任を持っている職員	もてなしの心を持ち、区民の立場に立って柔軟な対応ができる職員	コスト意識を持っている職員	高い倫理観を持ち、法令を遵守する職員	誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員	積極的に職務に取り組む職員	事務処理に関して迅速な対応ができる職員	職務に関する十分な知識を持ち、区の課題を解決する職員	わかりやすく説明ができる職員	無回答
1,144	366	466	120	103	574	226	322	348	528	57
100.0	32.0	40.7	10.5	9.0	50.2	19.8	28.1	30.4	46.2	5.0

（18）その他

問46「マイナンバー（個人番号）カード」の取得状況について、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	取得する予定はない	まだ持っていないが、取得予定である	すでに持っている	わからない	無回答
1,144	406	226	378	108	26
100.0	35.5	19.8	33.0	9.4	2.3

（問46で「取得する予定はない」と回答した方のみ）
問46－１　その理由として該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	現時点で必要がない	メリットがよくわからない	個人情報の漏えいや不正利用に対する不安がある	申請や受領などの手続きが面倒	申請方法がよくわからない	その他	特に理由はない	無回答
406	182	68	97	27	1	6	9	16
100.0	44.8	16.7	23.9	6.7	0.2	1.5	2.2	3.9

問47　板橋区基本構想が掲げる将来像の実現に向けた基本目標や基本政策の方向性は、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択されたSDGs（えすでぃーじーず）（持続可能な開発目標）と軌を一にしており、各施策の推進はSDGsのゴールにつながっています。SDGsについて、該当するものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	具体的な内容まで知っている	言葉の意味は知っている	言葉だけは聞いたことがあった	知らなかった　今回初めて聞いた）	無回答
1,144	54	75	149	815	51
100.0	4.7	6.6	13.0	71.2	4.5

『認知度』
278
24.3

（問47で「具体的な内容まで知っている」「言葉の意味は知っている」と回答した方のみ）
問47－１　区がSDGs の17の国際目標の中で重点的に取り組むべきものを3つ選び、番号に○印をつけてください。

全体	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に福祉と健康を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基礎をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう
129	40	9	47	40	12	12	31	30	12	15	51	15	28	7
100.0	31.0	7.0	36.4	31.0	9.3	9.3	24.0	23.3	9.3	11.6	39.5	11.6	21.7	5.4

陸の豊かさも守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	無回答
2	27	3	1
1.6	20.9	2.3	0.8

問48　板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つまで選んで下の表に番号を記入してください。

	全体	子育て	学校教育	健康・衛生	生涯学習・社会教育	スポーツ振興	住宅施策	高齢者社会参加・介護予防	介護・高齢福祉・見守り	障がい者福祉	生活保護・生活困窮者支援	男女平等・多様性の尊重	就労支援	消費生活トラブル防止
１～５位合計	1,144	554	355	261	112	63	156	254	444	133	129	69	203	57
	100.0	48.4	31.0	22.8	9.8	5.5	13.6	22.2	38.8	11.6	11.3	6.0	17.7	5.0
１位	1,144	317	88	63	10	5	31	56	94	15	19	7	24	3
	100.0	27.7	7.7	5.5	0.9	0.4	2.7	4.9	8.2	1.3	1.7	0.6	2.1	0.3
２位	1,144	88	146	57	24	2	35	71	124	21	30	14	44	8
	100.0	7.7	12.8	5.0	2.1	0.2	3.1	6.2	10.8	1.8	2.6	1.2	3.8	0.7
３位	1,144	66	56	64	27	17	39	50	100	40	29	16	50	9
	100.0	5.8	4.9	5.6	2.4	1.5	3.4	4.4	8.7	3.5	2.5	1.4	4.4	0.8
４位	1,144	50	41	39	26	19	24	46	69	33	26	15	45	22
	100.0	4.4	3.6	3.4	2.3	1.7	2.1	4.0	6.0	2.9	2.3	1.3	3.9	1.9
５位	1,144	33	24	38	25	20	27	31	57	24	25	17	40	15
	100.0	2.9	2.1	3.3	2.2	1.7	2.4	2.7	5.0	2.1	2.2	1.5	3.5	1.3

	コミュニティ・協働	商業振興	中小企業支援・工業振興	都市農業振興	観光振興	文化・芸術・国際交流	防災	防犯	交通安全（自転車対策等）	市街地整備・まちづくり	緑・公園・景観	環境・清掃・リサイクル	道路・交通	情報公開・区民参加
１～５位合計	34	162	116	16	54	60	298	440	182	212	221	198	177	68
	3.0	14.2	10.1	1.4	4.7	5.2	26.0	38.5	15.9	18.5	19.3	17.3	15.5	5.9
１位	2	33	11	－	3	6	62	62	22	26	20	20	16	6
	0.2	2.9	1.0	－	0.3	0.5	5.4	5.4	1.9	2.3	1.7	1.7	1.4	0.5
２位	6	32	18	7	7	8	62	83	27	40	25	23	23	9
	0.5	2.8	1.6	0.6	0.6	0.7	5.4	7.3	2.4	3.5	2.2	2.0	2.0	0.8
３位	6	38	28	4	14	16	77	106	30	40	35	35	29	6
	0.5	3.3	2.4	0.3	1.2	1.4	6.7	9.3	2.6	3.5	3.1	3.1	2.5	0.5
４位	7	31	31	－	19	10	53	118	55	52	59	54	39	12
	0.6	2.7	2.7	－	1.7	0.9	4.6	10.3	4.8	4.5	5.2	4.7	3.4	1.0
５位	13	28	28	5	11	20	44	71	48	54	82	66	70	35
	1.1	2.4	2.4	0.4	1.0	1.7	3.8	6.2	4.2	4.7	7.2	5.8	6.1	3.1

	シティプロモーション	ＩＣＴ化	行財政改革	無回答
１～５位合計	25	58	83	87
	2.2	5.1	7.3	7.6
１位	4	6	26	87
	0.3	0.5	2.3	7.6
２位	2	8	10	90
	0.2	0.7	0.9	7.9
３位	3	15	5	94
	0.3	1.3	0.4	8.2
４位	7	10	12	120
	0.6	0.9	1.0	10.5
５位	9	19	30	135
	0.8	1.7	2.6	11.8

第５章　　調査票

ＩＤ	

令和元年度 板橋区 区民意識意向調査

ご記入に際してのお願い（郵送での回答の場合）

※インターネットを利用した回答方法については「令和元年度 板橋区
区民意識意向調査へのご協力のお願い」裏面を参照してください。

１　アンケート調査票の記入方法

◆封筒の**あて名に表示のあるご本人様**がご記入ください。ただし、事情により、ご本人様のご記入が難しい場合には、ご本人さまの意向をご家族の方が代わりにご記入いただいても構いません。

◆ご回答は、質問ごとの説明にしたがい、このアンケート調査票に**直接ご記入**ください。選択肢の中からあなた様ご自身のお考えに最も近い番号を選び、質問文に示された数の範囲内で**番号に○印**をつけ、又は、**所定の欄に番号、数値を記入**してください。

２　アンケート調査票の返送方法

◆誠に勝手なお願いですが、ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**９月 30 日（月）まで**に、郵便ポストに投函してください。なお、**インターネットを利用して回答された方は、この調査票を返送していただく必要はありません**。

◆返信用封筒に切手は不要です。また、**お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません**。

◆このアンケート調査の集計作業につきましては、㈱タイム・エージェントに委託しておりますので、返信用封筒のあて先が㈱タイム・エージェントとなっている旨をご了承願います。

３　本調査に関するお問い合わせ先

板橋区 政策経営部 政策企画課 総合調整グループ
所在地：〒173－8501　東京都板橋区板橋 2－66－1（板橋区役所 北館 4 階）
電　話：03－3579－2011（直通）　　FAX：03－3579－4211
E-mail：sk-schosei@city.itabashi.tokyo.jp

●　あなたご自身のことをお伺いします　●

問１　次の各質問について、該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

ア　あなたの性別は、	１　男性	２　女性	３　回答しない
イ　あなたの年齢は、	１　10 歳代	４　40 歳代	７　65～69 歳
	２　20 歳代	５　50 歳代	８　70～74 歳
	３　30 歳代	６　60～64 歳	９　75 歳以上
ウ　あなたがお住まいの地域は、 ※お住まいの地域がわからない場合は、別紙１「お住まいの地	１　板　橋 地域(板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見)		
	２　常盤台 地域(大谷口・常盤台・桜川)		
	３　志　村 地域(清水・志村坂上・中台・前野)		
	４　赤　塚 地域(下赤塚・成増・徳丸)		

域について」をご覧ください。	５　高島平 地域(蓮根・舟渡・高島平) ※（　）内は地区名です
エ　あなたの国籍は、	１　日本　　２　日本以外
オ　あなたの職業は、	１　会社員・公務員　４　主婦・主夫　７　無職 ２　自営業・自由業　５　学生　８　その他 ３　会社役員　６　アルバイト・パート　（　　）
カ　あなたのお宅の世帯の構成は、	１　単身世帯　４　二世代同居(親と同居) ２　夫婦のみ　５　三世代同居 ３　二世代同居(子と同居)　６　その他(　　)
（カで「１」以外を回答した方のみ） キ　あなた自身を除き、あなたのお宅に同居する家族は、（複数回答可）	１　未就学児　４　65～74 歳の家族 ２　小学生　５　75 歳以上の家族 ３　中学生　６　1～5 以外の家族と同居している
ク　あなたのお住まいの家の住居形態は、 ※長屋建(テラスハウス含む)は一戸建に含みます。	１　一戸建（持ち家）　５　都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅 ２　一戸建（賃貸）　６　社宅・寮・間借り・住込み ３　マンション（持ち家）　７　その他（ケア付住宅など） ４　マンション・アパート(賃貸)
ケ　あなたは板橋区にお住まいになって通算で何年になりますか。	１　１年未満　４　10 年以上 20 年未満(「６　生まれたときから」を除く) ２　１年以上５年未満　５　20 年以上(「６　生まれたときから」を除く) ３　５年以上 10 年未満　６　生まれたときから　⇒問２へ
（ケで「６」以外を回答した方のみ） コ　あなたは、板橋区に来られる直前にどちらにお住まいでしたか。	１　東京 23 区内（板橋区を除く）　３　埼玉県内 ２　東京都内の他市町村　４　千葉県・神奈川県内 ５　その他（海外を含む）

●　区での住み心地に関してお答えください　●

問２　板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

１　住みやすい	３　あまり住みやすくない
２　まあ住みやすい	４　住みにくい

問３　あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。該当するものを１つ選び、番号に○印をつけてください。

１　今後も区内に住み続けたい	２　区外に移り住みたい
問３－１へ	問３－２、３－３へ

（問３で「１　今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ）

▶ 問３－１　そう思った主な理由は何ですか。該当するものを**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問４へお進みください。**

1	子育てしやすい環境であるため	12	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため
2	子どもの教育環境が充実しているため	13	災害（震災や水害）対策が充実しているため
3	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	14	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため
4	図書館など生涯学習※のための環境が充実しているため	15	環境を守り資源を大切にしているため
5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	16	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため
6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	17	職場・学校が近いため
7	地域コミュニティが親しみやすいため	18	楽しい祭り・イベントがあるため
8	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	19	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため
9	にぎわいのある商店街があるため	20	区のイメージが良いため
10	文化活動に親しみやすい環境であるため	21	家族や親戚が近くに住んでいるため
11	治安が良く安心して暮らせるため	22	長年住んでいるため
		23	その他（　　）

※生涯学習：年齢に関係なく生涯にわたり、一人ひとりが必要に応じて、自分にあった場や機会、方法などを選んで行う学び。図書館の利用や講座の受講、仲間とのサークル活動などはその例です。

（問３で「２　区外に移り住みたい」と回答した方のみ）

▶ 問３－２　板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問３－３へお進みください。**

1	東京23区内（板橋区を除く）	3	埼玉県内	5	その他（海外を含む）
2	東京都内の他市町村	4	千葉県・神奈川県内		

（問３で「２　区外に移り住みたい」と回答した方のみ）

▶ 問３－３　そう思った主な理由は何ですか。該当するものを**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問４へお進みください。**

板橋区よりも**区外の方が**、

1	子育てしやすい環境であるため	12	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため
2	子どもの教育環境が充実しているため	13	災害（震災や水害）対策が充実しているため
3	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	14	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため
4	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	15	環境を守り資源を大切にしているため
5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	16	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため
6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	17	職場・学校が近いため
7	地域コミュニティが親しみやすいため	18	楽しい祭り・イベントがあるため
8	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	19	消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため
9	にぎわいのある商店街があるため	20	イメージが良いため
10	文化活動に親しみやすい環境であるため	21	家族や親戚の住居に近いため
11	治安が良く安心して暮らせるため	22	その他（　　）

問４　あなたは板橋区に「愛着」と「誇り」を感じますか。該当するものをそれぞれ**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

	感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない
愛　着	1	2	3	4
誇　り	1	2	3	4

（問４で「１　感じる」「２　まあ感じる」と回答した方のみ）

▶ 問４－１　「愛着を感じる」「誇りを感じる」理由を**それぞれ５つまで**選んで**下の表に番号を記入**してください。回答後、**問５へお進みください。**

愛着を感じる理由　⇒					

誇りを感じる理由　⇒					

1　子育てしやすい環境であるため
2　子どもの教育環境が充実しているため
3　健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため
4　図書館など生涯学習のための環境が充実しているため
5　不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため
6　医療・福祉・介護サービスが充実しているため
7　地域コミュニティが親しみやすいため
8　地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため
9　にぎわいのある商店街があるため
10　文化活動に親しみやすい環境であるため
11　治安が良く安心して暮らせるため
12　伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため
13　災害（震災や水害）対策が充実しているため
14　緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため
15　環境を守り資源を大切にしているため
16　通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため
17　職場・学校が近いため
18　楽しい祭り・イベントがあるため
19　消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため
20　区のイメージが良いため
21　家族や親戚が近くに住んでいるため
22　長年住んでいるため
23　その他（　　）

●　「子育て安心」（基本政策Ⅰ－１※）に関してお答えください　●

※問５～問 30 までは「板橋区基本計画 2025」の施策体系に即した質問となっています。詳細は別紙２をご参照ください。

問５　子育て世帯の方々が、地域において安心して子育てするために、あなたが重要だと思うものを**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。

1　身近に悩みを相談する場があること
2　在宅で子育てできる支援体制
3　住宅や生活環境
4　保育サービスの充実
5　子育てに伴う経済的負担の軽減
6　子どもが安心して遊べる場があること
7　妊娠期からのサポート体制
8　子育てと仕事の両立支援
9　その他（　　）
10　特にない

問６　地域における子育てを支える担い手として、あなたが参加してみたいと思うものはありますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　子育てに関する悩みについて相談にのる活動	６　学校行事や校外学習等をサポートする活動
２　子育て関連情報を提供する活動	７　子どもの一時預かりなど、直接的な支援をする活動
３　登下校時等の声かけや見守り活動	８　その他（　　）
４　子どもに勉強を教える活動	９　特にない
５　子育てイベントの企画・運営	

問７　子どもの貧困対策として、重要だと思うものを**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　確かな学力の定着・向上と教育の機会均等	８　地域人材の育成支援・活用
２　健康増進と生活習慣の形成支援	９　子どもの居場所づくり
３　若者の就労支援	10　相談窓口の充実
４　親の就労支援	11　支援制度の周知
５　子育てしやすい環境づくり	12　その他（　　）
６　経済的支援の充実	13　特にない
７　家庭教育支援の充実	

●　「魅力ある学び支援」（基本政策Ⅰ－２）に関してお答えください　●

問８　子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通してはぐくまれていると感じますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　感じる	３　どちらともいえない	５　感じない
２　まあ感じる	４　あまり感じない	６　わからない

問９　あなたが学校教育を通じて、子どもたちに身に付けてほしいと思う力は何ですか。該当するものを**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　基礎学力	７　もてなしの心※
２　主体的・能動的に行動する力	８　体力
３　好奇心や探究心	９　外国語によるコミュニケーション能力
４　規範意識	10　パソコンなどの知識
５　責任感	11　多様性を認める心
６　仲間を思いやる心	12　その他（　　）

※もてなしの心：相手の立場、目線に立って心温まる対応をすること（相手に対し誠意を持って敬い、気遣う心のこと）です。

問 10　生涯学習活動に取り組むための環境づくりとして、あなたが重要だと思うことを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　講座や教室等の情報が手に入りやすい	５　一緒に楽しむ仲間が作りやすい
２　講座や教室等の時間帯が選びやすい	６　始めるきっかけが豊富にある
３　講座や教室等の費用がかからない	７　その他（　　）
４　身近に活動する場所がある	

●　「安心の福祉・介護」（基本政策Ⅰ－３）に関してお答えください　●

問11　あなたは、自分自身が介護を必要とする状態になることに対して、不安を感じますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　感じる	３　どちらともいえない	５　感じない
２　まあ感じる	４　あまり感じない	

問 12 へ

（問11で「１　感じる」「２　まあ感じる」と回答した方のみ）

▶問11－１　その理由として該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問12へお進みください。**

１　家族に迷惑をかける	５　介護サービスの内容がよくわからない
２　金銭的に余裕がない	６　住み慣れた家やまちに住み続けることが難しくなる
３　介護施設に入りたくても入れない	７　その他（　　）
４　介護してくれる人がいない	

▶問 12　介護や医療が必要になっても住み慣れた地域で住み続けるために、あなたが重要だと思う取組を**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　介護サービス提供者と利用者との円滑な結びつけ	５　介護予防サービスの充実
２　在宅医療と介護サービス提供機関との切れ目ない連携	６　高齢者向け住宅の整備
３　認知症患者を地域で支える取組	７　地域密着型の介護サービスを提供する仕組みづくり
４　ひとり暮らし高齢者などを地域で見守る体制の充実	８　元気な高齢者を増やすための社会参加活動への支援
	９　その他（　　）

●　「豊かな健康長寿社会（基本政策Ⅱ－１）」に関してお答えください　●

問 13　板橋区が実施している「いたばし健康づくりプロジェクト」について、該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　参加したことがある	３　聞いたことはあるが、内容はわからない
２　参加したことはないが、内容を知っている	４　聞いたことがない　**⇒問14へ**

問 13－１へ

（問13で「１」～「３」と回答した方のみ）

▶問13－１　「いたばし健康づくりプロジェクト」を主にどのような方法で知りましたか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問14へお進みください。**

１	区ホームページ	５	区内に設置されている掲示板
２	広報いたばし	６	友人・知人から聞いた
３	ＳＮＳ（フェイスブック・ツイッター）	７	その他（　　）
４	区の刊行物	８	覚えていない

問 14　あなたが健康のために普段から行っていることは何ですか。該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

１	健康診断や人間ドックを受診している	７	歯や口腔のケアに気をつけている
２	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている	８	お酒の飲みすぎに注意している
３	適度な運動をしている	９	睡眠を十分とるようにしている
４	栄養バランスに気をつけて食事をしている	10	自分なりのリフレッシュ方法を実践している
５	規則正しく食事をとるようにしている	11	その他（　　）
６	たばこを吸わないようにしている	12	特に行っていない

●　「心躍るスポーツ・文化」（基本政策Ⅱ－２）に関してお答えください　●

問 15　あなたが過去１年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

１	音楽	７	茶道・華道・書道などの生活文化
２	演劇・舞踏・舞踊	８	囲碁・将棋などの国民娯楽
３	美術・写真	９	有形・無形文化財
４	映画・アニメーションなどのメディア芸術	10	その他（　　）
５	歌舞伎・雅楽などの伝統芸能	11	１年間全くふれていない
６	落語・漫談・歌唱などの芸能		

問 16　過去１年間における、異なる国籍や文化をもつ方とのコミュニケーション（あいさつや世間話、道案内等）について、該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

１	あいさつをした	６	仕事で関わりがあった
２	世間話をした	７	学校で交流した
３	道案内をした	８	その他（　　）
４	事業・イベント等で交流した	９	コミュニケーションは全くなかった
５	親族又は友人とコミュニケーションがあった		

問 17　あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか（ハイキング・軽い体操・ウォーキングなども含む）。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　週に３回以上	３　月に１回～２回程度	５　半年に１回程度
２　週に１回～２回程度	４　３か月に１回程度	６　行っていない

問 18　板橋区は平和都市宣言をしていますが、平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについて、あなたはどう思いますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　大切だと思う	４　それほど大切だと思わない
２　まあ大切だと思う	５　大切だと思わない
３　どちらともいえない	

●　「光輝く板橋ブランド・産業活力」（基本政策Ⅱ－３）に関してお答えください　●

問 19　いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ**１つ**選び、下の表に**番号を記入**してください。

１　満足	３　どちらともいえない	５　不満
２　まあ満足	４　やや不満	６　参加したことがない

いたばし花火大会		板橋区民まつり		板橋農業まつり	

問 20　あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　賑やかで活気がある	３　個性的な店が多い	５　人通りが少ない
２　身近で便利である	４　空き店舗が多い	６　その他（　　）

問 21　過去１年の間に区内の農業にふれる機会（板橋農業まつり参加、区内産農産物消費、区民農園利用、収穫体験参加等）がありましたか。該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　農業イベント※に来場・参加した	４　収穫体験に参加した
２　区内産農産物を消費した	５　その他（　　）
３　区民農園を利用した	６　いずれにも参加しなかった

※農業イベント：「板橋農業まつり」「さつきフェスティバル」「七草がゆの集い」「植木市」のことです。

●　「緑と環境共生」（基本政策Ⅲ－１）に関してお答えください　●

問 22　「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」こと、「憩える公園・緑地が整備されている」ことについて、あなたの満足度をそれぞれ**１つ**選び、下の表に**番号を記入**してください。

１　満足	３　どちらともいえない	５　不満
２　まあ満足	４　やや不満	６　わからない

緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている		憩える公園・緑地が整備されている	

問23　資源として、あなたが日頃からごみと分別して出しているものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　段ボール	６　乾電池	11　プラスチック製のボトル容器
２　新聞・雑誌	７　ペットボトル	12　使用済小型家電
３　びん・缶	８　食品用トレイ	13　分別していない
４　牛乳などの紙パック	９　古布	
５　紙箱・紙袋・ＯＡ用紙	10　廃食用油	

問24　あなたが、環境のために取り組んでいることは何ですか。該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　レジ袋削減のためマイバッグを利用している	５　可能な限りリサイクル商品を購入するようにしている
２　過剰包装は断っている	６　食品・飲料の使い切りを心がけている
３　省エネ型など環境に配慮した製品を選んでいる	７　冷暖房の設定温度に注意している
４　節電・節水を心がけている	８　その他（　　）
	９　特にない

●　「万全な備えの安心・安全」（基本政策Ⅲ－２）に関してお答えください　●

問 25　災害情報を収集するために、あなたが確保している手段について、該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　防災行政無線	７　テレビ放送
２　板橋区防災・緊急情報メール配信サービス	８　ラジオ放送
３　板橋区防災マップアプリ	９　インターネット（ホームページ等）
４　東京都防災アプリ	10　その他（　　）
５　その他防災関連アプリ（他企業）	11　特にない
６　板橋区防災ツイッター	

問 26　あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。**【「１　飲料水・非常用食糧の備蓄」以外を選択された方は問 27 へお進みください。】**

１　飲料水・非常用食糧の備蓄	６　家具の転倒、物の落下や移動の防止
２　生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備	７　簡易トイレの準備
３　消火器・消火用水の常備と点検	８　家族内での連絡方法の確認
４　一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認	９　近隣住民との関係づくり
５　ハザードマップの確認	10　感震ブレーカーの設置
	11　その他（　　）
	12　特にない

（問 26 で「１　飲料水・非常用食糧の備蓄」を選んだ方のみ）

▶問 26－１　およそ何日分の備蓄をしていますか。記載例を参考に**（　　）内に数値を記入してください**（飲料水は一人１日３ℓが目安）。回答後、**問 27 へお進みください。**

（　　）日分　　【記載例】（　３　）日分

問 27　あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　感じる	３　どちらともいえない	５　感じない
２　まあ感じる	４　あまり感じない	

●　「快適で魅力あるまち」（基本政策Ⅲ－３）に関してお答えください　●

問 28　あなたは、「ユニバーサルデザイン※」についてどの程度知っていますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　具体的な事例まで知っている	３　言葉だけは聞いたことがあった
２　言葉の意味は知っている	４　知らなかった（今回初めて聞いた）

※ユニバーサルデザイン：年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、一人ひとりの多様性が尊重され、あらゆる場面で社会参加できる環境を整えることです。

問 29 へ

（問 28 で「１　具体的な事例まで知っている」「２　言葉の意味は知っている」と回答した方のみ）

▶問28－１　板橋区では、ユニバーサルデザインを推進していますが、取組が進んでいると思いますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問29へお進みください。**

１　思う	３　どちらともいえない	５　思わない
２　まあ思う	４　あまり思わない	６　わからない

問 29　あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　感じる	３　どちらともいえない	５　感じない
２　まあ感じる	４　あまり感じない	

問 30　板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいますが、建築物等（建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など）が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　感じる	３　どちらともいえない	５　感じない
２　まあ感じる	４　あまり感じない	

●　未来創造戦略に関してお答えください　●

板橋区では、「板橋区基本計画2025」において持続可能な区政の発展のため「魅力創造発信都市」と「安心安全環境都市」を将来の都市像として「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちをめざし、限られた経営資源を集中的に投入する「未来創造戦略」を定めています。

問31　未来創造戦略について、次の３つの戦略の「重要度」について、該当するものをそれぞれ**１つずつ**選び、**番号に○印**をつけてください。

限られた経営資源を集中的に投入する「未来創造戦略」	重要度				
	非常に高い	高い	ふつう	低い	非常に低い
戦略Ⅰ　若い世代の定住化戦略 **「若い世代が住み続けたくなる・住みたくなるまちづくりを戦略的に展開します。」** ○保育園の待機児童解消や認定こども園の推進 ○子どもの貧困や、児童虐待、いじめなどの課題解決に向けて、様々な分野で連携した取組の強化　など	１	２	３	４	５
戦略Ⅱ　健康長寿のまちづくり戦略 **「元気な高齢者を増やし、地域の支えあいによる超高齢社会に適応したまちづくりを戦略的に展開します。」** ○地域貢献・ボランティア活動に、高齢者が生きがいを持って活動するまちづくりの推進 ○医療・介護の連携や地域全体で支える見守り・認知症支援などの取組　など	１	２	３	４	５
戦略Ⅲ　未来へつなぐまちづくり戦略 **「快適で魅力あるまちづくりによって交流とにぎわいを創出し、都市としての魅力を高めます。」** ○プロスポーツやトップアスリート・大学などと連携し、スポーツを「する・観る・支える」環境づくりによる、感動とにぎわいの創出 ○木造住宅密集地域の解消、建物の耐震化・不燃化、増加する空き家等老朽建築物対策による安心・安全なまちづくり　など	１	２	３	４	５

●　シティプロモーション（区の魅力情報の発信）に関してお答えください　●

問 32　板橋区では、「暮らしやすいが、叶うまち」をスローガンに 30～44 歳の女性を戦略ターゲットに設定した「板橋区シティプロモーション戦略」を策定し、魅力ある情報をわかりやすく伝える取組を「シティプロモーション」として展開しています。あなたは区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。**【「１」～「３」を選択された方は問 33 へお進みください】**

１　伝わっている	３　どちらともいえない	５　全く伝わっていない
２　まあ伝わっている	４　あまり伝わっていない	

（問32で「４　あまり伝わっていない」、「５　全く伝わっていない」と回答した方のみ）

問32-1　区からの情報が伝わっていないと思う主な理由は何ですか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問33へお進みください。**

１　情報を収集する時間がない	３　情報は収集しているが内容が分からない
２　情報を得る手段が分からない	４　区政に関心がない

問 33　今後、どのような区の魅力発信を期待していますか。該当するものを**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　区内のイベントやお祭りに関する情報	６　スポーツに関する情報
２　子育てに関する情報	７　その他（　　）
３　家族で楽しめるスポットに関する情報	
４　歴史や文化に関する情報	
５　魅力的な飲食店に関する情報	

問 34　あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　区ホームページ	７　板橋区公式アプリ（「ITA-Port」、「いたばし子育てナビアプリ」、「板橋区防災マップアプリ」、「ITA - マニア」）
２　広報いたばし	８　区内に設置されている掲示板
３　ＳＮＳ（フェイスブック・ツイッター）	９　区からの回覧板
４　魅力発信！いたばしナビ（板橋区の情報をケーブルテレビ等で放映）	10　板橋区に関する新聞記事
５　いたばしくらしガイド	11　その他（　　）
６　区役所１階ギャラリーモールの展示	

●　東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関してお答えください　●

問35　東京2020大会にどのような形で参加したい（関わりたい）ですか。該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

1　スポーツイベントなどへの参加	4　大会に関連するボランティア
2　競技会場での観戦・応援	5　その他（　　）
3　パブリックビューイング※会場での観戦・応援	6　特に参加したいと思わない

※パブリックビューイング：試合の行われていないスタジアム、特設会場などに大型スクリーンを設置し、大勢でスポーツなどを観戦することです。

問36　東京2020大会終了後、区内のレガシー（遺産）として最も期待するものは何ですか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

1　スポーツ施設が充実している	6　障がい者への理解が進んでいる
2　スポーツを楽しむ機会が増えている	7　国際理解・多文化理解が進んでいる
3　アスリートとふれあう機会が増えている	8　子どもたちの夢や希望を育んでいる
4　外国人観光客等の受け入れ態勢が整備されている	9　その他（　　）
5　ボランティアが盛んになっている	10　特にない

●　社会活動・地域活動等に関してお答えください　●

問37　あなたは、過去１年間に以下のような社会活動・地域活動等に参加しましたか。該当するものを**すべて**選び、**番号に○印**をつけてください。

1　町会・自治会※等の活動（交通安全、防犯・防災、清掃・環境美化、青少年健全育成等）	4　高齢者・障がい者・子育て支援などのボランティア・社会奉仕活動
2　ＰＴＡ、あいキッズ、いきいき寺子屋などの学校関係の活動	5　趣味・スポーツなどのグループでの活動
3　教養講座の受講などの学習活動	6　その他（　　）
	7　いずれにも参加していない

※町会・自治会：古くから地縁による組織として、防犯、防火・防災、青少年健全育成、環境美化及び地域住民の親睦など、地域コミュニティの活性化や福祉の向上に区と協働して取り組んでいる団体のことです。

問38　あなたは、現在、地域で活動する団体やサークルに加入していますか。加入状況について該当するものをそれぞれ選び、**番号に○印**をつけてください。また、**「２　加入していない」と回答した方は**その主な理由を**３つまで**選び、**下の表に番号を記入してください。**

町会・自治会	ＮＰＯ※団体	趣味・スポーツ等のサークル
１　加入している	１　加入している	１　加入している
２　加入していない （理由）	２　加入していない （理由）	２　加入していない （理由）

１　加入したい団体があることを知らないため
２　加入方法がわからないため
３　加入のための手続き等が面倒なため
４　加入するきっかけがないため
５　加入しても活動のペースが合わないため
６　忙しくて暇がないため
７　金銭的な負担を避けたいため
８　活動のための知識や技術がないため
９　一緒に活動する仲間がいないため
10　加入の必要性を感じていないため
11　そもそも団体の活動に関心がないため
12　人づきあいをわずらわしく感じるため
13　その他（　　）

※NPO：Non-Profit Organization の略。継続的に社会貢献活動を行う非営利団体（ボランティア団体、市民活動団体、NPO 法人）のことです。

問39　あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が必要だと思いますか。該当するものを**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　活動情報の積極的なＰＲ
２　若い世代への参加の呼びかけ
３　気軽に参加しやすいイベントの開催
４　イベントなどの企画段階からの参加のしやすさ
５　地域の課題を話し合える場
６　住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること
７　近所の人とのつながりを持てるようにすること
８　リーダー養成や組織づくりの勉強会
９　その他（　　）

問40　あなたは、過去１年の間に、地域活動の拠点である地域センター※（区内18か所）を利用しましたか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　利用した
２　利用しなかった
３　そもそも地域センターを知らない
４　利用したか覚えていない

※地域センター：地域の方々が交流し、活動する場として集会室や音楽練習室（センターによる）などを備えている施設です。各種証明書の発行や住民異動の届け出窓口である、区民事務所（区内６か所）とは異なります。

問 40－1 へ

問 41 へ

（問 40 で「１　利用した」と回答した方のみ）

問40－１　利用した目的として該当するものを<u>すべて</u>選び、<u>番号に○印</u>をつけてください。回答後、<u>問41へお進みください。</u>

１　地域行事等で集会室等を予約・利用するため	５　区政等の各種相談をするため
２　私用で集会室等を予約・利用するため	６　古い保険証や受給者証の返却など区役所に書類を提出するため
３　地域交流イベントに参加するため	（提出した書類　　）
４　区政に関するチラシ、申請書等を入手するため	７　その他 （具体的に　　）

問41　地域センターにどのような区民サービスがあれば、あなたは地域センターを利用しますか。該当するものを<u>すべて</u>選び、<u>番号に○印</u>をつけてください。

１　集会室等が利用できること	６　地域（主に区内）で活動するＮＰＯ、趣味、スポーツなどのサークルに関する情報を入手できること
２　地域交流イベントが開催されること	７　ボランティアに関する情報を入手できること
３　区政に関するチラシ・申請書等が入手できること	８　その他 （具体的に　　）
４　区政等の各種相談ができること （具体的に　　）	９　特にない
５　地域活動団体※へのサポートが行われること	

※地域活動団体：問38にある町会・自治会、ＮＰＯや趣味・スポーツ等のサークル。

●　<u>今後の行政サービスと負担のあり方</u>に関してお答えください　●

人口減少・超高齢社会の更なる進展に伴い、税や社会保険料を負担する人が減少する一方で、社会保障や公共施設の改築・改修にかかる経費増が予想されており、将来を見据えた区政運営が求められています。今後の板橋区における行政サービスと負担のあり方に関して、以下の質問にご回答ください。

問42　あなたは、日頃の行政サービスについて、税金に見合ったサービスが受けられていると感じられますか。該当するものを<u>１つ</u>選び、<u>番号に○印</u>をつけてください。

１　感じられる	３　あまり感じられない	５　わからない
２　まあ感じられる	４　感じられない	

問43　あなたは、区役所などの行政サービスと住民負担のバランスとして、どのような形がふさわしいと考えますか。あなたのお考えに最も近いものを<u>１つ</u>選び、<u>番号に○印</u>をつけてください。

１　行政サービスを今以上に拡大し、それに応じて区民の負担も増加する
２　行政サービスは現状を維持し、負担する人が減る分、個々の区民の負担が増加する
３　個々の区民の負担は現状を維持し、負担する人が減る分、行政サービスを縮小する
４　行政サービスを今より縮小し、区民の負担も軽減する
５　その他（具体的に　　）

●　板橋区職員に期待する能力・資質に関してお答えください　●

問44　あなたは過去１年間で、区役所の窓口（電話含む）を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接したりする機会がありましたか。該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　接する機会があった	２　接する機会がなかった　⇒問45へ

（問44で「１　接する機会があった」と回答した方のみ）

▶問44－１　その際に接した職員の対応に関する満足度について、該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問44－２へお進みください。**

１　満足	３　どちらでもない	５　不満
２　まあ満足	４　やや不満	

（問44で「１　接する機会があった」と回答した方のみ）

▶問44－２　板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。それぞれ**１つずつ**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問45へお進みください。**

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
（１）自分の行動・発言に責任を持っている	1	2	3	4	5	6
（２）もてなしの心を持ち、柔軟な対応ができている	1	2	3	4	5	6
（３）コスト意識を持っている	1	2	3	4	5	6
（４）高い倫理観を持ち、法令を遵守している	1	2	3	4	5	6
（５）誰に対しても公平・誠実な態度で接している	1	2	3	4	5	6
（６）積極的に職務に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6
（７）事務処理に関して迅速な対応ができている	1	2	3	4	5	6
（８）職務に関する十分な知識を持っている	1	2	3	4	5	6
（９）わかりやすく説明ができている	1	2	3	4	5	6

問45　あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。該当するものを**３つまで**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　自分の行動・発言に責任を持っている職員	６　積極的に職務に取り組む職員
２　もてなしの心を持ち、区民の立場に立って柔軟な対応ができる職員	７　事務処理に関して迅速な対応ができる職員
３　コスト意識を持っている職員	８　職務に関する十分な知識を持ち、区の課題を解決する職員
４　高い倫理観を持ち、法令を遵守する職員	９　わかりやすく説明ができる職員
５　誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員	

●　その他に関してお答えください　●

問46　「マイナンバー（個人番号）カード※」の取得状況について、該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　取得する予定はない	３　すでに持っている
２　まだ持っていないが、取得予定である	４　わからない

※マイナンバー（個人番号）カード：顔写真付ＩＣカードで、本人確認のための身分証明書として利用できるほか、コンビニエンスストアでの各種証明書発行、e-Tax 等の電子証明書を利用した電子申請など、様々なサービスを利用できます。

（問46で「１　取得する予定はない」と回答した方のみ）

→問46－１　その理由として該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問47へお進みください。**

１　現時点で必要がない	４　申請や受領などの手続きが面倒
２　メリットがよくわからない	５　申請方法がよくわからない
３　個人情報の漏えいや不正利用に対する不安がある	６　その他（　　）
	７　特に理由はない

問 47　板橋区基本構想が掲げる将来像の実現に向けた基本目標や基本政策の方向性は、2015 年 9 月の国連サミットにおいて全会一致で採択されたＳＤＧｓ（えすでぃーじーず）※（持続可能な開発目標）と軌をーにしており、各施策の推進はＳＤＧｓ（えすでぃーじーず）のゴールにつながっています。ＳＤＧｓ（えすでぃーじーず）について、該当するものを**１つ**選び、**番号に○印**をつけてください。

１　具体的な内容まで知っている	３　言葉だけは聞いたことがあった
２　言葉の意味は知っている	４　知らなかった（今回初めて聞いた）
	↓ 問 48 へ

※ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）：2030 年までに「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17 の国際目標を掲げています。

（問 47 で「１　具体的な内容まで知っている」「２　言葉の意味は知っている」と回答した方のみ）

→問47－１　区がＳＤＧｓ（えすでぃーじーず）の１７の国際目標の中で重点的に取り組むべきものを**３つ**選び、**番号に○印**をつけてください。回答後、**問48へお進みください。**

１　貧困をなくそう	７　エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13　気候変動に具体的な対策を
２　飢餓をゼロに	８　働きがいも経済成長も	14　海の豊かさを守ろう
３　すべての人に福祉と健康を	９　産業と技術革新の基礎をつくろう	15　陸の豊かさも守ろう
４　質の高い教育をみんなに	10　人や国の不平等をなくそう	16　平和と公正をすべての人に
５　ジェンダー平等を実現しよう	11　住み続けられるまちづくりを	17　パートナーシップで目標を達成しよう
６　安全な水とトイレを世界中に	12　つくる責任つかう責任	

問48　板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に**５つまで**選んで**下の表に番号を記入**してください。

1	子育て	11	男女平等・多様性の尊重	21	防犯
2	学校教育	12	就労支援	22	交通安全(自転車対策等)
3	健康・衛生	13	消費生活トラブル防止	23	市街地整備・まちづくり
4	生涯学習・社会教育	14	コミュニティ・協働	24	緑・公園・景観
5	スポーツ振興	15	商業振興	25	環境・清掃・リサイクル
6	住宅施策	16	中小企業支援・工業振興	26	道路・交通
7	高齢者社会参加・介護予防	17	都市農業振興	27	情報公開・区民参加
8	介護・高齢福祉・見守り	18	観光振興	28	シティプロモーション
9	障がい者福祉	19	文化・芸術・国際交流	29	ＩＣＴ※化
10	生活保護・生活困窮者支援	20	防災	30	行財政改革

順位	１位	２位	３位	４位	５位

※ＩＣＴ：Information and Communication Technology（情報通信関連技術）の略。情報・通信に関連する技術一般の総称で、一般的に使われている「ＩＴ（情報技術、Information Technology の略)」とほぼ同様の意味ですが、Communication（通信）という言葉が指すように、「ＩＴ」に比べ、通信を利用した情報・知識の共有という点が強調されています。近年「ＡＩ（人工知能、Artificial Intelligence の略)」、「ＲＰＡ（定型化された業務を自動化してくれるソフト、Robotic Process Automation の略)」、「ＩｏＴ（身の回りのあらゆるものがインターネットにつながる仕組み、Internet of Things の略)」などが注目を集めています。

問 49　区政全般に関してご意見がございましたら自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。ご記入いただいたアンケート調査票は、返信用封筒(切手不要)に入れ、９月 30 日(月)までに郵便ポストに投函してください。(インターネットを利用して回答する場合、調査票の返送は不要です)

【問１　ウの参考資料】　　お住まいの地域について

索引	町丁名	番地	地域
あ	相生町		高島平
	赤塚一～八丁目		赤塚
	赤塚新町一～三丁目		赤塚
	小豆沢一～四丁目		志村
い	泉町		志村
	板橋一～四丁目		板橋
	稲荷台		板橋
お	大原町		志村
	大谷口一・二丁目		常盤台
	大谷口上町		常盤台
	大谷口北町		常盤台
	大山金井町		板橋
	大山町		板橋
	大山西町		板橋
	大山東町		板橋
か	加賀一・二丁目		板橋
	上板橋一～三丁目		常盤台
く	熊野町		板橋
こ	小茂根一～五丁目		常盤台
さ	幸町		板橋
	栄町		板橋
	坂下一丁目	1～26番・28番	志村
		27番・29～41番	高島平
	坂下二・三丁目		高島平
	桜川一～三丁目		常盤台
し	清水町		志村
	志村一～三丁目		志村
	新河岸一～三丁目		高島平
た	大門		赤塚
	高島平一～九丁目		高島平
と	東新町一・二丁目		常盤台
	常盤台一～四丁目		常盤台
	徳丸一～八丁目		赤塚

索引	町丁名	番地	地域
な	中板橋		板橋
	仲宿		板橋
	中台一～三丁目		志村
	仲町		板橋
	中丸町		板橋
	成増一～五丁目		赤塚
に	西台一丁目		志村
	西台二丁目	1～29番・30番（1～4号・17～22号）・41・42番	志村
		30番5～16号・31～40番	赤塚
	西台三丁目	1～46番・48～54番	志村
		47番・55～57番	赤塚
	西台四丁目		志村
は	蓮沼町		志村
	蓮根一～三丁目		高島平
ひ	東坂下一丁目		志村
	東坂下二丁目		高島平
	東山町		常盤台
	氷川町		板橋
ふ	富士見町		板橋
	双葉町		板橋
	舟渡一～四丁目		高島平
ほ	本町		板橋
ま	前野町一～六丁目		志村
み	三園一丁目		赤塚
	三園二丁目		高島平
	南町		板橋
	南常盤台一・二丁目		常盤台
	宮本町		志村
む	向原一～三丁目		常盤台
や	大和町		板橋
	弥生町		板橋
よ	四葉一・二丁目		赤塚
わ	若木一～三丁目		志村

【問５～問 30 の参考資料】板橋区基本構想・板橋区基本計画 2025 について

１　板橋区基本構想（以下、「基本構想」）

板橋区では、平成 27（2015）年 10 月に区議会の議決を経て基本構想を改定しました。

基本構想とは、将来の板橋区の望ましいまちの姿を示すものであり、区政の長期的指針として、区はもとより区民一人ひとりや地域の様々な団体、関係機関など区内のあらゆる主体が共有するものです。

新たな基本構想は、平成 28（2016）年度から概ね 10 年後を想定して、板橋区全体の将来像（「あるべき姿」）を「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と定め、さらに将来像を政策分野別に具現化した「９つのまちづくりビジョン」を掲げています。

【基本構想の概要】

将来像
未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”

基本理念
○「あたたかい気持ちで支えあう」
○「元気なまちをみんなでつくる」
○「みどり豊かな環境を未来へつなぐ」

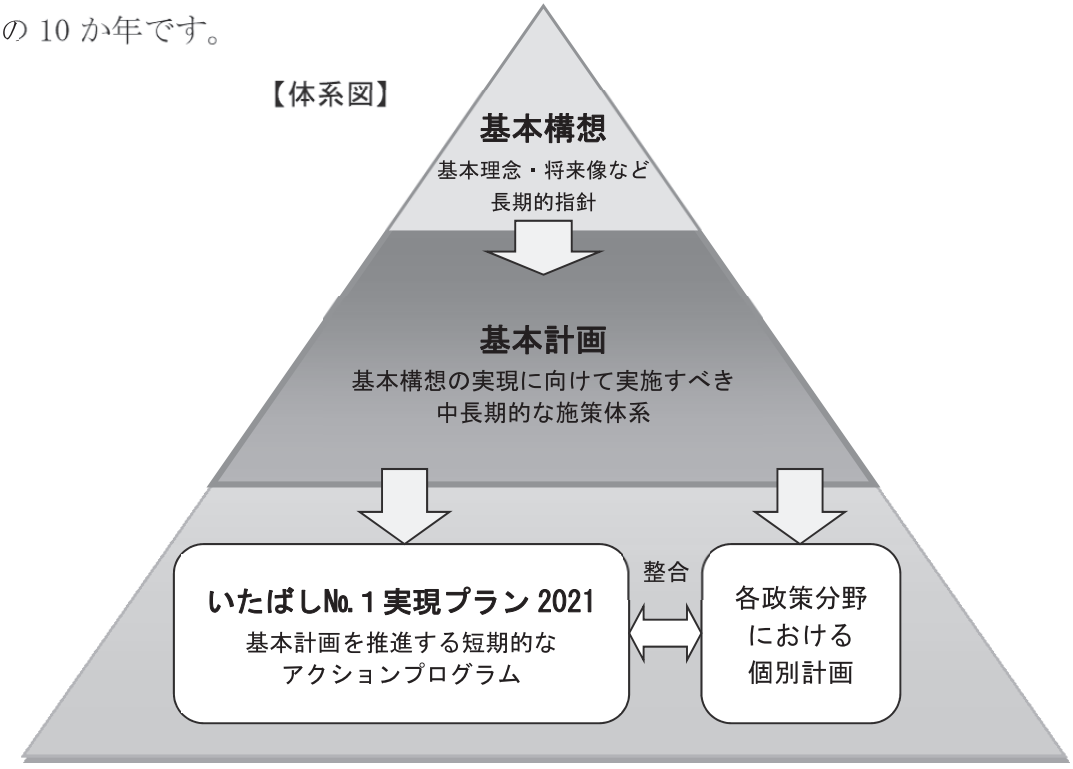
政策分野別の「あるべき姿」（９つのまちづくりビジョン）
① 子育て分野：「子育て安心」ビジョン
② 教育分野：「魅力ある学び支援」ビジョン
③ 福祉・介護分野：「安心の福祉・介護」ビジョン
④ 健康分野：「豊かな健康長寿社会」ビジョン
⑤ 文化・スポーツ分野：「心躍るスポーツ・文化」ビジョン
⑥ 産業分野：「光輝く板橋ブランド・産業活力」ビジョン
⑦ 環境分野：「緑と環境共生」ビジョン
⑧ 防災・危機管理分野：「万全な備えの安心・安全」ビジョン
⑨ 都市づくり分野：「快適で魅力あるまち」ビジョン

２　板橋区基本計画 2025（以下、「基本計画」）

（１）基本計画とは

基本計画は、基本構想を実現するための区政全般の総合的な計画であり、本計画を推進する短期的なアクションプログラムとして策定された「いたばしNo.１実現プラン 2021」や各政策分野における個別計画の基幹となる計画です。計画期間は、平成 28（2016）年度から令和７（2025）年度までの 10 か年です。

【体系図】

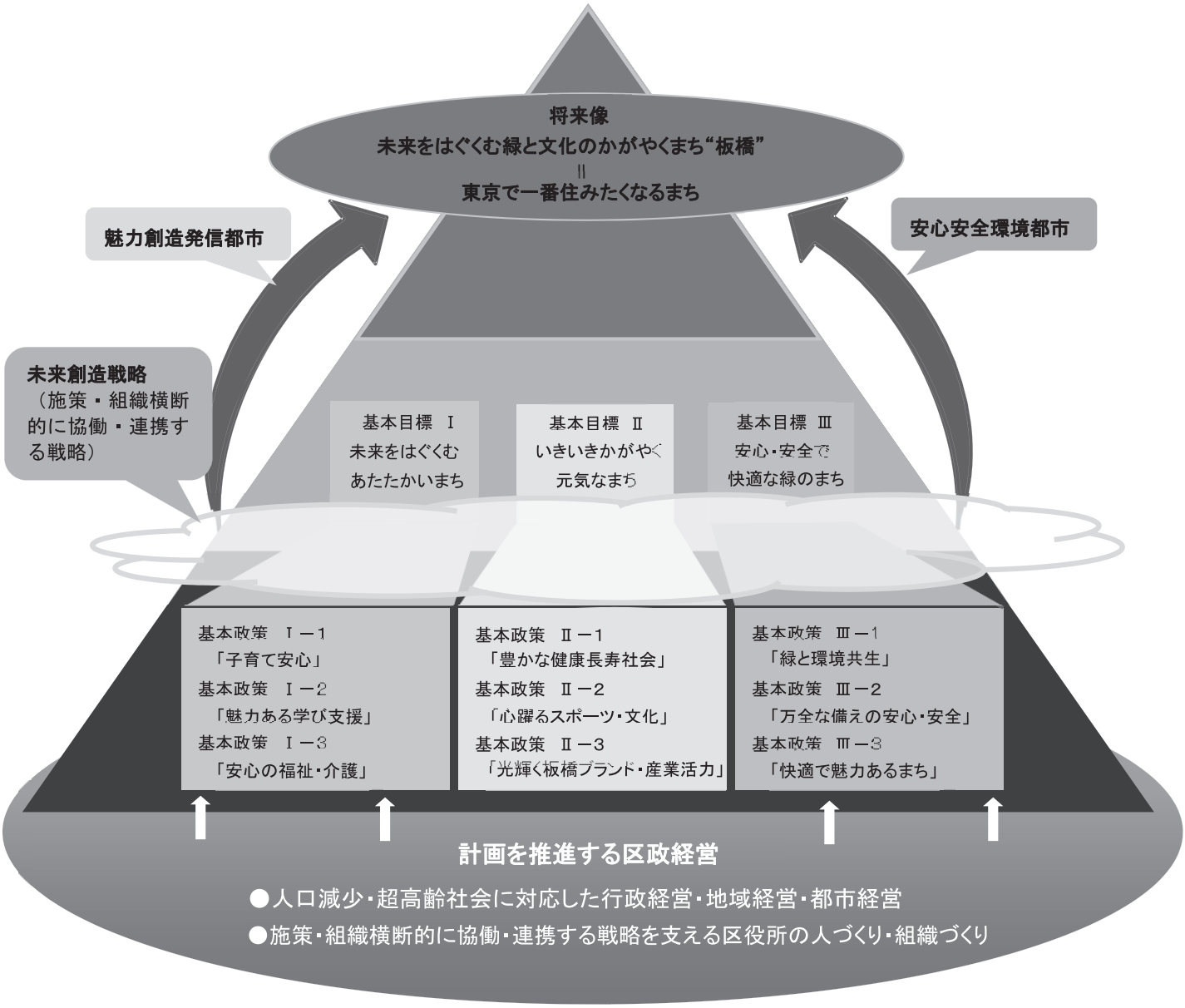


（２）基本計画の施策体系

基本構想で定める３つの基本理念（「あたたかい気持ちで支えあう」「元気なまちをみんなでつくる」「みどり豊かな環境を未来へつなぐ」）に基づき、区の将来像「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と政策分野別の「あるべき姿」である「９つのまちづくりビジョン」を実現するため、「３つの基本目標」と「９つの基本政策」を柱とした施策を体系化しています。

さらに、区政の持続的な発展を可能とするため、施策・組織横断的に協働・連携し、限られた資源を集中的に投入する**未来創造戦略**を立て、選ばれるまちとしての魅力を創造・発信するまち「魅力創造発信都市」と、安心・安全な環境が整い住み続けたくなるまち「安心安全環境都市」といった２つの都市像を指向しながら、基本構想に掲げる区の将来像である「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」を実現し、「東京で一番住みたくなるまち」として評価されるまちをめざしています。

【基本計画の施策体系構成】



令和元年度板橋区区民意識意向調査報告書

企画・実施　板橋区政策経営部政策企画課
〒173-8501　板橋区板橋二丁目 66 番 1 号
TEL 03-3579-2011　FAX 03-3579-4211
sk-schosei@city.itabashi.tokyo.jp
集計・分析　株式会社タイム・エージェント
〒150-0044　渋谷区円山町６番８号　松木家ビル
TEL 03-3370-6821　FAX 03-3770-6820
令和２年３月発行

刊行物番号　31-102